

2022年11月号

# リアホナ

皆の思いをイエス・キリストへ

総大会の説教



ネルソン大管長：  
イエス・キリストを通して世に打ち勝つ

話者たちが弟子としての  
祝福を強調する

18の新しい神殿が  
発表される



Rise and Walk (復活) 米村好太郎 (Miyamura Koutarou) 1901年作

「心の傷ついた人や囚人, 打ちひしがれている人, そして恐らく傷や罪により盲目になっているすべての人々を, 主は癒し, 立ち直らせ, 解放してくださいます。主が実際に人を癒し, 立ち直らせてくださることを証します。その癒しの時期は人それぞれで, わたしたちにはほかの人の時期を判断することはできません。癒しに必要な時間を自分に与え, その過程で自分自身に思いやりを持つことは重要です。救い主は常に情け深く, 思いやりがあり, わたしたちが必要としている援助を与える用意を整えておられます。」

—— クリスティン・M・イー姉妹「灰にかえて冠を：赦しに至る癒しの道」

# リアホナ 2022年11月号 目次

第46巻・11号

## 土曜午前の部会

- 6 貧しい人や困っている人を助ける  
ダリン・H・オークス管長
- 9 イエス・キリストは青少年の力です  
ディーター・F・ウークトドルフ長老
- 13 生活の中でさらにイエス・キリストに  
目を向ける  
トレーシー・Y・ブラウニング姉妹
- 16 個人の啓示の枠組み  
デール・G・レンランド長老
- 20 善を行うことをわたしたちの日常としま  
しょう  
ラファエル・E・ピノ長老
- 22 愛という永遠の原則  
ウーゴ・モントヤ長老
- 25 今日  
ロナルド・A・ラズバンド長老
- 29 何が真実か  
ラッセル・M・ネルソン大管長

## 土曜午後の部会

- 31 中央幹部、地域七十人、ならびに  
中央役員の支持  
ヘンリー・B・アイリング管長
- 33 信仰を込めて一歩ずつイエス・キリスト  
に従う  
M・ラッセル・バラード会長
- 36 灰にかえて冠を：赦しに至る癒しの道  
クリスティン・M・イー姉妹
- 39 キリストによって完全になる  
ポール・V・ジョンソン長老
- 42 主とのパートナーシップの下で  
ウリセス・ソアレス長老
- 46 彼らはイエスがどんな人か見たいと思っ  
ていた  
ジェームズ・W・マッコンキー三世長老
- 50 サタンに耐え得る生活を築く  
ホルヘ・F・ゼバヨス長老
- 53 帰属の教義  
D・トッド・クリストファーソン長老

## 土曜夜の部会

- 57 わたしたちの現世での管理人の職  
ジェラルド・コセービショップ
- 60 心の底から  
ミッシェル・D・クレグ姉妹
- 67 進んで行く気持ちが今もありますか  
ケビン・W・ピアソン長老
- 70 真理を宣べ伝える勇氣  
デネルソン・シルバ長老
- 73 救い主に近づく  
ニール・L・アンダーセン長老

## 日曜午前の部会

- 77 十字架につけられて  
ジェフリー・R・ホランド長老
- 80 主のくびきは負いやすく、主の荷は軽い  
のです  
J・アネット・デニス姉妹
- 83 いつまでも幸せに  
ゲレット・W・ゴング長老
- 86 弟子としての規範  
ジョセフ・W・シターティ長老
- 89 いつまでも主の弟子として生きる  
ステイーブン・J・ランド会長
- 92 シオンよ、力を着よ  
デビッド・A・ベドナー長老
- 95 世に打ち勝ちなさい。そうすれば休  
みが与えられるであろう  
ラッセル・M・ネルソン大管長

## 日曜午後の部会

- 99 励ましの遺産  
ヘンリー・B・アイリング管長
- 101 イエス・キリストが答えです  
ライアン・K・オルセン長老
- 104 まことの神でいますあなたを知ること  
があります  
ジョナサン・S・シュミット長老
- 108 御言葉の力  
マーク・D・エディ長老
- 111 証を養い、証を述べる  
ゲーリー・E・ステイーブンソン長老
- 114 主によって、難しいことでもすることが  
できる  
アイザック・K・モリソン長老
- 117 神と神の業に忠実である  
クエンティン・L・クック長老
- 121 神殿を中心にする  
ラッセル・M・ネルソン大管長
- 64 末日聖徒イエス・キリスト教会の  
中央幹部と中央役員
- 123 教会のニュース
- 127 『わたしに従って来なさい』——  
総大会のメッセージを教え、学び、応  
用する



タヒチ



# 第192回半期総大会

## 2022年10月1日、土曜午前の部会

司会—ヘンリー・B・アイリング管長  
開会の祈り—デビッド・P・ホーマー長老  
閉会の祈り—テラー・G・ゴドイ長老  
音楽—テンプルスクウェア・タバナクル合唱団；指揮—マック・ウィルバーク、ライアン・マーフィー；伴奏—ブライアン・マサイアス、リチャード・エリオット "In Hymns of Praise," Hymns, no. 75；「導きたまえよ」『賛美歌』41番、ウィルバーク編曲；「今日われ善きことせしか」『賛美歌』137番、ザブリスキー編曲；「喜べ、主を」『賛美歌』32番；「天父は灯台のごとく」『賛美歌』200番、マーフィー編曲；「神は造り主」『賛美歌』34番、ウィルバーク編曲。

## 2022年10月1日、土曜午後の部会

司会—ダリン・H・オークス管長  
開会の祈り—和田貴志長老  
閉会の祈り—ハンス・T・ブーム長老  
音楽—宣教師の聖歌隊；指揮—ライアン・エゲット；伴奏—ジョセフ・ピーブルズ、アンドリュー・アンズワース；「われらは天の王に」『賛美歌』157番、ウィルバーク編曲；「信じ、進まん」デイリー、カセン編曲；「神に栄え」『賛美歌』33番；「み旨のまま行かん」『賛美歌』172番、シャンク編曲；「シオンのつわもの」『賛美歌』159番、シャンク編曲。

## 2022年10月1日、土曜夜の部会

司会—ダリン・H・オークス管長  
開会の祈り—マティアス・ヘルド長老  
閉会の祈り—スーザン・H・ポーター会長  
音楽—ユタ州サウスジョーダンの子供と青少年の聖歌隊；指揮—アリソン・アンズワース；伴奏—リンダ・マーゲッツ、アンドリュー・アンズワース；「来たれ、喜べや」『賛美歌』8番、アンズワース編曲；「主はわたしを愛してください」クラーマーとベル、マーフィー編曲；「イスラエルの救い主」『賛美歌』4番；「力強き主よ」『賛美歌』164番、カセン編曲。

## 2022年10月2日、日曜午前の部会

司会—ヘンリー・B・アイリング管長  
開会の祈り—ウェザーフォード・T・クレイトン長老  
閉会の祈り—ボニー・H・コードン会長  
音楽—テンプルスクウェア・タバナクル合唱団；指揮—マック・ウィルバーク；伴奏—リチャード・エリオット、ブライアン・マサイアス；"How Wondrous and Great," Hymns, no. 267; With Songs of Praise," Hymns, no. 71, arr. Wilberg；「心の中に光を持てば」『賛美歌』141番、ウィル

バーク編曲；「感謝を神に捧げん」『賛美歌』11番；「高きに満ちたる」『賛美歌』112番、ウィルバーク編曲；「神のみ業に進みて」『賛美歌』149番、エリオット編曲。

## 2022年10月2日、日曜午後の部会

司会—ダリン・H・オークス管長  
開会の祈り—ブラッドリー・R・ウィルコックス兄弟  
閉会の祈り—ホルヘ・M・アルバラード長老  
音楽—テンプルスクウェア・タバナクル合唱団；指揮—マック・ウィルバーク、ライアン・マーフィー；伴奏—アンドリュー・アンズワース、ジョセフ・ピーブルズ；「心に光あり」『賛美歌』139番、ウィルバーク編曲；「天のお父様の愛」『子供の歌集』16、マーフィー編曲；「いざ救いの日を楽しまん」『賛美歌』5番；「神よ、また逢うまで」『賛美歌』85番

## 総大会の説教の入手

総大会の説教は、「福音ライブラリー」アプリや [conference.ChurchofJesusChrist.org](https://conference.ChurchofJesusChrist.org) でデジタル版の閲覧が可能です。障害のある会員が利用できる形式の総大会に関する情報は [disability.ChurchofJesusChrist.org](https://disability.ChurchofJesusChrist.org) で入手できます。

## 表紙

表表紙：主はわたしを導かれる / ヨンソン・キム画  
裏表紙：写真 / メーソン・コーバリー

## 大会の写真

ソルトレーク・シティにおける総大会の写真は以下のカメラマンによって撮影されました。コデー・ベル、メーソン・コーバリー、レスリー・ニルソン、クリスティ・パウエル、ハンター・マコール・ウインタートン。その他の写真 / アンドレア・アヘド、ベンソン・アルド、ヤナイ・ビンガム、シャーリー・プリト、フェルナンド・J・カルデロン、クレイトン・チャン、ランディー・ゴリアー、ロドリゴ・アルメイダ・ダ・シルバ、クリスティン・ゲルナウアー、シンシア・E・エレーラ、ニール・カプリング、アシュリー・ラーセン、バーバラ・リーテ、ケビン・ルナ、アメリカ・リヨン、ダニエル・マルティネス、メラニー・ミザ、エミック・ウンゴマ、サヤカ・オオクボ、イボンヌ・オリオーダン、ミゲル・バカス、ダナ・フィリップス、バリソア・ラコトマナナ、ネイサン・リード、パトリック・I・リード、ヘレン・ローズ、ステファン・サイエブ、ニコ・セレイ、エイブ・シルベンノイネン、キャロリーナ・トリアナ、ンテバレン・トワラ。

説明書きのない写真はすべて、カンファレンスセンターまたはソルトレーク・シティのテンプルスクウェアで撮影されました。



ブラジル

大管長会：ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オクス、ヘンリー・B・アイリング

十二使徒定員会：M・ラッセル・バラード、ジェフリー・R・ホランド、ディーター・F・ウーグトルフ、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン、ロナルド・A・ラズバンド、ゲリー・E・スティープンソン、デール・G・レンランド、ゲレット・W・ゴック、ウリセス・ソアレス

編集長：ランドール・K・ベネット 編集長補佐：リカルド・P・ヒメネス

顧問：ジャン・E・ニューマン、マイケル・T・リングウッド、クリスティン・M・イー

実務運営ディレクター：リチャード・I・ヒートン

教会機関誌ディレクター：アーロン・ジョンストン

パブリッシングチームマネージャー：リー・ギボンズ

ビジネスマネージャー：ガフ・キャン 編集主幹：アダム・C・オルソン

編集主幹補佐：ブリトニー・ピーティ、ライアン・カー、C・マシュー・フリットン、ミンディー・セル

出版補佐：ナンシー・サットン

編集委員：ギャレット・H・ガーフ、チャケル・ワードレイ、ハーバート、マイケル・R・モリス、アリソン・R・ウッド

編集インターン：ジョエル・B・ランドール、コチトル・ポット・リベラ

アートディレクター：タッド・R・ピーターソン

デザイナー：フェイ・P・アンドラス、デビッド・グリーン、コリーン・ヒンクレイ、エリック・P・ジョンソン、スコット・M・ムーイ

デザインインターン：アシュリー・スキナー

版權および許諾コーディネーター：プリシラ・ビール・モッタ

制作主幹：アンモン・ハリス

制作：アイラ・グレン・アデア、ジュリー・バーデット、ホセ・チャベス、ゼーン・R・グレイ、ブライアン・W・ギュー、ミシェル・ブロクター、マリッサ・M・スミス、ローン・ソロモン

印刷ディレクター：スティーブン・T・ルイス

配送ディレクター：ネルソン・ゴンザレス

日本語版翻訳課長：大森陽子

●定期購読は、末日聖徒イエス・キリスト教会公式オンラインストアにてお申し込みください。https://store.churchofjesuschrist.org/jpn/ja

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布 5-8-8

価格 年間購読 (国内)「リアホナ」1,090円、「フレンド」870円、「For the Strength of Youth—青少年の強さのために」870円 (すべて送料込み) 海外在住の方はお近くのディストリビューションセンターへのお申し込みをお勧めします。

郵送先住所：Liahona, Fl. 23, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0023, USA.

「リアホナ」(モルモン書に出ている言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。アルバーニア語、アルメニア語、ヒンディー語、フルガリア語、カンボジア語、セブアン語、中国語、中国語 (簡体字)、クワチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キルバニア語、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、マダガスカル語、マラヤーラム語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語 (発行頻度は言語により異なります。)

© 2022 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷：韓国

著作権情報：別途記載がない限り、「リアホナ」に掲載されているものは、個人的に、また非営利目的 (教会の召しも含む) で使用する場合に複製することができます。この権利は取り消される可能性が常にあります。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合には複製できません。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Fl. 5, Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メールで cor-intellectualproperty@ChurchofJesusChrist.org にご連絡ください

For Readers in the United States and Canada: November 2022 Vol. 46 No. 11. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 507.1.5.2). NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.



イギリス

話者リスト (50音順)

- アイリング、ヘンリー・B.....99
アンダーセン、ニール・L ...73
イー、クリスティン・M .....36
ウーグトルフ、ディーター・F 9
エディ、マーク・D .....108
オックス、ダリン・H .....6
オルセン、ライアン・K ...101
クック、クエンティン・L ...117
クリストファーソン、D・トッド .....53
クレグ、ミッシェル・D ...60
コセー、ジェラルド.....57
ゴック、ゲレット・W .....83
スターティ、ジョセフ・W ...86
シュミット、ジョナサン・S 104
ジョンソン、ポール・V .....39
シルバ、デネルソン .....70
スティープンソン、ゲリー・E .....111
ゼバヨス、ホルヘ・F .....50
ソアレス、ウリセス.....42
ネルソン、ラッセル・M .....29, 95, 121
バラード、M・ラッセル .....33
ピアソン、ケビン・W .....67
ピノ、ラファエル・E .....20
ブラウニング、トレーシー・Y 13
ベドナー、デビッド・A .....92
ホランド、ジェフリー・R.....77
マッコンキー、ジェームズ・W、三世.....46
モリソン、アイザック・K...114
モントヤ、ウーゴ.....22
ラズバンド、ロナルド・A ...25
ランド、スティープン・J .....89
レンランド、デール・G .....16

テーマ別索引

- あ愛 .....22, 42, 57, 80, 86
証 .....13, 111, 117
イエス・キリスト ...9, 13, 22, 25, 33, 36, 39, 46, 53, 60, 67, 73, 77, 80, 83, 86, 95, 101, 104, 108, 111, 121
怒り.....117
一致 .....42, 53
祈り.....20
戒め .....13
癒し .....36, 39, 46, 83
慚れ .....111
親の勤め.....42, 57
か改心 .....89
開拓者 .....33
家族 .....42
家族歴史 .....20
環境 .....57
儀式 .....83
犠牲 .....53, 77
帰属感 .....53
希望 .....99, 104
虐待 .....29, 117
逆境 ...22, 33, 50, 60, 77, 80, 95, 99, 101, 114
聖さ .....104
キリストの光 .....6
悔い改め.....83, 117
啓示 .....16
結婚 .....42
謙遜 .....86
幸福 .....83
さ再臨 .....50
サタン .....50
裁く .....80
慈愛 .....80, 99
シオン .....53
集合 .....53
贖罪 .....39, 77, 83, 117

- ジョセフ・スミス .....33, 111
信仰 .....33, 46, 60, 89, 99, 111, 114
神殿.....121
神殿の業.....20, 83
人道支援 .....6
真理 .....9, 29, 70
救いの計画.....57
聖餐.....20, 67
青少年.....9, 89, 101
聖文.....16, 46, 108
聖文研究.....20, 108
聖約 ...53, 60, 73, 92, 95
聖霊 .....16, 67, 73
世俗的.....92, 95
選択 .....9
創造 .....57
備え .....50
た堪え忍ぶ.....89, 99, 114
たとえ .....92
多様性 .....53
力 .....95
弟子の務め.....13, 20, 46, 60, 67, 70, 73, 77, 86, 89, 92, 104, 114
伝統 .....20
伝道活動 ...25, 33, 70, 101
徳 .....108
な柔和 .....99
は標準 .....9
貧困 .....6
平安 .....95
奉仕 .....6, 53, 86
まミニスタリング .....8
恵み .....39
モルモン書 .....25, 70, 108
や勇気 .....70
優先順位 .....92
誘惑 .....50
救し.....36, 46, 83
預言者 .....16





## 第192回半期総大会の見どころ



テンプルスクウェアは、教会の第192回半期総大会の間、平穩そのものでした。敷地内の建設工事と、歴史的な建造物であるソルトレーク神殿の耐震改修工事の音はしばし止まりました。

しかし、世の声をひとまず脇に置いて、生ける預言者や使徒たちの言葉に耳を傾けることによって、わたしたちの家庭と心は、また違った種類の平安で満たされました。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、あの独特な輝きを目にたえながら、こう教えました。「皆さんは、今日と明日、引き続きこの説教台から真理を聞きます。……主に祈って、聞いたことが真実であるという確認を求めてください。」(29ページ参照)

大会を通して、話者は神聖な聖約を交わして守ること(95ページと73ページ参照)や、個人の啓示を受けること(16ペー

ジ参照)、弟子となること(77ページ参照)など、証を強めるのに役立つ真理を教えました。

ネルソン大管長は、「イエス・キリストに対する証を絶えず強めることを最優先して、自分の人生に奇跡が起こるのを待っててください」(95ページ参照)と言いました。

総大会が終わると、ソルトレーク神殿の建設作業が再開しました。発表のあった神殿および建設中の神殿は全世界に125か所ありますが、それらの神殿の工事や工事前の準備も始まりました。その中には、ネルソン大管長が大会の最後の部会で発表した18の新しい神殿も含まれています(121ページ参照)。

「主は神殿をさらに身近な場所に用意してくださっています。神殿建設のスピードを上げておられます」とネルソン大管長

は言っています。「イスラエルの集合を助けるわたしたちの能力を高めてくださっています。」(121ページ参照) ■

### あなたの経験を分かち合ってください!

「もしこれらのことがわかっていて、それを行うなら、あなたがたはさいわいである。」(ヨハネ13:17)

総大会で学んだことを応用してどのような祝福を受けたか、あなたの体験談をお聞かせください。

- ・そこからどのようなことを学びましたか。
- ・学んだことをどのように応用していますか。
- ・それを応用することによってどのような祝福を受けましたか。

あなたの体験談は、生活に真理を応用することでもたらされる祝福を人々に知ってもらうための助けになります。体験談を [liahona@ChurchofJesusChrist.org](mailto:liahona@ChurchofJesusChrist.org) まで電子メールで送ってください。





大管長会第一顧問  
ダリン・H・オークス管長

# 貧しい人や困っている人を助ける

*イエス・キリストの教会は、助けの必要な人々に仕えることに力を入れており、またその取り組みでほかの人々と協力することにも力を入れています。*

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちの愛する預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長はこの部会の後ほどお話しします。ネルソン大管長の依頼により、わたしが第一話者を務めます。

今日は、末日聖徒イエス・キリスト教会が貧しい人や困っている人に何を提供し、行っているか、また、ほかの善良な人々による同様の支援についてお話しします。助けの必要な人々を助けることは、すべてのアブラハムの宗教とその他の宗教における共通の原則です。

数か月前に、末日聖徒イエス・キリスト教会は、世界中でどれほど人道支援活動を行っているかについて初めて報告しました。<sup>1</sup> 全世界 188 か国の助けを必要としている人々に対する 2021 年の支援額は、総額 9 億 600 万ドルと、ほぼ 10 億ドルに達しています。そのほか、わたしたちの会員は、同じ目的で、ボランティアとして 600 万時間以上奉仕をしました。

もちろんこれらの数字には、わたしたちが実際に提供し、支援したすべてが反映されているわけではないことは承知しています。召しの中での互いのミニスタリングや、会員同士の自発的な奉仕など、会員の個人的な奉仕は含まれていません。また 2021 年の報告書には、わたしたちの

会員が教会と公式のつながりがない数多くの慈善団体を通じて個人的に行っていることについても述べられていません。まず次のことから始めます。

回復された教会が組織されてから 2 年もしない 1831 年に、主は、この教会の会員と、わたしが思うに、世界中の主のすべての子供たちのために、次の啓示を与えられました。

「見よ、わたしがすべてのことを命じるのは適切ではない。すべてのことを強いられて行こう者は怠惰であって、賢い僕ではない。……

まことに、わたしは言う。人は熱心に善いことに携わり、多くのことをその自由意志によって行い、義にかなう多くのことを成し遂げなければならない。

人は自らの内に力があり、それによって自ら選択し行動する者だからである。そして、人は善を行うならば、決してその報いを失うことはない。」<sup>2</sup>

わたしは、使徒として 38 年以上、また仕事で 30 年以上の間、この啓示の中で「善いこと」また「義にかなう多くのこと」と述べられている類の、組織や人々による多くの惜しみない取り組みを目にしてきました。このような人道支援の奉仕の例は、国境を越え、また常識を超えて、世界

中に数え切れないほどあります。このことを考えるとき、モルモン書の預言者、ベニヤミン王の説教を思い出します。それには次の永遠の真理が含まれています。「あなたがたが同胞のために務めるのは、とりもおさず、あなたがたの神のために務めるのである……。」<sup>3</sup>

わたしたちの同胞に対する多くの福祉と人道支援活動が、末日聖徒イエス・キリスト教会とその会員であるわたしたちによって教えられ、実践されています。例えば、わたしたちは毎月の初めに断食し、この教会内の助けを必要としている人々を助けるために、食べなかった食事に相当する金額かそれ以上を献金します。教会も、世界中で人道支援やその他の奉仕に多額の寄付をしています。

わたしたちの教会が直接行っているすべてのことがありつつも、世界中の神の子供たちへの人道支援活動のほとんど



アメリカ合衆国



は、わたしたちの教会と公式のつながりが  
ない人々や組織によって行われています。  
わたしたちの使徒の一人がこう述べて  
います。「神は、御自分の大いなる驚く  
べき業を成し遂げるために、複数の民を  
お使いになっておられます。……一つの  
民には、それは規模が大きすぎ、難し  
すぎるのです。」<sup>4</sup> 回復された教会の  
会員として、わたしたちは、ほかの人  
々の奉仕にもっと気づき、もっと感  
謝する必要があります。

イエス・キリストの教会は、助けの必  
要な人々に仕えることに力を入れてお  
り、またその取り組みでほかの人々と  
協力することにも力を入れています。  
わたしたちは最近、国連世界食糧計  
画に多額の寄付をしました。何十年も  
続いているわたしたちの人道支援活  
動には、重要な協力組織が二つあり  
ます。数十か国で赤十字社と赤新月  
社とともに行ったプロジェクトでは、  
自然災害や紛争に対応し、神の子  
供たちに重要な救済物資を提供して  
きています。同様に、長期に渡って  
カトリック救済事業会を支援してい  
ます。これらの組織から、世界中の  
人々への救援について多くのことを  
教えられました。

また、Muslim Aid (ムスリム・エイ  
ド)、Water for People (ウォーター・  
フォア・ピープル)、IsraAID (イスラ  
エイド) など、ほかの組織との協  
力も実りあるものです。人道支援組  
織にはそれぞれ特化した分野があり  
ますが、神の子供たちの苦しみを  
和らげるといった共通の目標を共  
有しています。これらすべてが、神  
の子供たちに対する御業の一部です。

現代の啓示で述べられているように、  
救い主イエス・キリストは「世に  
来るすべての人を照らすまことの  
光」です。<sup>5</sup> これにより神の子  
供たちは皆、知識と能力の限  
り、神とお互いに仕えるように啓  
発されます。

モルモン書ではこう教えられてい  
ます。「善を行い、神を愛し、神に  
仕えるように



#### イギリス

誘い、促すものはすべて、神の  
靈感を受けているのである。」<sup>6</sup>

さらにこう続いています。

「見よ、善悪をわきまえること  
ができるように、すべての人にキ  
リストの御霊が与えられているから  
である。さて、その判断の方法を  
あなたがたに教えよう。善を行う  
ように誘い、またキリストを信じ  
るように勧めるものはすべて、キ  
リストの力と賜物によって送り出  
されているのである。……

さて、わたしの同胞よ、あなたが  
たは判断する際に用いる光、すな  
わちキリストの光について知って  
いる……。」<sup>7</sup>

ここでは、神の子供たちが他の  
神の子供たちを、必要不可欠であ  
る食糧、医療、教育において助け  
ている例を紹介しています。

10年前に、アラブ首長国連邦の  
シーク教徒、カンドハリ夫妻は、  
食べ物のない人に食物を提供する  
というすばらしい活動を個人的に  
始めました。彼らは現在、グル  
・ナーナク・ダルバル・シーク教  
寺院を通じて、宗教や人種に関  
係なく、毎週末、3万を超えるベ  
ジタリアン用の食事を提供してい  
ます。カンドハリ博士はこう言  
っています。「わたしたちは、皆  
一つだと信じています。唯一の  
神の子供であり、人類に仕える  
ために、わたしたちはここに  
います。」<sup>8</sup>

必要な人々への医療と歯科治  
療の提供がもう一つの例です。  
わたしは、シカゴ

で、シリア系アメリカ人の救急救命  
医、ザヘ・サルール氏に会いま  
した。彼はMedglobal (メドグ  
ローバル) の創設者の一人です。  
それは、ボランティアとして時  
間や技能、知識、リーダーシップ  
を提供する医療専門家を組織  
し、シリア内戦など様々な危機  
の中で人々を助けています。サ  
ルール氏は自分の命を危険にさら  
しながら、一般市民に医療を提  
供しました。Medglobal (メドグ  
ローバル) や(多くの末日聖徒の  
専門家が含まれる) 同様の組織  
が示しているように、神は信仰  
を持っている専門家を動かし、  
世界中で貧しい人に必要な助け  
を与えておられます。<sup>9</sup>

利己心のない多くの神の子供  
たちが、世界中で、教育の取り  
組みに従事しています。わたした  
ちの人道支援活動を通して知る  
ことができた良い例は、何度も  
様々な紛争で難民の生活をして  
きた、ガブリエル氏として知ら  
れている方の活動です。東アフリ  
カにいる何十万人もの難民の子  
供たちには、希望を持ち、心を  
明るく保ち続けるために助けが  
必要であると、彼は述べていま  
す。彼は難民の中にいるほかの  
教師たちを組織し、それを「木  
の学校」と呼びました、そこに  
子供たちは集まり、木陰の下で  
教育を受けました。彼は、ほか  
の人々が組織したり運営したり  
するのを待つことなく、何年も  
続くストレスの多い避難生活  
の中で、何千人もの小学生の子  
供たちに学習の機会を提供する  
取り組

みを自ら行いました。

もちろん、これら3つの例を挙げたからといって、善である、あるいは神から出ていると主張する組織や個人が、語ることや行うことをすべてほんとうに行っているということではありません。これらの例は、多くの善いことを行うように、神が多くの組織や個人を鼓舞しておられることを示しています。またわたしたちが、ほかの人々によって行われる善い行いを認め、支援する時間と手段があるときにそれを支援するべきだということも示しています。

教会が支援しており、そして教会員とその他の善良な人々と組織も時間とお金をそれぞれ提供して支援している活動の例をいくつか紹介します。

信教の自由から始めます。それを支援することは、わたしたち自身の益になるだけでなく、ほかの宗教の益にもなります。初代大管長であるジョセフ・スミスはこう教えています。「わたしたちは、自分の良心の命じるとおりに全能の神を礼拝する特権があると主張し、またすべての人に同じ特権を認める。彼らがどのように、どこで、何を礼拝しようと、わたしたちはそれを妨げない。」<sup>10</sup>



マレーシア



回復された教会の人道支援と、会員たちによって自発的に提供される支援についてのそのほかの例は、よく知られているわたしたちの学校、短大、大学です。また、あまり知られてはいませんが今は公表されている、竜巻や地震などの自然災害による破壊と混乱に苦しんでいる人々を救済するための、多額の寄付もそうです。

わたしたちの会員が自発的な献金と奉仕によって支援しているそのほかの慈善活動は、数え切れないほどあります。しかし、その幾つかを挙げるだけで、その多様さと重要性が分かります。人種差別やそのほかの偏見との闘い、病気の予防法と治療法の研究、障害のある人の支援、音楽と博物館などの組織への支援、すべての人のための道徳的また物理的環境の改善などです。

末日聖徒イエス・キリスト教会の人道支援活動はすべて、モルモン書に述べられている義にかなった民の模範に従うように努めています。「このようにして、彼らは裕福な暮らしの中で、着る物のない者や飢えている者、渴いている者、病気の者……を追い払うことがなかった。また、彼らは……老いた者にも若い者にも、束縛された者にも自由な者にも、男にも女にも、また教会員であるなしの区別なく、……すべての人に物を惜しまなかつ

た。」<sup>11</sup>

イエス・キリストの光と御霊が、世界中で貧しい人と困っている人を助けるようにわたしたち全員を導いておられることを、証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. See *Caring for Those in Need: 2021 Annual Report of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints* (2022).
2. 教義と聖約 58 : 26 - 28
3. モーサヤ 2 : 17
4. Orson F. Whitney, in Conference Report, Apr. 1928, 59.
5. 教義と聖約 93 : 2。ヨハネ 1 : 9も参照
6. モロナイ 7 : 13
7. モロナイ 7 : 16, 18
8. See "Sikhs and Latter-day Saints in UAE Join for Annual Service Project," Middle East Newsroom, Feb. 7, 2022, news-middleeast.ChurchofJesusChrist.org.
9. See "Who We Are," MedGlobal, medglobal.org.
10. 信仰箇条 1 : 11
11. アルマ 1 : 30





十二使徒定員会  
ディーター・F・ウークトドルフ長老

# イエス・キリストは 青少年の力です

**イエス・キリストを信頼してください。キリストは皆さんを  
正しい道に導いてくださいます。**

今日のこの話の準備をしていて、わたしは若い男性と若い女性に向けて話すよう強い促しを感じました。

それと同時に、かつて若かった人や、若かったころを思い出すことすらできない人に向けても、話したいと思っています。

そして、若い人たちを愛し、彼らの人生の成功を願うすべての人に向けて話します。

若い世代の皆さんには、救い主イエス・キリストから直接あなたに向けたメッセージがあります。

## 救い主からあなたへのメッセージ

愛する若い友人の皆さん、もしも救い主が今、この場におられたなら、皆さんに何と言われるでしょうか。

皆さんを深く愛していることをまずお伝えになると思います。言葉でお伝えになるでしょうが、その愛は救い主の存在そのものからも、とてつもない力で伝わってくるでしょう。それは間違いようもなく明白で、皆さんの心の奥底にまで届き、皆さんの心に満ちることでしょう。

それでも、わたしたちは皆弱くて不完全ですから、幾つか不安が心をよぎります。犯した過ちや、誘惑に屈してしまったときのこと、しなければよかったのに、あるい

は、もっとよくやっておけばよかったの  
と思うことを、思い出すかもしれません。

救い主はそれを察して、聖文で語られた言葉で皆さんを安心させてくださると、わたしは思います。

「恐れることはない。」<sup>1</sup>

「疑ってはならない。」<sup>2</sup>

「元気を出しなさい。」<sup>3</sup>

「あなたがたは心を騒がせるな。」<sup>4</sup>

救い主が皆さんの過ちを見逃してくだ

さるとは思いません。罪や過ちを過小評価されることもないでしょう。そうではなく、あなたに悔い改めるように言われるでしょう。皆さんを赦すことができるよう、罪を捨てて変わるように言われるでしょう。2,000年前に、あなたが悔い改められるように主御自身がその罪を身に受けたことを思い出させられるでしょう。それは、愛ある天のお父様が下さった幸福の計画の一部です。

イエスはまた、皆さんがバプテスマを受けたときに交わり、聖餐を受ける度に更新している聖約によって、主と皆さんには特別な結びつきができておられることを御指摘になるでしょう。

これは、くびきをともにすると聖文で説明されている結びつきであり、この結びつきがあれば、皆さんは救い主の助けを受けてどんな重荷でも負うことができます。<sup>5</sup>

救い主イエス・キリストは、御自分が皆さんの力であることを、皆さんに見て、感じて、知ってほしいと思っておられると、わたしは信じています。救い主の助けがあれば、皆さんの達成できることに限界はありません。皆さんの可能性は無限大です。救い主は皆さんに、御自分が見ているように自分自身の



ノルウェー



コートジボワール

ことを見てほしいと思っておられます。それは、世の人の見方とは大きく異なります。

皆さんは全能の神の娘または息子であると、救い主ははっきりと宣言なさるでしょう。天におられる皆さんの御父は、宇宙でいちばん栄光にあふれた御方で、愛と喜びと純粋さ、神聖さ、光と恵みと真理に満ちておられます。そしていつの日か、御自分がお持ちのすべてを皆さんに受け継いでほしいと思っておられます。<sup>6</sup>

これこそ、皆さんが今この地上にいる理由です。学び、成長し、進歩して、まさに天の御父が皆さんを創造した際に望まれた人になることです。

これを可能にするために、御父はイエス・キリストを遣わして救い主とされました。これが、御父の幸福の計画や教会、神権、聖文など、すべてのものの目的です。

天の御父の望まれる人になることが皆さんの行く末です。それが皆さんの未来です。それは、皆さんの選びです。

### 真理と選び

皆さんの幸福のために作られた神の計画の中核にあるのは、選ぶ力です。<sup>7</sup>もちろん、天の御父は、御自分と一緒に永遠の喜びを味わうことを皆さんが選ぶように望ま

れており、それができるように助けてくださいますが、決して無理強いはなさいません。

皆さんに選ばせるのです。光か闇か、善か悪か、喜びか苦悩か、永遠の命か霊の死か。<sup>8</sup>

簡単な選択だと思いませんか。しかし、どういふわけか、この地上では必要以上に複雑だと感じてしまいます。

問題は、わたしたちは望んでいるほど物事をはっきりと見ていないことです。使徒パウロはこれを、「鏡に映して見るようにおぼろげに」<sup>9</sup> 見ている、とたとえています。何が正しくて何が悪いのかを分かりにくくする惑わしが、世の中にはたくさんあります。真実が曲げられて、悪が善に、善が悪に見えてきます。<sup>10</sup>

しかし、永遠に変わらぬ真理を熱心に求めるならば、何を選ぶべきかは非常にはっきりと分かってきます。確かに、それでも誘惑や試練はあるでしょう。悪いことはなくなりません。不可解なことや悲劇は起こります。しかし、自分が何者であり、なぜここにいるのかを理解して、神を信頼しているならば、対処することができます。

では、真理はどこで見つけることができるでしょうか。

それは、イエス・キリストの福音の中にあ

ります。そしてその完全な福音は、末日聖徒イエス・キリスト教会で教えられています。

イエス・キリストは言われました。「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。」<sup>11</sup>

大事な決断を下さなければならぬとき、最善の選択はイエス・キリストとその回復された福音です。疑問があるとき、最善の答えはイエス・キリストとその回復された福音です。自分は弱いと感じたとき、イエス・キリストはあなたの力になってくださいます。

イエスは疲れた者に力を与えられます。力がないと感じている者を強くしてください。

主を待ち望む者は、主によって新たな力を得るでしょう。<sup>12</sup>

### ガイドブック『青少年の強さのために』

皆さんが方法を見つけ、キリストの教義を人生の指針にすることができるようにするために、末日聖徒イエス・キリスト教会は、新しいリソースとして『若人の強さのために』の改訂版を作成しました。

50年余りにわたり、『若人の強さのために』は代々の末日聖徒の青少年の指針となってきました。わたしはいつもこの冊子をポケットに入れていて、教会の標準に興味のある人に見せていました。この冊子がこの度改定され、現代の問題や誘惑にさらにうまく対処できるようになりました。新しい改訂版である『青少年の強さのために』は、オンラインで50の言語で利用でき、印刷版も利用できるようになります。生活での選択に大いに役立つものです。ぜひ自分のものとして受け入れ、友達にも共有してください。

この新しくなった『青少年の強さのために』には、「選択の指針」という副題が付いています。

はっきり言うと、選択をする際にいちばん良い指針となるのは、イエス・キリスト



です。イエス・キリストが青少年の力なのです。

ですから、『青少年の強さのために』の目的は、皆さんの心をキリストに向けることです。この冊子は、キリストの回復された福音の永遠の真理を教えています。つまり、自分が何者であり、キリストはどのような御方で、キリストの力で自分が成し遂げることに、真理を皆さんに教えています。これらの永遠の真理に基づいて正しい選択をする方法を、この冊子は教えているのです。<sup>13</sup>

『青少年の強さのために』がしてはくれないことを知っておくことも、大切です。これは、皆さんの代わりに選択してくれません。皆さんが直面する可能性のあるすべての選択について、「イエス」か「ノー」を教えてはくれません。『青少年の強さのために』は、皆さんの選択の基盤に焦点を当てています。個々の行動について説明するのではなく、価値観と原則、教義を教えています。

主は御自分の預言者を通して、わたしたちを主へと導いてくださいます。ネルソン大管長は、「個人の啓示を受ける〔わた

したちの〕……霊的な能力をさらに伸ばすように」<sup>14</sup>と、わたしたちに懇願し、「〔主〕に聞きなさい」<sup>15</sup>と勧めています。より高くより神聖な方法で救い主に従うようにと呼びかけているのです。<sup>16</sup>そしてわたしたちは、『わたしに従ってきなさい』をそのような方法で毎週学んでいます。

着るべきでない服や言うべきでない言葉、見るべきでない映画をこのガイドブックに長々と並べることもできたらうと、わたしは思います。しかし、グローバルな教会に、それがほんとうに役立つのでしょうか。そのようなやり方で、皆さんはほんとうに生涯キリストのような生き方をする備えができるでしょうか。

「わたしは人々に正しい原則を教えて、自らを治めさせます」<sup>17</sup>とジョセフ・スミスは言いました。

そして、モルモン書でベニヤミン王は、「あなたがたが罪を犯すもことになることをすべて告げることはできない。その方法や手段はいろいろあって、数え上げられないほど多いからである」<sup>18</sup>と民に言っています。

ベニヤミン王はこう続けました。「しかし、これだけは言える。……自分自身や自分の

思い、言葉、行いに注意を払〔い〕、神の戒めを守〔り〕、主の来臨について聞いた事柄を生涯の最後まで信じ続け〔なさい。〕」<sup>19</sup>

決まり事があるのは悪いことでしょうか。もちろん、悪いことではありません。わたしたちは皆、毎日決まり事を必要としています。しかし、決まり事にこだわってばかりいて救い主に目を向けないのは、間違いです。何かを選ぶときには、なぜそれを選びどのように行うのかを理解し、そして、それを行った結果を考えなければなりません。イエス・キリストを信頼しなければなりません。キリストは皆さんを正しい道に導いてくださいます。キリストが皆さんの力なのです。<sup>20</sup>

### 真の教義が持つ力

『青少年の強さのために』は、イエス・キリストの真理を大胆に宣言しています。キリストの教義に基づいて選択するようにと大胆に勧めています。そして、キリストの道に従う者にイエス・キリストが約束しておられる祝福について、大胆に説明しています。<sup>21</sup>

ラッセル・M・ネルソン大管長は、こう教えています。「最大の望みが〔自分の人生で〕神に勝利を得ていただくこと……であるとき、多くの決断は容易になります。問題が問題でなくなります！どのような身なりがよいか分かります。観るものや読むもの、時間を過ごす場所、交わるべき人が分かります。達成したいことが分かります。ほんとうになりたいのはどのような人であるかが分かります。」<sup>22</sup>

### より高い標準

イエス・キリストは、御自分に従う者たちに対して非常に高い標準をお持ちです。そして、熱心に主の御心を求めて主の真理に従った生活をするのが、何よりも高い標準です！

物質的および霊的に大切な選択は、個人の好みや都合、一般的な評判を基にして



フィンランド



アルゼンチン

行うべきではありません。<sup>23</sup> 主は、「好きなことをしなさい」とは言っておられません。

「神に勝利を得させなさい」と言っておられます。

「わたしに従ってきなさい」<sup>24</sup> と言っておられます。

「より神聖な、より高い、より成熟した方法で、わたしに従いなさい」と言っておられます。

「わたしのいましめを守りなさい」と言っておられます。

イエス・キリストは完璧な模範であられ、わたしたちは熱意を込めてイエスに従おうと努力します。

愛する友人の皆さん、もう一度言います。もしも救い主が今日ここに立っておられたとしたら、皆さんを限りなく愛し、完全に信頼していると言われるでしょう。皆さんにはそれができると言われるでしょう。イエス・キリストが皆さんの力、強さなので、皆さんは喜びに満ちた幸せな人生を築くことができます。この世から永遠にわたって自信と平安、安全、幸せ、居場所を見いだすことができます。なぜならそれらはすべて、イエス・キリストとその福音と、キリストの教会の中にあるからです。

わたしはこのことを、主イエス・キリストの使徒として厳粛に証し、皆さんへの深い感謝と愛を込めて、心からの祝福を皆さんに残します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

- ルカ 5:10; 8:50; 12:7; 教義と聖約 38:15; 50:41; 98:1
- 教義と聖約 6:36
- マタイ 14:2; ヨハネ 16:33; 教義と聖約 61:36; 68:6; 78:18

- ヨハネ 14:1, 27
- マタイ 11:28 - 30 参照
- 教義と聖約 84:38 参照
- 御父の計画とは、自分の望みを選びを通して表明することができ、その願いの完全なる結果を受けられる計画、と言ってもいいかもしれませんが、デール・G・レンランド長老が教えているように、「天の御父の子育ての目標は、子供たちに正しいことを行うようにさせることではありません。正しいことを行って最終的に御父のようになることを選ぶようにさせることなのです。」(「きょう、選ちなさい」『リアホナ』2018年11月号, 104)
- 2ニーファイ 2:26 - 27 参照
- 1コリント 13:12
- イザヤ 5:20 参照
- ヨハネ 14:6
- イザヤ 40:29 - 31 参照
- 末日聖徒としてわたしたちは、していることとしていないこと、つまりわたしたちの行動でよく知られています。これは良いことかもしれませんが、わたしたちが知っていること(行動に駆り立てる真理)と、わたしたちが知っている御方(救い主)について行動に駆り立てるその御方への愛)で知られるようになる方がもっと良いのです。
- ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号, 96
- ラッセル・M・ネルソン「彼に聞きなさい」『リアホナ』2020年5月号, 88 - 92 参照
- 新しいガイドブック「青少年の強さのために」で使われている、原則に基づいたアプローチは、『わたしの福音を宣べ伝えなさい』やミニスターリング、家庭中心の教科課程「わたしに従ってきなさい」、「子供と青少年」プログラム、「救い主の方法で教える」、新しい「総合手引き」など、救い主の教会が最近導入したほかの取り組みにおいても一環して使われています。明らかに、主はわたしたちの霊的な能力を高めておられます。この末日に、御自分と聖約を交わした民をさらに深く信頼するようになっていくことを示しておられるのです。
- 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』(2007) 284
- モーサヤ 4:29. ある意味でこれは、イエスの時代にパリサイ人が行おうとしていたことです。パリサイ人は人々に律法を破らせないことに熱心なあまり、聖なる書物に書かれていることを自分なりに解釈し、それに基づいて決まり事を山ほど作り出しました。パリサイ人の陥っていた誤りは、その決まり事を守れば救われると考えていたことです。そのため、救い主が現れたときに、救い主であることが分かりませんでした。

#### 19. モーサヤ 4:30; 強調付加

20. 原則に基づいたアプローチが今日必要とされるもう一つの理由は、主の教会において文化がますます多種多様になってきていることです。原則は永遠に変わらず、普遍です。ところが、その原則に基づいた具体的な決まり事や応用の仕方は、ある地域ではうまくいっても、ほかの地域ではうまくいかない場合があります。具体的な応用の仕方が時代や文化によって異なるとしても、わたしたちを結びつけているのはイエス・キリストであり、キリストが教えておられる永遠の真理です。したがって、すべきこととしてはいけないことを長々と並べることの弊害は、単に非現実的とか、賛成できないとかといったことではありません。問題は、それが力の源、すなわち救い主イエス・キリストに目を向けることを妨げてしまうということなのです。

21. 何年も前に、ボイド・K・パッカー会長が力強い言葉を語っています。「真実の教義を理解するならば、態度と行動が変わります。人の行いは、行動について研究するよりも、福音の教義を研究した方が早く改善されるのです。」(「恐れてはならない」『リアホナ』2004年5月号, 79)

エズラ・タフト・ベンソン大管長も似たような真理を教えてください。「主は心の内側から内側に向けて働きかけますが、この世は外側から内側に向けて働きかけます。……この世は人の行動を変えようとしていますが、キリストは人の性質を変えることができまます。」(『神によって生まれる』「聖徒の道」1986年1月号, 6)

モルモン書の預言者アルマは、周りの世界に悪があるのを見て、神の言葉に頼りました。なぜなら、御言葉には「民に正しいことを行わせるのに大きな効果があり、まことにそれは、剣やその他のほか、これまで民に起こったどのようなことよりも民の心に力強い影響を及ぼしたので、アルマはこの度も神の言葉の力を使うのが望ましいと思った」(アルマ 31:5) からです。

22. ラッセル・M・ネルソン「神に勝利を」『リアホナ』2020年, 11月号, 92. ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように説明しています。「わたしがまだ若かったとき、安息日に行うことを行ってはならないことについて他の人々がリストにしたものを学習しました。程なくして、安息日に対する自分の行いと態度が自分と天の御父の間のしるしであると聖典から学びました。そのことを理解すると、もう行うことや行わないことのリストは不要でした。ある活動が安息日にふさわしいかどうか判断する必要がある場合、こう自問するだけでした。『自分は神にどんなしるしを差し出そうとしているだろうか。』この質問は安息日についての選びをきわめて明確にしました。」(「安息日は喜びの日」『リアホナ』2015年5月号, 130)

23. デビッド・A・ベドナー長老は、こう教えています。「義の原則は、わたしたちが現世での様々な状況や困難、決断、経験をする際に、個人の好みや自己中心的な願望ではなく、永遠の真理に基づいた尊い観点を与えてくれる助けにもなります。」(「わたしの福音の原則」『リアホナ』2021年5月号, 123)

24. ルカ 18:22





中央初等協会会長会第二顧問  
トレーシー・Y・ブラウニング姉妹

# 生活の中でさらにイエス・キリストに目を向ける

救い主は、わたしたちが人生でさらに救い主に目を向けるために、主が御覧になるように自分の生き方を見るようにと招いておられます。

兄弟姉妹の皆さん、今朝皆さんの前に立つと、とてもへりくだる思いがします。わたしの心は、感謝の気持ちで皆さんと結ばれています。神の王国の預言者や使徒、聖見者、啓示者、指導者たちのメッセージを聞くために、世界中の皆さんと一緒に集っていることに感謝しています。わたしたちは言うてみれば、ベニヤミン王の時代の民になったようなものです。天幕を張り、入り口を開けて、この地上にいる神の預言者、ラッセル・M・ネルソン大管長の方に向けています。<sup>1</sup>

わたしは物心ついたころから目が悪く、処方されたレンズによる視力矯正が常に必要でした。毎朝目を開けると、世界がゆがんで見えるのです。すべてがぼやけ、きめが荒く、ゆがんでいます。愛する夫ですら、ほんとうは親しみやすい優しい顔立ちなのに、抽象画の人物のように見えてしまいます。わたしは一日が始まると反射的に、ほかの何よりもまず、眼鏡に手を伸ばします。これは、周囲のものを正しく認識できるようにするためであり、生き生きと一日を乗り切ることができるようにするためです。

長い年月をかけて分かってきたのですが、この行動は、わたしが毎日二つのものに頼っていることを示しています：第一に

周囲の世界をぼやけずはっきりと認識できるようにする道具、第二に、常に正しい方向を指し示してくれる具体的な指針に頼っているのです。この簡単な毎日の習慣は、人と救い主イエス・キリストとの大切な関係に似ていると思います。

疑問や不安、プレッシャー、チャンスにあふれる人生では、主の教えと律法に加えて、聖約の子供であるわたしたち一人一人に対する救い主の愛が日々与えられ

ていて、それは「輝やいて……[い]る光」であり、「[わたしたちの]目を明らかに[し]、……理解を活気づける」<sup>2</sup>のために日々頼ることのできるリソースになっています。御霊の祝福を生活の中で探し求めるならば、ヤコブが言ったように「現在のことをありのままに」見ることができるようになり、「未来のこともまた、ありのままに」<sup>3</sup>見えるようになります。

神の聖約の子供であるわたしたちは、霊的な視野を広げるツールを神様から特別豊かに与えられています。聖文や、キリストの選ばれた預言者のメッセージの中に記録されているイエス・キリストの言葉と教え、それに、日々の祈りと定期的な神殿参入、および毎週の聖餐の儀式は、わたしたちが平安を取り戻す助けになり、キリストの光とキリストのような理解力を得るのに必要な識別の賜物を、生活の隅々にまで、また、先の見えない世の中に与えてくれます。救い主はまた、人生の穏やかなときも、荒れ狂う高波のときも、わたしたちが乗り越えられるように、羅針盤や水先案内人となってくださいます。主は永遠の目的地に至る道を明らかにしてください



ウルグアイ



タヒチ

ます。では、救い主はわたしたちに何をみて、どこに行くように望んでおられるのでしょうか。

わたしたちの愛する預言者は、「救い主とその福音に焦点を絞る必要があります」、「あらゆる思いの中で主を仰ぎ見ようと努め」なければならないと教えています。<sup>4</sup> ネルソン大管長はまた、こうも約束しています。「イエス・キリストに焦点を定めることほど御霊を招くことはほかにありません。……皆さんが毎日欠かさず生活の中で主のために時間を取るならば、主は皆さんを個人の生活において導いてくださるでしょう。」<sup>5</sup> 友人の皆さん、イエス・キリストはわたしたちが的を絞る目標であり、目指す地点に心を向ける動機です。救い主はまた、ぶれずに正しい方向に進めるよう助けるために、主が御覧になるように自分の生き方を見るようにと招いておられます。これは、人生でさらに救い主に目を向けるようになるためです。わたしはこの具体的な招きについて、旧約聖書の研究を通してよく理解できるようになりました。

モーセの律法は、備えの福音として、初期のイスラエルの民に与えられました。その目的は、イエス・キリストを通して神とさらに高い聖約の関係に入る備えを民にさせることでした。<sup>6</sup> 信者たちにキリストの贖罪と「来臨を待ち望[ませる]」<sup>7</sup> ための象徴がたくさん使われていたこの律法は、イスラエルの民の心を救い主に向けさせるためにあり、救い主とその犠牲、救い主の律法と戒めを信じる信仰を働かせて、贖い主のことをさらによく理解できるようにすることが、その目的でした。<sup>8</sup>

今のわたしたちと同様、古代でも、神の民は自分の人生を主が御覧になるように

見るようにと勧められていました。それは、人生でさらに救い主に目を向けるためです。しかし、救い主が教え導かれるようになるころには、イスラエルの民は律法を遵守する中でキリストに目を向けなくなっていました。キリストを抜きにして、救いと贖いの唯一正しい源であるキリストを指し示す象徴のない非公認の慣行を勝手に律法に付け加えていたのです。<sup>9</sup>

イスラエルの民の日常の世界は、どこに行き、何をしたらよいのか分からない状況でした。この状況でイスラエルの子らは、律法の慣行や儀式は個人の救いへの道であると考え、モーセの律法を一部省略して市民生活を管理するためのルールにしたのです。<sup>10</sup> そのため救い主は、主の福音に民の視点を戻し、福音を分かりやすいものにしなければなりませんでした。

結局、イスラエルの民の大半は救い主のメッセージを拒み、救い主を非難までしました。律法を与え、御自分こそが「律法であり、光である」<sup>11</sup> と宣言された御方が、その律法を破ったとされたのです。しかし、イエスは山上の垂訓でモーセの律法について話し、「わたしが律法と預言者を廃するためきた、と思ってはならない。廃するためではなく、成就するためきたのである」<sup>12</sup> と宣言されました。そして救い主は、永遠の贖罪によって、当時イスラエルの民が守っていた法規法令、儀式慣行を廃されました。救い主による最後の犠牲により、燔祭の犠牲をささげるとは終わり、その代わりに「打ち砕かれた心と悔いる霊」<sup>13</sup> をささげるようになりました。犠牲をささげる儀式が聖餐に変わったのです。

M・ラッセル・バラード会長は、このテーマについて教える中で次のように述べています。「ある意味で、犠牲はささげる物からささげる人へと変わったのです。」<sup>14</sup> 救い主にささげ物を携えてくるとき、わたしたちは、自分の生活の中でさらにイエス・キリストに目を向けるようにと

勧められています。イエスが御父に完全に従われたことを認めながら、へりくだって自分の思いを主に従わせるのです。イエス・キリストに焦点を定めるとき、イエスこそが、わたしたちが赦しと贖いを受けて永遠の命と昇栄を得られるようにしてくださる唯一の御方であることを認め、理解するようになります。

わたしは福音に従うようになったころ、教会に入ってからの、わたしの行動や習慣、選びを観察し、変化に気づいた多くの人に出会いました。彼らは、その変化が「なぜなのか」知りたがりました。なぜバプテスマを受けてこの信者の集団、つまり末日聖徒イエス・キリスト教会に入ったのか、なぜ安息日に特定の事柄を行わないのか、なぜ忠実に知恵の言葉を守るのか、なぜモルモン書を読むのか、なぜ現代の預言者と使徒の言葉を信じて生活に取り入れるのか、なぜ毎週教会の集会に出席するのか、なぜ「来て見て、来て助け、……来てとどまるように」、<sup>15</sup> また、「来て一員となるように」<sup>16</sup> ほかの人たちを誘うのか、知りたくてたまらないようでした。

時には質問されて意気消沈することもありました。あからさまに聞いてくる人や、非難してくる人もいたからです。しかし、彼らの質問にどうにか答えていくうちに分かってきたのは、彼らが興味津津なのは実は、わたしが福音の実践と標準にこだわるのはなぜかを霊的なレンズを通してはっきりと見て確認するようにと、わたしから最初に招いたからだということでした。わたしの証はどこから来たのでしょうか。わたしはただ「外形上の勤め」を行っていただけで、それが神の律法と結びついて「キリストを信じる信仰を強め」<sup>17</sup> てはいなかったのでしょうか。それとも、イエス・キリストはわたしが福音に従えるようにする唯一の力の源であられると知っていることを示していたのでしょうか。

あらゆる思いと行いの中でイエス・キリ



ストを仰ぎ見、求める真摯な努力を通して、わたしの目は照らされ、理解力が活発になり、イエス・キリストが「わたしのもとにきなさい」<sup>18</sup>と呼んでおられることが分かりました。わたしがこのように主の弟子の道を歩み始めた若いころ、今でも覚えています。同年代の少女たちに福音を教えるから来ないかと、宣教師から誘われました。ある晩、この若い女性たちの一人の家庭で座っていたときに、「なぜ信じているのですか」という素朴な質問を受けて強く心を刺され、わたしは証しました。すると、主に従う霊的な動機について主の考えておられることが深く理解できるようになり、証が精錬されたのです。

そのときに分かったことは、今でもよく理解しています。それは、救い主イエス・キリストは主の聖餐にあずかるために毎週集会所にわたしたちの足を向けさせ、主と聖約を交わせるように主の宮に行くよ

う促し、主の言葉を学ぶために聖文と預言者の言葉を読むようにと促して下さっているということです。主はわたしたちに、口を開いて証し、手を使って主がなさるように人を励まし、人に仕え、目を使って、主が御覧になるように「現在のことをありのままに……、未来のこともまた、ありのままに」<sup>19</sup>世の中と周りの人を見るようにと導いておられます。そして、すべてのことを主に導いていただくようにするならば、「万物は神がましますことを示している」<sup>20</sup>という証を受けます。なぜなら、日々主を求めるならば、主を見いだすからです。<sup>21</sup>このことをイエス・キリストの聖なる御名により証します。アーメン。■

#### 注

1. モーサヤ 2:5 - 6 参照
2. 教義と聖約 88:11
3. モルモン書ヤコブ 4:13
4. ラッセル・M・ネルソン「イエス・キリストの力を生活に取り入れる」『リアホナ』2017年5月号, 41

5. ラッセル・M・ネルソン「主のために時間を取る」『リアホナ』2021年11月号, 120 - 121
6. See Gib Kocherhans, "Reflections on the Law of Moses: Old Testament Apostasy in Context," *Ensign*, June 1981, 14-21.
7. アルマ 25:15
8. アルマ 25:16 参照
9. See Kocherhans, "Reflections on the Law of Moses," 14-21.
10. See Stephen E. Robinson, "The Law after Christ," *Ensign*, Sept. 1983, 69-73.
11. 3 ニーフай 15:9
12. マタイ 5:17
13. 2 ニーフай 2:7
14. M・ラッセル・バラード「犠牲の律法」『リアホナ』2002年3月号, 16
15. ディーター・F・ワークトドルフ「伝道活動—心の中にあることを伝える」『リアホナ』2019年5月号, 17
16. ディーター・F・ワークトドルフ「ともに集いましょう」『リアホナ』2020年11月号, 106
17. アルマ 25:15 - 16
18. マタイ 11:28
19. モルモン書ヤコブ 4:13
20. アルマ 30:44
21. エレミヤ 29:13 参照





十二使徒定員会  
デール・G・レンランド長老

# 個人の啓示の枠組み

**わたしたちは聖霊が働かれる際の枠組みを理解する必要があります。わたしたちがその枠組みの中で行動するとき、聖霊は驚くべき洞察を解き放つことができになるのです。**

わたしは皆さんの多くと同じように、何年にもわたり、ディーター・F・ウークトドルフ長老から大きな影響を受けてきました。わたしが使おうとしているたとえ話は、その一例です。<sup>1</sup>ウークトドルフ長老には申し訳ないのですが……。

よく訓練された飛行機のパイロットは、飛行機を性能の範囲内で飛ばし、滑走路の使用や飛行経路について、航空管制官の指示に従います。簡単に言えば、パイロットは枠組みの中で操縦するのです。どんなに優秀で才能があっても、パイロットはこの枠組みの中で操縦することによってのみ、飛行機の大いなる可能性を安全に引き出し、奇跡的な目的を達成することができます。

同じように、わたしたちは枠組みの中で個人の啓示を受けます。バプテスマの後、荘厳でありながら実用的な賜物、聖霊の賜物を授かります。<sup>2</sup>わたしたちが聖約の道にとどまるように努めるとき、<sup>3</sup>「聖霊は、[わたしたち]がなすべきことをすべて[わたしたち]に示され」ます。<sup>4</sup>迷いや不安があるとき、わたしたちは神に助けを求めることができます。<sup>5</sup>救い主の約束は、これ以上ないほど明確です。「求めよ、そうすれば、与えられるであろう。……すべて求める者は得……るからである。」<sup>6</sup>聖霊の助けにより、わたしたちは神から受け継いだ特性を永遠の行く末に変

換できます。<sup>7</sup>

聖霊を通して個人の啓示が与えられるという約束は、空を飛ぶ飛行機によく似て、畏敬の念を引き起こします。そして飛行機のパイロットのように、わたしたちは、聖霊が個人の啓示を与えるために働かれる枠組みを理解する必要があります。わたしたちがその枠組みの中で働くとき、聖霊は驚くべき洞察や導き、慰めを解き放つことができになるのです。どんなに優れた才能がある人でも、その枠組みの外では、欺かれ、砕けて、焼けてしまいます。

聖文は、個人の啓示を受けるための枠組みの第一の要素です。<sup>8</sup>聖文にあるように、キリストの言葉を味わうことにより個

人の啓示を受けやすくなります。ロバート・D・ヘイルズ長老はこう語っています。「神に話しかけたいときには、祈り、神から話しかけてもらいたいときには、聖文を読むことができます。」<sup>9</sup>

聖文はまた、個人の啓示を受ける方法を教えています。<sup>10</sup>そしてわたしたちは正しく、善いことを求め、<sup>11</sup>神の御心に反することは求めません。<sup>12</sup>わたしたちは自分自身の思いを達成する、あるいは自分自身の楽しみを満たすなど、不適切な動機から「悪い求め方」をしたりしません。<sup>13</sup>何にもまして、わたしたちは受けると信じて、<sup>14</sup>イエス・キリストの御名によって天の御父に願いを求めるのです。<sup>15</sup>

枠組みの2番目の要素は、個人の啓示は自分自身の権限の範囲内で与えられ、ほかの人のためには与えられないということです。言い換えれば、自分に指定された滑走路を使って飛び立ち、着陸するのです。滑走路が明確に定義されることの重要性は、回復の歴史の初期の出来事が教えています。モルモン書の八人の証人の一人、ハイラム・ページは、教会全体に対する啓示を受けたと主張しました。数人の会員は欺かれて、誤った影響を受けました。

それに対して、主はこう啓示されました。「わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュ



アメリカ合衆国



ニアのほかに、だれもこの教会で戒めと啓示を受けるために任命される者はいない。……彼に変わる別の者を……任命するまでは……。」<sup>16</sup> 教会のための教義や戒め、啓示は、生ける預言者とその権限により、イエス・キリストから受けます。<sup>17</sup>それが預言者の滑走路です。

わたしは数年前、不法侵入で逮捕された人から電話を受けました。彼は、侵入しようとした建物の床下にもう一つの聖文が埋められているという啓示を受けたと言いました。そして、その聖文を手に入れたら、翻訳の賜物を与えられ、新しい聖文を世に出して、教会の教義や指示を刷新できると主張しました。彼に間違っていることを告げると、それについて祈るように懇願されました。わたしは、祈りませんと言いました。彼は口汚くのしると、電話を切りました。<sup>18</sup>

わたしは一つの簡潔で深遠な理由から、この要請に応じて祈る必要はありませんでした。それは、預言者だけが教会のための啓示を受けるということです。ほかの人がそのような啓示を受けることは、「神の摂理に反します。」<sup>19</sup>これは預言者の滑走路なのです。

個人の啓示は、正当に個人に属するものです。例えば、あなたはどこに住むか、どの職業に就くか、あるいはだれと結婚するか、啓示を受けることができます。<sup>20</sup>

教会指導者は、教義を教え、靈感を受けて助言をしますが、これらの決定を下す責任は本人にあります。それはあなたが受ける啓示であり、あなたの滑走路なのです。

枠組みの3番目の要素は、個人の啓示が神の戒めや、わたしたちが神と交わした聖約と調和しているということです。次のような祈りについて考えてみましょう。「天のお父様、教会の礼拝行事は退屈です。安息日に山の中や海岸で礼拝してもいいですか？ 教会に行って聖餐を取らなくても、安息日を聖く守る者に約束された



ケニア

祝福を受けることはできませんか？」<sup>21</sup>

そのような祈りに対して、神がこうお答えになると予想できます。「わが子よ、わたしは安息日に関するわたしの思いをすでに啓示している。」

神がすでに明確な指示を与えておられることについて啓示を求めるとき、わたしたちは自分の感情を間違っ解釈したり、自分の聞きたいことだけを聞いたりすることに自身をさらしてしまいます。ある男性が、家族の経済状況を安定させるために悪戦苦闘したことについて話してくれました。彼は解決策として資金を横領することを思いつき、それについて祈り、肯定的な啓示を受けたと感じました。わたしは彼が欺かれていることが分かりました。神の戒めに反する啓示を求めたからです。預言者ジョセフ・スミスはこう警告しています。「神の御霊を受けていると思っながら偽りの霊の影響下にあることほど、人の子らにとって大きな害悪はない。」<sup>22</sup>

ニーファイはラバンを殺したときに戒めを破ったと指摘する人がいるかもしれませんが、しかし、この例外は、個人の啓示が神の戒めと調和するというルールを否定するものではありません。この出来事について完全に満足のいく簡単な説明はできませんが、幾つかの点を強調させていただきます。この出来事の始まりは、ニーファイがラバンを殺してよいか尋ねたことではありません。それはニーファイが望んでいる

ことではありませんでした。ラバンを殺したのは、ニーファイ自身の利益のためでなく、将来の国民と聖約の民に聖文を提供するためでした。そしてニーファイはそれが啓示であり、事実、この場合、神からの戒めであることを確信していました。<sup>23</sup>

枠組みの4番目の要素は、神からさらなる啓示を受けることに心を開きながらも、すでに与えられた個人の啓示を受け入れることです。神が祈りに答えられても状況が変わらなかった場合、なぜ異なる答えを期待するのでしょうか。ジョセフ・スミスは1828年に、問題のある状況に陥りました。モルモン書を翻訳していた最初のころに、後援者であり初期の筆記者であったマーティン・ハリスは、翻訳した原稿を持ち出して妻に見せる許可をジョセフに求めました。どうすべきか分からなかったジョセフは、導きを求めて祈りました。主は、マーティンが原稿を持ち出してはならないと告げられました。

マーティンはジョセフに、もう一度神に尋ねるように求めました。ジョセフがそうすると、当然のことながら、答えは同じでした。しかし、マーティンはジョセフに3度目を求め、ジョセフはそうしました。このとき神は、だめとは言われませんでした。その代わりに、こう言われたかのようでした。「ジョセフ、あなたはこれについてわたしがどう感じているか知っているが、あなたには選択する自由がある。」制

限を解かれたと感じたジョセフは、マーティンが116ページの原稿を持ち出して少数の家族に見せることを許可することに決めました。その翻訳原稿は失われて、二度と戻って来ませんでした。主はジョセフを厳しく叱責されました。<sup>24</sup>

ジョセフは、モルモン書の預言者ヤコブが教えたことを学びました。「主に助言しようとしなさい、主の手から助言を受けるようにしなさい。……主〔は〕……知恵……をもって助言を与えられる……からである。」<sup>25</sup> ヤコブは、わたしたちが求めるべきでないことを求めるときに、好ましくないことが起こると警告しました。そして、エルサレムの民が「自分たちの理解できないものを求め」、「的のかなたに目を向け」、世の救い主を完全に見過ごしてしまうと預言しました。<sup>26</sup> 彼らは自分たちが理解していないことや理解できないことを求めたために、つまづいたのです。

自分の問題に当てはまる個人の啓示を受けていて、その状況が変わっていなければ、神はすでにわたしたちの問いかけに答えておられます。<sup>27</sup> 例えは、わたしたちは赦されていることを再度確認するために何度も祈り求めることが時々ありま

す。わたしたちが悔い改め、喜びと良心の平安に満たされ、罪の赦しを受けているならば、再度求める必要はありません。神がすでに答えを与えてくださっていると信頼することができます。<sup>28</sup>

神から以前与えられた答えを信頼しながらも、わたしたちはさらなる個人の啓示に対して心を開いておく必要があります。結局、人生において無着陸飛行で到達できる目的地はほとんどありません。わたしたちは個人の啓示が「教えに教え、訓戒に訓戒を加え」<sup>29</sup> るように与えられることと、啓示される導きが多くの場合徐々に与えられることを理解しなければなりません。<sup>30</sup>

個人の啓示の枠組みを構成する要素は、互いに重なり合い、強化し合っています。しかし、その枠組みの中で、聖霊はわたしたちが飛翔して聖約の道にとどまるための推進力を維持するために必要なすべてのことを啓示することがおできになり、そのようにしてくださいます。こうして、わたしたちはイエス・キリストの力により祝福を受けて、天の御父が望んでおられるような人になることができるのです。わたしは皆さんに、神から啓示が与えら

れることを理解し、神の預言者を通して与えられた聖文や戒めと調和して生活し、自分自身の権限と選択の自由の範囲内で、自信をもって自らのために個人の啓示を求めるようお招きします。わたしは、聖霊が皆さんの行うべきことをすべて示すことがおできになり、またそうしてくださることを知っています。<sup>31</sup> イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. ディーター・F・ウークトドルフ長老は、大切な福音の原則を教えるために、飛行機に関するたとえをいつも効果的に使いました。例えば、ウークトドルフ長老は最近「教師のチェックリスト」(「教師のための放送、2022年6月12日」, [broadcasts.ChurchofJesusChrist.org](https://broadcasts.ChurchofJesusChrist.org))の中で、パイロットの飛行前の点検と救い主のように教えるためのチェックリストを結びつけて教えています。
2. 聖霊は神会の第三の御方で、しばしば御霊または神の御霊と呼ばれ、救いの計画の中で重要な役割を果たされます。聖霊は御父と御子を証し、すべてのことについて真理を明らかにし、悔い改めでバプテスマを受けた人を聖め、「約束の聖なる御霊」として働かれます(「聖句ガイド」【聖霊】, [scriptures.ChurchofJesusChrist.org](https://scriptures.ChurchofJesusChrist.org) 参照)。
3. 2ニーファイ31:19-21; モーサヤ4:8参照。このほかに、わたしたちが「神の王国に救」われる道はありません。それ以外を御んでも、代わりの道にはならないのです。
4. 2ニーファイ32:5。教義と聖約84:43-44も参照



日本





コスタリカ

5. 2 ニーファイ 32:4; ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号, 93-96 参照
6. マタイ 7:7-8
7. 「家族—世界への宣言」; 「若い女性のテーマ」; 「総合手引き—末日聖徒イエス・キリスト教会における奉仕」27.0; 27.2, Church of Jesus Christ.org 参照
8. 2 ニーファイ 32:3 参照
9. ロバート・D・ヘイルズ「聖文—救いを得させる神の力」『リアホナ』2006年11月号, 26-27
10. 聖文は、聖霊の声が必要な声や騒々しい声でなく、ささやくような穏やかで静かな声であると教えています。それは簡潔で、静かで、分かりやすい声です。心を貫き、内に燃やすことができます。心と意思の両方に影響を与え、恐れや不安や心配でなく、平安と喜びと希望をもたらします。悪ではなく、善を行うように勧め、不可解でなく、人を教え導く心地よいものです。列王上 19:11-12; オムナイ 1:25; アルマ 32:28; ヒラマン 5:30-33; 3 ニーファイ 11:3; モロナイ 7:16-17; 教義と聖約 6:22-24; 8:2-3; 9:8-9; 11:12-14; 85:6; ボイド・K・バックナー「主のともしび」『聖徒の道』1988年12月号, 32-37; ラッセル・M・ネルソン「彼に聞きなさい」『リアホナ』2020年5月号, 88-92; ラッセル・M・ネルソン「信仰をもって将来を待ち望む」『リアホナ』2020年11月号, 73-76; ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号, 93-96 参照
11. 3 ニーファイ 18:20; モロナイ 7:26; 教義と聖約 88:64-65 参照
12. ヒラマン 10:5; 教義と聖約 46:30 参照
13. ヤコブの手紙 4:3. 新しい国際版聖書のヤコブの手紙 4:3:2 ニーファイ 4:35; 教義と

- 聖約 8:10; 46:7; 88:64-65 も参照
14. 3 ニーファイ 18:20; モロナイ 7:26 参照
15. 教義と聖約 88:64-65; 「聖句ガイド」『折り』の項, scriptures.ChurchofJesusChrist.org 参照
16. 教義と聖約 28:2, 7
17. 教義と聖約 21:4-5 参照
18. 幸いなことに、彼が真に必要なとす援助と治療を受けられるように手配が行われました。
19. 「歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス」197
20. See Thomas S. Monson, “Whom Shall I Marry?,” *New Era*, Oct. 2004, 4.
21. 教義と聖約 59:9-16 参照
22. Joseph Smith, in *Times and Seasons*, Apr. 1, 1842, 744, josephsmithpapers.org.
23. 主はしばしば、啓示した戒めに変更や修正や例外を加えられますが、それらは個人的な啓示でなく、預言的な啓示を通して行われます。預言的な啓示は、神が正式に召された預言者を通して、神の知恵と意思により、もたらされます。これらの例外には、「あなたは殺してはならない」(出エジプト 20:13) という戒めがあったにもかかわらず、モーセとヨシュアにカナンの地の住民を殺すように命じた主の啓示が含まれます。主は御自身の預言者を通して、主の目的のために主の戒めを変えることができますし、そうされるでしょう。しかし、神が預言者を通して主の教会に啓示して確立された戒めについて、わたしたちには、個人の啓示を通して変更を加えたり、無視したりする自由はありません。  
1 ニーファイ 4:12-18 参照。より充実した話し合いのために、see Joseph Spencer, *1st Nephi: A Brief Theological Introduction* (2020) 66-80.
24. 116 ページの原稿に関する詳しい記録については、『聖徒たち—末日におけるイエス・キリスト教会の物語』第1巻「真理の旗」1815-

- 1846年, 45-53を参照。教義と聖約 3:1-15; 10:1-5も参照
25. モルモン書ヤコブ 4:10
26. モルモン書ヤコブ 4:14-16 参照
27. ジョセフ・スミスは次のように教えました。「わたしたちは、その事例に合った啓示が前に与えられていない場合を除いては、決して神の御手に特別な啓示を求めることはしない。」(in *History, 1838-1856* [Manuscript History of the Church], volume A-1, 286-87, josephsmithpapers.org).
28. モーサヤ 4:3 参照。わたしたちが真心から意識的に悔い改めた後にも引き続き罪の意識や後悔の念を感じる場合、それは通常、イエス・キリストに対する信仰と主が完全にわたしたちを赦し癒してくださる力をお持ちであることへの信仰が足りないからです。時々、わたしたちは赦しはほかの人々のためであって、自分には当てはまらないと思うことがあります。これは、主が無限の贖罪を通して成し遂げてくださったことに対する信仰の単なる欠如です。
29. イザヤ 28:10; 2 ニーファイ 28:30; David A. Bednar, “Line upon Line, Precept upon Precept,” *New Era*, Sept. 2010, 3-7 参照
30. しかし、もし神があなたに啓示を与えてくださらなければ、求め続けてください。リチャード・G・スコット長老は次のように教えています。「信頼を胸に前進してください。……皆さんが義にならなかった生活を送っていて、神を信頼して行動しているならば、間違った決定をしている場合、神は警告的な気持ちを与えないまま、皆さんが進みすぎてしまうのを黙って見ているようなことはされません。」(『折りという天与の賜物を用いる』『リアホナ』2007年5月号, 10)
31. 2 ニーファイ 32:5 参照



七十人  
ラファエル・E・ピノ長老

# 善を行うことをわたしたちの日常としましょう

*わたしたちが確固として揺らぐことなく、善い行いをするなら、わたしたちの習慣は聖約の道にとどまる助けとなるでしょう。*

わたしは、教会の割り当てにより、異なる国々で生活できることにいつも感謝しています。これらの国々は非常に多様で、異なる習慣と伝統を持つ素晴らしい人々がいます。

わたしたちには皆個人的な習慣と伝統があります。それらは自分の家族、またはわたしたちが住む地域社会から来ます。そして、福音の原則と調和するそれらすべての習慣と伝統を保つことを願って

います。教化を促す習慣と伝統は、聖約の道にとどまる努めの基本であり、その障害となるものは拒否すべきです。

習慣とは、人や文化、または伝統に対して実践していること、または頻繁的で常習的な考え方です。わたしたちはしばしば、常日頃考えて行うことを「日常」として認識しています。

次のことを説明させてください。愛する妻パトリシアは、ココナッツウォーター

を飲み、その後ココナッツを食べるのが大好きです。メキシコのプエブラを初めて訪れたとき、わたしたちはココナッツが買える場所に行きました。ココナッツウォーターを飲んだ後に、妻はココナッツを切ってその果肉を持ってきてほしいと頼みました。それが運ばれて来たとき、赤みを帯びていました。とうがらしが振りかけてあったのです。とうがらしをかけた甘いココナッツです。それはとても奇妙に見えました。しかし後日わたしたちが学んだのは、とうがらしをかけたココナッツを食べなかった妻とわたしが奇妙だったということでした。メキシコでは、それはまれなことではなく、とても普通で日常的なことなのです。

また別の機会に、ブラジルで何人かの友人と食事をしていたとき、アボカドが出てきました。塩をふりかけようとしたときに、友人はこう言いました。「何をしているの？ アボカドにはもう砂糖をかけましたよ。」砂糖をかけたアボカドです！非常に奇妙に見えました。しかしその後、砂糖をかけたアボカドを食べなかった妻とわたしが奇妙だったということを学びました。ブラジルでは砂糖をかけたアボカドは普通で日常的なのです。

ある人にとっての日常は、別の人には奇妙なことかもしれません。それは習慣や伝統によるからです。

わたしたちの生活においてどのような習慣や伝統が日常なのでしょう。

ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように述べています。「今日、わたしたちは『新しい日常（生活様式）』という言葉をよく耳にします。皆さんが『新しい日常』を取り入れたいと心から願うのであれば、心と思いと魂を天の御父と御子イエス・キリストにさらに向けるようお勧めします。それを自分自身の『新しい日常』にしてください。」（『新しい日常』『リアホナ』2020年11月号、118）

これはすべての人に対する招きです。





貧しいか金持ちであるか、教育を受けているかいないか、高齢であるか若いか、病気になるか健康であるかは問題ではありません。ネルソン大管長は、わたしたちの生活における「日常」が、聖約の道を歩み続ける助けとなるように招いています。

好ましいこと、あるいは誉れあることをすべて持ち合わせている国はありません。そのため、パウロと預言者ジョセフ・スミスは次のように教えています。

「どのようなことでも、徳高いこと、好ましいこと、あるいは誉れあることや称賛に値することがあれば、わたしたちはこれらのことを尋ね求めるものである。」(信仰簡条 1:13)

「称賛に値するものがあれば、それらのものを心にとめなさい」(ピリピ 4:8)。

これは勧告の言葉であって、単なる注釈ではありません。

わたしたちすべてが時間を取って、わたしたちの習慣とそれが家族に及ぼしている方法について、瞑想していただきたいと思います。

教会員のための日常的なすばらしい習慣に以下の4つがあります：

1. 個人と家族の聖文研究。主イエス・キリストに改心するようになるために、福音を学ぶ責任が各個人にあります。両親には、自分の子供に福音を教える責任があります(教義と聖約 68:25; 93:40 参照)。
2. 個人と家族の祈り。救い主は常に祈るように命じておられます(教義と聖約 19:38 参照)。祈ることで、神の御子イエス・キリストの御名により天の御父と個人的に話すことができます。
3. 毎週の聖餐会への出席(3 ニューファイ 18:1-12; モロナイ 6:5-6 参照)。イエス・キリストを覚えることができるよう聖餐を受けます。この儀式において、教会員は、救い主の御名を受けて聖約を新たにし、いつも御子を覚え、



スペイン

御子と与えてくださった戒めを守ります(教義と聖約 20:77, 79 参照)。

4. 神殿と家族歴史の業への定期的な参加。この業は、家族を一致させ、永遠に結び固めるための方法です(教義と聖約 128:15 参照)。

これらの4つについて聞くと、どのように感じるでしょうか。これらはわたしたちの日常生活の一部でしょうか。

わたしたちが適用してきた日常の一部となるそのほかの伝統が多くあります。それゆえ、わたしたちの生活において神を最も大切な御方にするのが大切です。

わたしたちの生活と家族において日常となることをどのように決めることができるでしょうか。聖文の中に大いなる模範を見つけることができます。モーサヤ 5:15 にはこうあります。「あなたがたは確固として揺らぐことなく、いつも多くの善

い行いをし[なさい]。』

わたしはこの言葉が好きです。わたしたちの生活において日常となることは、わたしたちが何回も繰り返すことであると知っているからです。わたしたちが確固として揺らぐことなく、善い行いをするなら、わたしたちの習慣は福音の原則に従い聖約の道にとどまる助けとなるでしょう。

ネルソン大管長は次のようにも勧告しています。「毎日悔い改めることによって、『自分の新しい日常』を取り入れてください。思い、言葉、行いにおいてさらに清くなるよう努力してください。人にミニスターリングをしてください。常に永遠の観点から物事を見てください。召しを尊んで大いなるものにしてください。そして、愛する兄弟姉妹の皆さん、どのような問題があろうと、自分の創造主にお会いするためのあなた自身の用意が日々進むよう



七十人  
ウーゴ・モントヤ長老

## 愛という永遠の原則

天の御父が御自分の子供たち一人一人に抱いておられる愛は現実のものです。一人一人のために、そこにおられるのです。

にしてください。」「(新しい日常」118)

今では、妻パトリシアにとっても、わたしにとっても、とうがらしをかけたココナッツや砂糖をかけたアボカドを食べるのは奇妙なことではありません。むしろ好きです。しかし、昇栄は味覚とは異なり霊的であって、永遠にかかわることで

わたしたちの日常が、神の戒めを守る者に約束された「決して終わりのない幸福な」(モーサヤ2:41)状態を経験するものであるように祈ります。そしてそうすることにより、次のように言うことができるでしょう。「そして、わたしたちは幸福の習わしに従って暮らした。」(2ニーファイ5:27)

兄弟姉妹、愛する預言者ラッセル・M・ネルソン大管長をはじめとして、わたしたちが支持した15人の方々が預言者、聖見者、啓示者であることを証します。末日聖徒イエス・キリスト教会が真実であることを証します。イエス・キリストが救い主、贖い主であられることを、イエス・キリストの御名によって証します、アーメン。■

愛という永遠の原則は、二つの大切な戒めに従って生活することによって実践できます。その戒めとは、心と精神と思いと力を尽くして神を愛することと、自分を愛するように隣り人を愛することです。<sup>1</sup>

ここユタ州で迎えた最初の冬のことを覚えています。一面の銀世界でした。ソノラ砂漠から来たわたしは、最初の数日は楽しみましたが、数日たつとあることに気がつきました。ガレージから家の前の道路まで雪かきをするために早起きしなければならぬのです。

ある朝、吹雪が吹き荒れる中、汗をかきながら雪かきしていると、向かいに住むご近所さんがガレージを開けるのが見えまし

た。彼はわたしより年配です。自分の雪かきが早く終われば彼を手伝えると思い、声をかけました。「お手伝いしましょうか。」

彼はほほえみながら言いました。「モントヤ長老、ありがとうございます。」それから彼は、ガレージから除雪機を取り出し、エンジンをかけると、ものの数分で自宅前の雪をすべて取り除きました。そして除雪機を運んで道を渡って来るとわたしに声をかけました。「長老、お手伝いしましょうか。」

わたしはほほえみながら言いました。「はい、ありがとうございます。」

わたしたちは喜んで助け合おうとしています。互いに愛し合っているからです。相手の必要はわたしの必要となり、逆もまたしかりです。相手がどの言語を話そうと、どの国の出身であろうと、わたしたちは兄弟姉妹であり、同一の父を持つ子供たちですから、互いに愛し合います。

ミニスタリングの発表がなされたとき、ラッセル・M・ネルソン大管長はこのように述べました。「人々を心にかけ、仕えるに当たって、より新しく、より神聖な方法を導入します。」<sup>2</sup>

わたしにとって「より神聖な」とは、より個人的で、より深く、よりいっそう救い主の方法で行うことを意味します。一人ずつ、「互に愛し合う」<sup>3</sup>のです。

だれかのつまずきの石にならないようにするだけでは不十分です。困っている人に気づきつつも通り過ぎてしまっは不十分



北アイルランド



なのです。この人生で会うのは最初で最後になるかもしれない人に対しても、隣り人を助けるあらゆる機会を生かしましょう。

ではなぜ神を愛することがいちばん大切な第一の戒めなのでしょうか。

わたしたちにとって神がどのような存在であるかに理由があると思います。わたしたちは神の子供です。神はわたしたちの幸福を見守られ、わたしたちは神に頼っています。神の愛はわたしたちを守ります。神の計画には選択の自由が含まれます。ですから、わたしたちは間違いを犯すこともあるでしょう。

また神は、わたしたちが試され、誘惑に遭うのを許しておられます。しかし、間違いを犯したり、誘惑に陥ったりすることがあっても、わたしたちが躓われ、御前に戻ることができるように、この計画で救い主が与えられました。

人生における逆境は、わたしたちに与えられた約束の成就に疑いを生じさせます。天の御父を信頼しましょう。神は御自身の約束を常に守られます。わたしたちは神が教えたいと思っておられる事柄を学ぶことができるのです。

正しいことを行っても、人生の状況が良い状態から悪い状態へ、幸福から悲しみへ転じることがあります。神は、限らない憐れみと愛によって、また御自身のタイミングで、わたしたちの祈りにこたえてくださいます。

- エリヤが水を飲んでいて川は枯れてしまいました。<sup>4</sup>
- 純良なる鋼できていたニーファイの弓は折れてしまいました。<sup>5</sup>
- ある少年は学校で差別を受け、退学になりました。
- 夫婦が長いこと待ちわびた子供は、この世に生を受けてわずか数日で亡くなりました。

状況は変化します。



フィリピン

状況が楽観的から悲観的になっても、わたしたちは幸せを保つことができます。なぜなら幸福を左右するのは、置かれた状況ではなく、状況に対するわたしたちの態度だからです。ネルソン大管長が述べているように、「わたしたちを感じる幸せは、生活の状況ではなく、生活の中で何に目を向けるかにかかっているのです。」<sup>6</sup>

状況がおのずと変化するのをのんびり待つこともできますし、新たな状況を探し求め、もたらすこともできます。

- ザレバテまで歩いたエリヤに、やもめが食べ物と水を与えました。<sup>7</sup>
- ニーファイは木で弓を作り、獣をとって食糧にしました。<sup>8</sup>
- 外で窓の近くに座って授業を聞き、ノートを取っていた少年は、小学校の先生になりました。
- この夫婦は、救い主イエス・キリストを信じる信仰を大いに育み、救いの計画に信頼を寄せています。突如亡くなった待望の赤ちゃんに対する彼らの愛は、悲しみを超越するものでした。

このような質問を耳にします。「天のお父様、ほんとうにそこにおられるのですか。すべての子供たちの祈りを聞いてくださるのですか。」<sup>9</sup> 質問にお答えします。

「天の御父はこれまでも、今も、そしてこれからも常にあなたとわたしのためにいてくださいます。わたしは神の息子であり、神はわたしのお父様です。わたしは天父のように良い父親になれるよう学んでいます。」

妻とわたしはいつ、どんな状況下でも、何があろうと、子供たちのために常にそこにいるよう努めています。どの子供もかけがえのない存在です。彼らの価値は神にとって大なるものです。どのような困難や罪、弱さを彼らが抱えていると、神は彼らを愛しておられます。わたしたちも彼らを愛しています。

中央幹部としての召しを受けて、ソルトレークへたつ前の日のことです。子供たち全員が彼らの家族を連れてわが家に集まり、家庭の夕べを行いました。わたしたちはそこで愛と感謝を伝えました。レッスンの後、わたしは子供たち一人一人に神権の祝福を授けました。全員が涙を浮かべていました。祝福の後、長男が皆を代表して感謝の言葉を述べました。生まれてからこれまでにわたしたちが与えた大きな愛に対する感謝でした。

皆さんの子供が5歳であろうと、50歳であろうと、彼らを祝福してください。彼らとともにいてください。彼らのためにいてください。家族に物質的な必需品を提供することは、神の計画によって定められ



た責任ではありますが、喜びあふれる時間を子供たちとともに過ごすことを忘れてはいけません。

天の御父が御自分の子供たち一人一人に抱いておられる愛は現実のものです。一人一人のために、そこにおられるのです。その方法は分かりませんが、確かにそうしておられます。御父とその長子は、御父の業と栄光を推し進めるうえで一つであられ、「人の不死不滅と永遠の命をもたら〔され〕」<sup>10</sup>ます。御二方は聖霊を遣わし、必要に応じてわたしたちを導き、警告し、慰めてくださいます。

神は、この美しい地球を創造するよう、御自分の愛する御子に指示を与えられました。神は、アダムとエバに教えを授け、彼らに選択の自由をお与えになりました。神は長きにわたって使者を遣わされ、わたしたちが神の愛と戒めを享受できるようにしてくださっています。

神は、聖なる森で若いジョセフの真心からの質問にこたえ、ジョセフのことを名前で呼び、そしてこう言われました。「これはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい。」<sup>11</sup>

神のわたしたちへの愛の最たるものは、ゲツセマネでの出来事に見られると信じています。生ける神の御子が祈りをささげられました。「わが父よ、もしできることでしたらどうか、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの思いのままにはなく、みこころのままになさして下さい。」<sup>12</sup>

イエス・キリストの贖いについて理解できているのはごく一部ですが、それは御父と御子に対するわたしの愛を増し、罪や不従順への欲求を減少せさ、もっと良い人になり、もっと良いことをしようという意欲を高めてくれることに気がつきました。

イエスは恐れず、疑いもせずにゲツセマネへと歩かれました。一人で酒ぶねを踏まなければならないと知りながら、御父に信頼を寄せていたのです。あらゆる苦痛と屈辱に耐えられました。そして訴えられ、裁かれ、十字架につけられました。十字架上での苦悩と苦痛のさなか、イエスは御自分の母親と愛する弟子の必要に焦点を当てられました。主は御自身の命をささげられたのです。

そして3日目に復活されました。墓は

空となり、主は御父の右に立っておられます。御二方は、わたしたちが聖約を守り、御前に戻ることを選ぶよう望んでおられます。現在の第二の位は、最終的な位ではありません。わたしたちはこの地上の家に属する者ではなく、現世の経験を積んでいる永遠の存在なのです。

イエスはキリストであり、生ける神の御子です。主は生きておられます。主が生きておられるので、神のすべての子供たちが永遠に生きることができます。主の贖いの犠牲のおかげで、わたしたちは御二方とともに住むことができるのです。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. ルカ 10：27 参照
2. ラッセル・M・ネルソン「ミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号, 100
3. ヨハネ 13：35
4. 列王上 17：7 参照
5. 1 ニーフай 16：18 参照
6. ラッセル・M・ネルソン「喜び—靈的に生き抜く道」『リアホナ』2016年11月号, 82
7. 列王上 17：10 参照
8. 1 ニーフай 16：23 参照
9. 「子供のいのり」『子供の歌集』6-7
10. モーセ 1：39
11. ジョセフ・スミス—歴史 1：17
12. マタイ 26：39





十二使徒定員会  
ロナルド・A・ラズバンド長老

# 今日

生ける預言者は、モルモン書で洪水のように地を満たすために、自らの役割を果たしています。わたしたちは預言者に続かなければなりません。

愛する兄弟姉妹、モルモン書では、勧告や約束、教えに注意を向けさせるために、「今日」<sup>1</sup>という言葉が繰り返し用いられます。ベニヤミン王は最後の説教の中で、民を次のように諭しました。「今日わたしが語る言葉を聞〔きなさい。〕……耳を開いて聞き、胸を開いて理解し、また心を開いて、神の奥義があなたがたの心に明らかにされるようにしなさい。」<sup>2</sup>

総大会はこれに似た場です。わたしたちは「今日」語られる勧告を聞き、主と主の福音に「いつでも誠実」<sup>3</sup>でいられるよう、この場に來ました。わたしが「今日」強く感じているのは、ジョセフ・スミスが「この世で最も正確な書物」<sup>4</sup>と呼んだモルモン書に対する決意を新たにすることの重要性です。

わたしが手にしているのはモルモン書です。これは1970年の年代物で、わたしにとって大切なものです。見た目はくたびれ、ボロボロですが、わたしの人生と証にとって、これほど重要な書物はほかにありません。このモルモン書を読んで、わたしは御霊によって証を得ました。イエス・キリストが神の御子であり、<sup>5</sup>わたしの救い主であられ、<sup>6</sup>これらの聖文が神の言葉であり、<sup>7</sup>福音は回復された<sup>8</sup>という証です。これらの真理が、心の奥底にあります。預言者ニーファイが述べたように、

「わたしは主に関することに喜びを感じ〔ます〕。」<sup>9</sup>

このモルモン書にまつわる話をしたいと思います。若い宣教師であったわたしは、東部諸州伝道部を訪れたマリオン・D・ハンクス長老の勧告を受け入れました。彼はイギリス伝道部の前会長で、彼の下で働いた二人の宣教師が今日この壇上にいます。愛するジェフリー・R・ホルランド長老とクエンティン・L・クック長老です。<sup>10</sup>ハンクス長老はイギリスの宣教師たちにしたように、わたしたちにも、少なくとも2回、まっさらなモルモン書を読むようチャレンジしました。わたしはそれをす



左から右へ：ロナルド・A・ラズバンド長老（若い宣教師）、ハロルド・ウィルキンソン会長（東部諸州伝道部会長）、マリオン・D・ハンクス長老（中央幹部七十人）

ることにしました。1回目に読んだときは、イエス・キリストを指す、あるいはイエス・キリストについて証しているすべての箇所印をつけるか下線を引きました。わたしは赤ペンを使って、幾つもの聖句に下線を引きました。ハンクス長老は福音の原則と教義に印をつけるよう言ったので、2回目にわたしは、聖典に青色の印をつけました。言われたとおりモルモン書を2回読むと、今度は、特に印象に残った箇所に黄色と黒で印をつけながら、さらに2回読みました。<sup>11</sup>御覧のように、幾つもの印をつけました。

モルモン書を読むことは、単に聖文に印をつけること以上に意味がありました。モルモン書を最初から最後まで読む度に、主の深い愛に満たされました。主の教えが真実であるという深く根ざした証と、その教えが「今日」に当てはまることを感じました。この書物は、「イエス・キリストについてのもう一つの証」<sup>12</sup>というタイトルにふさわしい書物です。そのような研究により、霊的な証を得たわたしは、モルモン書を愛する宣教師となり、イエス・キリストの弟子となりました。<sup>13</sup>

「今日」、モルモン書を愛する最も偉大な宣教師の一人は、ラッセル・M・ネルソン大管長です。ネルソン大管長は十二使徒に召されて間もなく、ガーナのアクラで講演を行いました。<sup>14</sup>そこには、アフリカの部族の王をはじめとする要人が出席しており、この王とは通訳者を介して話をしていました。王は、聖書を真摯に研究し、主を愛していました。ネルソン大管長の話が終わると、この王がやって来て、完璧な英語で「君は何者なのだ」と尋ねました。ネルソン大管長は自分が「イエス・キリストから聖任された使徒」であると説明しました。<sup>15</sup>王は次に、「君はイエス・キリストについて、どんなことをわたしに教えられるのかね」と尋ねました。<sup>16</sup>

ネルソン大管長はモルモン書を手に取り、第三ニーファイ11章を開きました。ネ

ルソン大管長とこの王は一緒に、ニーファイ人に対する救い主の説教を読みました。「見よ、わたしはイエス・キリストであり、世に来ると預言者たちが証した者である。……わたしは世の光であり命である。」<sup>17</sup>

ネルソン大管長が王にモルモン書を差し出すと、王はこう答えました。「ダイヤモンドやルビーを贈ることもできたであろうに。しかし、主イエス・キリストについてのこの新たな知識は、何ものにも代え難い高い価値がある。」<sup>18</sup>

愛する預言者がモルモン書を分かち合った例はこれだけにとどまりません。ネルソン大管長は、いつもイエス・キリストについて証を述べながら、何百人もの人にモルモン書を渡してきました。ネルソン大管長は、招待客や大統領、王、元首、ビジネスリーダーや組織のリーダー、また様々な宗教の指導者と会うと、そこが教会本部であろうと招待された相手先であろうと、啓示された聖文が収められたこの書物を敬虔に贈ります。訪問の記念に、テーブルや机の上、飾り棚に置くようなものをリボンで包んで贈ることもできたでしょう。しかしそうではなく、部族の王が述べたように、ルビーやダイヤモンドよりもはるかに貴い、最も価値あるものを贈るのです。

ネルソン大管長はこう述べています。「モルモン書の真理には人の心を癒し、慰め、回復し、救い、力づけ、元気づけ、喜びで満たす力があるのです。」<sup>19</sup> 神の預言者からモルモン書を受け取った人々が、しっかりとその手で握り締めるのを見てきました。それに勝る贈り物はありません。

つい最近、大管長はガンビアの大統領夫人と自分の執務室で面会し、謙虚にモルモン書を手渡しました。それだけでは終わらず、モルモン書を開いて一緒に読み、イエス・キリストとその贖罪、至る所にいる神のすべての子供たちに対する主の愛について教え、証しました。

生ける預言者は、モルモン書で洪水のように地を満たすために、自らの役割を果たしているのです。<sup>20</sup> しかし、一人で水門を開くことはできません。わたしたちが預言者に続かなければなりません。

預言者の模範に触発され、わたしも謙虚に、そしてさらに熱意を持って、モルモン書を分かち合おうと努めています。

最近、わたしはモザンビークでの割り当てを果たしていました。この美しい国の国民は、貧困や病気、失業、嵐、政治不安に苦しんでいます。わたしは光栄にも、同国のフィリベ・ニユシ大統領と会う機会を頂きました。大統領の要請にこたえて、わたしは大統領と国全体のために祈りました。そして、教会がイエス・キリストの神殿<sup>21</sup>を国内に建てていることを伝えました。訪問の終わりに、わたしは大統領に、彼の母国語であるポルトガル語のモルモン書を贈りました。大統領が感謝をもつ

て受け取った後に、わたしはモルモン書の中に主の言葉で述べられている、彼の人々のための希望と約束について証しました。<sup>22</sup>

またあるときは、妻のメラニーとともに、レント王国のレツィエ3世国王および王妃に、彼らの自宅で面会しました。<sup>23</sup> わたしたちにとって、その訪問で最も重要だったことは、彼らにモルモン書を渡して、証を伝えたことでした。この経験をはじめとする様々な経験を振り返ると、末日の聖典のある聖句が思い浮かびます。「わたしの完全な福音が弱い者や純朴な者によって世界の果てまで、また王や統治者の前に宣べられるためである。」<sup>24</sup>

わたしは、国際連合ジュネーブ事務局に駐在するインドの大使であるインドラ・マニ・パンディー大使や、<sup>25</sup> 東方正教会のパーソロミュー総主教、<sup>26</sup> そのほか大勢の人にモルモン書を渡してきました。この





「わたしたちの宗教のかなめ石」<sup>27</sup>を彼らに個人的に手渡すときに、主の御霊がともにあるのを感じ、わたしたちの信仰の隅石である、イエス・キリストの証を述べてきました。<sup>28</sup>

兄弟姉妹、皆さんは、この神聖な教えと約束の書物をだれかに贈るために、モザンビークやインドに行ったり、王や統治者と会う必要はありません。「今日」皆さんに勧めることは、皆さんの友人や家族、仕事の同僚、サッカーコーチ、八百屋の店員にモルモン書を渡すことです。彼らは、この書物の中にある主の言葉を必要としています。彼らは、日々の生活や、将来の永遠の生活についての疑問に対する答えを必要としています。彼らの前に横たわる聖約の道や、彼らに対する主の変わることのない愛について知る必要があります。それらはすべてモルモン書の中にあるのです。

皆さんはモルモン書を手渡すときに、相手の思いと心を神の言葉に対して開いているのです。紙版のモルモン書を持ち歩く必要はありません。スマートフォンで、「福音ライブラリー」アプリの聖典のセクションから共有することができます。<sup>29</sup>

福音によって人生が祝福されるすべての人のことを考え、その人たちにスマートフォンからモルモン書を送ってください。この本があなたの人生をどのように祝福してきたか、あなたの証を入れるようにしてください。

愛する友人の皆さん、主の使徒として、愛する預言者ネルソン大管長に倣って、モルモン書で地を洪水のように満たすようお招きします。その必要性は大きく、今すぐ行動を起こす必要があります。「見いだす場所を知らないということだけで真理を得られずにいる」<sup>30</sup>人々に手を差し伸べるよう皆さんが靈感を受けるときに、皆さんは「今日地上で行われていることの中で最も重要な事柄」である「イスラエルの集合」<sup>31</sup>に携わることができることを約



ペルー

束します。彼らは、この書物がどのようにあなたの人生を変え、どのようにあなたを神と神の平安に引き寄せたか、<sup>32</sup>また、主の「大いなる喜びのおとずれ」<sup>33</sup>についてあなたの証を必要としています。

神の計画により、モルモン書が世に出て神の言葉を宣言し、「今日」人々を主イエス・キリストと回復された主の福音のもとへ連れていくよう、古代アメリカの時代に備えられていたことを証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

- ヤコブ2:2-3; モーサヤ2:14, 30; 5:7; アルマ7:15やモルモン書のその他の多くの節を参照
- モーサヤ2:9
- アルマ53:20
- 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』(2007年)64。預言者ジョセフ・スミスが1841年11月28日に十二使徒との評議会にて語った全文:「わたしは兄弟たちに言った。モルモン書はこの世で最も正確な書物であり、わたしたちの宗教のかなめ石である。そして、人はその教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」「正確な」という言葉の重要な参照としては、モルモン書の翻訳の過程で受けた啓示と、「分かりやすくして貴い」福音の真理(1ニーファイ13:40参照)をほかのどの書物よりもよく確立している、モルモン書で教えられている教義による。
- 「生けるキリスト—使徒たちの証」(2000年1月1日、大管長会ならびに十二使徒定員会の宣言)を参照。「わたしたちは正式に聖任を受けたイエス・キリストの使徒として証します。イエスは生けるキリスト、不死不滅の状態にある神の御子です。イエス・キリストは今日、大いなる王、インマヌエルとして御父の右に立っておられます。イエス・キリストは世の

光、命、そして希望です。イエス・キリストの道は、この世においては幸福に、後の世においては永遠の命に至る道です。わたしたちは御子という比類ない贈り物を授けてくださった神に感謝しています。」(Church of Jesus Christ.org)

- イザヤ49:26; 1ニーファイ21:26; 22:12; 教義と聖約66:1参照
- 神の言葉は聖典に収められている。例えば、モルモン書の中で、レーマンとレムエルはリーハイの夢に言及して「鉄の棒は何を意味するのか」と尋ねた。ニーファイはこう答えた。「それは神の言葉であって、だれでも神の言葉に聞き従って、それにしっかりつかまる者は、決して滅びることがなく、また敵対する者の誘惑や火の矢も、彼らを打ち破って盲目とし、滅びに至らせることはない。」(1ニーファイ15:23-24)
- 「イエス・キリストの完全な福音の回復: 200周年の世界への宣言」参照。同宣言には次の文言が含まれている。「わたしたちは宣言します。1830年4月6日に組織された末日聖徒イエス・キリスト教会は、新約聖書の時代にあったキリストの教会が回復されたものです。この教会は、隅のかしら石であるイエス・キリストの完全な生涯と、主の無限の贖罪と文字どおりの復活をその基盤としています。イエス・キリストは再び使徒たちを召して、神権の権能を与えられました。そして、御自分のもとに来て、御自分の教会を訪れ、聖霊と救いの儀式を受け、永続する喜びを得るよう、わたしたち全員を招いておられます。……わたしたちは喜んで宣言します。約束された回復は、絶えざる啓示によって進められていきます。神が「ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめ」られるので(エペソ人への手紙1章10節)、地は決して再び前の状態に戻ることはありません。」(Church of Jesus Christ.org)
- 2ニーファイ4:16
- See Quentin L. Cook, "Be Not Weary in Well-Doing" (Brigham Young University devotional, Aug. 24, 2020), speeches.byu.edu; Eliza Smith-Driggs, "This Week on

Social: How to Develop a Love for the Lord, Yourself and Others,” *Church News*, July 17, 2020, thechurchnews.com.

11. 3回目の黄色は地質学と地理, 4回目の黒色はモルモン書の話の筋。
12. モルモン書のすべての版の副題として「イエス・キリストについてのもう一つの証」が追加された。教会指導者が書名を変更したのは、タイトルページに書かれていこの書物の目的を強調するためだった。その目的とは、「ユダヤ人と異邦人に、イエスがキリストであり、永遠の神であり、すべての国民に御自身を現されることを確信させる」ことである。
13. イエス・キリストの弟子であることは、イエス・キリストに対する愛の表現である。弟子は、バプテスマを受け、自身にイエス・キリストの御名を受け、使徒ペテロが述べたイエスの特質を取り入れることによって主に従おうと努力する。「力の限りを尽くして、あなたがたの信仰に徳を加え、徳に知識を、知識に節制を、節制に忍耐を、忍耐に信心を、信心に兄弟愛を、兄弟愛に愛を加え[る]。」(2ペテロ1:5-7。「わたしの福音を宣べ伝えなさい—伝道活動のガイド」[2019年] 121-132も参照)
14. 1984年に十二使徒定員会に召される前は、国際的に高名な心臓外科医であったラッセル・M・ネルソン大管長は、1986年、ガーナ、アクラの医学校で心臓外科の歴史について講義を行った。後にメディアの取材を受けたネルソン大管長は、「[人々]がより良い市民となり、強い家族を築き、真の幸福を手に入れ、その地で繁栄できるよう助けるために、主の僕」としてそこにいた、と説明した。2001年11月16日、ネルソン大管長はガーナ、アクラ神殿の鍍入れ式のためにガーナ・アクラを再び訪れた(see “Ground Broken for First Temple in West Africa,” *Church News*, Nov. 24, 2001 thechurchnews.com)。
15. 「総合手引き—末日聖徒イエス・キリスト教会における奉仕」5.1.1.1参照。「現代では、主は教会の大管長を通して使徒を聖任し、十二使徒定員会で奉仕するように召されます(教義と聖約18:26-28参照)。」(Church of Jesus Christ.org)
16. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書—この書物なしの人生とは」『リアホナ』2017年11月号, 60参照
17. 3ニーファイ11:10-11
18. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書—この書物なしの人生とは」61
19. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書—この書物なしの人生とは」62
20. モーセ7:62参照
21. モザンビーク・ペイラ神殿の建設は、2021年4月4日にラッセル・M・ネルソン大管長によって発表された。50万人以上の国民が、インド洋沿岸のペイラに住んでいる。
22. モルモン書の中に見いだせる、希望と約束の例: 2ニーファイ31:20; モルモン書ヤコブ4:4-6; アルマ13:28-29; 22:16; 34:41; エテル12:32; モロナイ7:41; 8:26など。



### オーストラリア

23. 2020年2月10日、ラズバンド長老と姉妹は、南アフリカ・ダーバン神殿を奉獻するというアフリカでの割り当てを果たす際、王族と面会した。
24. 教義と聖約1:23
25. ラズバンド長老は、2021年9月17日、割り当てを受けてイタリア、ポローニャで開催された世界宗教サミットに参加していたときに、国連ならびにジュネーブの他の国際組織のインド常任委員を務めるインドラ・マニ・パンディ大使と面会した。
26. ラズバンド長老は、2021年9月13日、割り当てを受けてイタリア、ポローニャで開催された世界宗教サミットに参加していたときに、東方正教会のパーソロミュー総主教と面会した。
27. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』64。かなめ石とは、アーチの頂点に置かれてほかの石を固定させるくさび形の石細工である。預言者ジョセフ・スミスは、モルモン書を「わたしたちの宗教のかなめ石」とであると述べた。なぜなら、モルモン書は原則と儀式を通して教会を一つに結び合わせるうえで重要な役割を果たすからである。モルモン書は会員の生活の「かなめ石」の役割を果たし、会員たちが聖約の道にしっかりととどまるうえで役立つ。
28. エペソ2:19-20参照。イエス・キリストは、その名を冠したこの教会の隅のかしら石であられる。神殿で隅石を据えることが、神の宮の基礎において角を形成する主要な石の象徴であるように、イエス・キリストはわたしたちの信仰と救いの隅石であられる。イエス・キリストは、わたしたちが生きられるよう、御自身の命をささげられた。力と目的、愛においてイエスに匹敵する者はいない。
29. 携帯電話で共有できる。一つの方法は、「福音ライブラリー」アプリを開いて、「聖典」の項に進み、上部の「シェアする」をタップする。あるいは、「モルモン書」アプリから「共有」アイコンをタップすると、デジタルコードが表示される。友人は自分の携帯電話を使って簡単にスキャンできる。
30. 教義と聖約123:12

31. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」(青少年対象のワールドワイド・デイポーショナル, 2018年6月3日), HopeofIsrael.Church of Jesus Christ.org。「2018年6月3日、ラッセル・M・ネルソン大管長と妻のウェンディ・W・ネルソン姉妹は『主の青少年のチーム、つまり青少年の大隊に加わるよう』青少年に呼びかけ、『地上での最も大いなるチャレンジ、最も大いなる大義、最も大いなる業に参加する』よう勧めました。最も大いなるチャレンジとは何でしょうか。イスラエルの集合です。」(Charlotte Larcabal, “A Call to Enlist and Gather Israel,” *New Era*, Mar. 2019, 24)
32. 2ニーファイ4:27; モーサヤ4:3:15:18; アルマ46:12参照
33. 1ニーファイ13:37





末日聖徒イエス・キリスト教会大管長  
ラッセル・M・ネルソン大管長

# 何が真実か

神は、あらゆる真理の源であります。末日聖徒イエス・キリスト教会は、神がその子供たちに伝えるすべての真理を受け入れます。

愛する兄弟姉妹、靈感あふれるこの部会に出席してくださり感謝します。前回の4月の大会以降、わたしたちは、悲惨な出来事から崇高な出来事まで、世界中の多くの出来事を目にしてきました。

喜ばしいことに、世界各地で大規模なユース・カンファレンスが開催されているとの報告を受けています。<sup>1</sup>このようなカンファレンスで、教会の高貴な青少年は、人生で何が起こっても、最大の強さが主から与えられることを学んでいます。<sup>2</sup>

わたしたちは世界中で多くの神殿が建設されていることを喜んでいます。新しい神殿が奉献される度に、神聖な力が世界に加えられて、わたしたちを強め、サタンの激化する力を弱めます。

虐待は、サタンの影響力の一部であり、重大な罪です。<sup>3</sup>教会の大管長として、わたしは、この問題に対する主イエス・キリストの教えを言明します。はっきり申し上げますが、女性や子供、あるいはだれに対しても虐待はいかなるものも、主にとって忌まわしいものです。だれかが傷つけられる度に、主は悲しまれ、わたしも悲しみます。いかなる虐待でも犠牲になった一人一人のために、主は悲しまれ、わたしたちは皆悲しみます。これらの忌まわしい行為をなす者は、人の法律に対して責任を負うだけでなく、全能の神の怒りも受けることでしょう。

教会は何十年の間、特に子供たちを

虐待から守るために様々な対策を講じてきました。教会のウェブサイトには多くの支援情報があります。それらを学ぶようお招きします。<sup>4</sup>これらのガイドラインは、このことにおいて罪のない人を守るために提供されています。わたしたち一人一人が、虐待を受ける危険のある人がいないか注意を払い、彼らを守るために速やかに行動を起こすようお願いします。救い主は虐待を容認されず、またわたしたちも主の弟子として容認しません。

サタンには、ほかにも心をかき乱す戦

術があります。その中には、何が真実で、何が真実でないかの境界線を曖昧にするサタンの働きがあります。皮肉なことに、指先から簡単に手に入る情報の洪水によって、何が真実か判断するのがますます難しくなっています。

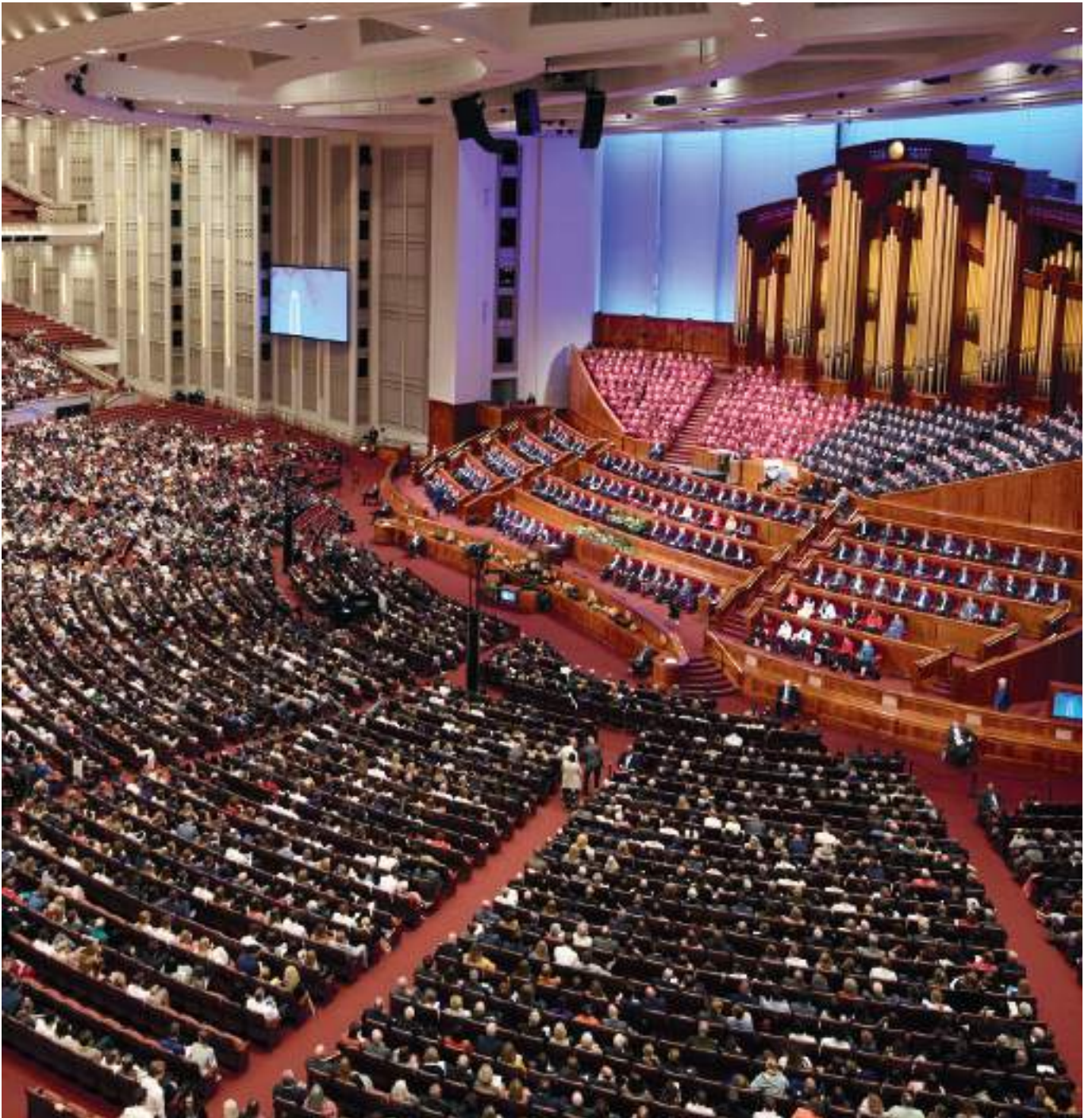
この事柄で、わたしは次の経験を思い出します。ネルソン姉妹とわたしが、イエス・キリストについて聞いたことのある人が比較的少ない国の要人を訪問した時のことです。この親愛なる高齢の友人は、最近重い病気にかかっていました。彼は、何日もベッドで過ごし、しばしば天井を見詰め、「何が真実か」考えたと言いました。

現在、この世には「見いだす場所を知らないということだけで真理を得られずにいる多くの人がい[ます]」<sup>5</sup>真理は相対的なもの、つまり、何が真実かはそれぞれ自分で判断すべきであると、わたしたちに信じさせようとする人々がいます。このような考えは、自分は神に対して責任を負わないと思い違いをしている人々にとって、希望的観測にすぎません。



エルサルバドル





愛する兄弟姉妹の皆さん、神はすべての真理の源です。末日聖徒イエス・キリスト教会は、科学研究所で学んだことであれ、神からの直接の啓示によって与えられたことであれ、神がその子供たちに伝えるすべての真理を受け入れます。

皆さんは、今日と明日、引き続きこの説教台から真理を聞きます。どうぞ、自分の注意を引いた思いや、頭に浮かんで心

に残ったことを書き留めてください。主に祈って、聞いたことが真実であるという確認を求めてください。

愛する兄弟姉妹、わたしは皆さんを愛しています。皆さんが求めている霊的なごちそうがこの大会でもたらされますよう、祈っています。イエス・キリストの神聖な御名により、アーメン。■

#### 注

1. 「青少年の強さのために」すなわち FSY カンファレンスとして知られています。
2. ガイドブック『青少年の強さのために』が最近改訂されました。
3. マタイ 18：6；教義と聖約 121：34 - 37 参照
4. See [abuse.ChurchofJesusChrist.org](http://abuse.ChurchofJesusChrist.org).
5. 教義と聖約 123：12





大管長会第二顧問  
ヘンリー・B・アイリング管長

# 中央幹部, 地域七十人, ならびに中央役員の 支持

兄弟姉妹の皆さん, これから教会の中央幹部, 地域七十人, および中央役員の名前を, 皆さんの賛意の表明を頂くために提示いたします。

皆さんがどこにしようと, これまでと同様の方法で表明をしてください。提議のいずれかに反対の方がいらっしゃれば, 御自分のステーキ会長に連絡してください。

預言者, 聖見者, 啓示者, 末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソン, また, 大管長会第一顧問としてダリン・ハリス・オークス, 大管長会第二顧問としてヘンリー・ベニオン・アイリングを支持するよう提議します。

賛成の方は, その意を表してください。

反対の方がいれば, その意を表してください。

十二使徒定員会会長として, ダリン・H・オークスを, 十二使徒定員会会長代理として, M・ラッセル・バラードを支持するよう提議します。

賛成の方は, その意を表してください。

反対の方がいれば, その意を表してください。

十二使徒定員会会員として, M・ラッセル・バラード, ジェフリー・R・ホランド, デイター・F・ワークトドルフ, デビッド・A・ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーソン, ニール・

L・アンダーセン, ロナルド・A・ラズバンド, ゲーリー・E・スティーブソン, デール・G・レンランド, ゲレット・W・ゴング, ウリセス・ソアレスを支持するよう提議します。

賛成の方は, その意を表してください。

反対の方は, その意を表してください。

大管長会顧問と十二使徒定員会を預言者, 聖見者, 啓示者として支持するよう提議します。

賛成の方は, その意を表してください。

もし反対の方がいれば, 同様にその意を表してください。

ウェザーフォード・T・クレートン, リグランド・R・カーティス・ジュニア, ランディー・D・ファンク, クリストフェル・ゴールデン, ウォルター・F・ゴンサレス, ラリー・S・ケーチャー, リン・G・ロビンズならびにジョセフ・W・シターティの各長老を中央幹部七十人より解任し, 名誉職を付与いたします。

この兄弟たちと彼らの伴侶や御家族の何年にもわたる奉仕に対して, 感謝を示してくださる方は, 手を挙げてその意を表してください。

また, この1年で奉仕を完了した地域七十人に感謝をお伝えします。奉仕を完了した地域七十人の名前は [newsroom.ChurchofJesusChrist.org](https://newsroom.ChurchofJesusChrist.org) で見ることができます。

この兄弟たちの素晴らしい奉仕に, 感謝を示してくださる方は, その意を表してください。

そのほかの中央幹部, および今週初めに [newsroom.ChurchofJesusChrist.org](https://newsroom.ChurchofJesusChrist.org) にて発表があった6人の新しい地域七十人を含めた地域七十人, ならびに中央役員を現在のまま支持するよう提議します。



ペルー



この提議に賛成の方は、手を挙げてその意を表してください。

反対の方は、その意を表してください。

兄弟姉妹の皆さんの変わらぬ信仰と、教会の指導者のための祈りに感謝します。■

#### 地域七十人の変更

**総大会の一部として開かれた指導者訓練集会において、次の地域七十人がそれぞれ支持を受けました：**

リカルド・J・バットイスタ、ウィリー・ピネネ、ベルンハルト・チズラ、ネイサン・R・エメリー、シオネ・トゥイオネ、イヴ・S・ワイドマン。

**以下の地域七十人が2022年8月1日に解任されました。**

ルイス・R・アルビス、マイケル・V・ベヘシテイ、デビッド・A・ベナルカザール、バーン・S・ブロードベント、ケビン・E・カルダーウッド、ルシアーノ・カスカルデイ、<sup>ティントワンチャン</sup>婁宗昌、アリエル・E・チャパロ、パブロ・H・チャベス、レーモンド・A・カトラー、ホセ・L・デル・ゲルソ、アレ

サンドロ・ディニ・チアッチ、カルロス・R・フスコ・ジュニア、ホルヘ・A・ガルシア、ゲーリー・F・ゲッセル、カール・D・ハースト、レン・S・ジョンソン、ジェイ・B・ジョーンズ、ポール・N・レキアス、アルトゥール・J・ミランダ、エリー・K・モンガ、A・ファビオ・モスコゾ、永友裕、フアン・C・ポソ、アンソニー・クエイシー、マルティン・C・リオス、サンディノ・ローマン、ジョニー・F・ルイス、ロセンド・サントス、ゴードン・H・スミス、K・ロイ・タニクリフ。

地域七十人として奉仕していたリーバイ・W・ヒース長老とイノケ・F・クブ長老は、2022年に亡くなりました。





十二使徒定員会会長代理  
M・ラッセル・バラード会長

# 信仰を込めて一歩ずつ イエス・キリストに 従う

キリストは今日、困難な状況にあるわたしたちを支えて  
くださいます。主は初期の開拓者たちを支えられました。  
そして今はわたしたち一人一人を支えてくださっています。

聖歌隊の皆さん、「信じ、進まん」を歌ってくださりありがとうございます。この歌は、1847年にソルトレーク盆地に初期の開拓者が到着してから150周年を迎えるに当たり、1996年にニューエル・デイリー兄弟<sup>1</sup>が作詞・作曲したものです。

この曲は、その祝典に向けて書かれたものですが、曲に含まれるメッセージは全世界に当てはまります。

わたしはこの曲のコラス部分が大好きです。〔訳注一以下原文訳のため日本語版の歌詞とは異なります。〕

信仰を込めて一歩ずつ、主なるキリストに従います。

主の純粋な愛によって希望に満たされ、心を一つにし歌います。<sup>2</sup>

兄弟姉妹の皆さん、信仰を込めて一歩ずつイエス・キリストに従うとき、希望があることを証します。主イエス・キリストには希望があります。すべての人はこの現世で、希望を持つことができます。過ち、悲しみや苦しみ、試練や悩みを克服する希望があります。悔い改め、赦されるこ

と、そして人を赦すことに希望があるので。わたしは、キリストに希望と平安があることを証します。主は今日、困難な状況にあるわたしたちを支えてくださいます。主は初期の開拓者たちを支えられました。そして今はわたしたち一人一人を支えてくださいます。

今年、初期の開拓者がソルトレーク盆地に到着して175年目になります。わたしにとっては、ノーブーからソルトレーク盆地まで歩いた先祖に思いをはせる機会となりました。わたしの曾祖父父母は若いころ、大平原を歩いたそうです。ヘンリー・バラードは20歳、<sup>3</sup> マーガレット・マクニールは13歳、<sup>4</sup> のちに第6代大管長となったジョセフ・F・スミスがソルトレーク盆地に着いたとき、彼はわずか9歳でした。<sup>5</sup>

彼らはその道中、冬の寒さ、病気、十分な衣服や食料の不足など、あらゆる苦難に直面しました。例えば、ヘンリー・バラードがソルトレーク盆地に到着したとき、「約束の地」を見て喜びましたが、身に着けていた衣服が擦り切れていて完全に身体が覆われていなかったために、だれ

かに自分の姿を見られるのではないかと  
いう恐れを抱いて暮らしました。彼は暗く  
なるまで一日中茂みの陰に隠れていま  
した。その後ある家に行き、旅を続けて  
両親を探せるように衣服を乞いました。彼  
は、後に家となる場所に安全にたどり着  
くことができたことを神に感謝しました。<sup>6</sup>

私の曾祖父母はそれぞれの試練において  
信仰の歩みをもってイエス・キリストに  
従いました。決して諦めなかった彼らに  
感謝しています。開拓者の信仰の歩み  
によって、わたしや次世代は祝福を受け  
ています。今日の皆さんの信仰の歩み  
によって、皆さんの子孫が祝福を受け  
ると同じです。

Pioneer (パイオニア) という英単語  
には、名詞と動詞の両方があります。名  
詞としては、新しい領域を最初に開拓  
または入植する人という意味があり、  
動詞としては、後の人をたどれるよう  
に道を切り開く、または備えるとい  
う意味があります。<sup>7</sup>

ほかの人々のために道を備えたパイ  
オニアについて考えるとき、わたしは  
まず預言者ジョセフ・スミスを思い  
浮かべます。ジョセフは、信仰の歩  
みにより森へと導かれ、そこでひざ  
まずいて祈り、わたしたちがイエス  
・キリストの完全な福音を得ること  
ができるように、その道を切り開いた  
開拓者でした。1820年の春の朝、  
ジョセフの「神に、願い求める」<sup>8</sup>  
という信仰は、地上で再び仕える  
よう召された預言者と使徒を含め、  
イエス・キリストの完全な福音が  
回復される道を開きました。<sup>9</sup> ジョセ



スペイン

フ・スミスが神の預言者であることを知っています。彼の信仰に満ちた一歩が、父なる神とその愛する御子イエス・キリストの前にひざまづくように導いたことを知っています。

預言者ジョセフの信仰の歩みにより、主に使われる者となり、イエス・キリストのもう一つの証であり、主の贖いの恵みであるモルモン書を世に出すことができたのです。

ジョセフ・スミスは信じ難いほどの苦難と逆境に直面しながらも、信仰と忍耐によって主の御手に使われる者となり、イエス・キリストの教会を再び地上に確立しました。

前回の総大会で、わたしは専任宣教師としての奉仕がどのような祝福をもたらしてくれたかについて話しました。天の御父の輝かしい救いの計画、ジョセフ・スミスの最初の示現、そして彼が翻訳したモルモン書について教えるとき、わたしは祝福を受けました。これらの回復された教えと教義は、福音の回復に関するメッセー

ジに耳を傾けようとする人々を教えるうえで、信仰をもって歩むための指針となりました。

今日の宣教師たちは現代のパイオニアです。彼らはこの栄えあるメッセージを世界中の人々に伝え、天の御父の子供たちが神と御子イエス・キリストを知ることができるように、その道を切り開いているからです。イエス・キリストの福音を受け入れることによって、教会と神殿の儀式と祝福に備え、受け入れる道が、すべての人に開かれるのです。

前回の総大会で、ネルソン大管長は「主がすべてのふさわしく、能力のある若い男性に、伝道に備え、伝道に出よう求めておられること」、そして「若くて能力がある姉妹の皆さんにとっても、伝道は任意のすばらしい機会です」<sup>10</sup> があると、再び強く断言しました。

親愛なる若い男性、若い女性の皆さん、皆さんの信仰の歩みは、主の招きに従って伝道に出る、つまり現代のパイオニアに

なるための助けとなることでしょう。神の子供たちが栄えある神の御前に戻るよう導く聖約の道を見だし、そこにとどまることができるように、道を切り開くのです。

ネルソン大管長は、教会におけるパイオニアです。使徒として多くの土地を訪れ、福音を宣べ伝えるためにその門戸を開いてきました。教会の預言者および大管長に就任して間もなく、「啓示を受ける〔わたしたちの〕霊的な能力を伸ばすように、切にお願い」<sup>11</sup> しました。ネルソン大管長は、証を強めるよう教え続けています。ヤングアダルトのためのディボーションナルで、このように言っています。

「どうぞ、自分の証に責任を持ってください。そのために努力してください。手に入れて、大切に、育ててください。

……〔そして〕生活の中で奇跡が起こるのを待ってください。」<sup>12</sup>

ネルソン大管長は、より霊的に自立する方法を教えています。次のように言いました。「導き、指示し、慰める、変わること



マレーシア



のない聖霊の影響力がなければ、これから先、霊的に生き残ることはできなくなるでしょう。」<sup>13</sup>

ラッセル・M・ネルソン大管長が今日の地上における神の預言者であることを、わたしは証します。

わたしたちの救い主であるイエス・キリストは、道を備えてくださった究極のパイオニアです。主こそ救いの計画が達成されるための「道」<sup>14</sup>です。そのおかげでわたしたちは悔い改め、主への信仰を通して天の御父のみもとに帰ることができるようになったのです。

イエスは言われました。「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。」<sup>15</sup> 主は、わたしたちを捨てて孤児とはせず、試練の時にはわたしたちのところに帰って来ると約束してくださいました。<sup>16</sup> 主は、「十分に固い決意をもって〔主〕のもとに……来るように」わたしたちを招いておられます。「そうするならば、〔主〕は〔わたしたちを〕癒」<sup>17</sup>してくださいます。

わたしは、イエス・キリストがわたしたちの救い主であり、贖い主であられること、また御父に対するわたしたちの弁護者であられることを証します。天の御父は、わたしたちが信仰を込めて一歩ずつ、愛する御子イエス・キリストに従うことによって、神のみもとに帰る道を開いてくださいました。

わたしの曾祖父母やほかの初期の開拓者たちは、幌馬車や手車、または徒歩でソルトレーク盆地にやって来たとき、多くの障害に直面しました。わたしたちもまた、それぞれの人生の旅路において、困難に直面することでしょう。わたしたちは、手車を押したり幌馬車に乗って険しい山々や雪の吹きだまりを越えようとしていたわけではありませんが、彼らと同じように、現代の誘惑や試練に対して霊的に打ち勝とうとしているのです。わたしたち



ノルウェー

には歩むべき道、登るべき丘、時には登るべき山があります。今日の試練は、初期の開拓者たちの試練とは異なりますが、わたしたちにとっては、それに劣らず困難なものです。

初期の開拓者がそうであったように、預言者に従い、信仰に満ちた聖約の道にしっかりと立つことが大切なのです。

信仰を込めて一歩ずつ、イエス・キリストに従いましょう。わたしたちは、主に仕え、互いに仕え合う必要があります。聖約を守り、尊ぶことによって、霊的に自らを強めなければなりません。また、戒めを守ることに對する緊迫感を失うべきではありません。サタンは神と主イエス・キリストに対するわたしたちの決意と愛をくじこうとします。もしだれかが道から迷い出たとしても、救い主がわたしたちを見失われることは決してないということを覚えてください。悔い改めの祝福により、わたしたちは主のもとに立ち返ることができます。主は、わたしたちが聖約の道にとどまろうと努めるときに、学び、成長し、変わるのを助けてくださいます。

わたしたちがイエス・キリストの足跡をたどり、信仰を込めて一歩ずつ、主に焦点を合わせ、聖約の道にしっかりと立ち続けることができますようにへりくだり祈ります。イエス・キリストの御名により、アーメ

ン。■

#### 注

1. K・ニューエル・デイリー「信じ、進まん」『聖徒の道』1997年2月号、22-23参照
2. K・ニューエル・デイリー「信じ、進まん」『聖徒の道』1997年2月号、22-23参照
3. See Henry Ballard diary, L. Tom Perry Special Collections, Harold B. Lee Library, Brigham Young University, Provo, Utah, archives.lib.byu.edu/repositories/ltpsc/resources/upb\_msssc998.
4. See "A 'Small Glimpse' into Pioneer Experiences," *Church News*, June 15, 1996, thechurchnews.com.
5. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・F・スミス』xiv 参照
6. See Douglas O. Crookston, ed., *Henry Ballard: The Story of a Courageous Pioneer, 1832-1908 (1994)*, 14-15.
7. See *Merriam-Webster.com Dictionary*, "pioneer."
8. ヤコブの手紙 1:5
9. ジョセフ・スミス—歴史 1:5-20 参照
10. ラッセル・M・ネルソン「平和の福音を宣べ伝える」『リアホナ』2022年5月号、6；原文における強調を削除
11. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号、96
12. ラッセル・M・ネルソン「永遠にわたる決断」(ヤングアダルトのためのワールドワイド・デイブーションナル、2022年5月15日), churchofjesuschrist.org/study/broadcasts/worldwide-devotional-for-young-adults/2022/05/12nelson?lang=jpn
13. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」96
14. ヨハネ 14:6
15. ヨハネ 14:6
16. ヨハネ 14:16-18 参照
17. 3ニーファイ 18:32



中央扶助協会会長会第二顧問  
クリスティン・M・イー姉妹

# 灰にかえて冠を： 赦しに至る癒しの道

自分の人生の灰を冠に変えるような人生を送ることは、  
救い主の模範に倣った、信仰の行いです。

サムエル記上には、後のイスラエルの王、ダビデと、アビガイルと言う名の女性との、あまり知られていない話があります。

サムエルの死後、ダビデとその僕たちは、ダビデの命をねらっていたサウル王から逃れました。彼らは、ナバルという名のいじわるな金持ちの男の家畜の群れと僕たちを守りました。ダビデは10人の僕を送り、ナバルにあいさつをさせ、どうしても必要な食糧や物資を要求させました。

ナバルはダビデの要求に侮辱的な態度で応じ、使者たちを手ぶらで返しました。

気分を害したダビデは、「彼はわたしのした親切に悪をもって報いた」<sup>1</sup>と言って、僕たちを連れてナバルと対決しようとしてしました。ある僕がナバルの妻のアビガイルに、彼女の夫がダビデの僕たちに行った仕打ちについて告げました。アビガイルはすぐさま必要な食糧と物資を集めて、執り成しに向かいました。

アビガイルはダビデに会うと、「ダビデの前で地にひれ伏し、

その足もとに伏して言った、『わが君よ、このとがをわたしだけに負わせてください。……』

それゆえ今、……主は、あなたがきて血を流し、また手ずから、あだを報いるのをとどめられました。……』

今、あなたのつかえめが、わが君に携えてきた贈り物を、わが君に従う若者たちに与えてください。

どうぞ、はしためのとがを許してください。……』

ダビデはアビガイルに言った、『きょう、あなたをつかわして、わたしを迎えさせられたイスラエルの神、主はほむべきかな。

あなたの知恵はほむべきかな。またあなたはほむべきかな。あなたは、きょう、わたしがきて血を流し、手ずからあだを報

いることをとどめられたのです。……』

ダビデはアビガイルが携えてきた物をその手から受けて、彼女に言った、『あなたは無事にのぼって、家に帰りなさい。わたしはあなたの声を聞きいれ、あなたの願いを許します。』<sup>2</sup>

こうして、二人とも穏やかに別れました。

この話の中で、アビガイルはイエス・キリストを明確に示すひながた、あるいは象徴と捉えることができます。<sup>3</sup> イエス・キリストは贖いの犠牲を通して、罪と争いの心という重荷からわたしたちを解放し、わたしたちに必要な養いを与えてくれます。<sup>4</sup>

アビガイルが進んでナバルの罪を自分が受けようとしたように、救い主も理解し難い方法でわたしたちの罪と、わたしたちを傷つけ、わたしたちの気分を害した人々の罪を引き受けてくださいます。<sup>5</sup> ゲツセマネと十字架上において、イエスはこれらの罪を引き受けられました。主は、わたしたちが復讐心を捨てられるよう、道を備えてくださったのです。その「道」とは、赦しの道です。赦しは、わたしたちが行うこ



アルゼンチン





との中で最も難しいことの一つであり、また、わたしたちが経験する中で最も神性なものの一つでもあります。赦しの道を歩むと、イエス・キリストの贖罪の力が生活に流れ込み、心と魂の深い亀裂が癒され始めます。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、救い主は赦す能力を授けてくださる、と教えています。

「主の無限の贖罪を通して、皆さんを傷つけた人や、残虐な行為の責任を決して取ろうとしない人を赦すことができます。

心からへりくだって赦しを求める人を赦すのは、普通は簡単なことです。しかし、救い主は、何らかの方法で不当な扱いをしてきた人をすべて赦す力を与えてくださいます。そうすれば、有害な行為はもはや皆さんの心をむしばむことはないのです。』<sup>6</sup>

アビガイルがたくさんのお食糧と物資を持ってきたことは、救い主が傷ついた人々に、その人が癒され、元気になるために必要な養いと助けを与えてくださることを教えています。<sup>7</sup> わたしたちは、ほかの人の行いの結果に自分一人で対処するよう放っておかれるわけではありません。わたしたちにも、元気を取り戻し、争いの心やそれに続く行いの重荷から救っていただく機会が与えられるのです。

主はこのようにおっしゃっています。「主なるわたしは、わたしが赦そうと思う者を赦す。しかし、あなたがたには、すべての人を赦すことが求められる。』<sup>8</sup> 主が人を赦すよう求めておられるのは、わたしたち自身のためにほかなりません。<sup>9</sup> しかし、主の助けや主の愛、主の理解なしに行うようには求めておられません。主と交わした聖約を通して、わたしたちはそれぞれ、赦し、赦されるのに必要な、強められる力や導き、助けを受けることができます。

だれかを赦すことは、傷つき続ける立場に身を置くことではないことを理解してください。「だれかを赦そうと努力してい

ても、その人と距離を置くようにという御霊の促しを感じることはあります。』<sup>10</sup>

ダビデが「心の責め」<sup>11</sup>を抱かずに必要な援助を受けられるようアビガイルが助けたのと同じように、救い主も皆さんを助けてくださいます。主は皆さんを愛し、「翼には、いやす力を備えて」<sup>12</sup>皆さんの歩む道で皆さんに会いに来てくださるでしょう。主は皆さんの平安をお望みです。

わたしは、キリストがわたしの争いの心を癒してくださるという奇跡をこの目で見ました。父の許しを得て、わたしが育った家庭について話します。それは、わたしがいつも安心できる場所ではありませんでした。情緒的な、そして言葉の虐待があったためです。青少年の時期も、ヤングアダルトの時期も、わたしは父を嫌い、その傷のために心に怒りを抱いていました。

長年にわたって、赦しに至る道を歩みながら平安と癒しを見いだそうと努力した末、わたしの罪を贖ってくださった神の御子は、自分を深く傷つけた人たちのことにも救われる同じ贖い主であられるということに、深淵な方法で気づきました。後者を信じることなしに、前者の真理をほんとうに信じることはできません。

救い主に対する愛が深まるにつれ、傷と怒りを主の癒しの乳香に替えたいという望みも強まりました。それは何年にも及ぶ過程であり、勇気や忍耐、弱さを見せること、そして人を救い、癒すことのできる救い主の神性な力に対する信頼を会得しなければなりません。まだ努力の途中ですが、もう心に敵意はありません。わたしは「新しい心」<sup>13</sup>を頂きました。自分の隣にいてくださり、忍耐強くよりよい場所へと導いてくださり、助けてくださり、わたしの悲しみを知っておられる、自分の救い主の、深くて不変の愛を感じたためです。

アビガイルがダビデの必要なものを持ってきたように、主はわたしに償いの祝福を送ってくださいました。わたしの生活

に助言者たちを送ってくださいました。そして、あらゆることの中で最も貴く、人生を変えてくれたのは、天の御父とわたしの関係です。有り難いことに、わたしは御父を通して、わたしを守り、導いてくれる、完全な御父の優しい愛を知りました。

リチャード・G・スコット長老はこう述べています。「過去に起こったことを消し去ることはできません。でも赦すことはできます。<sup>14</sup> 赦しはひどい傷を癒します。主の愛によって心の中の憎しみの毒が消されるからです。復讐の思いをなくしてくれます。主の清めと癒しと愛が取って代わるのです。』<sup>15</sup>

わたしの地上の父も近年、奇跡的な心の変化を経験し、主に心を向けるようになりました。この世で起こるとは思ってもみなかったことです。人を変える、イエス・キリストの完全な力に対する証がまた一つ増えました。

主は、罪人と、罪の被害を受けた人を癒すことができになります。主は世の救い主、贖い主であり、わたしたちが再び生きることができるよう命をささげられた御方です。主はこう述べておられます。「主の御霊がわたしに宿っている。貧しい人々に福音を宣べ伝えさせるために、わたしを聖別してくださったからである。主はわたしをつかわして、囚人が解放され、盲人の目が開かれることを告げ知らせ、打ちひしがれている者に自由を得させ[る]。』<sup>16</sup>

心の傷ついた人や囚人、打ちひしがれている人、そして恐らく傷や罪により盲目になっているすべての人々を、主は癒し、



北アイルランド

立ち直らせ、解放してください。主が実際に人を癒し、立ち直らせてくださることを証します。その癒しの時期は人それぞれで、わたしたちにはほかの人の時期を判断することはできません。癒しに必要な時間を自分に与え、その過程で自分自身に思いやりを持つことは重要です。救い主は常に情け深く、思いやりがあり、わたしたちが必要としている援助を与える用意を整えておられます。<sup>17</sup>

赦しと癒しの道には、家族やほかの場において、不健全な規範や人間関係を持続させないという選びがあります。わたしたちの影響の及ぶ範囲内のすべての人に対して、残忍さには思いやりを、憎しみには愛を、無礼さには穏やかさを、心痛には安心を、争いには平和を与えることができます。

自分が与えてもらえなかったものを与えることは、イエス・キリストを信じる信仰を通して実現できる、神性な癒しの力強

い部分です。イザヤが述べたように、自分の人生の灰を冠に変えるような人生を送ることは、<sup>18</sup>すべての人を救うためにあらゆる苦しみを受けられた救い主の至高の模範に倣った、信仰の行いです。

エジプトのヨセフは灰の伴う人生を送りました。兄弟に憎まれ、裏切られ、奴隸として売られ、不当に投獄され、助けると約束してくれた人に忘れられました。それでも、ヨセフは主を信頼しました。「主がヨセフと共におられ」<sup>19</sup>、ヨセフの試練を聖別して、彼自身の祝福と成長とし、彼の家族と全エジプトを救われました。

ヨセフがエジプトの偉大な指導者として兄弟と会ったときに語った優しい言葉に、赦しと、精錬された視点が表れています。

「しかしわたしをここに売ったのを嘆くことも、悔むこともありません。神は命を救うために、あなたがたよりさきにわたし

をつかわされたのです。……

それゆえわたしをここにつかわしたのはあなたがたではなく、神です。」<sup>20</sup>

救い主を通して、ヨセフの人生は「灰にかえて冠」<sup>21</sup>になったのです。

BYUの学長のケビン・J・ワーセンは、神は「わたしたちの成功からだけでなく、わたしたちの失敗や、わたしたちに痛みを与えるほかの人々の失敗からも、良いものを生じさせることができになる。神はそれほどに善なる御方であり、力強い」<sup>22</sup>と述べています。

愛と赦しの最も偉大な模範は救い主イエス・キリストの模範であることを証します。イエス・キリストは、激しい苦しみの中で、こう言われました。「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。」<sup>23</sup>

わたしは天の御父が、神の子供一人一人に対し、幸福と希望があるよう願っておられることを知っています。エレミヤ書には、こうあります。「主は言われる、わたしがあなたがたに対していただいている計画はわたしが知っている。それは……平安を与えようとするものであ[る]。』<sup>24</sup>

イエス・キリストは皆さん個人のメシヤであり、皆さんの愛に満ちた贖い主、救い主であり、皆さんの心の望みを御存じです。主は皆さんの癒しと幸福を願っておられ、皆さんを愛しておられます。皆さんが悲しいときにはともに悲しみ、皆さんを元気にすることを喜びとされます。赦しに至る癒しの道を歩むときに、元気を出して、常に伸べられている、主の愛に満ちた手<sup>25</sup>を取ることができるよう、イエス・キリストの御名により祈ります。アーメン。

#### 注

1. サムエル上 25: 21
2. サムエル上 25: 23 - 24, 26 - 28, 32 - 33, 35
3. See *Old Testament Seminary Student Material* (2018), 449-50.
4. See James L. Ferrell, *The Peacegiver: How Christ Offers to Heal Our Hearts*





七十人会長会  
ポール・V・ジョンソン長老

# キリストによって 完全になる

完全は神の恵みによってのみ可能です。

- and Homes (2004), 29.
- 5. See *Old Testament Seminary Student Material* (2018), 449–50.
- 6. ラッセル M・ネルソン「イエス・キリストが授ける 4 つの賜物」(大管長会クリスマスディボーションナル, 2018 年 12 月 2 日), [broadcasts.ChurchofJesusChrist.org](https://broadcasts.ChurchofJesusChrist.org).
- 7. See Ferrell, *The Peacegiver*, 53.
- 8. 教義と聖約 64 : 10
- 9. ジェームズ・E・ファウスト「救しのもたらす癒しの力」『リアホナ』2007 年 5 月号, 67 – 69 参照
- 10. “Forgiveness Doesn’t Mean Putting Up with Getting Hurt.”, Mar. 16, 2022, [ChurchofJesusChrist.org](https://ChurchofJesusChrist.org).
- 11. サムエル上 25 : 31
- 12. マラキ 4 : 2
- 13. エゼキエル 36 : 26
- 14. 教義と聖約 64 : 10 参照
- 15. リチャード・G・スコット「忌まわしい虐待の傷を癒す」『聖徒の道』1992 年 7 月号, 37
- 16. ルカ 4 : 18: 強調付加
- 17. アルマ 7 : 11 – 12 参照
- 18. イザヤ 61 : 3 参照
- 19. 創世 39 : 2, 21
- 20. 創世 45 : 5, 8
- 21. イザヤ 61 : 3
- 22. Kevin J. Worthen, “The Y on the Mountain” (Brigham Young University commencement address, Apr. 25, 2019), [speeches.byu.edu](https://speeches.byu.edu).
- 23. ルカ 23 : 34
- 24. エレミヤ 29 : 11
- 25. モルモン書ヤコブ 6 : 5 参照

天の御父と救い主イエス・キリストは、わたしたちを救い、わたしたちを変える力をお持ちです。わたしたちが御二方のようにになれるよう助けてください。

数年前、若い孫の一人のアロンに健康上の問題が生じ始めました。疲れるようになり、多くのあざができ、健康には見えませんでした。検査の結果、重度の再生不良性貧血であると診断されました。その病気により、骨髓による赤血球と白血球、そして血小板の生成が止まったのです。治療して完治しなければ、血液が正しく凝固

しないか感染症と戦うことができません。そのため、ちょっとした転倒や傷、病気で即座に命が脅かされる可能性があります。

危険を回避するために、しばらくの間、アロンは定期的に血小板の投与と輸血を受けました。医師の説明では、この病気の唯一の治療法は骨髓移植であり、成功率が最も高いのは、きょうだいにドナーになってもらうことでした。きょうだいの一人に完全な一致が見られれば、移植で命が救われる可能性があるということでした。4 人の弟が検査を受け、マックスウェル一人が完全に一致していると判断されました。

ドナーが完全に適合したとしても、骨髓移植には依然として、重大な合併症の危険があります。このプロセスでは、弟のマックスウェルの骨髓から幹細胞を受け取る前に、アロン自身の病気の骨髓の中の細胞を化学療法と放射線の組み合わせで破壊する必要がありました。アロンの免疫システムが弱体化したために、数週間病院で隔離され、その後数か月間、自宅での特別な治療計画、制限、投薬を受ける必要がありました。

移植による望ましい結果は、アロンの体がドナーの細胞を拒絶しないこと、そしてアロンの体内でマックスウェルの細胞が徐々に必要な赤血球と白血球、血小板を生成し始めることでした。ドナー移植の成功は、現実に生理的変化を引き起こ



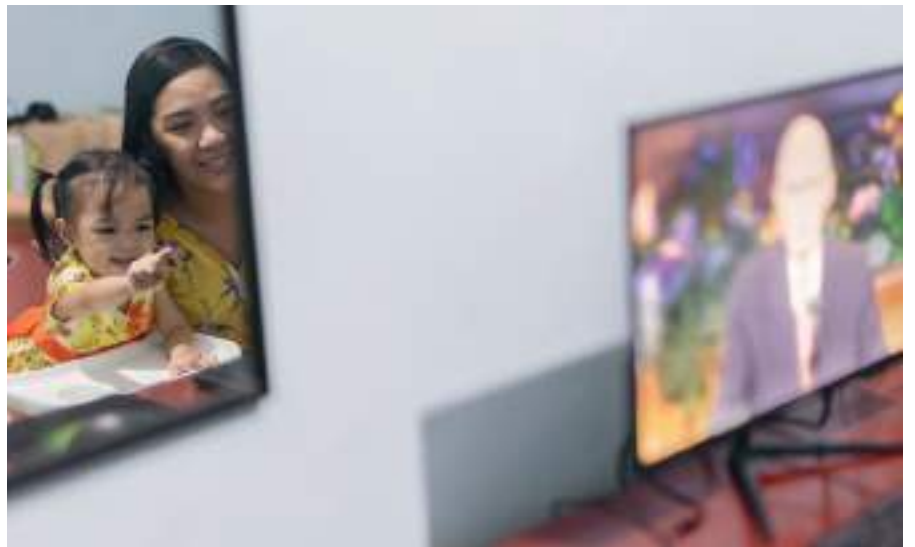
チリ

します。驚いたことに、アロンがもし犯罪を犯して犯行現場に血液を残したら、警察は弟のマックスウェルを逮捕することになると、医師は説明しました。これは、アロンの血液がマックスウェルから移植した細胞から生成され、マックスウェルのDNAを持っているためです。残りの生涯ずっとそのようになります。

アロンがその弟の血によって救われたことから、イエス・キリストの贖いの血とわたしたちへの主の贖罪の影響について多くのことを考えるようになりました。今日は、主に奇跡を起こしていただくときに起こる、永続的な、生きる力を与える変化に焦点を当てたいと思います。<sup>1</sup>

アロン自身には、病気を克服する力はありませんでした。彼の体は、生命を維持するために必要な血液細胞を作ることができませんでした。彼が個人的に何をしても、自分の骨髄を修復することはできませんでした。アロンが自分自身を治せなかったように、わたしたちは自分自身を救うことができません。わたしたちはどれほど有能で、学識があり、聡明で、強くても、自分たちを罪から清めたり、肉体を不死不滅の状態に変えたり、自身を昇栄させたりすることはできません。それは、救い主イエス・キリストとその無限の贖罪によってのみ可能なのです。「このほかには人を神の王国に救う道も名も天下に与えられていません」。<sup>2</sup> わたしたちを清め、聖別してくださるのは、主の贖いの血です。<sup>3</sup>

アロンは自分自身を治すことはできませんでしたが、移植がうまくいくように、非常に困難で、つらくても、医師の求めることをいとわずに行う必要がありました。わたしたちは自分自身を救うことはできませんが、主の御心に従い、聖約を守るとき、わたしたちの贖いの道が開かれます。<sup>4</sup> アロンの血液細胞のDNA そのものが変わるという驚くべきプロセスのように、わたしたちも心を改め、<sup>5</sup> 顔に神の面影を受け、<sup>6</sup> キリストにあって新たな者とな



フィリピン

る<sup>7</sup> ことができるのです。

アルマはゼラヘムラの人々に、前の世代が改心したことを思い出すよう言いました。アルマは父のことを話し、こう説明しました。「父は信じたので、心の中に大きな変化が生じた」。<sup>8</sup> そしてこう尋ねました。「あなたがたは心の中に、この大きな変化を経験したか」。<sup>9</sup> 心を変えたのは人ではありませんでした。主が実際の変化をもたらされたのです。アルマはこのことを非常に明確にし、こう述べています。「見よ、神は彼らの心を改めさせ〔られた〕」。<sup>10</sup> 「彼らはへりくだり、まことの生ける神に信頼を寄せた。そして……最後まで忠実であったので、救われたのである」。<sup>11</sup> 人々は進んで心を開き、信仰を働かせ、その後、主が彼らの心を変えられたのです。何と大きな変化だったのでしょうか。心が変わる前と後のアルマという名の二人の男性の人生の違いについて考えてみてください。<sup>12</sup>

わたしたちは、高貴な行く末を持つ神の子供です。わたしたちは、変えられて主のようになり、「満ちみちる喜び」<sup>13</sup> を受けることができます。他方、サタンは、わたしたちを彼自身のように惨めにしようとします。<sup>14</sup> わたしたちには、だれに従うかを選ぶ能力があります。<sup>15</sup> サタンに従うとき、わたしたちはサタンに力を与えます。<sup>16</sup> 神に従うとき、神はわたしたちに力を与えてくださいます。

救い主は、わたしたちが「完全になる」<sup>17</sup> ようにと教えられました。これはと

ても気が遠くなるように思えるかもしれませんが。わたしは、個人としての至らなさをはっきりと感じ、自分と完全さの間の距離を痛感しています。わたしたちは、自分自身を完全にすると考える傾向があるかもしれませんが、それは不可能です。世の中のすべての自己啓発書のすべての提案に従っても、それはできません。一つの方法、一つの御名によってのみ完全になれるのです。わたしたちは、「自らの血を流すことによってこの完全な贖罪を成し遂げられた、新しい聖約の仲保者イエスを通じて完全な者とされ」<sup>18</sup> なのです。完全は神の恵みによってのみ可能です。

若い孫のアロンが、移植に関するすべての医療処置を自分で理解し、実行しなければならないと思ったら、どれほど打ちのめされるか想像できるでしょうか。完全になるための奇跡的なプロセスの中で救い主だけがおできになることを、わたしたちが行う必要があると思うべきではありません。

モロナイは最後にこう述べています。「まことに、キリストのもとに来て、キリストによって完全になりなさい。……もしあなたがたが神の御心に添わないものをすべて拒み、勢力と思いと力を尽くして神を愛するならば、神の恵みはあなたがたに十分であり、あなたがたは神の恵みにより、キリストによって完全になることができる」。<sup>19</sup> 何と慰められる力強い真理でしょうか。神の恵みはわたしに十分です。



神の恵みは皆さんに十分です。神の恵みは「重荷を負って苦勞している者」<sup>20</sup>すべてに十分です。

アロンのような医療処置には、結果に幾らかの不確実性が常に存在します。実際、アロンは、最初の移植で合併症を発症し、2回目の移植が必要でした。幸い、靈的な心の変化については、それが起こるかどうか心配する必要はありません。わたしたちが主の御心に従って生活し、「人を救う力を備えておられるこの御方の功德にひたすら頼[るならば]」、<sup>21</sup>救い主の血により清められ、ついには主によって完全になる100パーセントの保証があるのです。主は「真理の神であり、偽りを言われる[はずが]ありません。」<sup>22</sup>

この変化のプロセスには時間がかかり、この世の人生で完了しないことには疑問の余地がありませんが、約束は確かです。神の約束の成就が遠い先に思えても、わ

たしたちは、その約束が果たされることを知っているのです、それらの約束を受け入れます。<sup>23</sup>

アロンの健康上の奇跡的な変化は、わたしたちの家族に大きな喜びをもたらしました。わたしたちの魂に大きな変化が起こるとき、天に大きな喜びがあることを想像してください。

天の御父と救い主イエス・キリストは、わたしたちを愛しておられ、わたしたちを変えて完全にしようと優しく手を差し伸べてくださっています。御二方はこれを望んでおられます。これは御二方の業と栄光の中核です。<sup>24</sup>わたしたちが信仰をもって御二方のもとへ行くときに、御二方にはこれを行う力があることを、わたしは証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. アルマ 23 : 6 参照

- 2. 2 ニーファイ 31 : 21
- 3. 1 ペテロ 1 : 18 - 19 ; 黙示 1 : 5 ; モーセ 6 : 59 - 60 参照
- 4. 3 ニーファイ 18 : 1 - 12 ; 27 : 20 ; 教義と聖約 132 : 19 参照
- 5. アルマ 5 : 7 参照
- 6. アルマ 5 : 14 参照
- 7. モーサヤ 27 : 25 - 27 参照
- 8. アルマ 5 : 12
- 9. アルマ 5 : 14
- 10. アルマ 5 : 7
- 11. アルマ 5 : 13
- 12. モーサヤ 18 : 1 - 3 ; 27 : 8 - 10 ; アルマ 4 : 15 - 20 参照
- 13. 教義と聖約 93 : 33
- 14. 2 ニーファイ 2 : 18 参照
- 15. 2 ニーファイ 2 : 27 参照
- 16. 2 ニーファイ 26 : 22 ; 28 : 22 ; モーサヤ 16 : 5 ; アルマ 34 : 39 ; 3 ニーファイ 7 : 5 ; 教義と聖約 29 : 40 参照
- 17. 3 ニーファイ 12 : 48
- 18. 教義と聖約 76 : 69
- 19. モロナイ 10 : 32
- 20. マタイ 11 : 28
- 21. 2 ニーファイ 31 : 19
- 22. エテル 3 : 12
- 23. ヘブル 11 : 13 参照
- 24. モーセ 1 : 39 参照





十二使徒定員会  
ウリセス・ソアレス長老

# 主とのパートナーシップの下で

イエス・キリストの回復された福音は、現世と永遠の両方における男女間の完全なパートナーシップの原則を宣言しています。

結婚して数か月たったころ、愛する妻が音楽を学びたいと打ち明けてくれました。そこでわたしは、妻を喜ばせようと思い、心こもったサプライズを用意することにしました。楽器店へ行き、妻へのプレゼントとしてピアノを購入したのです。わくわくしながら領収書を箱に入れ、きれいなリボンをつけて妻に渡しました。非常に愛情深く、気の利く夫に、妻から感謝の言葉があふれるだろうと期待していました。

その小さな箱を開けて中身を見たとき、妻はいとおしそうにわたしを見て言いました。「まあ、あなた、何て素敵なの！でも聞いていいかしら。これは贈り物？それとも借金？」そのサプライズについて話し合った結果、購入は取りやめることにしました。学生だったわたしたちは、多くの若い新婚夫婦と同じように家計をやりくりして暮らしていました。この経験から、わたしは夫婦関係における完全なパートナーシップの原則の大切さと、それを実践することでわたしたち夫婦がどのように心と思いを一つにすることができるかを認識しました。<sup>1</sup>

イエス・キリストの回復された福音は、現世と永遠の両方における男女間の完全なパートナーシップの原則を宣言しています。女性と男性にはそれぞれ特定の属性

と神から与えられた責任がありますが、神が御自分の子供たちのために用意された幸福の計画において、等しく重要で不可欠な役割を担っています。<sup>2</sup> これは、主が「人が独りでいるのは良くない〔ので〕……彼のためにふさわしい助け手を造ろう」<sup>3</sup> と宣言された当初から明確なことでした。

主の計画において、「ふさわしい助け手」とは、完全なパートナーシップの下で



アダムと肩を並べて歩む伴侶のことでした。<sup>4</sup> 実際、エバはアダムの人生における天からの祝福でした。エバの持つ神から受け継いだ特質と霊的な属性のゆえに、アダムは全人類のための神の幸福の計画を彼女とのパートナーシップの下で協力して成し遂げたいと願いました。<sup>5</sup>

男女のパートナーシップを強固にする二つの基本原則について考えてみましょう。一つ目の原則は、わたしたちは皆、神にとって等しい存在であるということです。<sup>6</sup> 福音の教義によれば、神が御自分の息子と娘に与えておられる永遠の約束は、男女の違いのために覆されることはありません。永遠において、一方が他方よりも日の栄えの栄光を受ける可能性が高いということはありません。<sup>7</sup> 救い主御自身が、「御自分のもともと来て主の慈しみにあずかるよう」、神の子供であるわたしたち皆を招いておられ、主は「〔御自分〕のもとに来る者を決して拒まれ〔ません〕」<sup>8</sup> ですから、この意味で、わたしたちは皆、神の前に等しい存在であるとみなされます。

夫婦がこの原則を理解し、受け入れるとき、自分を家族の大統領または副大統領と位置づけることはないはずで、夫婦の関係に優劣はなく、どちらも相手より前に出たり、後ろに下がったりすることはしません。神の子供たちとして、対等に横に並んで歩むのです。夫婦は、思いと望みと目的において、天の御父とイエス・キリストと一つになり、<sup>9</sup> 家族をともに導きます。

対等なパートナーシップにおいて、「愛は所有するものではなく、分かち合うものであって、……わたしたち人間が協力して作り出すものの一つです。」<sup>10</sup> 「苦楽を共にする夫婦は一体となることにより、『永遠の主権』という、一人だけではなし得ない結果を生み出します。その主権は、『強いられることなく、とこしえにいつまでも』霊的な命となって二人に流れ、その子孫に受け継がれます。」<sup>11</sup>





## ブラジル

二つ目の関連する原則は、山上の垂訓で救い主が教えられた「黄金律」、すなわち「人々にしてほしいと、あなたがたの望むことを、人々にもそのとおりにせよ」<sup>12</sup>ということです。この原則は、互いに関係し合い、利益を与え合い、一致し、頼り合う姿勢を表しており、「自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ」<sup>13</sup>という大切な第二の戒めに基づいています。これは、寛容、温厚、柔和、優しさなど、クリスチャンのほかの特質とも結びついています。

この原則を実践することについて理解を深めるために、わたしたちの最初の先祖であるアダムとエバの間に神が築かれた神聖な永遠のきずなについて考えてみ

みましょう。彼らは一体となり、<sup>14</sup>一致を生み出すことにより、尊敬と感謝と愛をもつてともに歩み、自分のことは忘れ、永遠へと向かう旅路において互いの幸福を求めることができるようになったのです。

これらの特質こそ、今日の一致した結婚関係が目指すものです。神殿の結び固めを通して、男女は新しくかつ永遠の聖約によって聖なる結婚制度に入ります。この神権の位によって、二人が交わした聖約に従って生活するときに、永遠の祝福と、家庭内の事柄を導くための神聖な力を授かります。そのときから、特に家族を養い育て、管理するという神から与えられたそれぞれの責任において、主との完全な

パートナーシップの下で、互いに頼り合いながら前進していくのです。<sup>15</sup> 養い育てる責任と管理する責任は互いに関連し合い、重なり合っています。このことは、母親と父親は「対等のパートナーとして互いに助け合うという義務を負って[て]」、<sup>16</sup> 家庭において導く務めをバランスよく分担するということを意味しています。

「養い育てるとは、……[家族に] 養いを与え、教え、支えることを意味し……、家族が[愛に満ちた環境の中で] 福音の真理を学び、天の御父とイエス・キリストを信じる信仰を育[める]」ように助けることです。管理するとは、「神のみもとに戻って暮らせるように家族を導く」という

意味です。「これは、……優しさと柔和と純粋な愛をもって奉仕し、教えることにより成し遂げられます。」また「定期的な祈りと福音の研究、その他礼拝にかかわることにおいて家族を導くことが含まれます。両親はこれら〔二つの大いなる〕責任を果たすために、キリストの模範に従い、「一致して働きます。」<sup>17</sup>

家庭における統治は族長制の規範に従うことが大切であり、教会における神権指導者の務めとは幾つかの点で異なります。<sup>18</sup> 族長制の規範には、妻と夫が家庭内での神聖な責任の遂行について直接神に報告する責任が伴います。完全なパートナーシップをもって、義と責任のあらゆる原則に進んで従うことが求められ、愛と助け合いの環境の中で成長する機会が提供されます。<sup>19</sup> これらの特別な責任は上下関係を示唆することなく、いかなる種類の虐待や、権限の不適切な行使も絶対に認められません。

エデンの園を出てからのアダムとエバの経験は、家族を養い育てることと管理することにおいて母親と父親が互いに頼り合うという概念を見事に表しています。モーセ書で教えられているように、彼らは家族の身体的な福利に必要なものを提供するためにともに働き、額に汗して地を耕



マダガスカル

し、<sup>20</sup> 子供たちを地上にもたらし、<sup>21</sup> ともに主の名を呼び、「エデンの園の方向から」<sup>22</sup> 主の声を聞き、主から与えられた戒めを受け入れ、それに従うようにともに努力しました。<sup>23</sup> そして、「息子、娘たちにすべてのことを知らせ」、<sup>24</sup> 自分たちの必要に応じてともに「神に呼び求めることをやめ〔ませんでした。〕」<sup>25</sup>

愛する兄弟姉妹の皆さん、養い育てることと管理することは機会であって、独占的に制限されてはいません。何かについて一人が責任を負っているとしても、一人でそれを行うとは限りません。愛にあふれた両親がこの二つの大きな責任をよく

理解するとき、彼らは協力して子供たちの身体的および情緒的な福利を守り、世話をするよう努力します。また、子供たちが現代の霊的な危険に立ち向かえるように、預言者に啓示された主の善い言葉で子供たちを養います。

夫婦は互いに支え合いながら、神から与えられた責任を果たしますが、「心身の障害や死別、そのほか様々な状況で、個々に修正を加えなければならないことがあるかもしれません。」<sup>26</sup> 時には、一時的または永続的に、夫婦のどちらかが両方の役割を同時に果たす責任を負うことがあります。

最近、このような状況にある姉妹と兄弟に出会いました。独り親である彼らは、家族という領域の中で、主とのパートナーシップの下、自分の人生をささげて子供の霊的および物質的な世話をする決意をしています。離婚にかかわらず、主と交わした神殿の聖約と主の永遠の約束を見失わず、試練を堪え忍び、聖約の道を歩むように努力し続け、すべてのことにおいて主の助けを求めてきました。この世でだけでなく、永遠にわたって主が自分たちの必要を満たしてくださると信頼し、人生で困難な状況を経験しながらも、二人とも優しさと柔和さと純粋な愛をもって子供たちを教え、養い育ててきました。わたしの





知るかぎり、この二人の独り親は、自分の不幸を神のせいにはしていません。それどころか、彼らは完全な希望の輝きを持って、主が自分たちに用意してくださっている祝福を信頼し、待ち望んでいるのです。<sup>27</sup>

兄弟姉妹の皆さん、救い主は、目的と教義において、天の御父と一致し調和する完全な模範を示されました。主は弟子に代わって祈りをささげ、こう述べられました。「父よ、それは、あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、みんなの者が一つとなるためです。すなわち、彼らをもわたしたちのうちにおらせるためであり……、それはわたしたちが一つであるように、彼らも一つになるためです。」<sup>28</sup>

わたしたちは、女性も男性も、真の対等なパートナーシップの下でともに働くとき、結婚関係における神聖な責任を果たすことで、救い主が教えられた一致を享受することができますと証します。心は「互いに和合し、愛し合って結ばれ」、<sup>29</sup> 永遠の命を目指す旅路においてさらなる喜びを見だし、互いに仕え合い、ともに仕える能力が大いに増し加えられることを、キリストの御名により約束します。<sup>30</sup> これらの真理を、イエス・キリストの聖なる御名により証します。アーメン。■

#### 注

1. モーセ 7:18 参照
2. 「家族—世界への宣言」, ChurchofJesus Christ.org 参照
3. モーセ 3:18。創世 2:18 も参照
4. 「主は、妻が夫の助け手 (訳注—英語では「helpmeet」で、「meet」は「対等」を意味する)、つまり対等で不可欠の、完全な協力者となるよう望んでいらっしゃいます。」(『歴代大管長の教え—ハワード・W・ハンター』203)
5. モーセ 3:18—24; 4:12; 5:10—12 参照
6. ローマ 2:11; 1 ニューファイ 17:35; 2 ニューファイ 26:33 参照
7. モーサヤ 2:41 参照
8. 2 ニューファイ 26:33
9. 『聖句ガイド』「一致」の項, scriptures.ChurchofJesusChrist.org 参照
10. Madeleine L'Engle, *The Irrational Season* (1977), 48.

11. ブルース・C・ヘーフェン, マリー・K・ヘーフェン「人生の波を乗り越えて対等なパートナーになる」『リアホナ』2007年8月号, 29—30。教義と聖約 121:45—46 も参照
12. ルカ 6:31。マタイ 7:12 も参照
13. マルコ 12:31
14. 創世 2:23—24 参照
15. 「家族—世界への宣言」, ChurchofJesus Christ.org 参照
16. 「家族—世界への宣言」, ChurchofJesus Christ.org
17. 『総合手引き—末日聖徒イエス・キリスト教会における奉仕』2.1.3, ChurchofJesus Christ.org 参照
18. 教義と聖約 107:21—26 参照。『総合手引き』4.2.4 も参照
19. ダリン・H・オークス「家庭と教会における神権の権能」『リアホナ』2005年11月号, 24—27; エズラ・タフト・ベンソン「神殿について子供たちに教える」『聖徒の道』1986年4月号, 1—6 参照
20. モーセ 5:1 参照
21. モーセ 5:2 参照
22. モーセ 5:4
23. モーセ 5:5 参照
24. モーセ 5:12
25. モーセ 5:16
26. 「家族—世界への宣言」, ChurchofJesus Christ.org
27. 2 ニューファイ 31:20 参照
28. ヨハネ 17:21—22

29. モーサヤ 18:21
30. ヘンリー・B・アイリング「一つに結ばれた心」『リアホナ』2008年11月号, 68—71



イタリア



七十人  
ジェームズ・W・マッコッキー三世長老

# 彼らはイエスが どんな人か見たいと 思っていた

*わたしは、イエスが生きておられ、わたしたちを御存じであり、癒し、変え、赦す力をお持ちであられることを証します。*

兄弟姉妹と友人の皆さん、2013年に妻のローレルとわたしは、チェコ・スロバキア伝道部で伝道部指導者として奉仕するように召されました。4人の子供たちも一緒でした。<sup>1</sup> わたしたち家族は、卓越した宣教師たちや素晴らしいチェコとスロバキアの聖徒たちに恵まれました。わたしたちは彼らを愛しています。

家族で伝道地に入ったとき、ジョセフ・B・ワースリン長老の教えを携えて行きました。「いちばん大切な戒め」と題する話の中で、ワースリン長老はこう問いかけています。「皆さんは主を愛していますか。」「はい」と答えるわたしたちへの彼の助言は、簡潔かつ深遠でした。「主とともに時間を過ごしてください。主の御言葉について深く考えてください。主のくびきを負ってください。理解と従順を求めてください。」<sup>2</sup> その後、ワースリン長老は、イエス・キリストに時間と場所を喜んでささげる人々に変化が生じるという祝福を約束しました。<sup>3</sup>

わたしたちはワースリン長老の助言と約束を心に留めました。宣教師たちと一緒に、新約聖書のマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ、またモルモン書の第三ニーファイを研

究しながら、イエスとともにさらに時間を過ごしました。毎回宣教師集会の終わりには、この「五福音書」<sup>4</sup>を参照し、イエスについて読み、話し合い、考え、学びました。

わたしやローレル、また宣教師たちにとって、聖文の中でイエスと時間を過ごすことはすべてを変えました。イエスがどのような御方で、何を大切にしておられるかということに対する感謝の念が深まりました。わたしたちはともに、イエスが教えられた方法やその内容、愛を示された方法、祝福し、仕えるためにされた事柄、主の奇跡、裏切りへの対応方法、人間の難しい感情への対処、イエスの称号と名称、話を聞き、争いを解決された方法、住んでおられた世界、たとえ話、一致と思いを促された方法、イエスの赦しと癒しの力、説教、祈り、贖いの犠牲、復活、そして主の福音について考えました。

わたしたちは、イエスがエリコを通られたときに、走って行っていちじく桑の木に登った「背が低かった」ザアカイのように感じるものがよくありました。ルカの記録にあるように、「イエスがどんな人か見たいと思っていた」<sup>5</sup>からです。見たかった

のは、わたしたちがそうであるように望んだり、求めたりしていたイエスではなく、過去と現在に実在したありのままのイエスでした。<sup>6</sup> ワースリン長老が約束したように、わたしたちは、次のことを非常に現実的な方法で学びました。「イエス・キリストの福音は変化の福音です。この福音は、地上の存在であるわたしたち人間を精錬し、永遠の存在へと変化させます。」<sup>7</sup>

それは特別な日々でした。わたしたちはこう信じるようになりました。「神には、なんでもできないことはありません。」<sup>8</sup> プラハやブラチスラバ、ブルノで、イエスの力と実在性を経験した神聖な午後の思い出は、わたしたち全員の人生に影響を与え続けています。

わたしたちは頻繁にマルコ2:1-12を研究しました。この話は感動的です。マルコから直接その一部を読み、その後、宣教師やそのほかの人々とともに包括的に研究し、話し合っ理解するようになったことを分かち合いたいと思います。<sup>9</sup>



アメリカ合衆国



「幾日かたって、イエスがまたカペナウムにお帰りになったとき、家におられるというわさが立ったので、

多くの人々が集まってきて、もはや戸口のあたりまでも、すきまが無いほどになった。そして、イエスは御言を彼らに語っておられた。

すると、人々がひとりの中風の者を四人の人に運ばせて、イエスのところに連れてきた。

ところが、群衆のために近寄ることができないので、イエスのおられるあたりの屋根をはぎ、穴をあけて、中風の者を寝かせたまま、床をつりおろした。

イエスは彼らの信仰を見て、中風の者に、『子よ、あなたの罪はゆるされた』と言われた。』

イエスは、群衆の中の何人かと言葉を交わされた後、<sup>10</sup> 中風の人を見て、その体を癒されました。こう書かれています。

『あなたに命じる。起きよ、床を取りあげて家に帰れ』と言われた。

すると彼は起きあがり、すぐに床を取りあげて、みんなの前を出て行ったので、一同は大いに驚き、神をあがめて、『こんな事は、まだ一度も見たことがない』と言った。』<sup>11</sup>

ここから、わたしが理解するようになった話です。イエスは、その務めの初期に、ガリラヤの海の北岸にある小さな漁村、カペナウムに戻られました。<sup>12</sup> 最近そこで、病人を癒し、悪霊を追い出すという数々の奇跡を行われたばかりでした。<sup>13</sup> イエスと呼ばれる人の話を聞き、会いたいと切望した村人たちは、イエスの滞在がうわさされている家に集まりました。<sup>14</sup> 彼らが集まると、イエスは教え始められました。<sup>15</sup>

当時のカペナウムの住居は屋根が平らで、一階建ての家屋が集まって立てられていました。<sup>16</sup> 屋根と壁は、石と木材、粘土、わらを混ぜて造られており、家の脇に簡易的な階段があって屋上に上がることができました。<sup>17</sup> 群衆がすぐに家に集まっ



#### コロンビア

て来て、イエスが教えておられる部屋を満たし、通りにまで広がりました。<sup>18</sup>

この話は、「中風の者」<sup>19</sup>と4人の友に焦点を当てています。中風は、まひの一種で、脱力と震えを伴うことがよくあります。<sup>20</sup> わたしは、4人のうちの一人がこう言っている姿を想像します。「イエスが村に来ている。我々は皆、彼が行った奇跡と癒された人たちを知っている。友を連れて行けば、恐らく彼も治してもらえらるだろう。」

それで彼らはそれぞれ、友が横たわっているマットか床の隅を持ち上げて、カペナウムの曲がりくねった、狭い、舗装されていない通りを歩いて彼を運び始めました。<sup>21</sup> 筋肉に痛みを感じながら、彼らが最後の角を曲がると、話を聞くために集まっている人々、聖典で言うところの「群衆」が非常に多くて、イエスのもとに連れて行くのは不可能だと分かります。<sup>22</sup> 愛と信仰を持ち、4人は諦めませんでした。それどころか、彼らは急いで階段から平屋根に何とか登ると、注意深く友と床を持ち上げ、イエスが教えておられる部屋の屋根を壊して穴を開け、友を降ろします。<sup>23</sup>

考えてみてください。真剣に教えを説いておられた最中に、イエスが物を引っかく音を聞いて見上げられると、天井の穴が大きくなり、ほこりとわらが室内に落ちて

きます。その後、体がまひしている人の床が降ろされてきます。意外なことに、イエスは、これが妨害ではなく、重要なことであると判断されます。イエスは床に寝かされた男を見て、公然と彼の罪を赦し、彼の身体を癒されます。<sup>24</sup>

マルコ2章の話を念頭に置くと、キリストとしてのイエスについて、幾つかの重要な真理が明らかになります。第1に、わたしたちは、愛する人がキリストのもとに来るのを助けようとするとき、キリストには罪の重荷を軽くし、赦す力をお持ちであるという確信を持ちながら行うことができます。第2に、わたしたちは、身体的、情緒的、あるいはそのほかの病気をキリストのもとに持っていくとき、キリストは癒して慰める力をお持ちであると知りながら行くことができます。第3に、わたしたちは、あの4人のようにほかの人をキリストのもとに連れて行こうと努めるとき、キリストがわたしたちの真意を御存じで、それを正しく尊重してくださると確信して行うことができます。

覚えておってください。イエスの説教は、屋根に開いた穴により中断させられました。穴を開けて割り込んできた4人を非難したり追い出したりせずに、聖文によれば、「イエスは彼らの信仰を見[た]」<sup>25</sup>のです。その奇跡を目にした「群



メキシコ

衆は……恐れ、こんな大きな権威を人にお与えになった神をあがめた。<sup>26</sup>

兄弟姉妹の皆さん、さらに気づいたことを二つ述べて終わります。宣教師、ミニスターリングをする人、扶助協会会長、ビショップ、教師、親、きょうだい、友人など、どのような関係であろうと、わたしたちは皆、末日聖徒の弟子として、ほかの人々をキリストのもとに導く業に携わっています。したがって、4人の友が示した特質は、深く考慮して見習う価値があります。<sup>27</sup> 彼らには、勇気や適応力、レジリエンス、創造力、融通性、希望、決断力、信仰があり、楽観的で、謙遜で、忍耐力があります。

さらに、4人は地域社会とフェローシップの霊的な重要性も強調しています。<sup>28</sup> 友をキリストのもとに連れて行くために、4人はそれぞれ床の隅を持って運ばなければなりません。もし一人が手を離せば、事態は困難になります。もし二人が諦めると、作業は事実上不可能になります。神の王国では、わたしたち一人一人に果たすべき役割があります。<sup>29</sup> その役割を果たすとき、わたしたちは床の隅を持って運んでいることになります。アルゼンチンかベトナムか、アクラかブリスベンか、支部かワードか、家族か宣教師の同僚かにかかわらず、一人一人に運ぶべき床の隅があります。それを行うとき、またはこれから行うなら、主はわたしたち皆を祝福してください。主は彼ら4人の信

仰を見たように、わたしたちの信仰を見て、一つの民として祝福してください。

わたしは、様々な時期に床の隅を持って運んできましたし、別のときには、自分が運ばれました。イエスのこのすばらしい話は、キリストのもとに来て変えられるために、わたしたちが兄弟姉妹としてどれほど互いを必要としているか、思い出させてくれます。

わたしは、マルコ2章でイエスとともに時間を過ごして、これらのことを学びました。

「わたしたちが〔自分に託された隅を持って運ぶ〕ことができますように。義務を怠ることや恐れることがありませんように。強い信仰を持ち、しっかりと働き、主の目的を達成することができますように。」<sup>30</sup>

わたしは、イエスが生きておられ、わたしたちを御存じであり、癒し、変え、赦す力をお持ちであられることを証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. イヴイー、ウィルソン、ハイラム、ジョージ。
2. ジョセフ・B・ワースリン「いちばん大切な戒め」『リアホナ』2007年11月号、30
3. ワースリン長老によって確認された祝福には、愛を深める能力、神の戒めに進んで従い応じる意欲、ほかの人々に奉仕したいという思い、絶えず善を行う気質が含まれます。
4. 「福音書は……4人の異なる福音伝道者、すなわち福音書記者の名前が付されていて、イエスの生涯と教え、またイエスの苦しみと死と復活についての4部から成る記録です。」(Anders Bergquist, "Bible" in John Bowden, ed., *Encyclopedia of Christianity*,

[2005], 141). Bible Dictionary (『聖書辞典』)には、次のような追記があります。「『福音』という言葉は『良い知らせ』を意味する。良い知らせとは、イエス・キリストが全人類を贖うために完全な贖罪を成し遂げられたという知らせである。……イエス・キリストの現世での生涯の記録と、イエスの務めに関連する出来事の記録が、福音書と呼ばれている。」(Bible Dictionary, "Gospels"). ヒラマンの孫であるニーファイによって記録された第三ニーファイには、十字架の刑のすぐ後に、復活されたイエス・キリストがアメリカ大陸に現れて教えを述べられたことが記録されているため、それも「福音書」と呼ばれることがあります。福音書は特に力強いものです。イエス御自身が積極的に教え、かかわっておられる様々な出来事と状況が記録されているからです。それらは、キリストとしてのイエス、わたしたちと主の関係、主の福音を理解するための重要な出発点です。

5. ルカ19:1-4参照。モルモン書ヤコブ4:13(御霊は「現在のことをありのままに示し、未来のこともまた、ありのままに述べられる」と説明されている)と教義と聖約93:24(真理を「現在あるとおりの、過去にあったとおりの、また未来にあるとおりの、物事についての知識」と定義している)も参照
6. J・ルーベン・クラーク管長も同様に、「実在の御方である救い主の生涯」を研究するように奨励しました。彼はほかの人々に、イエス・キリストの生涯に関する聖典の話の中に入り、努めて「救い主と同行し、ともに生活し、救い主を実在の人とする」ように勧めました。救い主は「もちろん半分は神ですが、それでもその時代の男性のように行動しておられます。」さらにクラーク管長はこう約束しました。そのような努力は「ほかでは得られないと思うほどの、救い主のような物事の見方、救い主との親密さをあなたに与えます。……救い主が何を、何を考え、何を教えられたか学んでください。主が行われたように行ってください。可能なかぎり、救い主が生活されたように生活してください。救い主は完全な御方でした。」(*Behold the Lamb of God* [1962], 8, 11). 歴史の観点からイエスを研究することの価値と理由については、以下を参照してください: N. T. Wright and Michael F. Bird, *The New Testament in Its World* (2019), 172-87.
7. ジョセフ・B・ワースリン「いちばん大切な戒め」29
8. ルカ1:37
9. わたしはチェコ・スロバキア伝道部の宣教師とマルコ2:1-12について定期的かつ長期にわたって行った話し合いに加えて、ソルトレーク・ハイランドステーキの宣教師の備えクラスの若い男性と若い女性、ならびにソルトレーク・パイオニア YSA ステークの指導者や会員とともに、この聖句を検討して学んだレッスンにも感謝しています。
10. マルコ2:6-10参照
11. マルコ2:11-12



12. See Bruce M. Metzger and Michael D. Coogan eds., *The Oxford Companion to the Bible* (1993), 104; James Martin, *Jesus: A Pilgrimage* (2014), 183-84.
13. マルコ 1: 21 - 45 参照
14. マルコ 2: 1 - 2 参照
15. マルコ 2: 2 参照
16. See Metzger and Coogan, *The Oxford Companion to the Bible*, 104; William Barclay, *The Gospel of Mark* (2001), 53.
17. See Barclay, *The Gospel of Mark*, 53; see also Martin, *Jesus: A Pilgrimage*, 184.
18. マルコ 2: 2 - 4 参照。See also Barclay, *The Gospel of Mark*, 52-53. パークレーはこう述べています。「パレスチナの生活は非常に開放的でした。朝、家の戸が開けられると、望む人はだれでも出入りすることができました。だれかが意図的にプライバシーを守ろうとしないうちが、戸は決して閉められません。戸が開いていれば、入って来るようにすべての人が招待されているということでした。[マルコ 2 章に述べられている家]のような質素な家には玄関ホールはなく、入り口のすぐ前は通りでした。そのため、すぐに家は集まった人々でいっぱいになり、入り口の周りの歩道は身動きが取れなくなりました。そして、彼らは皆、イエスの言われることに熱心に耳を傾けていました。」
19. マルコ 2: 3
20. See *Medical Dictionary of Health Terms*, "palsy," health.harvard.edu.
21. See Martin, *Jesus: A Pilgrimage*, 184.
22. マルコ 2: 4
23. マルコ 2: 4 参照。See also Julie M. Smith, *The Gospel according to Mark* (2018), 155-71.
24. マルコ 2: 5 - 12 参照
25. マルコ 2: 5; 強調付加
26. マタイ 9: 8。マルコ 2: 12; ルカ 5: 26 も参照
27. 教義と聖約 62: 3 には次のように説明されています。主の僕たちは「祝福されている。あなたがたが述べた証は……天で記録されているからである。そして……あなたがたの罪は赦されている。」
28. M・ラッセル・バラード「キリストに希望を抱く」『リアホナ』2021年5月号, 55 - 56。バラード会長は、「帰属意識」が身体と霊の両方の健康にとって重要であることを語り、次のように述べています。「わたしたちの定員会、組織、ワード、ステークのすべての会員には、神から与えられた賜物や才能があり、今わたしたちが神の王国を築くうえで助けとなりませぬ。」 See also David F. Holland, *Moroni: A Brief Theological Introduction* (2020), 61-65. ホランドは、モロナイ 6 章について、また信仰を共有する社会への参加と交わりによって自分をもっと天に近づける個人的な霊的経験を促す方法について、語っています。
29. ディーター・F・ウークトドルフ「自分の立っている場所で持ち上げる」『リアホナ』2008年11月号, 56 参照。ウークトドルフ長老は次のように説明しています。「だれも主の業を一人で推し進めることはできません。しかし、わたしたち皆が主に任命されたそれぞれの場所で肩を寄せ合って立ち、自分の立っている場所で持ち上げるなら、何者もこの神聖な業を推し進めるのを妨げられないのです。」黄志康「一致して救助する」『リアホナ』2014年11月号, 15 も参照。黄長老はマルコ 2: 1 - 5 を参照し、次のように教えています。「救い主を助けるためには、わたしたちは結束し、一致して働かなければなりません。どの人も、どの召しも大切です。」
30. Oscar W. McConkie, in Conference Report, Oct. 1952, 57.



コートジボワール



七十人  
ホルヘ・F・ゼバヨス長老

# サタンに耐え得る 生活を築く

わたしたちが引き続き、御父が設計された神の計画と仕様書に従って生活を築けるよう祈ります。

長年、このカンファレンスセンターの美しい檀上から、すばらしい勧告と靈感、教え、啓示を受けてきました。折に触れて、話者が自分の精通している分野や経験に関連したたとえを用いて、イエス・キリストの福音の原則を明確かつ力強く説明することがあります。

それによりわたしたちは、例えば飛行機や飛行について学び、最初のほんのわずかな逸脱により、元の目的地から遠く離れた場所へ行き着くことなどを学びました。<sup>1</sup> また、実際の心臓と、主に従うようにという主の招きに応じるのに必要な、大き

な心の変化との比較からも学びました。<sup>2</sup>

今回は、わたしの職業に関して自分が学んできた分野から靈感を受けたたとえを加えさせていただきたいと思います。土木工学の世界の話です。大学で学び始めた当初より、わたしは一定の条件を満たして、当時「地震の揺れに対抗する」と考えられていた建物などの構造物の設計方法を教えてくれる授業を取ることを夢見ていました。

そしてついに、この教科の授業初日を迎えました。教授は開口一番、このように述べました。「皆さんは、このコースを学

び、地震に対抗する構造物の設計方法を学びたいと確かに思っていることでしょう。」これに対して、多くの学生が大きくなってきました。それから、教授はこのように言いました。「残念ながらそれはできません。なぜなら、わたしは『対』、つまり地震に対抗する建物の設計方法を教えることはできないからです。いやが応でも地震は起こるため、対抗するなど無意味です。」

それから、このように付け加えました。「わたしが教えられるのは、『耐震』構造物の設計方法です。耐震構造とは、地震から生み出される力に耐え、深刻な被害を被ることなく建ち続け、造られた目的であるサービスを提供し続けられる構造物です。」

技師は、基礎や柱、梁、コンクリート平板、設計中のその他の構造物の諸要素の、寸法や性質、特徴を示す計算をします。その結果は、計画や技術仕様書に作り替えられます。計画を実現し、その設計と建設の目的を果たせるように、建設業者は計画や仕様書に厳密に従わなければなりません。

耐震工学のその最初の授業から40年以上たった今でも、その後の職業人生で





自分が設計する構造物において耐震の概念が重要だとさらに深く理解し始めたときのことを鮮明に覚えています。それだけでなく、さらに重要なことは、この概念が自分自身の人生における教化の過程で、また自分が良い影響を及ぼす相手の人生において、常に存在するということです。

天の御父が定められた救いの計画の知識に頼り、イエス・キリストの回復された福音の恩恵を受け、生ける預言者の霊感あふれる導きに頼ることのできるわたしたちは何と恵まれているのでしょうか！これらのものはすべて、神が設計された「計画」と「技術仕様書」を構成し、幸福な生活を築く方法を明確に教えてくれます。罪に耐え、誘惑に耐え、天の御父や愛する家族とともに暮らすという永遠の行く末をくじこうと精力的に画策するサタンの攻撃に耐え得る生活を築く方法を教えてくれるのです。

救い主御自身も、教導の業の初めに悪魔の誘惑にさらされました。<sup>3</sup>しかし、イエスはその大きな試しを首尾よく切り抜けられました。サタンに対抗する、あるいは誘惑に対抗する姿勢を示すことで、どのような結果になったのでしょうか。イエスが最も困難な瞬間を見事に切り抜けられた理由は、霊的な備えにほかなりません。そのおかげで、イエスはサタンの誘惑に耐え得る状態にあられたのです。

救い主がその重要な局面に備えられる助けとなった要因にはどのようなものがあったのでしょうか。

まず、主は四十日四十夜断食されました。その断食には、絶えず祈りが伴っていたに違いありません。そのため、主は身体的には弱い状態でありながら、その霊はとても強かったのです。幸い、わたしたちはそのような期間にわたって断食するよう求められてはいません。その代わりに、1か月に1回、24時間だけ断食するよう求められており、その断食により、霊

的な強さがもたらされ、この世の試練に耐える備えができます。

次に、救い主が誘惑を受けられた話の中で、主は常に聖文を念頭に置き、聖文を引用し、聖文を適切な瞬間に用いながらサタンに答えられたことが分かります。

サタンが、石をパンに変えて長時間にわたる断食の飢えをしのぐよう主を誘惑したときに、主はこのように言われました。「『人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言で生きるものである』と書いてある。』<sup>4</sup>その後、主が宮の頂上におられたときに、サタンが主の力を示すよう誘惑したときに、主は権能をもってこのように答えられました。「『主なるあなたの神を試みてはならない』とまた書いてある。』<sup>5</sup>また、サタンの3つ目の試みに対して、主は次のように答えておられます。「『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ』と書いてある。』<sup>6</sup>

地震が起こると、適切に設計され建設された構造物にもその痕跡が残ります。例えば、割れ目ができたり、家具が倒れたり、天井が落ちたり、窓が破損したりという結果を引き起こします。しかし、このよう設計され建築された建物は、その居住者を守るという目的を果たし、修繕すれば元の状態を取り戻します。

同様に、神の完璧な設計どおりに生活を築こうと努力していても、サタンの打撃により、生活の中に「割れ目」や部分的な破損が引き起こされることがあります。これらの「割れ目」は、間違いを犯したことや、すべてを完璧にできないこと、あるいは自分が望むほど良い人間ではないことに対して、悲しみや後悔の念を抱くという形で表れることがあります。

しかし、ほんとうに大切なことは、神が設計された計画と仕様書、つまりイエス・キリストの福音に従ったために自分がまだ立っている、ということです。生活という構造物は、サタンの試みやわたしたちが直面せざるを得なかった困難な状況の



ために破壊されてはいません。むしろ、前進する備えができています。

人が存在する目的として聖文の中で約束されている喜び<sup>7</sup>は、一つも困難や悲しみを経験しない、つまり誘惑や逆境の結果である「割れ目」がない、あるいは地上の生活における実際の試練を免れるという意味だと捉えるべきではありません。

この喜びは、このように語ったニーファイの人生に対する視点と関連しています。「わたしはこれまでの人生で多くの苦難に遭ったが、生まれてこのかた主の厚い恵みを受け[た]。』<sup>8</sup>「生まれてこのかた」です。つまり、ニーファイが自分の兄たちから理解されず拒まれて苦しんでいたときも、兄たちに船で縛られたときも、父であるリーハイが亡くなったときも、レマンとレムエルがニーファイ人の敵となったときもです。そのような苦しい時期でさえ、

ニーファイは主の厚い恵みを受けていると感じていたのです。

わたしたちが耐えられないような誘惑を受けることを主がお許しにならないと知り、安心できます。アルマは次のように招いています。「自分が耐えられないような誘惑を受けないように、目を覚ましていて絶えず祈りなさい。そのようにして、聖なる御霊の導きを得て、謙遜、柔和、従順になり、忍耐強くなり、愛に富み、限りなく寛容になって……ほしい。」<sup>9</sup>

同じことが、人生の試練にも言えます。アンモンは主の言葉について思い出させています。「行き、忍耐して苦難に耐えなさい。そうすれば、あなたがたに成功を



日本

得させよう。」<sup>10</sup>

わたしたちが逆境や誘惑、理解できない状況、弱さ、さらには死に直面するときに、主は常に助けてくださいます。主はこのような述べておられます。「さて、まことに、あなたがたに言う。そして、わたしは一人に言うことをすべての者に言う。幼い子供たちよ、元気を出しなさい。わたしはあなたがたの中におり、あなたがた

を見捨てていないからである。」<sup>11</sup> 主は決してわたしたちをお見捨てになりません。

わたしたちが引き続き、御父が設計され、救い主イエス・キリストを通して実現された神の計画と仕様書に従って生活を築けるよう祈ります。このようにして、救い主の贖罪を通してわたしたちに及ぶ恵みのおかげで、わたしたちが首尾よく、罪や誘惑に耐え得る人生を築き、人生の悲しみや困難な時期を耐え忍ぶ強さを得ることができるでしょう。さらに、御父と救い主の愛を通して約束されているあらゆる祝福にあずかれる状態に到達できます。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ディーター・F・ウークトドルフ「わずかな誤差」『リアホナ』2008年5月号, 57 - 60
2. デール・G・レンランド「心の大きな変化を抱き続ける」『リアホナ』2009年11月号, 97 - 99
3. ジョセフ・スミス訳マタイ 4:2 から和訳(欽定訳マタイ4:2, 注釈c)
4. マタイ4:4
5. マタイ4:7
6. マタイ4:10
7. 2 ニーファイ2:25 参照
8. 1 ニーファイ1:1
9. アルマ13:28 - 29
10. アルマ26:27
11. 教義と聖約61:36





十二使徒定員会  
D・トッド・クリストファーソン長老

# 帰属の教義

わたしたち各個人にとって帰属の教義は次のことに集約されます。わたしは福音の聖約において主と一つです。

末日聖徒イエス・キリスト教会における帰属の教義と呼ぶものについてお話ししたいと思います。この教義は、3つの部分から成っています：(1) 主の聖約の民を集めることにおける帰属の役割、(2) 帰属における奉仕と犠牲の重要性、(3) 帰属におけるイエス・キリストの中心的な役割です。

初期の末日聖徒イエス・キリスト教会は、おもに北アメリカと北ヨーロッパの白人の聖徒たちから成っており、それに比較的少数のアメリカ先住民、アフリカ系アメリカ人、太平洋諸島の人々がいました。創立200周年を迎えてから8年たった今、教会は北アメリカや、それ以上に世界のその他の地域において、人数と多様性が大幅に増加してきました。

長年預言されていた末日における主の聖約の民の集合が勢いを増すにつれ、教会は真にあらゆる国民、部族、国語の民、民族から成る会員で構成されるようになります。<sup>1</sup> これは計算された、あるいは強制された多様性ではなく、わたしたちが自然に生じる現象として想定しているものです。福音の網により、あらゆる国からあらゆる人々が集められるからです。

あらゆる大陸において、またわたしたちの近隣においてシオンが同時に確立されるのを目にすることができているのは、何と祝福されていることでしょうか。預言者ジョセフ・スミスが述べているように、あらゆる時代の神の民は、喜びに満ちた期

待を胸に今日を待ち望んできました。そして、「わたしたちは、末日の栄光をもたらすために神に選ばれている恵まれた民です。」<sup>2</sup>

この特権を与えられたわたしたちは、末日のキリストの教会に人種差別や部族の偏見、その他の分裂が存在することを認めることができません。主はわたしたちに次のように命じておられます。「一つとなりなさい。もしもあなたがたが一つでなければ、あなたがたはわたしのものではない。」<sup>3</sup> わたしたちは、偏見や差別を教会や家庭、そして何よりも心の中から根こそぎ取り去るよう熱心に取り組む必要があります。教会の人口構成がますます多様化するにつれ、わたしたちが人々を歓

迎するときには、それがさらに自然と出て来る、温かいものとならなければなりません。わたしたちにはお互いが必要なのです。<sup>4</sup>

コリント人への第一の手紙の中で、パウロは、教会でバプテスマを受ける人は皆、キリストのからだにあって一つであると宣言しています。

「からだ一つであっても肢体は多くあり、また、からだのすべての肢体が多くあっても、からだは一つであるように、キリストの場合も同様である。

なぜなら、わたしたちは皆、ユダヤ人もギリシヤ人も、奴隷も自由人も、一つの御霊によって、一つのからだとなるようにバプテスマを受け、そして皆一つの御霊を飲んだからである。……

それは、からだの中に分裂がなく、それぞれの肢体が互にいたわり合うためなのである。

もし一つの肢体が悩めば、ほかの肢体もみな共に悩み、一つの肢体が尊ばれると、ほかの肢体もみな共に喜ぶ。」<sup>5</sup>

帰属意識は、わたしたちの肉体的、精神的、霊的な幸福にとって重要です。しかし、それでも時として、なじめないと感じることもあるかもしれません。落胆する



フィンランド



とき、主の高い標準やほかの人々の期待に沿うことなど決してできないと感じるかもしれません。<sup>6</sup> わたしたちは無意識のうちに、主の期待とは異なる期待を他人に、あるいは自分自身にさえ課すことがあります。わたしたちは、それとなく、人の価値が特定の成果や受けている召しに基づいているというメッセージを送ってしまうことがあるかもしれません。しかし、わたしたちの立場は主の目から見てそのような尺度では測られません。「主は心を見[られます]」。<sup>7</sup> 主は、わたしたちの望みや切望、そしてわたしたちがどのような者になろうとしているかということに気にかけておられます。<sup>8</sup>

ジョディー・キング姉妹は、自分の過去の経験について次のように書いています。

「夫のキャメロンとともに不妊で悩むようになるまで、わたしは教会に居場所がないと感じたことなどありませんでした。もともと子供や家族を見ることに教会で喜びを感じていたのに、それが悲しみと心の痛みの原因になってきたのです。

子供を抱いていないことや手におむつの袋を下げていないことに、気まずさを感じました。……

日曜日でいちばんつらかったのは、新しいワードに初めて行った日でした。子供がいないために、新婚なのか、いつ子供を産むつもりなのかと聞かれました。それまでわたしは、このような質問に自分が傷つかないように、そつなく答えてきました。

彼らは傷つけるつもりで聞いているのではないのです。

ところが、この日曜日だけは、そのような質問に答えることが特につらく感じました。妊娠を期待して検査したところ、またもや、妊娠していないことが分かったばかりだったのです。

失意のどん底で聖餐会に来ていたため、初対面でよく聞かれるこの質問がこたえました。

でも、心がずたずたになったのは日曜学校のときでした。母親の神聖な役割に関するレッスンのはずでしたが、すぐに風向きが変わって、憂さ晴らしの時間になったのです。わたしの心は沈み、涙が頬を伝いました。わたしが何よりも求めていた祝福について女性たちが不平を言っていたからです。

わたしは教会を飛び出しました。最初は、戻りたくありませんでした。二度とあの疎外感を味わいたくないと思ったのです。しかしその晩、夫と話して分かったのは、これからもわたしたち夫婦は教会に通い続けるということでした。それは、主が命じておられるからだけでなく、教会で聖約を新たにしてお霊を感じることから来る喜びはその日わたしが感じた悲しみよりも大きいことが分かっていたからです。……

教会員の中には、夫に先立たれた人や離婚した人、独身の人がいます。福音から離れてしまった家族を持つ人、不治の

病にかかっている人や経済的に困っている人、同性に引かれる気持ちを感じる人、依存症や疑問を克服しようと努力している人、改宗したばかりの人、転入者、子供が巣立って寂しい思いをしている人もいて、挙げればきりがありません。……

救い主は、状況がどうであれ、御自分のもとに来るようにとわたしたちを招いておられます。わたしたちが教会に来るのは、聖約を新たにし、信仰を深め、平安を見いだし、主が現世で完全に行われたように、自分の居場所がないと感じている人にミニスターリングを行うためです。<sup>9</sup>

パウロは、教会とその役員は、「聖徒たちをととのえて奉仕のわざをさせ、キリストのからだを建てさせ、

わたしたちすべての者が、神の子を信じる信仰の一致と彼を知る知識の一致とに到達し、全き人となり、ついに、キリストの満ちみちた徳の高さにまで至るため」<sup>10</sup> に神から与えられていると説明しました。

そして、悲しく皮肉なことは、人生のあらゆる面で理想が満たせていないと感じている人が、神がその理想に近づけるよう準備してくださった組織を、自分には合わないものとして結論づけてしまうことです。

主の御手と主から託された人々に裁きを委ね、最善を尽くして互いに愛して接する心を持つことに満足しましょう。「貧しい人、体の不自由な人、目の見えない人、足の悪い人など〔つまりは皆〕を、連れて」<sup>11</sup> 主の大いなる祝宴に出られる方法



を主に尋ね求めましょう。

帰属の教義の第2の側面は、わたしたち自身の貢献に関連しています。意識することはほとんどないかもしれませんが、帰属感の大部分は、わたしたちがほかの人々や主のために払う奉仕と、ほかの人々と主のために払う犠牲から来ています。個人的な必要や自分自身の安楽に集中しすぎると、帰属感が満たされなくなる場合があります。

わたしたちは、

「あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、仕える人とな〔らなければならぬ〕、……

人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人があがないとして、自分の命を与えるためである」<sup>12</sup>という救い主の教義に従うよう努めるのです。

帰属意識は、わたしたちが待つときにはなく、互いに助け合うために手を差し伸べるときにもたらされます。

今日、残念ながら、大義のために自分自身をささげることや、だれかのために何かの犠牲を払うことは反文化的とみなされつつあります。昨年、*Deseret Magazine* (『デゼレト誌』)の一部で、著者のロッド・ドレハーは、ブダペストに住む若い母親との会話について次のように語っています。

「ブダペストの路面電車で、30代前半の友人(ここではクリスティナと呼ぶ)と一緒にいて、亡くされた旦那さんとともに共産主義国家の迫害に耐えたある年配の(キリスト教徒の)女性取材する途中のことです。町の通りを走る電車で揺られながら、クリスティナは、妻であり、幼い子供たちの母として直面する困難について、同年代の友人に正直に打ち明けるのがどれだけ難しいか話しました。

母や妻といった役割に慣れようとしている若い女性にとって、クリスティナの困難はまったくもって普通のものでした。しかし、同世代の中に蔓延する人生観が基に

なれば、人生の困難は人としての福利を脅かすものであり、避けるべきものとなります。妻と夫の間に言い争いがあれば、別れるべきだというのが彼らの意見です。子供がいていただつことがあれば、保育所に預ければよいのだ、と。

試練や苦しみであれ、それは人生で当然あるもので、忍耐強くあることや優しくあること、愛する方法を教えてくれるのであれば、それはより良い人生に欠かせないものとさえ言えます。それを友人たちが理解できないことにクリスティナは不安を感じています。

……ノートルダム大学の宗教社会学者であるクリスチャン・スミスは18歳から23歳の成人を対象とした研究で、彼らのほとんどが社会について、それは『人生を楽しむためにそこに存在する独立した個人の集まり』に過ぎないと思っていることを発見しました。<sup>13</sup>

この考え方によれば、人が困難だと感じるものは何でも「抑圧」<sup>14</sup>の一つとなります。

それとは対照的に、わたしたちの先人である開拓者の人々は、伝道に出て、神殿

を建て、迫害に遭う中、快適な家を捨てて再出発するという犠牲を払い、またそのほかのあらゆる方法でシオンの大義のために自らと、その取り得る手段をささげることによって、キリストに対する深い帰属意識、一致と希望を得ました。必要であれば、自分たちの命さえも進んで犠牲にできるほどでした。わたしたちは皆、彼らの忍耐の恩恵を受けています。同じことが、バプテスマの結果として家族や友人、また雇用の機会を失ったり、差別や不寛容に苦しんだりするかもしれない状況にある現代の多くの人にも当てはまります。しかし、彼らが得た報いは、聖約の民の中での強い帰属意識です。主の大義のために犠牲を払うことは、多くの人のために御自分の命を代価としてささげられた主とともにいられる場所をわたしたちが自らのために確保する助けとなります。

帰属の教義の、最後の最も重要な要素は、イエス・キリストの中心的な役割です。会員との交わりは大切ですが、わたしたちはそれだけのために教会に入るのではありません。わたしたちはイエス・キリストの愛と恵みにより贖罪を身に受けるために



エクアドル

教会に入ります。また、自分自身と、幕の両側にいる愛する人々のために救いと昇栄の儀式を確約するため、主の再臨に備えてシオンを確立するための偉大な取り組みに参加するために教会に入ります。

教会は、神が聖なる神権の儀式を通してわたしたちに与えられる救いと昇栄の聖約を管理しています。<sup>15</sup> これらの聖約を守ることによって、この上なく深い帰属感を得ることができるのです。ラッセル・M・ネルソン大管長は最近このように記しています。

「皆さんやわたしが神と聖約を交わすと、わたしたちと神との関係は、聖約の前よりもはるかに近づきます。今やわたしたちはともに結ばれているのです。わたしたちが神と交わしている聖約のゆえに、神は決してうむことなくわたしたちを助けてくださり、わたしたちに対する神の憐れみ深い忍耐が尽きることは決してありません。わたしたちは一人一人が、神の心に特別な場所を得ています。……

イエス・キリストはそれらの聖約の保証人であられます（ヘブル7:22;8:6参照）。<sup>16</sup>

このことを覚えていれば、わたしたちに対する主の高い望みは、わたしたちを動機付けるものであって、落胆させるものではありません。

個人として、また共同で、「キリストの満ちみちた徳の高さにまで至る」<sup>17</sup> ことを追い求めることで喜びを感じることができます。落胆や挫折を味わうことはあろうとも、それは壮大な探求です。わたしたちは、どのような艱難があろうと、約束された祝福がなかなか訪れない状態であろうとも、「勇気を出[すことができます。]……[イエス・キリストが]すでに世に勝って[おられ]」、<sup>18</sup> わたしたちは主とともにあるからです。御父と御子と聖なる御霊と一つになることは、疑う余地もなく、帰属するということに関して究極のものです。<sup>19</sup>



したがって、帰属の教義はわたしたち各個人が断言することのできる次のことに集約されます。イエス・キリストがわたしのために亡くなられたこと、つまり主がわたしを御自身の血を流すに値すると判断されたことです。主はわたしを愛しておられ、わたしの人生に大きな違いを生み出してください。主の恵みはわたしを変えてくれます。悔い改めるとき、主の恵みはわたしを変えてくれます。わたしは福音の聖約において主と一つです。主の教会と王国に属しており、神のすべての子供たちに贖いをもたらす神の大義に属しているのです。

皆さんに帰属する場所があるということイエス・キリストの御名により証します。アーメン。■

#### 注

1. 黙示5:9参照。1ニーファイ19:17;モーサヤ15:28;教義と聖約10:51;77:8, 11も参照
2. 『歴代大管長の教義—ジョセフ・スミス』186
3. 教義と聖約38:27
4. ある鋭い観察者はこう指摘しました。  
「個人で完結する宗教というものは、現代に至るまで人類の歴史の中で知られていませんし、そのようなものが存在しないのが妥当です。そのような宗教は、本を読んだりテレビを見たりするといったことのように、すぐに一人または複数の人の内向的な楽しみや趣味の一種というレベルにまで成り下がってしまいます。ですから、霊性の探求というものが、流行のものになってきたのも驚くことではありません。それは、宗教から解放された個人が、宗教に代わるものとして必死に求めた結果なのです。  
霊性は確かにすべての宗教に欠かさない要素です。ただ、それはわずかな一部なのであって、全体に取って代わることもできるものではありません。宗教は、時折神秘的な経験をさせてくれるある種の超能力訓練などではありません。それは、その人の人生のすべて

を形作るものか、あるいはいかなる心理療法も手が届かないような不安で空っぽな魂を残し、消え去ってしまうものかのどちらかです。宗教が自分の人生を形作るものとなるためには、公的で共同のものである必要があります。それは死者やまだ生まれていない者をもつなぐものでなければなりません。」(Irving Kristol, "The Welfare State's Spiritual Crisis," *Wall Street Journal*, Feb. 3, 1997, A14).

5. 1コリント12:12-13, 25-26
6. ラッセル・M・ネルソン「完成への道」『聖徒の道』1996年1月号, 95-98; ジェフリー・R・ホランド「それだから、あなたがたもいずれ完全な者となりなさい」『リアホナ』2017年11月号, 40-42参照
7. サムエル上16:7
8. ジェフリー・R・ホランド長老が述べているように、「愛の深い御父はわたしたちすべての者に『ありのままに來なさい』と言われますが、しかし『ずっとありのままではいけません』と付け加えられます。自分では思いも寄らなかったほどの姿へ導こうと、神が決意しておられることを思い出し、わたしたちはほほえむのです。」(『歌われる歌と歌われない歌』『リアホナ』2017年5月号, 51)
9. ジョディー・キング「不妊というレンズを通して教会に自分の居場所を見い出す」『リアホナ』2020年3月号, 46, 48-49
10. エペソ4:12-13
11. ルカ14:21
12. マルコ10:43, 45; 強調付加
13. Rod Dreher, "A Christian Survival Guide for a Secular Age," *Deseret Magazine*, Apr. 2021, 68.
14. Dreher, "A Christian Survival Guide for a Secular Age," 68.
15. 教義と聖約84:19-22参照
16. ラッセル・M・ネルソン「永遠の聖約」『リアホナ』2022年10月号, 6, 10
17. エペソ4:13
18. ヨハネ16:33
19. ヨハネ17:20-23参照。「わたしは、預言者たちと使徒たちが書き記してきたイエスを求めるように、あなたがたに勧めたい。そうすれば、父なる神と主イエス・キリストと、この御二方のことを証される聖霊の恵みが、とこしえにあなたがたの内にとどまるであろう。」(エテル12:41)





管理ビショップ  
ジェラルド・コセー ビショップ

# わたしたちの現世での 管理人の職

地球と同胞を愛して大切に  
する人々には、すばらしい霊的な  
祝福が約束されています。

妻とわたしは、最近、わたしたちの母国フランスを訪れた折に、数人の孫を小さな町ジヴェルニーにあるすばらしい庭園に連れて行きました。わたしたちは、その小道を歩き、美しい花壇や優雅な睡蓮の花、池に映る光を眺めながら楽しい時を過ごしました。

このすばらしい場所は、偉大な画家クロード・モネという一人の人物による創造的な情熱から生まれたものです。モネは40年間、絵画制作の場とするために、心を込めて自分の庭を造り、育てました。モネは美しい自然に浸りながら、自分が感じた感動を絵筆に託して、色と光の描写



「睡蓮の池」(クロード・モネ) 1899年

を表現したのです。彼は、何年にもわたって、自分の庭からじかにインスピレーションを受けて、何百点ものすばらしい絵画コレクションを作り上げました。

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは周囲にある美しい自然との触れ合いによって、生涯における最も感動的で楽しい経験を数々得ることができます。その感動は、山や川、植物や動物など、このすばらしい地球を創造してくださった天の御父と御子イエス・キリスト、そして最初の先祖であるアダムとエバに対する深い感謝の念をわたしたちの心に抱かせます。<sup>1</sup>

創造の業は、それ自体が目的ではありません。それは、神の子供たちのために作られた神の計画にとって不可欠な一部です。その目的は、人が試され、選択の自由を行使し、喜びを見だし、学び成長できる環境を提供することです。そのようにして、いつの日か、人は創造主のみもとに戻り、永遠の命を受け継ぐことができるのです。

これらのすばらしい創造物は、ひとえにわたしたちを益するために備えられたものであり、創造主が子供たちを愛しておられることを示す生きた証なのです。主はこう述べておられます。「まことに、……地から生じるすべてのものは、人の益と利用のため、目を楽しませ、心を喜ばせるた

めに造られている。」<sup>2</sup>

しかし、神聖な賜物である創造物は、義務と責任を伴わずに与えられているわけではありません。これらの義務は、管理人の職の概念によって最もよく説明されます。福音の用語で、「管理人の職」という言葉は、神の所有物であるものを管理するための霊的面もしくは物質面での神聖な責任を意味し、それに対してわたしたちは責任を負っています。<sup>3</sup>

聖典で教えられているように、わたしたちの現世での管理人の職には、次の原則が含まれます。

**第1の原則：地球全体は、地上にいるすべての生き物を含め、神のものです。**

創造主は地球の資源とあらゆる種類の生命体をわたしたちの管理に委ねましたが、完全な所有権は創造主が保持しておられます。主は言われました。「主なるわたしは天を広げ、また地を築いた。これらはまことにわたしの手の業である。そして、その中にある万物はわたしのものである。」<sup>4</sup> わたしたちの家族、肉体、また命さえも、地球上にあるすべてのものは神のものです。<sup>5</sup>

**第2の原則：神の創造物の管理人として、わたしたちには、それらを尊び、世務をする義務があります。**

神の子供として、わたしたちは、神の神聖な創造物の管理人、世話人、擁護者となる責任を任されています。主は、「被造物のために造って備えたこの世のもろもろの祝福に対する管理人としての責任を、すべての人に取らせること〔にした〕」<sup>6</sup>と述べておられます。

天の御父は、わたしたちが自分の自由意志に従って地球の資源を使うことを許してくださっています。しかし、選択の自由を、分別や際限なくこの世の富を利用あるいは消費できる許可証であると解釈すべきではありません。主は次の訓戒を述べておられます。「神はこれらのものをすべて人に与えたことを喜んでいる。この

目的のためにこれらのものは、思慮分別をもって、度を越さず、貪欲に取ることなく使うように造られたからである。」<sup>7</sup>

ラッセル・M・ネルソン大管長はかつてこう述べました。「神の創造によってもたらされた恵みにあずかる者として、わたしたちは何をすべきでしょうか。地球を大切に、地球の賢い管理人となり、後代の人々のために地球を守らなければなりません。」<sup>8</sup>

地球と自然環境の保護は、科学的あるいは政治的な必要性以上に、神から託された神聖な責任であり、わたしたちはそれに強い義務感と謙虚さをもって対応しなければなりません。それは弟子として不可欠な要素でもあります。天の御父とイエス・キリストの創造物を尊び、大切にすることなく、どのように御二方を敬い、愛せるでしょうか。

良い管理人となるために、集団でも個人でも、できることがたくさんあります。個々の状況を考慮しながら、わたしたちはそれぞれ、地球の豊かな資源をもっと敬虔にかつ慎重に使うことができます。わたしたちは地球を大切にする社会の取り組みを支援できます。わたしたちは、神の創造物を尊重するライフスタイルと行動を取り入れることで、自分自身の生活をさら

に整え、より美しく、より心を鼓舞させる暮らしへと変えることができます。<sup>9</sup>

神の創造物に対するわたしたちの管理人の職の頂点には、わたしたちが地球を共有するすべての人を愛し、尊重し、大切にするという神聖な義務も含まれています。彼らは神の息子・娘であり、わたしたちの兄弟・姉妹であり、彼らの永遠の幸せがまさに創造の業の目的なのです。

作家のアントワヌ・ド・サン＝テグジュペリ（小説『星の王子さま』で知られるフランスの作家）は、次のように語っています。ある日、列車で旅をしていたとき、自分が難民の一団に混じって座っているのに気づきました。幼い子供の絶望的な表情を見て深く心を打たれた彼は叫びました。「庭に突然変異で新種のバラが生まれると、庭師は皆喜ぶ。彼らはそのバラを隔離し、手入れをし、育てる。しかし、人のための庭師はいない。」<sup>10</sup>

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは同胞のための庭師であるべきではないでしょうか。わたしたちは兄弟の番人ではないでしょうか。イエスはわたしたちに、自分を愛するように隣人を愛するよう命じられました。<sup>11</sup> 主の言葉によると、「隣人」という言葉は単に地理的に近いという意味だけではなく、心に寄り添うことのできる近

さを意味しています。それには、近くに住んでいようと、遠い国に住んでいようと、家系や経歴、環境に関係なく、この地球に住んでいるすべての人が含まれます。

キリストの弟子としてわたしたちは、地上のすべての国々の平和と調和のためにたゆまぬ努力を払うという厳粛な義務を負っています。わたしたちは、弱い人や貧しい人、また苦しんでいる人や虐げられているすべての人を守り、慰めと救済を与えるために最善を尽くさなくてはなりません。何よりも、わたしたちが同胞に提供できる最も大いなる愛の賜物は、福音の喜びを分かち合い、神聖な聖約と儀式を通して救い主のみもとに来るよう彼らを招くことです。

**第3の原則：わたしたちは創造の業に参加するよう招かれています。**

神聖な創造の過程はまだ完結していません。毎日、神の創造物は成長し、拡大し、増え続けています。最もすばらしいことは、天の御父が、創造の業に参加するようわたしたちを招いてくださっていることです。

わたしたちは、神の創造物に敬意を払うのであれば、大地を耕し、この世界に自分自身の作品を生み出すことで、創造の業に参加していることとなります。わたしたちの貢献は、芸術や建築、音楽、文学、文化の作品を創造することで表現され、それは地球を美しくし、わたしたちの感覚を研ぎ澄まし、人生を輝かせます。また、地球とそこに住む生命を守るための科学的または医学的な発明によっても貢献することができます。トーマス・S・モンソン大管長は、この概念を次の美しい言葉にまとめています。「神が人類に与えてくださったのは未完成の世界でした。人が自分の技能を使えるようにするためです。……それによってわたしたちは、創造の喜びとすばらしさを知ることができます。」<sup>12</sup>

イエスのタラントのたとえの中で、主人



エルサルバドル





ケニア

は旅から帰って来ると、タラントを増やした二人の僕を称賛して褒美を与えました。対照的に、主人は、タラントを地の中に隠した者については「役に立たない」僕と呼び、与えられていたものさえも取り上げました。<sup>13</sup>

同様に、地上の創造物の管理人であるわたしたちの役割は、それらを保存し、維持するだけではありません。主から期待されているのは、わたしたちが聖なる御霊に促されて自分の利益のためだけでなく、ほかの人々を祝福するために、主から託された資源を増やし、強化し、改善するために熱心に働くことです。

親、教師、指導者などの役割にかかわらず、人が成し遂げるあらゆる業の中で、神と共同の創造者となり、命を与え、その子供が学び、成長し、活躍するのを助けるという経験に勝るものはありません。創造主のパートナーとして、神の霊の子供たちに肉体を与え、彼らが神聖な可能性を発揮できるように助けることほど、神聖で充実感がありながら、同時に多大な努力を要する管理人の務めはありません。

共同の創造者という責任が常に思い起こさせてくれることは、生命と人の体が神聖であり、それらは神以外のだれのものでもないこと、それらを尊重し、守り、大切にするために、神がわたしたちをその守護者にされたということです。生殖の力

と永遠の家族を築くための神の戒めは、神の計画にとって非常に重要なこの聖なる管理人の務めにおいて、わたしたちを導くものです。

兄弟姉妹の皆さん、主にとってはすべてが霊にかかわるものであるということを理解しておかなければなりません。それは、ごく日常のこの世的な面を含めてです。わたしは、地球と同胞を愛して大切にする人々に、すばらしい霊的な祝福が約束されていることを証します。皆さんは、この神聖な管理人の職に忠実であり続け、永遠の聖約を尊ぶときに、神と御子イエス・キリストについてもっと深く知るようになり、そして皆さんの生活の中で御二方の愛と影響力をもっと豊かに感じるようになることでしょう。これらのすべては、皆さんが来るべき世において御二方とともに暮らし、さらなる創造の力を受けるための備えとなるのです。<sup>14</sup>

この死すべき世の終わりに、主はわたしたちに、主の創造物をどのように治めたかを含め、神聖な管理人の職について報告するよう求められることでしょう。そのときに、わたしたちの心にこうささやく主の愛ある言葉を聞くことができますように。「良い忠実な僕よ、よくやった。あなたはわずかなものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ」と。<sup>15</sup> イエス・キリストの

御名により、アーメン。■

#### 注

1. 地球とそこにある万物（アダムとエバを除く）は、御父の指示の下でイエス・キリストによって創造されました。わたしたちの最初の先祖であるアダムとエバは、御父によって創造されました（ヨハネ 1:1-3；モーセ 2:1, 26-27 参照）。
2. 教義と聖約 59:18
3. スペンサー・W・キンボール「福祉活動—福音の實踐」『聖徒の道』1978年2月号, 116-121 参照
4. 教義と聖約 104:14
5. スペンサー・W・キンボール「福祉活動—福音の實踐」116-121 参照
6. 教義と聖約 104:13
7. 教義と聖約 59:20
8. ラッセル・M・ネルソン「創造」『リアホナ』2000年7月号, 104
9. See Gospel Topics, “Environmental Stewardship and Conservation,” topics.ChurchofJesusChrist.org.
10. アントワース・ド・サン＝テグジュベリ『人間の土地』（1939年）、Airman’s Odyssey に収録されている *Wind, Sand and Stars*（1984）も参照
11. マルコ 12:31 参照
12. トーマス・S・モンソン「幸福な人生の探求」『聖徒の道』1988年8月号, 3 参照
13. マタイ 25:14-30 参照
14. See David A. Bednar and Susan K. Bednar, “Moral Purity” (Brigham Young University–Idaho devotional, Jan. 7, 2003), byui.edu.
15. マタイ 25:21



中央若い女性会長会第一顧問  
ミッシェル・D・クレグ姉妹

# 心の底から

わたしたちはイエスに従う者となって、主の弟子としての道を心の底から喜んで歩み続けるべきです。

これから何が起こるのかが分かる時と助かる時が、時々あります。

この世での務めが終わりに近づいたころ、イエスは使徒たちに、苦難の時が来ると言われましたが、「あわててはいけない」<sup>1</sup>とも言われました。確かにイエスは去られましたが、彼らを放ってはおかれませんでした。<sup>2</sup> 主の御霊を送って、彼らが主を覚え、しっかりと立ち、平安を見いだせるようになさったのです。救い主は、御自分の弟子であるわたしたちとともにいるという約束を守ってくださいます。しかし、わたしたちは主がおられることを知り、喜ぶために、常に主を仰ぎ見る必要があります。

キリストの弟子は、常に苦難に遭ってきました。

親友が、アメリカ中西部の *Nebraska Advertiser* (ネブラスカ・アドバータイザー) という新聞の古い記事を送ってくれました。1857年7月9日付けです。こう



ドイツ

書いてありました。「今朝早く、ソルトレークを目指すモルモンの一団が通り過ぎて行った。(およそ華奢とは言えない) 女性たちが獣のように手車を引いていた。と、そのうちの一人が黒い泥の中に転んでしまい、一行は小休止することになった。子供たちは、[見たことのない] 異国風の服を着て、母親たちと同じ決死の表情を浮かべながら重い足取りで歩いていた。」<sup>3</sup>

わたしは、この泥まみれになった女性について、あれこれと考えました。なぜ一人で引いていたのか。シングルマザーだったのか。未知の砂漠の新しい住まいへと、時に人からあざけられながら、家財を全部積み込んだ手車を引いて泥道を進んだのです。こんな過酷な旅をするだけの内面の強さと根性と粘り強さは、どこから来ていたのでしょうか。<sup>4</sup>

ジョセフ・F・スミス大管長は、このような開拓者の女性たちの内面の強さについて、こう言っています。「これらの姉妹の一人でも、末日聖徒イエス・キリスト教会に対する確信に背かせることができるでしょうか。預言者ジョセフ・スミスの使命について抱いていた思いに影を落とすことができるでしょうか。神の御子であるイエス・キリストの神聖な使命がはっきり分からなくさせることができるでしょうか。いいえ、そのようなことはまったく不可能です。なぜでしょうか。姉妹たちはそれを知っていたからです。神がそれを姉妹たちに明らかにされ、姉妹たちはそれを理

解していました。地上のどのような力も、これらの姉妹が真実であると知っていたことを覆すことはできませんでした。」<sup>5</sup>

兄弟姉妹の皆さん、そのような男女になることが、現代のわたしたちの召しです。荒れ野を歩くよう召されたら力を振り絞って手車を引き続ける弟子、神から啓示されたことを固く信じる弟子となり、イエスに従う者となって、主の弟子としての道を心の底から喜んで歩み続けるのです。イエス・キリストの弟子であるわたしたちは、3つの大切な真理を信じ、その中で成長することができます。

## 1. 簡単でないときも、わたしたちは聖約を守ることができます

自分の信仰や家族や未来が危機に瀕したときや、全力で福音を実践しているのに人生がこんなにつらいのはなぜかといぶかるときには、苦難の時が来ると主が言われたことを思い出してください。苦難は計画の大切な部分であり、見捨てられたというわけではありません。苦難は主の弟子に付いて回るものです。<sup>6</sup> 結局、主は「悲しみの人で、病を知っていた」<sup>7</sup> のです。

天の御父はわたしが快適に過ごすよりも、イエス・キリストの弟子として成長する方に関心をお持ちであることが、わたしには分かってきました。そうであってほしくないと思うときもありますが、実際にそのようなのです。

楽な暮らしをしていたのでは力はつきません。日々の暑さに打ち勝つのに必要な力は主の力であり、その力は、主と交わした聖約から流れ込みます。<sup>8</sup> 逆風の中を信仰をもって進むこと、つまり、行くと救い主に聖約したことを、日々心を尽くして行うよう努力するのです。たとえ疲れていようと、不安であろうと、疑問や問題で悩んでいようと、いや特にそのようなときにこそ、そうすることで、少しずつ主の光と力、主の愛、主の御霊、主の平安を受けるのです。

聖約の道を歩むのは、救い主に近づく



ためです。目標は救い主であって、完璧にできなくてもよいのです。これは競争ではないのですから、自分の旅をほかの人と比べてはいけません。たとえ転んでも、主がついておられます。

## 2. わたしたちは信仰をもって行動することができます

イエス・キリストの弟子であるわたしたちは、イエスを信じる信仰には行動が伴うことを理解しています。つらいときには特にそうです。<sup>9</sup>

昔のことですが、両親がカーペットを張り替えることにしました。新しいカーペットが届く前の晩、母はわたしの弟たちに、寝室から家具を出してカーペットをはがすようにと言いました。新しいカーペットを敷けるようにするためです。当時7歳だったわたしの妹エミリーは、すでに眠っていました。そこで弟たちは、妹が眠っているうちにベッド以外の家具を全部妹の部屋からそっと出して、カーペットを全部はがしました。そこで、兄たちがよくやることですが、いたずらをすることにしたのです。妹の持ち物をクローゼットから全部出し、壁にかかっていたものも全部外して、部屋を空っぽにしたのです。そして、手紙を書いて壁に貼りました。「エミリー、わたしたちは引っ越しました。行き先は、何日かたったら手紙で教えます。愛しています。 家族より」

翌朝、エミリーが朝食を食べに来なかったため弟たちが見に行くと、エミリーはドアも開けずに一人ぼつんと悲しそうにしていました。エミリーは後に、そのときのことをこう言っています。「がく然としました。でも、ただドアを開けさえしていたら、何が起こっていたのでしょうか。何が聞こえたのでしょうか。どんなにおいがしたのでしょうか。自分が独りではないことが、分かったことでしょうか。自分がほんとうに愛されていることが、分かったことでしょうか。でも、その状況で何かをするなど、思ってもみなかったのです。ただただ諦めて、クローゼット

の中で泣いていました。でも、ただドアを開けさえすればよかったのです。」<sup>10</sup>

妹は、自分の目に映ったことを基に憶測しました。でもそれは、事実とは違っていました。わたしたちもエミリーのように、悲しみや心の傷、落胆、不安、孤独、怒り、失望であまりにも意気消沈してしまい、ドアを開けたり、イエス・キリストを信じる信仰をもって行動したりするなど、何かをすることすら頭に浮かばないことがあります。これは興味深いことではないでしょうか。

不可能なことに直面したときにひたすら行動した男女やキリストの弟子たちの例は、聖文の至る所に出てきます。彼らは信仰をもって立ち上がり、行動しました。<sup>11</sup>

イエスは癒しを求めてきた重い皮膚病の人たちを見て、「祭司たちのところに

行って、からだを見せなさい」と言われました。「そして、行く途中で彼らはきよめられた」<sup>12</sup>のです。

彼らはすでに癒されたかのように、祭司のところに体を見せに行きました。そして、行くという行動を取っている途中で、癒されました。

もう一つ言いたいのですが、つらくて行動に出るのが不可能と思われる場合は、どうか助けを求めるといふ行動を取ってください。友人や家族、教会の指導者、専門家に助けを求めます。それが希望への第一歩になるかもしれません。

## 3. わたしたちは心の底から喜んで献身的に働くことができます<sup>13</sup>

苦難の時が来たら、わたしはこの地上に来る前にキリストに従うことを選んだこ





チリ

と、そして信仰や健康や忍耐が試されるのはすべて、地上にいる目的を果たすためであることを思い出すようにしています。ですから、今日試練を受けたからといって神の愛を疑ったり、神を信じる信仰を捨てたりするなどということは一切考えてはならないのです。試練は計画の失敗を意味するのではなく、わたしたちが神を求めるようになるための計画の一部なのです。忍耐強く耐え忍ぶならば、わたしは主のようになっていきます。そして、主のように、苦しいときには、ますます切に祈るようになりたいと思います。<sup>14</sup>

イエス・キリストは、心を尽くして御父を愛し、どんな代価を払ってでも御父の御心を行う完全な模範であられました。<sup>15</sup> わたしも、イエスの模範に倣って同じことをしたいと思います。

わたしは神殿のさいせん箱にレプタ二つを投げ入れたやもめの、心を尽くし、精神を尽くす弟子としての行いに感銘を受けています。このやもめは、持っているものをすべてささげました。<sup>16</sup>

ほかの人の目には少額としか映らなくても、イエス・キリストは彼女が多くをささげていることを御存じでした。わたしたちにも同じことが言えます。主は足りない点を見て失格とせず、信仰を働かせて

成長する機会だと見られます。

### まとめ

ともにイエス・キリストに従う皆さん、わたしは心の底から主の側に立つことを選びます。主が選ばれた僕であるラッセル・M・ネルソン大管長と使徒たちの側に立つことを選びます。彼らは主の代弁者であり、わたしと救い主を結んでくれる儀式と聖約の管理者だからです。

わたしは何度つまづいても起き上がり、イエス・キリストの恵みと、人に能力を授ける力に頼ります。主と交わした聖約を守り、疑問を感じたときには神の言葉の研究と信仰と、聖霊の助けによって解決します。わたしは聖霊の導きを信頼しています。小さな簡単なことを行うことによって、主の御霊を日々求めます。

これが、わたしの歩んでいる弟子の道です。

そして、死すべきこの世の日々の傷が癒える日まで、わたしは主を待ち望み、主を信頼します。主の時と主の知恵と、主の計画を信頼します。<sup>17</sup>

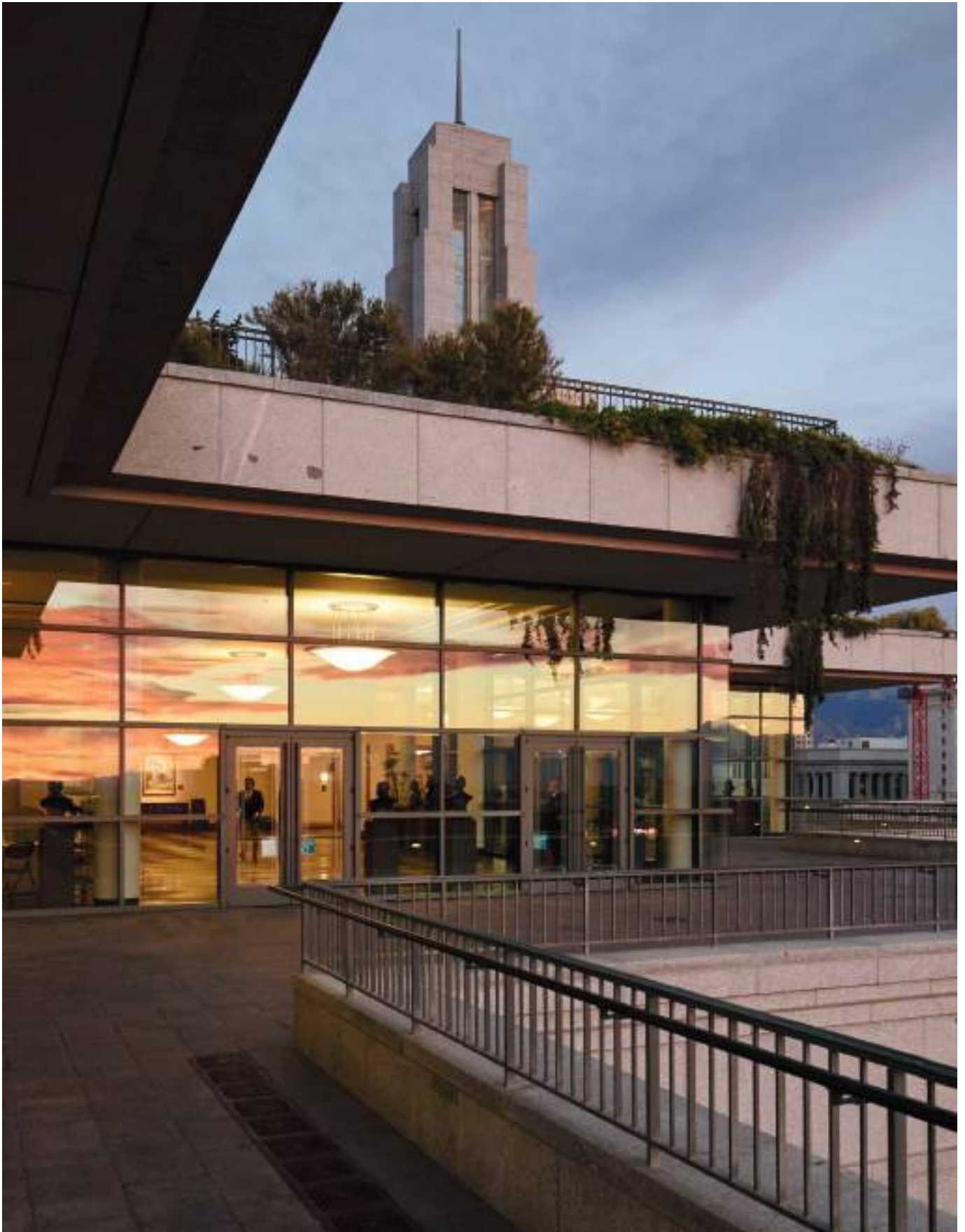
わたしは皆さんと手を携えて、永遠に主とともに立ちたいと思います。心の底からそう思います。わたしたちが心を尽くしてイエス・キリストを愛するならば、主はす

べてを与えてくださいます。<sup>18</sup> イエス・キリストの御名により、アーメン。■

### 注

1. マタイ 24:6
2. マタイ 24:13; ジョセフ・スミス訳マタイ 1:11 [英文] 参照。マタイ 28:19-20; ヨハネ 14:18 も参照
3. Netty Penwood, "Leaves from My Iowa Log Book," *Nebraska Advertiser*, July 9, 1857, 1, newspapers.com/clip/60679566/pioneers-trek-to-the-salt-lake-valley/.
4. 1 ニーファイ 8:27 参照
5. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・F・スミス』 188
6. ヨハネ 16:33; 黙示 7:13-17; アブラハム 3:25 参照
7. イザヤ 53:3
8. M・ラッセル・バラード「消せない炎のように」『リアホナ』1999年7月号, 103 参照
9. 『聖約ガイド』『信仰』の項参照
10. 個人的な手紙
11. ヨシュア 3:5, 13, 15-17; 列王下 5:14; マタイ 14:29; マルコ 2:3-5; ルカ 8:43-44; ヨハネ 2:3-5; 使徒 11:12; 1 ニーファイ 4:6-7; 16:23; 3 ニーファイ 27:21; エテル 2:16; 3 章; モーセ 6:32, 42 参照
12. ルカ 17:14; 強調付加。11-13 節も参照
13. 「生活の中心をイエス・キリストと主の福音に向けるなら、人生で何が起ころうとも—一起こらなかつたとしても—喜びを感じる事ができます。」(ラッセル・M・ネルソン大管長「喜び—靈的に生き抜く道」『リアホナ』2016年11月号, 81)
14. ルカ 22:44 参照
15. マタイ 26:39, 42, 44 参照
16. マルコ 12:41-44 参照
17. イザヤ 40:31 参照
18. ローマ 8:14-18, 28, 38-39 参照





大管長会



第一顧問  
ダリン・H・オークス



大管長  
ラッセル・M・ネルソン



第二顧問  
ヘンリー・B・アイリング

十二使徒定員会



M・ラッセル・バラード



ジェフリー・R・ホランド



ディーター・F・ウークトドルフ



デビッド・A・ベドナー



クエンティン・L・クック



D・トッド・クリストファアソン



ニール・L・アンダーセン



ロナルド・A・ラスバンド



ゲリー・E・ステイブンソン



デール・G・レンランド



ゲレット・W・ゴング



ワリセス・ソアレス

七十人会長会



バトリック・キアロン



カール・B・クック



ジョセ・A・テイジャエラ



カルロス・A・ゴドイ



ブレント・H・ニールソン



ポール・V・ジョンソン



S・マーク・パーマー



W・クリストファアソン



シェラルド・コセー



L・タッド・ハッジ

管理ビショップリック



ワリセス・ソアレス



カール・B・クック



ジョセ・A・テイジャエラ



カルロス・A・ゴドイ



ブレント・H・ニールソン



ポール・V・ジョンソン



S・マーク・パーマー



W・クリストファアソン



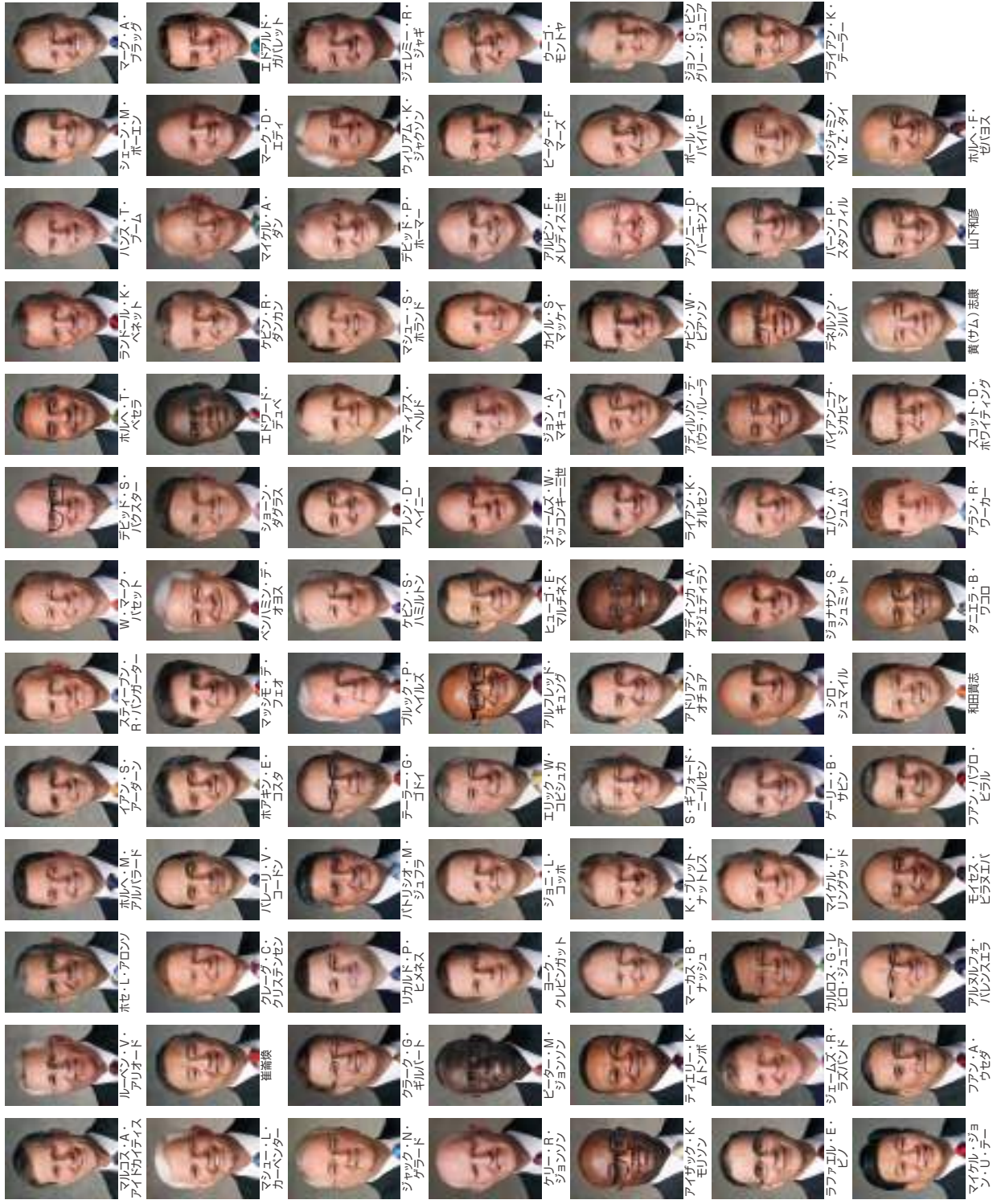
シェラルド・コセー



L・タッド・ハッジ



中央幹部七十人  
(アルファベット順)



中央役員

扶助協会



第一顧問  
J. テニス



会長  
カミール・N. ジョアンソン



第二顧問  
クリスティーン・M. イー

日曜学校



第一顧問  
ミルトン・カマルゴ



会長  
マーク・L. ベイス



第二顧問  
ジェン・E. ニューマン

若い女性



第一顧問  
ミッシェル・D. クレーグ



会長  
ボニー・H. コートン



第二顧問  
レベッカ・L. クレーフン

若い男性



第一顧問  
アーモット・S. コーベット



会長  
ステイヴリー・J. ランド



第二顧問  
プラットリー・R. ワイルコックス

初等協会



第一顧問  
エイミー・A. ライト



会長  
スーザン・H. ボーター



第二顧問  
トレーシー・Y. ブラウニング

黄(サム) 志康

山下和彦

スコット・D. ポロイティンク

アラウン・R. ワーカー

タニエラ・B. ワロコ

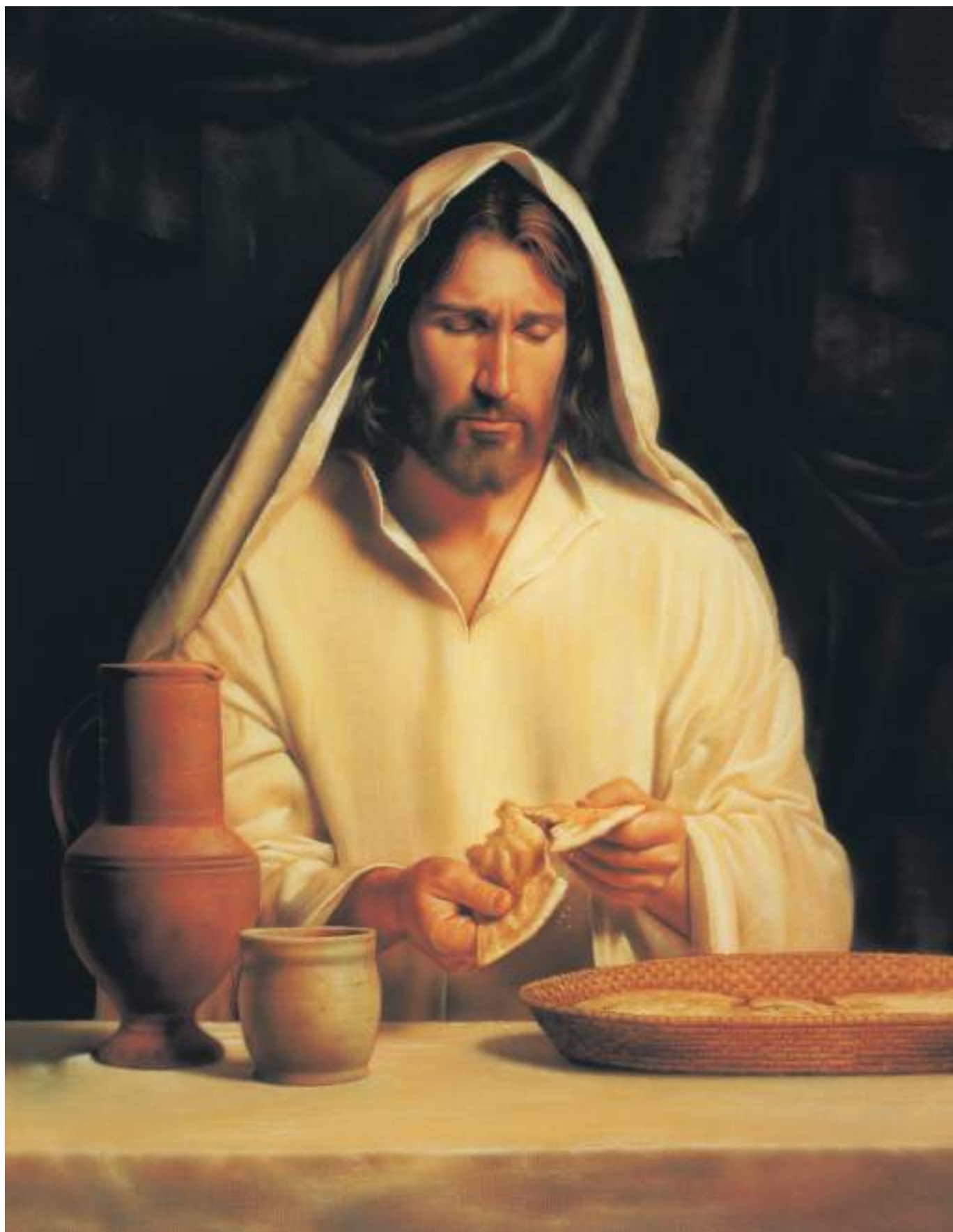
フアン・パブロ・ヒラル

モイセス・ヒラヌエバ

アルヌルフォ・ハロンズエラ

フアン・A. ウモタ

マイケル・ジョ  
ン・U. テー



【後部】「聖書の物語」  
ジョージ・ルービン  
画





七十人  
ケビン・W・ピアソン長老

# 進んで行く気持ちが 今もありますか

わたしたちの、進んでイエス・キリストに従いたいという  
気持ちは、聖なる場所で過ごす時間をどれだけ  
取ろうとしているかに比例して深まります。

ある日曜日、数週間にわたるステーキ大会の割り当てを終え、聖餐を取るために心を備えていたとき、興味深く印象的な考えが頭をよぎりました。

これまで何度も聞いたパンの祝福の言葉を祭司が述べ始めたとき、心と思いに、力強く迫るものがありました。「また、進んで御子の御名を受け、いつも御子を覚え、御子が与えてくださった戒めを守ることを、永遠の父なる神よ、あなたに証明して、いつも御子の御霊を受けられるように……。」<sup>1</sup> わたしたちは進んで行く気持ちを、神の御前に、これまで幾度、証明してきたでしょうか。

これらの神聖な言葉に込められた意味について深く考えていると、進んでという言葉が、これまでになく心に残りました。心と思いに、これまでの数々の甘美で神聖な経験があふれ、救い主の贖罪と、わたしと家族に対する御父の贖いの計画において主が果たされた決定的な役割に対して、愛と感謝の気持ちで満たされました。そのとき、水の祝福をする祈りの言葉が聞こえ、わたしの心を捉えました。「いつも御子を覚えていることを……あなたに証明して……。」<sup>2</sup> その瞬間はつきりと理解したのは、聖約を守るとは、良い心がけを持つだけでは不十分だということです。

聖餐を取ることは、同意を示すだけの、受け身の宗教儀式ではありません。聖餐は、キリストの無限の贖罪が現実のもので、いつも主を覚え、主の戒めを守る必要があることを、強く思い起こさせてくれるものなのです。進んで救い主に心を向けるのはきわめて重要なことであり、教会で最も引用される二つの聖句、すなわち聖餐の祈りの中核を成すメッセージです。天の御父が独り子を通してわたしたち

一人一人に進んで差し出してくださっているものを真に理解すれば、わたしたちはその見返りに、常に進んで、最大限の努力を傾けるようになるはずです。

わたしたちの霊的な基は、イエス・キリストの上に固く築かれているのでしょうか。

その霊的な基が浅かったり、表面的であつたりすれば、進んで行おうとする気持ちは、社会的な便宜や自分の都合の度合いに左右されやすくなるでしょう。わたしたちがもし、教会はおもに時代遅れまたは政治的に誤った社会政策や、現実的でない自己規制、時間を取られる務めで成り立っている、といった意見に耳を傾けるならば、進んで行おうとする気持ちもそがれることになるでしょう。進んで行くという原則は、ソーシャルメディアのインフルエンサーやTikTokなどの流行に左右されることはありません。人の教えが神の真理と一致することは、ほとんどないのです。

教会は、神を愛し、主イエス・キリストに進んで従おうとする、不完全な人々が集まる場所です。そのような進んで行く気持ちは、イエスがキリストであり、生ける神の子であるという真理に根ざしてい



ペルー

ます。この聖なる真理は、聖霊の力によってのみ、知ることができます。それゆえ、わたしたちの進んで行く気持ちは、聖霊の影響がある聖なる場所で過ごす決めた時間の量に比例しています。

わたしたちを愛してくださる天の御父と、自分の心配事について意義ある対話をするにもっと時間をかけ、他の人々の意見に耳を傾ける時間は減らした方がよいでしょう。また、毎日配信されるオンラインのニュースを、聖典にあるキリストの御言葉や生ける預言者たちの預言に満ちた言葉に変える選択をすることもできます。

安息日を守ることや、正直に什分の一を納めること、有効な推薦状を保持して、神殿に参入すること、聖なる神殿の聖約を尊ぶことを重視することはすべて、進んで行おうとするわたしたちの気持ちを表す強力な指標であり、わたしたちの決意の証拠でもあります。わたしたちは、キリストを信じる信仰を強めるために、表面的な努力以上の力を進んで注ぎ込めるでしょうか。

天の御父はわたしたちを完全に愛してくださっていますが、その愛には大きな期待が伴っています。神はわたしたちに、進んで救い主を生活の中心に据えるよう期待しておられます。救い主は、あらゆることにおいて御父に進んで従う、完全な模範であ



エクアドル

られます。「道であり、真理であり、命で〔す。〕」<sup>3</sup> 主は、進んでわたしたちの罪を贖ってくださいました。主は、進んでわたしたちの重荷を軽くし、恐れを静め、力を与え、悩みや悲しみがあるときに、心に平安と理解をもたらしてくださいます。

それでも、イエス・キリストを信じる信仰は、選びです。「信じようとする望みを持つだけでもよい」<sup>4</sup> という主の言葉のとおり、わたしたちには信仰の旅を始める、あるいはリセットする出発点が存在します。主の言葉は、種のように心の中に植え、十分に注意して養うなら、根を張って、わたしたちの信仰は確信へと変わり、行動と力の原則になるでしょう。モルモン書は、信仰を育み、回復させる最も強力なリソースであり、進んで行く気持ちは、信仰の足がかりです。

現世は、神の計画によれば簡単な場所ではなく、時には打ちのめされるほどの場所です。それでも、「わたしたち」が存在

するのは喜びを得るため」<sup>5</sup> なのです！ 救い主と、自分が交わした聖約に集中するならば、喜びはいつまでも続きます！ 現世の目的は、進んで行く気持ちを証明することであり、「人生にあって大いなる務めは、そして弟子となる代価は、主の御心を知り、それを行うことです。」<sup>6</sup> 真の弟子になることによって、満ちみちる喜びを受けることができます。わたしたちは弟子となるために、進んで代価を払おうとしているでしょうか。

聖約の道は、単なるチェックリストではなく、霊的な成長と主イエス・キリストに従う決意を深めるプロセスです。すべての戒め、原則、聖約、儀式の主要な目的は、キリストへの信仰と信頼を築くことです。したがって、キリストを生活の中心に据えようとする決意は一貫したものでなければならず、条件付きでも、状況次第でも、うわべだけのものであってもなりません。進んで「いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、……神の証人になる」<sup>7</sup> ことには、休暇も、休日もありません。弟子となるために払う代価は安くはありません。聖霊を伴侶にすることには、大きな価値があるからです。

十人のおとめのたとえを教えられたとき、確かに主は、わたしたちの時代を考えておられました。主は、5人の思慮深いおとめについては、「自分の導き手として聖なる御霊を受け、そして欺かれなかった」<sup>8</sup> と言われていますが、一方で思慮の浅い者たちのあかりは、油が切れて「消えかかって」<sup>9</sup> いました。ニーファイの次の言葉は、そのような、かつては忠実だった教会員について、最もよく言い当てているのかもしれませんが、「また、悪魔はほかの人々をなだめ、彼らを欺いて現世での安全を確信させるので、彼らは、『シオンの中では、すべてが良い……』と言う。」

現世での安全とは、キリストを求める代わりにこの世のものを求めて、それに信頼を置くことです。つまり、霊的なレンズではなく、世俗的なレンズを通して見ることで







す。聖霊は、「現在のことをありのままに〔見〕……、未来のこともまた、ありのままに」<sup>11</sup> 見る能力を授けてくださいます。「聖霊の力によって〔のみ、わたしたち〕はすべてのことの真理を知る〔ことができ〕」<sup>12</sup>、欺きを避けられるのです。わたしたちはキリストを生活の中心に据え、進んで戒めに従うと固く約束します。盲目だから従うのではなく、見えるからこそ従うのです。<sup>13</sup>

では、思慮の浅いおとめたちは、どうだったのでしょうか。なぜ、彼女たちは霊の油の入れ物を携えて行こうとしなかったのでしょうか。単に、引き延ばしていただけなのでしょう。もしかすると、不便で、必要とも思えないので、無頓着になりすぎていたのでしょうか。理由はどうあれ、彼女たちは、キリストが果たす決定的な役割について欺かれていたのです。これはサタンの基本的な欺きの手段であり、霊の油が切れたために彼女たちの証のともしびがつついには消えてしまった理由です。このたとえは、わたしたちの時代のためのたとえと言えます。多くの人は、教会を去るはるか以前から、救い主と自分が交わした聖約から離れています。

わたしたちは、古代の預言者たちがはるか以前から語ってきた空前の時代、すなわちサタンが「人の子らの心の中で荒れ狂い、人の子らをそそのかして善いことに対して怒らせる」<sup>14</sup> 時代に生きています。あまりにも多くの人々が、人の持つ神聖な属性やキリストへの信仰に対して敵意を向ける娯楽やメッセージであふれた、

オンライン上の仮想世界に生きています。

子供の生活にきわめて力強い霊的な影響力を与えるのは、自らの神聖な聖約を忠実に守る、愛ある親や祖父母の義にかなった模範です。意識の高い親は、子供たちに主イエス・キリストを信じる信仰を教えるので、子供たちも、「どこに罪の赦しを求めればよいかを……知〔る〕」<sup>15</sup> ようになります。いい加減な、一貫性のない聖約の守り方をしていれば、霊的に悲惨な事態を招くことになります。霊的な悪影響は、たいてい子供や孫たちに最も大きく現れるものです。親や祖父母の皆さん、進んで行く気持ちが、今もあるでしょうか。

ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように教えています。「導き、指示し、慰める、変わることはない聖霊の影響力がなければ、これから先、霊的に生き残ることはできなくなるでしょう。」<sup>16</sup> これはあかりを整え、霊の油の蓄えを増やさない、という明確な紛れもない警告です。わたしたちには、生ける預言者に進んで従う気持ちが、今もあるでしょうか。自分のあかりの霊の油はどのくらい入っているのでしょうか。自分の生活において、さらに安定して聖霊の影響を受けられるようにするために、個人的に何を变えますか。

今日でも、イエスの時代と同じように、弟子となる代価を受け入れようとせず、引き返そうとする人々が出てくるでしょう。辛辣で悪意ある批判が救い主の教会と主に従う人々に向けて募る中で、霊的な決

意を正して固め、そのような批判を気に留めないように、主の弟子として、わたしたちには進んで行く気持ちがさらに求められることでしょう。<sup>17</sup>

霊的な基がイエス・キリストの上にしっかりと築かれていれば、倒れることはなく、恐れる必要もありません。

「見よ、主は心と進んで行く精神とを求め。そして、進んで行く従順な者は、この終わりの時にシオンの地の良いものを食べるであろう。」<sup>18</sup>

進んで行く気持ちが、いつでもありますように。主イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

#### 注

1. 教義と聖約 20 : 77 ; 強調付加
2. 教義と聖約 20 : 79
3. ヨハネ 14 : 6
4. アルマ 32 : 27
5. 2 ニーフай 2 : 25
6. エズラ・タフト・ベンソン「偉大な戒め—主を愛する」『聖徒の道』1988年6月号, 4 参照
7. モーサヤ 18 : 9
8. 教義と聖約 45 : 57
9. マタイ 25 : 8
10. 2 ニーフай 28 : 21
11. モルモン書ヤコブ 4 : 13
12. モロナイ 10 : 5
13. ボイド・K・バックー「自由意志と規制」『聖徒の道』1983年7月号, 115 - 116 参照
14. 2 ニーフай 28 : 20
15. 2 ニーフай 25 : 26
16. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号, 93
17. 1 ニーフай 8 : 26 - 27, 33 参照
18. 教義と聖約 64 : 34



七十人  
デネルソン・シルバ長老

# 真理を宣べ伝える 勇気

ひとたび真理を知ると、今日主がここにおられたら行われるであろうことを行う機会を、主は与えてくださいます。

1982年のことです。わたしは専門学校で地形学の准学士号を取得しようとしていました。

その年の終わりに、ちょっと話があるんだが、とクラスメートに誘われました。ほかのクラスメートから離れて、彼と一緒にスポーツコートの横に行ったのを、わたしは覚えています。そこに着くと、そのクラスメートは自分の信じている宗教について話し、1冊の本を見せてくれただけでなく、その本をわたしにくれたのです。正直に言って、彼が言った言葉を全部覚えてるわけではありませんが、わたしはそのときのことを非常によく覚えていて、「この本が真実で、イエス・キリストの福音が回復されたことを証します」と彼が言ったときに自分が感じた気持ちを忘れませんでした。

彼と話した後、わたしは家に帰ってその本を数ページめくり、本棚に置きました。ちょうど学年末で、地形学コースの学位取得の最後の年だったために、その本にもその本をくれたクラスメートにもあまり関心を持ちませんでした。皆さんはこの本の名前をすでにお分かりですね。そうです、モルモン書です。

その5か月後、宣教師がわたしの家に来たのですが、わたしがちょうど仕事から家に帰って来たのと入れ違いに、彼らは

帰るところでした。わたしは彼らを引き留めました。家の前の小さな中庭に一緒に腰を下ろすと、宣教師は福音を教えてくださいました。

真理を求める思いで、どの教会が真実なのか、そしてどうしたらそれを見つかることができるのか、わたしは尋ねました。宣教師は、その答えは自分で見つけることができると教えてくれました。大きな期待と望みを持って、わたしはモルモン書から幾つかの章を読むチャレンジを受け入れました。わたしは誠心誠意祈りました（モロナイ 10:4-5 参照）。自分のした質問の答えが分かりました。そして数日

後、正確には1983年5月1日に、わたしはバプテスマを受け、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員に確認されました。

今になって、起こった出来事を順を追って考えてみると、あのクラスメートの勇気がどれほど大切なものだったかが、はっきりと分かります。彼は勇気を持って回復された真理について証を述べ、イエス・キリストの福音の回復の物理的な証拠であるモルモン書をプレゼントしてくれたのです。簡単な行動でしたが、わたしにとっては深い意味がありました。宣教師に会ったときに良い関係が築けたのは、彼のおかげです。

真理を教えてもらい、バプテスマを受けて、わたしはイエス・キリストの弟子となりました。その後数年間にわたって、指導者や教師、友人など特別な人たちの助けと、わたし個人の研究を通して、わたしはイエス・キリストの弟子となる決心をしたときに真理を擁護するだけでなく真理を宣べ伝える務めも引き受けていたのだということを知りました。

真理を信じて真理に従うことにしたらからといって、そしてイエス・キリストの真の弟子となるよう努力したからといって、間違いを犯さないという保証はなく、真理から遠ざかる誘惑を受けたりせず、批判も



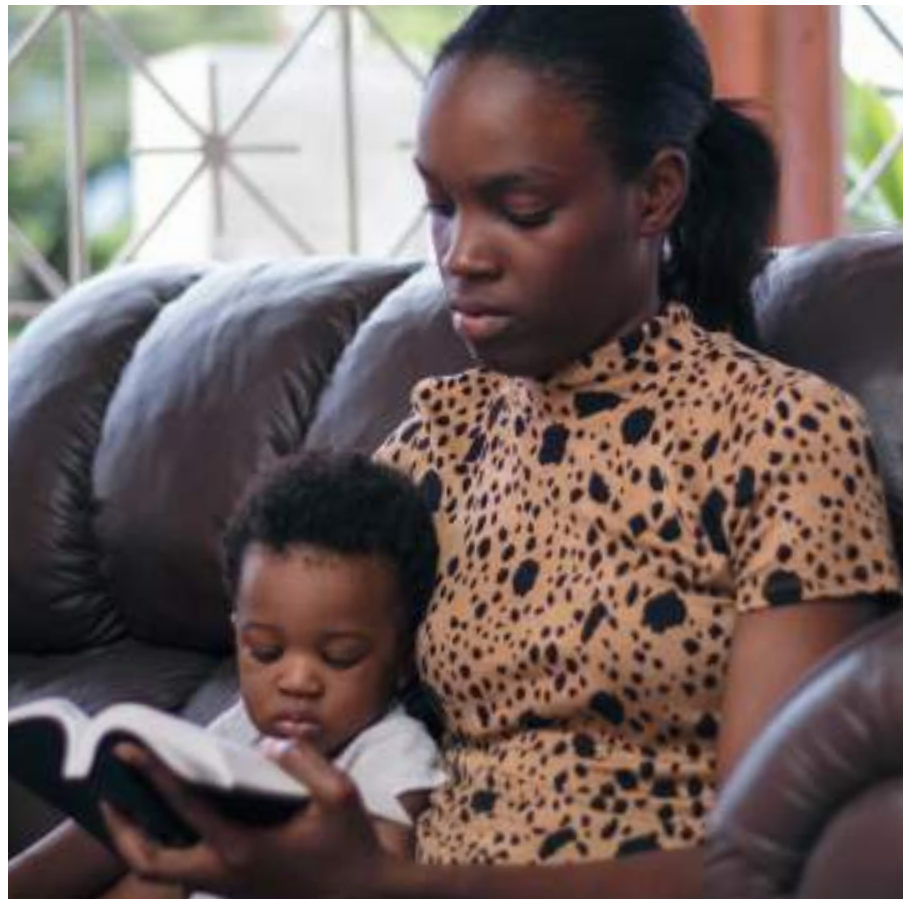
グアテマラ



受けず、苦難も経験しない、という保証もありません。しかし、真理の知識があると、天の御父の御前にわたしたちを連れ戻してくれる狭くて細い道に入ったときに、これらの問題から逃れる道が常に存在することが分かるようになり（1コリント10：13参照）、自分の信仰を疑う前に、自分の持つ疑いを疑うことがいつでもできるようになります（ディーター・F・ワークトドルフ「ともに集いましょう」『リアホナ』2013年11月号, 21参照）。そして最終的に、わたしたちが苦難を経験するときに決して独りではないということが保証されます。それは、苦難の中にある人々を神は訪れてくださるからです（モーサヤ24：14参照）。

ひとたび真理を知ると、今日主がここにおられたら行われるであろうことを行う機会を、主は与えてくださいます。まことに主は、わたしたちが行わなければならないことを主の教えによって示してくださいました。「あなたがたはわたしの御霊の力をもって出て行き、二人ずつ組んでわたしの名によってわたしの福音を宣べ伝え、ラッパの音のように声を上げ、神の天使のようにわたしの言葉を宣べなければならない。」（教義と聖約42：6）若い人々の伝道は、またとない機会です。

どうか若い男性の皆さん、宣教師として主に仕える時期を先延ばしにしないでください。しばらくの間学業を中断しなければならぬかもしれませんし、再びデートをする保証もないままガールフレンドにさよならを言わなければならないかもしれません。仕事まで辞めなければならないかもしれません。このような、伝道に出る決意を難しくする状況に皆さんが直面したら、救い主の模範を思い出してください。救い主も、務めを果たしておられるときに、似たような困難に遭遇しました。批判され、迫害され、ついには贖いの犠牲という苦い杯を飲まれたのです。にもかかわらず、主はどのような状況にあっても御



ジャマイカ

父の御心を行い、御父の栄光を帰そうとされました。（ヨハネ5：30；6：38-39；3ニーファイ11：11；教義と聖約19：18-19参照）

若い女性の皆さん、皆さんがもし望むならば、主のぶどう園で働くことは、大歓迎です。そして専任宣教師として奉仕する備えをするときにも、同じチャレンジから免除されるわけではありません。

主に仕えると決心したすべての人に約束します。伝道地で奉仕する24か月または18か月は、家にいた場合と同じように過ぎ去ります。しかし、伝道地におけるこの教会のふさわしい若い男性と若い女性を待ち受ける機会は、かけがえのないものです。救い主イエス・キリストとその教会を代表するという特権を、無視することはできません。数限りない祈りに参加し、一日の間に何度か証を強めて宣べ伝え、聖文研究を何時間も行い、家にいたのでは決して会えない人と会えるのは、筆舌に尽くし難い経験です。同じレベルの経験は、奉仕伝道で奉仕するよ

うに主が召される若い人々にも用意されています。皆さんは大いに歓迎され、必要とされています。どうか、奉仕伝道の大切さを過小評価しないでください。奉仕伝道も、言葉では言い表せない素晴らしい経験になります。皆さんの価値も含めて、「人の価値は神の目に大いなるもの」（教義と聖約18：10）です。

伝道から戻ったとき、ガールフレンドまたはボーイフレンドはもう皆さんを待ってはいないかもしれませんが、皆さんは上手な人付き合いの技術を身につけていることでしょう。職場で働く備えになるようなことを伝道地で垣間見えていますから、学生に戻ってからの勉強の価値がよく分かるようになります。そして結局、勇気を持って平和の福音を宣べ伝え、回復された教会について証をしてきたという揺るぎない自信が、あなたにはあることでしょう。

結婚して、人生の様々な段階にある人は、主の業において大いに必要とされています。自らを備えてください。健康的

な生活を送り、物質的にも霊的にも自立できるように努力してください。主が御自身の子供たちのためになさることを行う機会には、特定の年齢層にだけ与えられるわけではないからです。妻とわたしが最近経験した中でいちばんうれしかったことは、特別な夫婦とともに、特別な場所で、非常に特別な人々に奉仕しているときに起こりました。

地形学の学位を取得するコースの最後に経験したことからわたしが学んだのは、真理を宣べ伝えるときにわたしたちは常に真理を擁護しており、真理を擁護するというのは前向きな行為だということでした。真理の擁護は決して攻撃的な方法で行ってはなりません。むしろ、真理に関して証を伝える人々を愛し、分かち合い、招こうという純粋な気持ちを持って、愛ある天の御父の子供たちの物質的・霊的な幸せについて考えながら行うのです（モーサヤ 2：41 参照）。

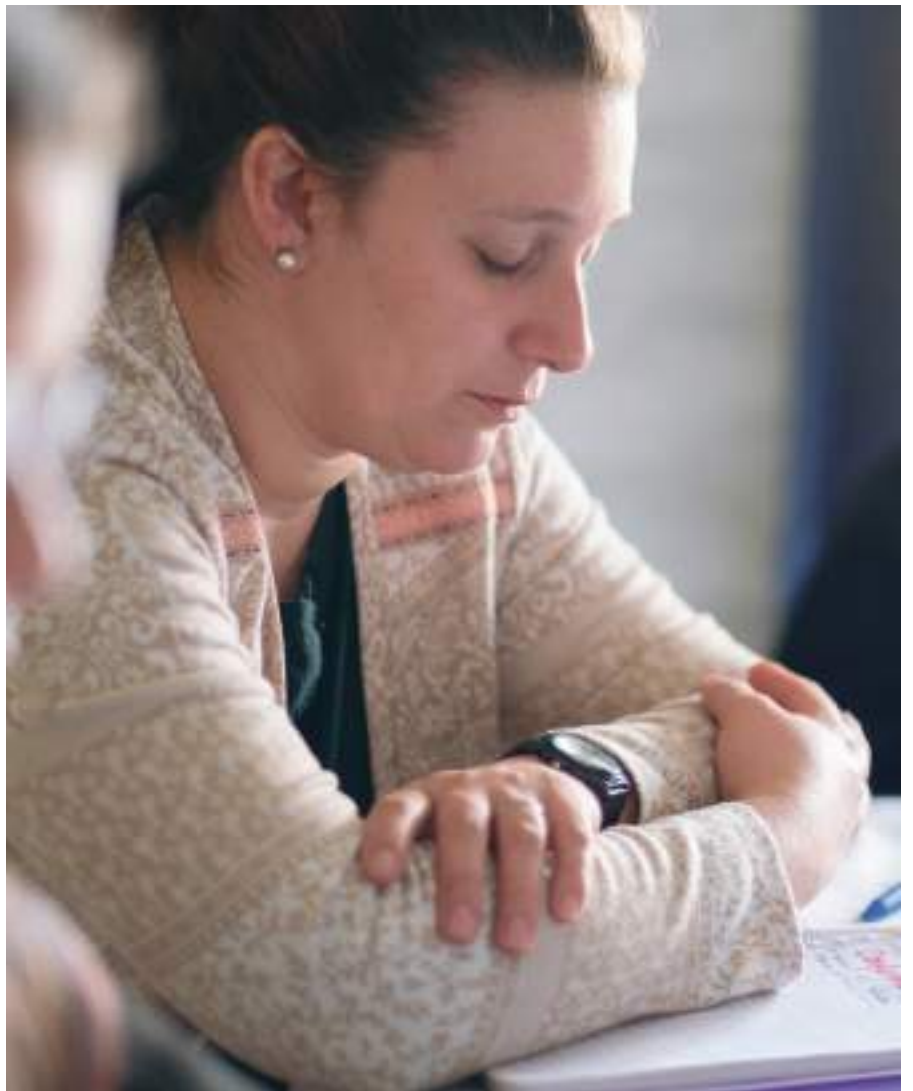
2021年10月の総大会でわたしたちの愛するラッセル・M・ネルソン大管長は、次のように教えました。「疑う人もいますが、善と悪は確かに存在します。絶対的な真理、永遠の真理は、確かに存在します。」（ラッセル・M・ネルソン「純粋な真理、純粋な教義、純粋な啓示」『リアホナ』2021年11月号、6）

聖典は、「真理とは、現在あるとおりの、過去にあったとおりの、また未来にあるとおりの、物事についての知識である」（教義と聖約 93：24）と教えています。

真理の知識はわたしたちをほかの人々よりも良くするものではありませんが、神の御前に帰るためにわたしたちがなすべきことを教えています。

キリストにあって確固として進み、真理を宣べ伝えるだけでなく真理に従って生活する勇気を持つとき、この時代に遭遇する動乱の中で慰めと平安を見いだすでしょう。

人生のチャレンジに打ち負かされるこ



ウルグアイ

とがあるかもしれませんが、イエス・キリストを信じる信仰を行使するとき、永遠という長い時間の中では「[[わたしたちの] 苦難は、つかの間にすぎない」（教義と聖約 121：7）ことを知ってください。どうか、困難やチャレンジの終わりがいつ来るかを自分で決めないでください。天の御父を信頼して、諦めないでください。というのは、もし諦めるならば、旅路の終わりに神の王国に至ることは決してないからです。

真理にしっかりとつかまり、これから挙げる真理の源から学びましょう：

- 聖典（2ニーファイ 32：3 参照）。
- 預言者の言葉（アモス 3：7 参照）。
- 聖霊（ヨハネ 16：13 参照）。

イエス・キリストが生きておられ、この教会が主の教会であることを証します。わたしたちには生ける預言者がいます。そして勇気を持って真理を宣べ伝えるとき、わたしたちはいつも自由を感じることでしょう。イエス・キリストの御名により、アーメン。■





十二使徒定員会  
ニール・L・アンダーセン長老

# 救い主に近づく

わたしたちは、救い主を知り、愛する努力をし、神と聖約を交わして世から離れます。際立ち、ありふれた存在ではなく特別な存在となりますが、信仰を異にする世の人々との交流を断つことはしません。

愛する兄弟姉妹の皆さん、今晚わたしは、へりくだって熱心にイエス・キリストに従う人たちに話してお話します。この国や全世界の国々に住む皆さんの善良な生き方や救い主を信じる信仰を見るにつけ、皆さんを愛する気持ちが、なおいっそう強くなります。

イエスのこの世での務めが終わりに近づいたころ、弟子たちはイエスに、「あなたがまたおいでになる時や、世の終わりには、どんな前兆が」<sup>1</sup>あるのかと尋ねました。

イエスは、御自分の再臨の前の状況について話し、最後にこう言明されました。「すべてこれらのことを見たならば、人の子が戸口まで近づいていると知りなさい。」<sup>2</sup>

前回の総大会で、わたしはヘンリー・B・アイリング管長の言葉に聞き入りました。「どこにしようと、わたしたちは各々、ますます危険な時代に生きていますと実感しています。……時のしるしを見る目と預言者の言葉を聞く耳を持つ人はだれでも、このことが真実だと分かります。」<sup>3</sup>

救い主は、雄々しい弟子たちを褒めてこう言われました。「あなたがたの目は見ており、耳は聞いているから、さいわいである。」<sup>4</sup> この大会で主の預言者や他の指導者を通して主の言葉によく耳を傾けると

きに、この祝福を頂けますように。

## 麦と毒麦

主は、御自分の再臨の前のこの最後のときに、「麦」、つまり主の言われる「御国の子たち」<sup>5</sup>が、「毒麦」、つまり神を愛さず神の戒めを守らない者たちと共存して成長すると、説明されました。麦と毒麦は共存して「両方とも育」<sup>6</sup>ちます。

これが、主の再臨までのわたしたちの世界です。どこにも善いものがたくさんあり、悪いものもたくさんあります。<sup>7</sup>

皆さんは時折、自分が強い成熟した麦だと感じられないかもしれません。自分に対して忍耐してください。主は、中には葉が生えてまだ柔らかい人もいる、と述

べておられます。<sup>8</sup> わたしたちは皆、主の末日聖徒です。まだあらゆる点で主の真の弟子になっているわけではありませんが、そうなりたいと真剣に思っています。

## イエス・キリストを信じる信仰を強める

わたしたちが理解しているのは、世の中の悪が増大する中で自分と愛する者たちが霊的に生き残るためには、イエス・キリストを信じる信仰の根をもっと育て、支え、強化しなければならない、ということです。救い主への愛に根ざし<sup>9</sup>、揺るぐことがなくしっかりと<sup>10</sup>主に従う決意を固めるようにと、使徒パウロは勧告しています。今もこれから先も、さらに集中的な努力が必要になってきます。逸脱したり、不注意になったりしないように、注意しなければなりません。<sup>11</sup>

周囲のこの世的な影響が強くなってきても、恐れる必要はありません。主は御自分の聖約の民を決してお見捨てにはなりません。義人には、この世の影響に対抗する力があります。それは、霊的な賜物と神の導きです。<sup>12</sup> しかし、この霊的な力という特別な祝福が与えられるのは、わたしたちが今の時代に生きているからだけではありません。この祝福は、主イエス・キリストを信じる信仰を強くして主の戒めを守り、主を知って愛するようになるときに与えられるのです。イエスはこう祈



フィンランド

られました。「永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることであります。」<sup>13</sup>

御存じのように、イエス・キリストを信じる信仰を持ち、真の弟子となることは、一度限りの決心ではありません。一度限りの出来事ではないのです。それは神聖かつ継続的な過程であって、人生の色々な段階を経て、主の足もとにひざまずくときまで増し加え続けます。

世の毒麦に囲まれて麦が生長する中で、わたしたちはどうすれば、これから先も救い主への献身を深め、強めることができるでしょうか。

3つの思いがあります。

### イエスの生涯に自分自身を浸す

第1に、イエスの生涯と教え、尊厳、力、贖いの犠牲に自分自身をもっとしっかり浸すことです。救い主は言われました。「あらゆる思いの中でわたしを仰ぎ見なさい。」<sup>14</sup> 使徒ヨハネはこのように指摘しています。「わたしたちが愛し合うのは、神がまずわたしたちを愛して下さったからである。」<sup>15</sup> 神の愛をさらに身に受けるときに、さらに主を愛するようになり、周りの人々を愛し思いやるというキリストの模範に、ごく自然に、さらに従えるようになります。一步一步主に近づくときに、さらに主がはっきりと見えるようになります。<sup>16</sup> わたしたちは主をあがめるようになり、小さなことで主に倣おうとします。<sup>17</sup>

### 主と聖約を交わす

第2に、救い主をもっとよく知り、愛するようになると、わたしたちは、忠誠と信頼を主に約束したいともっと思うようになります。わたしたちは主と聖約を交わします。バプテスマでの約束から始めて、日々悔い改め、赦しを求め、聖餐を心から待ち望んで毎週受けることによって、これらの約束やその他を確認します。わたしたち

は「いつも御子を覚え、御子〔の〕……戒めを守る」<sup>18</sup> ことを聖約します。

わたしたちは準備ができると、神殿の聖約と儀式を受けます。主の宮の神聖で静かな時の中で、永遠の影響を感じながら、わたしたちは喜んで神と聖約を交わし、それを守る決意を強く固めます。

聖約を交わして守ると、救い主の愛が、さらに深く心に染み入るようになります。10月号の『リアホナ』で、ラッセル・M・ネルソン大管長はこう言っています。「〔交わした〕聖約はわたしたちを徐々に神に近づけてくれます。……神は御自分とそのようなきずなを築いた人々との関係を、決して放棄されることがありません。」<sup>19</sup> そして、ネルソン大管長が今朝述べたように、「新しい神殿が奉献される度に、神聖な力が世界に加えられて、わたしたちを強め、サタンの激化する力を弱めるのです。」<sup>20</sup>

主が聖なる神殿をわたしたちに近づけるよう預言者を導き、わたしたちが頻繁に参入できるようにしてくださっているのは、なぜだと思いませんか。

神殿に参入すると、わたしたちは押し寄せるこの世の影響からしばし解放されて、人生の目的と、救い主イエス・キリストを通して頂ける永遠の賜物について学べるのです。

### 聖霊の賜物を保護する

最後に、3番目として、この神聖な努力の中で、わたしたちは聖霊の賜物を大切にし、守り、擁護し、保護します。M・ラッセル・バラード会長とケビン・W・ピアソン長老がすでに述べましたが、わたしももう一度ネルソン大管長の預言に満ちた警告をお伝えします。「導き、指示し、慰める、変わることはない聖霊の影響力がなければ、これから先、霊的に生き残ることはできなくなるでしょう。」<sup>21</sup> 聖霊の賜物は、計り知れない価値を持つ、神の賜物なのです。わたしたちは最善を尽くして日々行うことを大切に、聖霊の影響力がとどまるようにします。わたしたちは世の光であり、必要などときには、喜んで人と異なる存在になることを選びます。ダリン・H・オークス管長は最近、ヤングアダ



アルゼンチン



ルトに、こう問いかけました。「皆さんは、あえて人と違う存在になろうとしていますか。……〔特に〕大切なのは、個人の生活の中で何を選ぶかです。……皆さんは、世の反対に遭っても前進していますか。」<sup>22</sup>

### この世に染まらない選りをする

最近わたしはソーシャルメディアの投稿で、同じキリストに従う弟子である人たちに、世の人々と異なる選択をしたときのことを分かち合うよう呼びかけました。何百もの返事が来ました。<sup>23</sup> その幾つかを紹介します：

アマンダ：わたしは看護師で、地元の刑務所で働いています。キリストがなさるように受刑者を愛するよう努力しています。

レイチェル：わたしはオペラ歌手です。慎み深さとは無関係に、与えられた衣装は何でも着ると思われています。〔わたしはエンダウメントを受けているので、〕衣装は〔慎みのある〕ものでないと困ると〔プロデューサーに〕言ったんです。彼らは浮かぬ顔をしていましたけど、……しぶしぶ別の衣装に変えてくれました。常にキリストの証人として立つことから来る平安は、何物にも代え難いものです。

クリス：わたしは、元アルコール中毒で、神殿に入るふさわしさのある教会員です。わたしは依存症だったことも、〔イエス・キリストの〕贖いの証を得たことも、包み隠さず話しています。

ローレン：わたしは高校で、クラスメートと一緒に劇を作っていました。クラスメートたちは、無口で控えめな性格のわたしが突然みだらなことを言い始めるという筋書きにしがたり、その役をわたしに押し付けようとしたのですが、わたしは断り、一歩も引きませんでした。

アダム：わたしが純潔の律法を守っていてボルノグラフィーは見ないことにしているとと言っても、信じてくれない人がたく



日本

さんいます。守ることでわたしが喜びと心の平安を得ていることが、彼らには分からないのです。

エラ：父はLGBTQのコミュニティの一員です。わたしはキリストの証人として信仰を守っていますが、ほかの人たちの気持ちを常に考えるようにしています。

アンドラデ：家族は教会に行くのをやめました。わたしは教会に通い続けることに決めました。

そして最後はシェリーから：州知事の邸宅で開かれた行事に出席しました。乾杯するということで、グラスにシャンパンが注がれました。失礼だとスタッフには言われたのですが、わたしは水を頼みました。乾杯でわたしが掲げたのは、水の入ったグラスでしたが、州知事は不快な表情を見せませんでした。

ネルソン大管長はこう言いました。「そうですね、皆さんはこの世に生きていますが、世の汚れに染まらないように、世の中とは非常に異なる標準を持っています。」<sup>24</sup>

ウクライナの若い母親であるアナスタシアは、今年2月にキーウで爆撃が始まったウクライナの病院で男の子を産んだばかりです。看護師が病室のドアを開けてせかしました。「赤ちゃんを毛布でくるんだら、抱いて廊下に出るのよ。さあ、早く！」

アナスタシアは後にこう言っています。「母親になったばかりの数日がこんな大変なことになるとは、思ってもいませんでした。……でも、……これまでの祝福と

奇跡をかみしめていました。……

今は、……この破壊と危害をもたらした人々を救うことなどとうていできないと思えるかもしれません。……でもわたしには、キリストの弟子として、〔救うことができるようになるという信仰があります。……

将来は何が起こるかまったく分かりませんが、聖約を守れば、いつも御霊を受けることができ、……困難なときでも喜びと希望を感じられることを知っています。」<sup>25</sup>

### 永遠の命と日の栄えの約束

兄弟姉妹の皆さん、わたしは愛する救い主であるイエス・キリストの愛を豊かに受ける祝福に恵まれてきました。主が生きておられ、この聖なる御業を導いておられることを知っています。言葉によって、主への愛を十分に表現することはわたしにはできません。

わたしたちは、地上のあらゆる大陸の国や文化に広がり、わたしたちの主である救い主の栄えある再臨を待つ、何万人もの「聖約の子」です。わたしたちは、周囲の人々を照らす光として、自分の望みや思い、選択、行動を意識的に具体化します。わたしたちは、心を尽くして救い主を知り、愛する努力をし、神と聖約を交わして世から離れます。神と神の教えを尊びながら、際立ち、ありふれた存在ではなく特別な存在となりますが、信仰を異にする世の人々との交流を断つことはしません。

毒麦に囲まれた麦として生きることは驚

くべき旅路であり、時折心の痛みを伴うこともあります。わたしたちの信仰が成熟し確かなものとなることにより、必ずその痛みは鎮まります。救い主への愛と、救い主からの愛を心に深く感じるようにすると、人生の困難に出遭うときに自信と平安と喜びが与えられることを、皆さんに約束します。救い主はわたしたちに約束されました。「わたしは小麦と毒麦のたとえに従ってわたしの民を集め〔る〕。それは、……小麦が倉に安全に納められて永遠の命を得、日の栄えの栄光を冠として与えられるためである。」<sup>26</sup> イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. マタイ 24:3
2. マタイ 24:33
3. ヘンリー・B・アイリング「嵐の中で確固としている」『リアホナ』2022年5月号, 27
4. マタイ 13:16: 強調付加
5. マタイ 13:38
6. マタイ 13:30
7. ニール・A・マックスウェル長老はこう述べています。「教会員は福千年まで毒麦と小麦の状態に置かれるでしょう。中には小麦のふりをして毒麦がい……ます。」(「子供のようになる」『聖徒の道』1996年7月号, 78)
8. 教義と聖約 86:4, 6 参照
9. コロサイ 2:7 参照
10. コロサイ 1:23 参照。エペソ 3:17: Neal A. Maxwell, “Grounded, Rooted, Established, and Settled,” (Brigham Young University devotional, Sept. 15, 1981), speeches.byu.edu も参照
11. マタイ 13:22 で、「世の心づかいと富の惑わしが御言をふさ(いで)」人の霊的な成長を妨げることがないようにしなさい、とイエスは弟子たちに警告しておられます。わたしはこの「御言をふさぐ」という言葉を、ヨハネが言葉はイエスであると宣言しているヨハネ第1章と結びつけるとよいと思っています。「初めに言があった。言は神と共にあった。……すべてのものは、これによってできた。できたものうち、一つとしてこれによらないものはなかった。」(ヨハネ 1:1, 3) イエス・キリストを信じる信仰と、イエスに従う決意、救い主への愛は、霊的な光と養いがなくなるとふさがれてしまいます(アルマ 32:37-41 参照)。つまり、成長が妨げられてしまうのです。
12. See Neil L. Andersen, “A Compensatory Spiritual Power for the Righteous” (Brigham Young University devotional, Aug. 18, 2015), speeches.byu.edu.
13. ヨハネ 17:3
14. 教義と聖約 6:36



メキシコ

15. 1 ヨハネ 4:19
16. デビッド・B・ヘイト長老はこう述べています。「確かに中には実際に救い主とまみえた人もいます。しかし、辞書を引くと、この「見る」(英文「see」という言葉にはほかにも多くの意味があることが分かります。例えば、主を知るようになる、主を識別する、主と主の業を認識する、主が大切な存在であることに気づく、主を理解するようになるなどです。こうした天の啓発と祝福がわたしたち一人一人に与えられるのです。」(「神殿と神殿の業」『聖徒の道』1991年1月号, 64 参照)
17. モーサヤ 5:13 参照
18. 教義と聖約 20:77
19. ラッセル・M・ネルソン「永遠の聖約」『リアホナ』2022年5月号, 10
20. ラッセル・M・ネルソン「何が真実か」『リアホナ』2022年11月号, 29
21. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号, 93
22. Dallin H. Oaks, “Going Forward in the Second Century” (Brigham Young University devotional, Sept. 13, 2022), speeches.byu.edu. オークス管長は、*Deseret Magazine* (『アゼレト誌』)に掲載された、高等教育に宗教的アイデンティティを保持することに関する、教会教育システム教育委員長クラーク・G・ギルバート長老の最近の記事にある「あえて人と違う存在に(“dare to be different”）」という言葉を用いました。(see “Dare to Be Different,” *Deseret Magazine*, Sept. 2022, deseret.com).
23. 世の人々とどのように違っているかについてコ

- メントをしたほかの人々のことを知りたければ、アンダーセン長老の Facebook (2022年8月18日, facebook.com/neill.andersen) や Instagram (2022年8月18日, instagram.com/neillandersen) で実際のコメントを読むことができます。
24. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」(青少年対象のワールドワイド・デイボーショナル, 2018年6月3日), HopeofIsrael.ChurchofJesusChrist.org
  25. Anastasia K., “Facing the Conflict in Ukraine, Healing the Conflict in My Heart,” *YA Weekly*, May 2022.
  26. 教義と聖約 101:65





十二使徒定員会  
ジェフリー・R・ホルランド長老

# 十字架につけられて

**イエス・キリストに従うために人は重荷を負い、犠牲が必要な所、苦しみが避けられない所に行かなければならないときがあります。**

何年も前のことですが、大学院のクラスでアメリカの宗教史について話し合った後で、クラスメートにこう尋ねられました。「末日聖徒は、どうしてほかのクリスチャンのように十字架を信仰の象徴として使わないのですか。」

十字架に関するこのような質問は、キリストに対するわたしたちの献身について尋ねている場合が多いので、わたしはすぐに、末日聖徒イエス・キリスト教会はイエス・キリストの贖いの犠牲を、神の子らの救いのために神が用意された大いなる御計画の中心的事実、決定的な基盤、主要な教義、そして神による究極の愛の表現だと捉えていると答えました。<sup>1</sup> その行いに込められた救いの恵みは、アダムとエバから世の終わりに至るまで、全人類に与えられた不可欠で普遍的な贈り物であると説明しました。<sup>2</sup> また、預言者ジョセフ・スミスの言葉を引用し、「わたしたちの宗教に関するほかのすべての事柄は」イエス・キリストの贖罪に「付随するものにすぎない」と言いました。<sup>3</sup>

それから、イエスが誕生する600年前に記されたニーファイの言葉を読んで聞かせました。「さて、天使が……『見なさい』と言うので眺めると、神の小羊が……世の罪のために十字架につけられて殺されたのを見た。』<sup>4</sup>

「愛し、分かち合い、招く」スイッチが完全に入ったわたしは、さらに読み続けま

した。復活されたキリストは新世界にいるニーファイ人に向かって、こう言っておられます。「父は、わたしが十字架に上げられるようにと、わたしを遣わされた。……（それは）すべての人をわたしのもとに引き寄せ（るためであった）。……このために、わたしは上げられたのである。』<sup>5</sup>

そこからさらに使徒パウロの言葉を引用しようとしたとき、友人の目がどんよりしているのに気付きました。彼はさっと時計に目をやると、いかにもどこかに、いやどこでもいいから、行く用事があるのに気づいたかのように、ありもしない約束に向かって飛んで行きました。こうして、その会話は終わってしまいました。

それから50年ほどたった今朝、わたし

はそのときの説明を最後までやり遂げようと固く決心しています。一たとえ皆さん全員が、一人残らず腕時計を見始めたとしても、です。わたしたちが一般的に十字架を象徴として用いない理由を説明するに当たり、それを使用する人々の信仰に満ちた動機と献身的な生活に対して、深い敬意と称賛を抱いていることを明言したいと思います。

わたしたちが十字架を象徴として強調しない理由の一つは、聖書の時代にさかのぼります。はりつけの刑はローマ帝国における最も苦痛を伴う処刑方法の一つでした。そのため、イエスの初期の弟子の多くは、そのような苦痛を与える残酷な道具を強調しないことを選びました。キリストの死の意味は、確かに彼らの信仰の中心ではありましたが、約300年の間、彼らは通常、ほかの手段によって福音とは何かを伝えようとしたのです。<sup>6</sup>

4世紀から5世紀にかけて、一般的なキリスト教の象徴として十字架が導入されるようになりますが、わたしたちの教会は「一般的なキリスト教」ではありません。カトリックでもプロテスタントでもないわたしたちは、回復された教会、すなわち新約聖書の時代にあった教会が回復された教会だからです。ですから、この教



会の起源と権威は、公会議や信条や象徴の時代の前までさかのぼるのです。<sup>7</sup>その意味で、遅れて一般的に用いられるようになった象徴が、末日聖徒イエス・キリスト教会では存在しないことが、この教会が真のクリスチャンの起こりを回復したものであることのさらなる証拠でもあります。

十字架を象徴として用いないもう一つの理由は、わたしたちが犠牲の苦しみと死だけでなく、栄えある復活を含めたキリストの使命こそ完全な奇跡であることを重要視しているからです。この関係性を強調するために、ここで毎週木曜日にソルトレークシティの神聖な神殿で大管長会と十二使徒定員会が一堂に会する部屋の壁に掛けられている絵を二枚紹介します。<sup>8</sup>これらは、わたしたちが僕として仕える主が、わたしたちのために払ってくださった代価と勝ち取られた勝利を常に思い起こさせてくれます。

キリストの二つの勝利をより公に表現する方法として、わたしたちが用いているのがトルバルセンによるこの小さな絵です。復活されたキリストがはりつけの傷も露わに栄光に満ちて墓から出て来られる様子が描かれています。<sup>9</sup>

最後に、かつてゴードン・B・ヒンクレー大管長が教えたように、「教会員の生活こそがわたしたちの信仰の象徴とならなければならない」ことが思い起こされます。<sup>10</sup> これらのこと、特に後者の理由を考え合わせると、十字架に言及するあらゆる聖句の中で最も重要だと思われるものを思い出します。それはペンダントやジュ

エリー、尖塔や標識とは何の関係もありません。むしろ、イエスとその弟子一人一人に与えられた召しを果たすうえでクリスチャンが身につけておくべき強い誠実さと固い道徳心に関係しています。どの国でもどの時代でも、主はわたしたち皆に向けてこうおっしゃっています。「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。」<sup>11</sup>

ここで言っているのは、身につけるのではなく、身に負う十字架のことです。イエス・キリストに従うためには、自分またはだれかの重荷を負い、犠牲が必要な所、苦しみ避けられない所に行かなければならないときがあります。真のクリスチャンは、自分が納めできるときだけ主に従うということはできません。そうです。わたしたちはどこにいても主に従います。必要であれば、涙と苦しみを味わい、ときに独りきりになるとしても、主に従います。

教会中外で、そのように忠実にキリストに従っている人々をわたしは知っています。重度の身体障害のある子供たちや、その世話をする親たちを知っています。皆、ときに疲れ果てながら、強さと安全と、他の方法では得られない、数少ない

喜びの瞬間を求めて努力しています。愛する伴侶とすばらしい結婚、そして子供が大勢いる家庭を切望し、それにふさわしいシングルアダルトを大勢知っています。これほど義になかった願いはないでしょう。それなのに、何年たってもそのような幸運に恵まれていません。様々な精神疾患と闘いながら、切に助けを求め、情緒的安定という約束の地を渴望し、そのために祈り、必死に進んでいる人々をわたしは知っています。貧困にあえぎながらも希望を失わず、愛する家族や周りの困っている人たちのために、より良い収入を得るチャンスを求めている人たちを知っています。また、アイデンティティーや性別、性の問題で悩んでいる人々を大勢知っています。わたしは彼らのために、そして彼らと共に涙します。彼らの決定がもたらす結果がいかに重大かを知っているからです。

これらは人生で直面する可能性のある、難しい試しとなる状況のほんの一部であり、弟子には代価が求められるという厳粛な真理を再認識させてくれます。ダビデ王は、燔祭のための牛とたぎきを無償でダビデに与えようとしたアラウナに対し、次のように言いました。「いいえ、代価を支払ってそれをあなたから買い取ります。〔なぜなら、〕わたしは費用をかけずに燔祭をわたしの神、主にささげことはし〔ないからです〕。』<sup>12</sup> それはわたしたちも皆、同じです。

わたしたちが自らの十字架を背負って主に従うとき、その試練の重荷によって他



「マリヤと復活されたキリスト」ハリ・マンダーソン画







の人が抱える重荷にもっと共感し、もっと気配りできるようにならなかったとしたら、それは大きな悲劇です。救い主が両腕を大きく広げ、その状態で釘付けにされたことは、キリストのはりつけに関する最大の逆説の一つです。それは、全人類、すべての男女および子供が、贖いと昇栄をもたらす主の胸に抱かれてもよいだけでなく、そうするよう招かれていることを、偶然に、しかし正確に描写しているからです。<sup>13</sup>

苦しいはりつけの後に輝かしい復活があったように、モルモン書の預言者ヤコブの言葉のとおり、進んで「キリストを信じ、キリストの死について考え、キリストの十字架を負(う)人」にはあらゆる種類の祝福が注がれます。このような祝福はすぐに来ることもあれば、後で来ることもあります。しかし、わたしたちの個人的な *via dolorosa* (いばらの道)<sup>14</sup> のすばらしい結論は、祝福は必ず来るという主御自身の約束です。そのような祝福を得るために、どんなときもくじけず、逃げず、務めに決してたじろがず、自分の十字架が重いとき

も、一時的に道が暗くなるときも、主に従うことができますように。皆さんの強さ、皆さんの忠実さ、皆さんの愛に対するわたしの深い感謝をお伝えします。イエス・キリストが「上げられた」こと<sup>15</sup>、そして主とともに「上げられ[る]」者に永遠の祝福を授けられることを、本日改めて使徒として、主イエス・キリストの御名により証します。アーメン。■

#### 注

1. ジェフリー・R・ホランド, *Encyclopedia of Mormonism* (1992年), "Atonement of Jesus Christ," 1:83 参照。
2. アミュレクは、キリストの贖罪は「大いなる最後の犠牲」であって、その影響力は「無限にして永遠」に及ぶと述べています(アルマ 34:10)。なぜなら、「すべての人は……墮落し、迷った状態にあるので、贖罪によらなければ必ず滅びる」からです(アルマ 34:9。8-12 節も参照)。ジョン・テラー大管長はこう付け加えています。「[イエス]は理解も説明も不可能な方法により、全世界の罪の重荷に耐えられました。アダムだけではなく子孫すべての重荷を負われたのです。そして、そうすることにより主は、天の王国を開き、信じる人々や神の律法に従う人々のみならず、責任の取れる年齢まで成長する前に亡くなった人類家族の半数以上の人々や、律法なくして亡くなった……人々も、主の仲介により律法なしに復活し、律法なしに裁きを受け、……主の

贖罪の恵みにあずかれるようにされたのです (*An Examination into and an Elucidation of the Great Principle of the Mediation and Atonement of Our Lord and Savior Jesus Christ*[1892], 148 - 49; 『歴代大管長の教え—ジョン・テラー』 52)。

3. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』 49
4. 1 ニーファイ 11:32 - 33
5. 3 ニーファイ 27:14 - 15
6. もちろん、パウロの教えにははりつけに言及している部分がありますが(例えば、1 コリント 1:17 - 18; ガラテヤ 6:14; ペリピ 3:18 を参照)、これらの聖句は 2 本の木の梁を釘付けしたのもや、それを小さくした象徴よりも、はるかに偉大なものについて語っています。すなわち、パウロは十字架について語る時、贖罪の壮大さについて語るために述べているのです。その点については末日聖徒も容易にパウロに同調し、引用しています。
7. マルティン・ルターの盟友アンドレアス・カールシュタット (1486 - 1541 年) のような初期の伝統的なクリスチャンは、中世後期までには「十字架(単体では)キリストの人間的な苦しみのみを描写し、主の復活と救いの力を見落としている」(in John Hilton III, *Considering the Cross: How Calvary Connects Us with Christ* [2021], 17) と主張していました。
8. Harry Anderson, *The Crucifixion*; Harry Anderson, *Mary and the Resurrected Lord*.
9. ラッセル・M・ネルソン「助けを求めて天を開かん」『リアホナ』2020年5月号, 72 - 74 参照。
10. ゴードン・B・ヒンクレー「キリストの象徴」



中央扶助協会会長会第一顧問  
J・アネット・デニス姉妹

- 『聖徒の道』1976年12月号、543参照
11. マタイ 16:24
  12. サムエル下 24:24
  13. 「主の腕が、悔い改めて主の名を信じるすべての人に伸べられていることが分かるのである。」(アルマ 19:36。2 ニーファイ 26:33; アルマ 5:33 も参照)
  14. *Via dolorosa* とは、「非常に困難な道のり、旅、または一連の経験」を意味するラテン語であり(Merriam-Webster.com Dictionary, 「via dolorosa」)、ピラトによって有罪を宣告されてからカルバリではりつけにされるまで、イエスの歩まれた道のりに関連づけられることが最も多い言葉です。
  15. 3 ニーファイ 27:14 - 15 参照

# 主のくびきは負いやすく、 主の荷は軽いのです

この地上にいる一人一人が神の子供であり、神は一人一人を愛しておられることを覚えておきましょう。

これは、キャシーという名の猟犬を手塩にかけて育てていたジャックという男性の話です。ジャックはキャシーのことをとても誇りに思っており、キャシーがどれだけ有能な犬なのかをよく自慢していました。その有能さを直に見てもらおうと、ジャックは何人かの友人に声をかけました。狩猟クラブに到着したジャックは、キャシーを外で走り回らせている間に受付を済ませました。

狩猟を始める時間になり、キャシーのすばらしいスキルを見せられるとわくわくしていたジャックでしたが、キャシーの様子が変わりました。キャシーは普段のようにジャックの指示に進んで従おうとはせず、ただただジャックの側にいたい様子でした。

ジャックはキャシーに対し、いらだちと怒り、恥ずかしさを感じていました。しばらくたち、ジャックは来ていた人たちにもう帰ろうかと提案しました。キャシーはトラックの後ろに飛び乗ろうとさえしなかったため、ジャックはいら立ちながらキャシーを抱き上げ、犬用のキャリーケースに押し込みました。

帰宅する間、一緒に来ていた人たちが自分の犬の行動をばかにするのを聞きながらジャックは怒りを感じていました。ジャックは、なぜキャシーが正しく振る舞えなかったのか理解できませんでした。

キャシーは十分な訓練を受けていましたし、以前はジャックを喜ばせ、指示に従うことを喜びとしていました。家に着いたジャックは、いつもと同じように、キャシーに、けがやとげ、ダニが付いていないか確認し始めました。キャシーの胸の位置に手を置くと、何かが濡れているのを感じ、見ると自分の手が血まみれになっていました。体が凍りつく思いで、自らのふがいなさを感じました。キャシーは、胸骨に届くほどの深さの、長く大きな傷を負っていたのです。また、右足にも骨まで届くほど深い傷を見つけました。

ジャックはキャシーを腕に抱き、泣き出しました。キャシーに対し、誤解を持って接したことに対する恥ずかしさで胸がいっぱいになりました。キャシーが狩猟クラブで、いつもと違う行動をしたのは、傷を負っていたからでした。キャシーの行動は、痛みと苦しみ、そしてその傷による影響を受けていたのです。ジャックに従いたいという望みや、ジャックに対する愛がなかったわけではまったくありませんでした。<sup>1</sup>

何年も前に聞いたこの話を、わたしは忘れたことはありません。わたしたちの中に、傷ついた人は何人いるのでしょうか。十分な理解があれば、裁くことで相手の重荷をさらに重くするのではなく、慈愛と助けたいという望みを持って対応すること





ができるはずですが。それにも関わらず、わたしたちはどれほど頻りに相手の見かけと行動、または行動を起こさないことを理由に裁いてしまうことがあるでしょうか。

わたし自身、これまでこの過ちを何度も犯してきました。しかし個人的な経験を通して、またほかの多くの人の人生経験に耳を傾ける中で、主は忍耐を持ってこのことを教えてくださいました。愛をもって人々を教導するために、御自分の時間を多く費やして下さった愛する救い主の模範に、わたしはさらに深く感謝するようになりました。

わたしの末娘は、幼いころから情緒的な健康上の問題を抱えてきました。彼女は、人生を通じて、先に進めないと感じることが何度もありました。そのような時に側にいてくれた、この現世における天使たちへの感謝を永遠に忘れません。彼らは娘に耳を傾け、一緒に涙し、また、ともに独自の賜物、霊的な理解、互いに愛し合う関係を分かち合ってくれました。そのような愛に満ちた環境の中で、双方の重荷が軽くされることがしばしばありました。

コリント人への第一の手紙を引用したジョセフ・B・ワースリン長老は、「たとえわたしが、人々の言葉や御使たちの言葉を語っても、もし愛がなければ、わたしは、やかましい鐘や騒がしい鑼鉢と同じである」<sup>2</sup>と言いました。

そしてこう続けています。

「パウロから当時の新しい聖徒へのメッセージは、慈愛がなければ何をしていても同じであるという、簡潔で直接的なものでした。異言を語り、預言の賜物を持ち、あらゆる奥義を理解し、すべての知識を得たとしても、また、たとえ山を動かす信仰があったとしても、慈愛がなければ、何の益にもならないのです。

『この慈愛はキリストの純粋な愛で[す]。』[モロナイ7:47] 救い主は……この愛を実践し[ました]。』<sup>3</sup>

ヨハネ書にはこのようにあります。「互に愛し合うならば、それによって、あなた

がたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう。』<sup>4</sup>

わたしたちの教会指導者は、慈愛、一致、愛、優しさ、思いやり、赦し、憐れみについて数多くの説教を残してきました。

救い主はわたしたちに、より高く、より神聖な方法<sup>5</sup>、つまりすべての人が自分の居場所があり、必要とされていると感じることができる主の愛の方法に従って生活するよう勧めておられると信じています。

わたしたちはほかの人々を裁くのではなく<sup>6</sup>、愛するようにと命じられています。<sup>7</sup> 重荷を降ろしましょう。それはわたしたちが運ぶべき重荷ではないのです。<sup>8</sup> そうではなく、わたしたちは救い主の愛と思いやりのくびきを負うことができます。

「すべて重荷を負うて苦勞している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。

わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである。』<sup>9</sup>

救い主は罪を容認されることはありませんが、わたしたちが悔い改めるとき、御自身の愛を示し、赦しを与えてくださいます。姦淫で捕らえられた女性に対して、主は「わたしもあなたを罰しない。お帰りなさい。今後はもう罪を犯さないように」<sup>10</sup>と言われました。主に触れられた人々は主の愛を感じ、その愛は彼らを癒し、変えました。主の愛により、彼らは人生を変えたいという気持ちを持ちました。主の方法に従って生活することで、喜びと平安がもたらされます。主は優しさと思いやりと愛を持って、ほかの人々もそのように生きるよう招かれました。

ゲーリー・E・スティーンソン長老は、次のように言っています。「人生の風や嵐、病気やけがを経験するときに、わたしたちの羊飼、介護者であられる主は、愛と思いでわたしたちを養ってくださいま

す。主はわたしたちの心を癒し、霊を修復してくださいませ。』<sup>11</sup> イエス・キリストに従う者として、わたしたちも同じように行うべきではないでしょうか。

救い主はわたしたちに、御自身に学び<sup>12</sup>、御自身が行うのを見たそのとおりのことを、わたしたちも行うよう<sup>13</sup> 望んでおられます。神は慈愛と純粋な愛を体現されている御方です。義務感からでも、祝福を受けるからでもなく、純粋に主と天の御父に対する愛によって<sup>14</sup>、主から求められる事柄を徐々に行えるようになるにつれ、主の愛がわたしたちの中に流れ込みます。そうすることで、主が求めておられるすべてのことが可能になるだけでなく、それらが最終的に想像もしなかったほど容易になり、負担が軽くなり<sup>15</sup>、喜びが満ちます。練習が必要です。わたしもそうであったように長い時間がかかるかもしれませんが、愛を動機とする望みさえあれば、主はその望み、その種を用い、<sup>16</sup> 最終的にそれを最も甘い実がたわわに実る美しい木に変えてくださるのです。<sup>17</sup>

大好きな賛美歌の一つで、わたしたちは次のように歌います。「おのれの罪、咎なげに見えぬか。心を探りて弱きを悟らん。」<sup>18</sup> わたしたちの中で、人には見えない弱さや悲しみを負っている人がいるでしょうか。反抗的に見える子供や10代の若者、親が離婚している子供、シングルマ





ザーやシングルファザー、身体的または精神的な健康上の問題を抱えている人、自らの信仰に疑念を持つようになった人、人種的または文化的な偏見にさらされている人、孤独を感じている人、結婚を切望する人、克服したい依存症を抱えている人など、様々な人が人生において困難な経験に取り組んでいます。表面的には完璧な人生を送っているように見える人でさえも、多くの場合困難な経験をしているのです。

完璧な生活を生き、完璧な家族を持つ人などいません。もちろんわたしもそうです。同じように困難や自らの不甲斐なさを経験している人に共感しようと努めるとき、その人は苦勞しているのは自分だけではないと感ずることが出来ます。だれもが、本当に自分には居場所が確かにあり、自分がキリストのからだに属し、必要とされていると感ずる必要があります。<sup>19</sup> サタンは神の子供たちを分断させることを強く望み、その面において大きな成功を収めています。しかし、一致には大きな力があります。<sup>20</sup> この困難な現世の旅路において、わたしたちはどれほど互いに手を取り合っ歩きを必要としているのでしょうか。

わたしたちの預言者、ラッセル・M・ネルソン大管長はこのように述べています。「国籍、人種、性的志向、性別、教育の程

度、文化、そのほかの重要な識別子のためのいかなる虐待も、偏見も、創造主を不愉快にさせます。そのような不当な扱いは、神の聖約の息子、娘としての立場に及ばない生活を余儀なくさせます。」<sup>21</sup>

ネルソン大管長はすべての人に、天の御父のみもとに戻る聖約の道に入り、その道にとどまるように勧めています。同時に次の勧告も与えています。「友人や家族が教会から離れても、その人を愛し続けてください。自分が忠実であり続けることに対して批判を受けるいわれがないのと同様に、人の選択を裁く資格もありません。」<sup>22</sup>

友人の皆さん、この地上の一人一人が神の子供であり<sup>23</sup>、神が一人一人を愛しておられることを思い起こしましょう。<sup>24</sup> あなたの周りに、つい裁いてしまいたくなった人はいますか。そうであれば、そのようなときこそ、救い主が愛されるように愛することを実践する貴重な機会であることを忘れないでください。<sup>25</sup> わたしたちが主の模範に従うとき、わたしたちは主とくびきを負い、御父のすべての子供たちの心に愛と帰属感を育む助けができます。

「わたしたちが愛し合うのは、神がまずわたしたちを愛して下さったからで〔す〕。」<sup>26</sup> 救い主の愛で満たされるとき、主のくびきは確かに負いやすく、主の重荷は軽く感ずることが出来ます。<sup>27</sup> このことをイエス・キリス

トの御名により心から証します、アーメン。■

#### 注

1. See Jack R. Christianson, *Healing the Wounded Soul* (2008), 27.
2. 1コリント13:1。モロナイ7:44-48も参照
3. ジョセフ・B・ワースリン「いちばん大切な戒め」『リアホナ』2007年11月号, 28
4. ヨハネ13:35, 強調付加。34節も参照
5. ラッセル・M・ネルソン「はじめに」『リアホナ』2018年11月号, 6-8
6. マタイ22:36-40; ヨハネ13:34-35参照
7. マタイ7:1-4; ディーター・F・ウークトドルフ「憐れみ深い人は憐れみを受ける」『リアホナ』2012年5月号, 70-77参照。ロバート・C・ゲイ「イエス・キリストの御名を受ける」『リアホナ』2018年11月号, 97-100も参照
8. これに対する例外として、ビショップとステーキ会長が含まれます。「ビショップとステーキ会長は、どちらも「イスラエルの判士」です(教義と聖約107:72)。この権能により、ビショップとステーキ会長は、会員が罪を悔い改め、罪を赦してくださるキリストのもとに来られるよう助けます(32.1および32.3参照)。」(『総合手引き—末日聖徒イエス・キリスト教会における奉仕』31.1.7, ChurchofJesusChrist.org)
9. マタイ11:28-30; 強調付加
10. ヨハネ8:11; 強調付加。3-10節も参照
11. ゲーリー・E・スティープソン「一つに結ばれた心」『リアホナ』2021年5月号, 23
12. マタイ11:29参照
13. 3ニーファイ27:21-22参照
14. マタイ22:37-39参照
15. モーサヤ24:15参照
16. アルマ32:27参照
17. アルマ32:41参照
18. 「われ主を愛して」『賛美歌』134番
19. 1コリント12:12-27参照。ジェフリー・R・ホランド「歌われる歌と歌われない歌」『リアホナ』2017年5月号, 49-51も参照
20. シャロン・ユープンク「気持ちを一つにするこ





十二使徒定員会  
ゲレット・W・ゴング長老

# いつまでも幸せに

愛する人々とともに味わう真の永続する喜びと永遠の時は、まさに神の幸福の計画の真髄なのです。

- とによって神の力を得るのです」『リアホナ』2020年11月号, 55-57 参照。デー  
ル・G・レンランド「キリストの平安は敵意  
を取り除く」『リアホナ』2021年11月号,  
83-86; Sharon Eubank, "Turning  
Enemies into Friends" (Brigham Young  
University devotional, Jan. 23, 2018),  
speeches.byu.edu も参照
21. ラッセル・M・ネルソン「永遠にわたる決断」  
(ヤングアダルトのためのワールドワイド・  
ディボーションナル, 2022年5月15日),  
broadcasts.ChurchofJesusChrist.org
  22. ラッセル・M・ネルソン「永遠にわたる決断」,  
broadcasts.ChurchofJesusChrist.org
  23. ローマ 8:16 参照
  24. イザヤ 49:16; ローマ 8:35, 38-39 参照
  25. ルカ 6:31-38 参照
  26. 1 ヨハネ 4:19「ここで述べているのは、全  
人類に与えられた第一の大切な戒め、つまり  
、誠心誠意神を愛すること、躊躇もせず、  
妥協もせず、心と勢力と思いと力を尽くして、  
神を愛することです。神をそのように愛する  
ことが、宇宙における第一の偉大な戒めな  
のです。一方、宇宙におけるいちばん大切な  
第一の真理は、神が御自分の心を尽くし、勢  
力を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、躊  
躇もせず、妥協もせず、わたしたちを愛して  
おられるということです。」(ジェフリー・R・  
ホランド「最も大きいなる資産」『リアホナ』  
2021年11月号, 9)
  27. マタイ 11:28-30 参照



友人の皆さん、愛する兄弟姉妹の皆さん、いつまでも幸せでいられると思ひ、願っていたときのことを覚えていますか。

その後、人生の憂き目に遭ひ、人は「大人」になります。人間関係は複雑になり、この世は騒がしく、また息苦しく、強引で、ごまかしや建て前で満ちています。それでも「心の奥底」では、<sup>1</sup>どこか、何らかの形で、永遠の幸せは実在し、手に入られると信じ、願っているのです。

「永遠の幸せ」とは、おとぎ話のような想像上のものではありません。愛する人々とともに味わう真の永続する喜びと永遠の時は、まさに神の幸福の計画の真髄なのです。神が愛をもって備えられた方法は、永遠の旅を幸せで、永続するものにしてくれます。

わたしたちには、喜ぶべきことや感謝すべきことはたくさんありますが、完璧な人はいませんし、完璧な家族などは存在しません。人間関係には、愛、社会性、性格などの要素だけでなく、しばしばあつれきや心の痛み、時には深い苦悩なども含まれます。

「アダムにあってすべての人が死んでい  
るのと同じように、キリストにあってすべ  
ての人が生かされる [からです]。」「<sup>2</sup> イエ  
ス・キリストにあって生かされるとは、不  
死不滅、すなわち肉体の復活という主の  
賜物を受けるということです。また、キリ  
ストにあって生かされるとは、信仰をも  
って従順に生きるならば、神と愛する人々  
とともに、喜びに満ちた永遠の命を受け  
られるということでもあります。

主の預言者は、より多くの場所で神聖な  
神殿の儀式や聖約が受けられるようにする  
など、驚くべき方法でわたしたちが救い主に  
近づけるようにしてくれています。わたした  
ちは、この世においても永遠にわたっても、  
お互いに、また家族とともに、新たな霊的な  
理解や愛、悔い改め、赦しを見いだす深遠  
な機会と賜物を与えられているのです。

許可を得て、友人から聞いた、2つの神  
聖で、珍しいほどに霊的かつ個人的な経  
験を紹介します。イエス・キリストが世代  
を超えた対立をも癒し、家族を一つにした  
という話です。<sup>3</sup> イエス・キリストの贖罪は、  
「無限にして永遠の」<sup>4</sup>、「死の縄目よりも強  
い」<sup>5</sup>のものであり、わたしたちの過去に平安  
を、未来に希望をもたらし助けとなります。

友人夫妻は、末日聖徒イエス・キリスト  
教会に加わったとき、家族関係が「死が  
二人を分かつ」ときに終わるとは限らな  
いことを知り、喜びを感じました。主の宮  
において、家族は永遠に結ばれる（結び  
固められる）ことができるのです。

ところが、父親との結び固めを望まない  
友人は、こう語っていました。「父は母に  
とって良い夫ではなく、子供たちにとつ  
ても良い父親ではなかったんです。父は待  
つしかないでしょう。父のために神殿の  
業を行い、永遠に結び固められたいとは  
どうい思えないのです。」

彼女は、1年の間、断食し、祈り、父親に  
ついて主とたくさん話をしました。そして  
ついに準備が整い、父親の神殿の儀式を



完了することができました。後に、彼女はこう語っています。「眠っていたとき、白い服を全身にまとった父が夢に現れたんです。父は別人になっていて、こう言いました。「見てごらん。すっかり清くなったよ。神殿で儀式をしてくれてありがとう。』そして、父親からこう言われたそうです。「立ち上がって神殿に戻っておくれ。兄さんがバプテスマを受けるのを待っているよ。」

友人はこう言っています。「先祖や亡くなった人たちは、自分のための業が行われるのを心待ちにしています。わたしにとって、神殿は癒しと学びの場であり、イエス・キリストの贖いを認める場所なのです。」

2つ目の経験です。別の友人は、家族歴史を熱心に調べていました。曾祖父を見つけないかと思っていたのです。ある朝早く、この友人は自分の部屋に男性の霊がいるのを感じたそうです。この男性は家族に見つけてもらい、存在を知られるよう願っていました。また、すでに悔い改めた、自分が犯した過ちについて後悔の念を抱いていました。そして、この男性は、わたしの友人が自分の曾祖父だと思っていた人物とは遺伝子上のつながりがないことを気付かせてくれました。友人はこう言っています。「つまり、わたしは曾祖父を見つけたのですが、家系図で曾祖父とされていた人物とは違っていたことが分かったのです。」

家族関係が明らかになった友人は、こう述べています。「自由で、安らかな気持ちです。自分の家族が誰であるのかを知ることは非常に重要です。」友人はこう考え

ています。「枝が曲がっていても、木が悪いわけではなく、この世に生まれてきたときの状態は、この世を去るときにどうなっているかに比べれば重要ではないのです。」

聖文や、霊界で生きている人々を含めた、個人の癒しと平安に関する神聖な経験は、5つの教義上の原則を浮き彫りにしています。

第1に、神の贖いと幸福の計画の中心を成すイエス・キリストは、御自身の贖罪を通して、わたしたちが「満ちみちる喜びを受けるために、……決して再び分離することのないように」、わたしたちの霊と肉体を結び合わされると約束しておられます。<sup>6</sup>

第2に、贖罪 (atonement)、すなわちキリストと一つとなること (at-one-ment) は、信仰を働かせ、悔い改めにふさわしい実を結ぶことでもたらされます。<sup>7</sup>これは現世においても、不死不滅の状態にあるときも同様です。わたしたちや霊界にいる人々を変えるのは、神殿の儀式そのものではありません。むしろこうした神聖な儀式により、聖めをもたらす聖約を主と交わせるようになり、聖約を通して、主との間、そしてお互いの間の調和が実現可能となるのです。

イエス・キリストの恵みと救しを感じる時、わたしたちの喜びは満たされます。そして、お互いに主の恵みと救しの奇跡を示し合うなら、わたしたちが受ける憐れみと、わたしたちが示す憐れみは、人生における不公平さを正す助けとなります。<sup>8</sup>

第3に、神はわたしたちを御存じで、完全に愛しておられます。

「神は侮られるようなかたではな〔く〕、<sup>9</sup>

欺かれることもありません。神は完全な憐れみと正義をもって、悔い改める謙遜な人々を腕に包み込んで保護してくださいます。

カートランド神殿において、預言者ジョセフ・スミスは示現の中で兄のアルビンが日の栄えの王国に救われるのを目にしました。アルビンはバプテスマという救いの儀式を受ける前に亡くなっていたため、預言者ジョセフは驚きました。<sup>10</sup> 主はその理由を、御自身が「〔わたしたち〕をその行いに応じて、またその心の望みに応じて裁く」<sup>11</sup> からであると、慰めをもって説明しておられます。わたしたち自身に、自らの行いや望みが現れるのです。

ありがたいことに、わたしたちは生者も「悔い改める死者〔も〕、神の宮の儀式に従うこと〔とキリストの贖罪〕によって贖われるであろう」<sup>12</sup> ことを知っています。

霊界では、罪や背きを犯した人でさえも悔い改める機会があります。<sup>13</sup>

一方、故意に悪事を選ぶ人、意図的に悔い改めを引き延ばす人、簡単に悔い改めようと思って、計画的に、あるいは故意に戒めを破る人は、神に裁かれ、「自分のすべての罪をはっきりと思い出す」こととなります。<sup>14</sup> 土曜日に故意に罪を犯し、日曜日に聖餐を受けることで自動的に赦されることを期待することはできないのです。宣教師やそのほかの人で、御霊に従っているなら伝道部の標準や戒めを守る必要はないと言う人々に覚えておいていただきたいのは、伝道部の標準や戒めを守ることが御霊を招くということです。だれ一人として、悔い改めを先延ばしにしてはなりません。悔い改めの祝福が訪れるのは、悔い改め始めたときなのです。

第4に、主は、ほかの人が必要としている、その人自身ではできない神殿の救いの儀式を代わりに行うことで、さらに主のようになる神聖な機会をわたしたちに与えてくださっています。わたしたちは、「シオンの山」で「救う者」<sup>16</sup> となると、より完成



された、完全な者となります<sup>15</sup>。人々に奉仕するとき、約束の聖なる御霊がその儀式を承認し、与える側と受ける側の両方を聖めてくださいます。与える側も受ける側も、人を変える力のある聖約を交わし、深めることができ、徐々にアブラハム、イサク、ヤコブに約束された祝福を受けるのです。

最後、第5に、黄金律<sup>17</sup>で教えられているように、赦しを受けるためには赦さなければならぬという、悔い改めと赦しにおける対称性は聖めをもたらす、自分が必要とし、望んでいるものをほかの人に与えるよう一人一人を招きます。だれかを赦そうとすることで、その人も自分自身も、悔い改めて赦されることを信じられるようになることがあります。

時には、悔い改めようとする思いが訪れる時期と、赦す力が訪れる時期がずれることもあります。救い主は神とわたしたちとの間の仲保者です。しかしそれだけでなく、主は、御自分のもとに来る人々が本来の自分を取り戻し、互いに向き合えるよう助けてくださるのです。特に傷や痛みが深いときには、人間関係を修復し、心を癒すのは困難で、自分の力だけでは不可能かもしれません。しかし、いつ踏みとどまり、どう手放すべきか分かるよう、自分の

力を超えた力と知恵を天は与えてくれます。

独りではないと気づくとき、孤独感は和らぎます。救い主は常に理解してくださいます。<sup>18</sup> 救い主の助けがあれば、自分の高慢さや傷、罪を神に委ねることができます。最初にどう感じていようと、主がわたしたちの関係を収めてくださると信頼するのなら、わたしたちはさらに完全な者となるのです。

すべてを御覧になり、理解しておられる主は、御心にかなう者を赦されますが、(不完全な)わたしたちはすべての人を赦さなければなりません。救い主のもとに行くにつれ、自分自身に目を向けることは少なくなっていきます。裁くことは減り、もっと赦せるようになります。主の功德と憐れみと恵み<sup>19</sup>を信頼すれば、争いや怒り、虐待、他者から見放されること、不公平、現世で肉体を持つことによって起こり得る肉体的および精神的な問題からの解放が可能となります。永遠の幸福とは、あらゆる関係が永遠に幸せに続くという意味ではありません。それでも、サタンが縛られる<sup>20</sup> 千年にわたる福千年という年月が、永遠に備えるのに必要な時間と、愛し、理解し、物事を解決するための驚くべき方法を与えてくれるかもしれません。

わたしたちは、お互いのうちに天国の交わりを見いだします。<sup>21</sup> 神の業と栄光には、永遠の幸福をもたらすことも含まれます。<sup>22</sup> 永遠の命と昇栄とは、神とイエス・キリストを知ることであり、神の力によって、神がおられるところに行くことなのです。<sup>23</sup>

愛する兄弟姉妹の皆さん、天の父なる神とその愛する御子は生きておられます。御二方はあらゆる部族と国語の民、わたしたち一人一人に、平安と喜びと癒しを与えてくださいます。主の預言者が先頭に立って導き、末日の啓示は絶えずもたらされています。わたしたちが主の聖なる宮において、救い主に近づくことができますように。また、あらゆる世代においてキリストから与えられた思いやりと真理と憐れみの内に互いの心を結び合わせるとき、主によって神へ、そして互いへと引き寄せていただけますように。そのように、この世と永遠にわたっていつまでも幸せでいられますように。イエス・キリストによりそれが可能であり、イエス・キリストによりそれが真実であると証します。主イエス・キリストの聖なる御名によって証します、アーメン。■

#### 注

1. William Butler Yeats, "The Lake Isle of Innisfree," in *The Norton Anthology of English Literature*, 5th ed. (1986), 1936.
2. 1コリント 15:22
3. わたしたちやわたしたちの愛する人々が、幕の両側で神殿の儀式と聖約を通してイエス・キリストのもとに来るとき、希望を感じ、変わることを確信する神聖な経験を幾度となく味わうことができます。
4. アルマ 34:10
5. 教義と聖約 121:44
6. 教義と聖約 138:17
7. マタイ 3:8 (またはジョセフ・スミス訳マタイ 3:35 [英文]); ルカ 3:8; アルマ 5:15, 12:15, 13:11-13, 34:30-33; モロナイ 6:1-4, 7:25, 8:25 参照
8. アルマ 42:13-15 参照。See also Robert Frost, "A Masque of Mercy," *Complete Poems of Robert Frost*, ed. by Edward Connery Lathem (1969), 521, where Frost writes, "Nothing can make injustice just but mercy."
9. ガラテヤ 6:7
10. 教義と聖約 137:1-6 参照
11. 教義と聖約 137:9。7-8, 10 節も参照。確かに、「この福音を知らずに死んだ者で、も





七十人名譽會員  
ジョセフ・W・シターティ長老

## 弟子としての規範

キリストについて学び、キリストの方法について学びと、キリストを知り、愛するようになります。

- しとどまることを許されていたらそれを受け入れたであろう者は皆、神の日の栄えの王国を受け継ぐ者とな〔ります〕。さらに、続けて主は次のように述べておられます。「これから後、この福音を知らずに死ぬ者で、真心からそれを受け入れたであろう者も皆、その王国を受け継ぐ者となる。」
12. 教義と聖約 138: 58
  13. 教義と聖約 138: 32 参照
  14. アルマ 11: 43
  15. 教義と聖約 128: 15 および末日聖徒版聖書〔英文〕マタイ 5: 48 の脚注 b 参照。ここから、ギリシャ語の「完全」は、「完成する、成し遂げる、十分に発達する」という意味であることが分かります。
  16. オバデア 1: 21
  17. マタイ 7: 12 参照
  18. 「〔主〕は侮られて人に捨てられ、悲しみの中で、病を知って〔おり〕」（イザヤ 53: 3）、幼い子供たちを集め、満ち満ちる喜びで涙を流された御方でした（3 ニーファイ 17: 20 - 24 参照）。
  19. 2 ニーファイ 2: 8 参照
  20. 教義と聖約 43: 30 - 31 参照。1 ニーファイ 22: 26 から、福千年には「〔主の〕民の義のために」サタン力が制限されることが分かります。
  21. 教義と聖約 130: 2 参照
  22. モーセ 1: 39 参照
  23. 教義と聖約 132: 23 - 24 参照。教義と聖約 29: 29 も参照。ここには、「わたしのいる所に、彼らは来ることができなからである。彼らにはその力がないからである」とあります。

### 信仰の規範

今朝、北米にいるわたしの 2 人の子供と 3 人の孫たち、そして全世界の人々の約半数が、東から荘厳に昇ってくる太陽の輝きを目にしました。一方、アフリカにいるほかの 3 人の子供と 7 人の孫たち、そして全世界の人々の残り半分は、太陽が西の地平線に沈み、迎いが徐々に暗闇に覆われていくのを見ました。

この、今も昔も変わらない昼と夜の始まりは、わたしたちの生活を支配する変えることのできない現実があることを日々知らしめる事柄の一つです。このような永遠に変わらない現実を尊重し、それに合わせて行動するとき、わたしたちは内なる平安と調和を感じます。そうしないと落ち着かず、物事が思うように進みません。

昼と夜は、神がこれまで地球上で生きてきたすべての人に与えられている、ありのままの物事を示す規範の一例です。これは自分の望むままに切り抜けて逃れるということができない、わたしたち人間の存在の絶対的な真理です。このことは、毎回アフリカから飛行機に乗って総大会に来るたびに、体内時計を一日で 10 時間逆戻りさせなければならぬときに思い知らされます。

気づこうと思えば気づくことですが、天の御父は、わたしたちの人生を支配している真理を証するものを十分に与えてくださっています。それは、わたしたちが神を知り、平安と喜びの祝福を得ることができ

るようにするためです。

預言者ジョセフ・スミスを通して、主の御霊は次のように証しています。「さらにまた、あなたがたが欺かれられないために、わたしはすべてのことに関して規範を与えよう。サタンは地の方々におり、出て行ってもろもろの国民を惑わすからである。」<sup>1</sup>

反キリストのコリホルはそのような欺きにまんまとはまり、神が存在することも、キリストが来臨されることも、信じませんでした。預言者アルマはコリホルにこう証しました。「万物は神がましますことを示している。まことに、大地も、大地の面にある万物も、大地の運動も、また各々整然と運行しているすべての惑星も、それらのすべてが至高全権の創造主がましますことを証している。」<sup>2</sup>

しるしを見せれば信じるとコリホルが言い張ると、アルマはコリホルを物が言えなくなるようにしました。口が利けなくなって謙遜になったコリホルは、悪魔に欺かれたことを率直に告白しました。

わたしたちは欺かれる必要はありません。知的生命体の起こす奇跡は、常にわたしたちの前で演じられています。そして無数の星々や銀河が織りなす天の不思議をしばし見つめ、それに思いをはせると、信仰ある人たちは感極まって、「わが主よ、わが神！」と叫ぶのです。<sup>3</sup>

そうです、天の父なる神は生きておられ、常に様々な形でわたしたちに御自身を現してくださっています。





## 謙遜さの規範

しかしながら、神を認め、信じ、常に神のうちにいるためには、心が真理の御霊を受けやすい状態である必要があります。アルマは、信じる前に謙遜にならなければならないと教えました。<sup>4</sup> モルモンは、「柔和で心のへりくだった人」でなければ信仰や希望、神の御霊を受けることはできないと付け加えています。<sup>5</sup> ベニヤミン王は、世の栄光を優先する人は皆「神の敵」とであると断言しました。<sup>6</sup>

イエス・キリストは、義にかなった聖い御方でありながらも、すべての義を果たすためにバプテスマを受けることで、神の前にへりくだることが弟子の基本的な特質であることを示されたのです。<sup>7</sup>

新たにキリストの弟子になる者は皆、バプテスマの儀式を受けることによって神の

前にへりくだっていることを示さなければなりません。こうして、「神の前にへりくだって、バプテスマを受けたいと願い、打ち砕かれた心と悔いる霊をもって進み出〔る〕……人は皆、バプテスマによってキリストの教会に受け入れられる」<sup>8</sup>のです。

謙遜さは、弟子の心を悔い改めと従順へ向けさせます。そうすると神の御霊はその心に真理を招くことができるようになり、心に真理が流れ込みます。<sup>9</sup>

謙遜さの欠如こそが主な要因となって、次の使徒パウロの預言がこの末日の世で現実のものになるのです。

「その時、人々は自分を愛する者、金を愛する者、大言壮語する者、高慢な者、神をそしめる者、親に逆らう者、恩を知らぬ者、神聖を汚す者、無情な者、融和しない者、そしめる者、無節制な者、粗暴な者、善



を好まない者〔となるであろう。〕」<sup>10</sup>

救い主に学びなさいという主からの招きは、世俗的な誘惑に背を向けて主のようになるように、つまり柔和で心がへりくだり、謙遜になるようにという招きです。

そうすればわたしたちは主のくびきを負うことができるようになります。そしてそれが実は容易なことであり、ラッセル・M・ネルソン大管長が雄弁に繰り返し教えてきたように、弟子となることは重荷で



コロンビア

はなく喜びであることに気づくのです。

### 愛の規範

キリストについて学び、キリストの方法について学ぶと、キリストを知り、愛するようになります。

主は、へりくだった態度により、全身全霊で父なる神を知り、愛すること、何のためらいもなく、自分を愛するようにはかの人を愛することは、実際に可能であることを模範を通して示されました。御心と肉体の両方を祭壇にささげられたこの地上での主の務めは、神と人を愛するという原則の応用の規範であり、その上に主の福音が築き上げられたのです。どちらの原則も自分以外に目を向け、人とのかわり方を考えさせるものであり、自己満足や自分の栄光を求めることはありません。

反語的な言い方ではありますが、最善を尽くして神と人を愛するとき、わたしたちは神の息子や娘として、自分自身の神聖な真の価値を見いだすことができるようになります。そして、その経験から完全な平安と喜びを見いだすという奇跡が起こるのです。

わたしたちは愛と奉仕を通して神と、またお互いと、一つになります。すると、その純粋な愛、つまり「今まで味わったどんな実よりもずっと甘い」とリーハイが言っ



た実について、聖霊の証を受けることができるのです。<sup>11</sup>

キリストが御父を愛し、わたしたちを愛するという規範を確立するために自分の能力のすべてを与え、行うことによってお受けになった冠とは、すべての力、つまり御父の持てるすべてのものを受けるということであり、すなわち昇栄です。<sup>12</sup>

わたしたちの魂に神と隣人への永続する愛を育む機会は、家庭から始まります。つまり、日々、神の独り子の御名により個人の祈りや家族の祈りを通して御父と繋がり、御二方のことを個人や家族の聖文研究で学び、家族で安息日を守り、有効な神殿推薦状を各人が持ち、それを可能な限り家族で頻繁に使うなどといった聖い習慣を育むことから始まるのです。

個人それぞれにおいて御父と御子に対する知識と愛が深くなってくると、互いに対する感謝の気持ちと愛も深くなります。家庭の外で人々を愛し、仕える能力が大きく向上するのです。

わたしたちが家庭で行うことは、まさに「るつぼ」のように、堪え忍び、喜びあふれる弟子を生み出します。妻のグラディスとわたしが家庭の中で受けてきた、回復された福音の最もすばらしい祝福は、家庭で神を知り、神を尊ぶことを学び、主の愛を子孫に伝えることによってもたらされました。

### 奉仕の規範

家庭で神を愛し、奉仕し合い、そして家庭を出てほかの人に奉仕すると、やがて慈愛という特質が育まれます。

これは、主の生ける預言者や使徒がわたしたちに示してくれた、神の王国における献身的な奉仕の規範と調和しています。

わたしたちは預言者や使徒たちと一つになるのです。そうすると、わたしたちは彼らを通して「あらゆる思いの中で」主を仰ぎ見ることができるようになり、「疑

〔う〕」ことも「恐れ〔る〕」こともなくなります。<sup>13</sup>

主の生ける預言者や使徒たちのように、わたしたちも「心が、すべての人に対して、また信仰の家族に対して、慈愛で満たされ、……絶えず徳で〔わたしたち〕の思い〔が〕飾〔られ〕、……神の前において〔わたしたち〕の自信は増し、神権の教義は天からの露のように〔わたしたち〕の心に滴〔り〕」、前進することができるのです。

主の生ける預言者、使徒たちとともに、わたしたちもまた、「聖霊〔が〕常に〔わたしたち〕の伴侶となり、……<sup>14</sup> 義と真理の不変の笏とな〔り〕……、……主権〔が〕永遠の主権となり、それは強いられることもなく、とこしえにいつまでも、〔わたしたち〕に流れ込〔む〕」、<sup>14</sup> 献身的な奉仕により強められた、信仰の高潔な輪に加わることができるようになるのです。なぜなら、これが御父の計画の約束だからです。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

### 注

1. 教義と聖約 52 : 14
2. アルマ 30 : 44
3. 「わが主よ、わが神」『賛美歌』 44 番
4. アルマ 32 : 14 - 21 参照
5. モロナイ 7 : 42 - 44 参照
6. モーサヤ 3 : 19
7. 2 ニーファイ 31 : 6 - 7 参照
8. 教義と聖約 20 : 37
9. 2 ニーファイ 33 : 1 参照
10. 2 テモテ 3 : 2 - 3
11. 1 ニーファイ 8 : 11
12. マタイ 28 : 18 : 教義と聖約 84 : 38 参照
13. 教義と聖約 6 : 36
14. 教義と聖約 121 : 45 - 46





中央若い男性会長  
スティーブン・J・ランド会長

# いつまでも主の 弟子として生きる

信仰の炎を維持してさらに燃え立たせる、聖い習慣と義に  
かなったルーティーンを育むとき、霊的な確信と平安を  
見いだすことができると知っています。

この夏、世界中で「青少年の強さのため」(FSY)カンファレンスが一週間にわたり開催され、20万人以上の若者が数百のセッションの一つに参加し、信仰を深めました。パンデミックの隔離規制が解除されたばかりだったため、多くの人に

とって参加すること自体が主への信仰を表す行いでした。若い参加者の多くは、より深い改心に向けて皆同じような右肩上がりに成長しているようです。わたしはFSYの一週間が終わってから「どうだった?」と聞くのが好きです。



こんな返事が返って来ることもありました。「月曜日は、母に來させられて、こんなことさせられて、とても腹が立った。知り合いもないし。自分向きではないと思った。友達もできなそうだったし。……でも、金曜日の今は、ずっとここにいたい気持ち。生活の中で御霊を感じたいし、ここで送ったような生活がしたいんです。」

彼らにはそれぞれ、理解できなかったことが不意に理解できるようになった瞬間や、霊的な賜物によって霊的な成長と改心もたらされた瞬間など、独自の物語があります。一週間に主を委ねる勇気を見いだした大勢の若者たち一人一人の胸にある義にかなった願いに、主の御霊が絶え間なくこたえ続けるのを見て、わたし自身もこの夏のFSYで変わりました。

わたしたちは、輝きながら海に浮かぶ鋼の船のように、霊的に腐食しやすい環境に住んでいます。どれほど光り輝く信念であっても、慎重に維持しなければ、削られ、腐食し、崩れ去ってしまいます。

## 信念の火を燃やし続けるには、どのようなことをすればよいのでしょうか

FSYカンファレンス、キャンプ、聖餐会、伝道のような経験は、証を強める助けとなり、右肩上がりに成長させ、霊的な発見に導いて、ほかよりも平穏を感じる場所へと導いてくれます。では、後戻りせず、その場所にとどまり、「キリストを確固とし

て信じ……力強く進〔み〕」続けるためには、何をしなければならぬのでしょうか（2 ニーファイ 31:20）。頻繁に祈ること、聖文に浸ること、誠実に奉仕することなど、最初にわたしたちをその場所に導いてくれたことを続けなければなりません。

人によっては、聖餐会に参加することにすら、主を信頼する訓練が必要かもしれません。しかし、一度聖餐会に行けば、主の聖餐という癒しの影響を受け、福音の原則に感化され、教会という共同体により養われ、高みに引き上げられた状態で、家に帰ることができます。

### 対面で集うときの力はどこから来るのでしょうか

FSY では、数十万人以上の青少年が、救い主をよりよく知るようになりました。彼らは、二人以上の者が主の御名によって集まっている所（マタイ 18:20 参照）に集い、福音と聖文に触れ、ともに歌い、ともに祈り、キリストに平安を見いだすというシンプルな方式を用いたのです。

これは、霊的な目覚めには非常に強力な処方箋です。はるばる遠くから集まったこの兄弟姉妹のグループは、今、家に帰り、騒がしい世の中の不協和音に振り回されるときも続けて「主を信頼する」（箴言 3:5:2022 年ユースターマ）とはどういう意味かを考えています。静かな場所で聖典を開きながら思索にふけり、「主の声を聞く」（ジョセフ・スミス-歴史 1:17）ことはできても、この現世の雑念の飛び交う中で弟子の務めを実践できるかと言えば、それはまた別の次元の話です。後者では、自分のことばかりに気持ちが向いて目が曇ってしまうときや、自信が揺らぐときでも、「主の声を聞く」ことに努めなければなりません。それは、疑いもなく、現代の道徳基準の地殻変動に対して立ち向かおうと決心した青少年たちが見せる英雄の姿そのものです。



### 教会の活動で生まれた機運をさらに高め るために、家族が家庭でできることは何 でしょうか

以前、ステーキ若い女性会長の夫として奉仕したことがあります。ある夜、翌週に若い女性のキャンプを控えた親子のために妻が礼拝堂でファイヤサイドを行っている間、わたしは玄関ホールでクッキーを並べる役目を担っていました。集合場所と持ち物の説明をした後、妻はこう言いました。「さて、火曜日の朝、かわいい娘さんたちをバスの所まで送り届けたら、しっかり抱き締めてあげてください。そして、さようならのキスをしてください。なぜなら、彼女たちはもう帰って来ないからです。」

だれかが息をのむのが聞こえ、それが自分だったことに気づきました。「帰って来ないって?」

妻はこう続けました。「火曜の朝の少女たちは皆、バスに乗ったら最後、気を逸らせてしまう、あまり重要でない事柄を後

にして、一週間ともに学び、成長し、主を信頼する時間を過ごします。ともに祈り、歌い、料理し、ともに奉仕し、ともに証を分かち合い、天の御父の御霊を感じられるようになることを一週間を通して、骨の髄に染み渡るまで行います。そして土曜日にバスから降りて来る彼女たちは、皆さんが火曜日にバスに乗せた子とはもはや別人になっているはずで。新たな者となっているでしょう。そして、その高い霊的水準から続けて成長できるよう、皆さんが彼女たちを助けるなら、驚くべき結果を目にすることでしょう。彼女たちはその後も変化と成長を続け、皆さんの家族も変わるでしょう。」

その土曜日は、妻の予想どおりになりました。テントを車に積んでいると、家路につく前に少女たちが集まっていた森の小さな円形劇場から、妻の声が聞こえてきました。こう言いました。「ああ、ここにいたのね。土曜日の皆さん。皆さんと会える



のを、この一週間ずっと待っていたのよ。」

シオンの勇敢な青少年は、驚くべき時代を航海しているのです。聖なるものを見えなくする、この預言された混乱の世にあって、世のものになることなく、喜びを見出すことが、彼らに与えられた特別な任務です。およそ100年前、G・K・チェスタートンは、まるでこの探求を家庭中心で教会がサポートすることだと捉えているかのようになり、こう語っています。「わたしたちは世界を、猛攻撃をかけるべき鬼の城のように感じると同時に、夜になると帰ることのできる自分の家のようにも感じなければなりません。」(Orthodoxy [1909], 130)

ありがたいことに、彼らは闘いに独りで出て行く必要はありません。仲間がいます。皆さんがついています。そして、彼らは生ける預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長に従います。物事を見通す先見者ならではの楽観的な見方でわたしたちを導いている大管長は、この時代の偉大な業であるイスラエルの集合が、崇高で偉大なものになると宣言しています。(「シオンのつわもの」[ワールドワイド・ユース・ディポーショナル, 2018年6月3日], HopeofIsrael.ChurchofJesus Christ.org 参照)。

この夏、わたしと妻のカーリーンは飛行機の乗り換えでアムステルダムにいました。そこは、何年も前にわたしが新任宣教師であった場所です。数か月間オランダ語を必死に学んだ後、わたしたち宣教師の乗ったKLMオランダ航空の飛行機が着陸しようとしていました。そのとき、機長が機内放送でよく分からないアナウンスをしました。しばらく沈黙した後、同僚がつぶやきました。「あれはオランダ語だったんだと思う。」わたしたちは目を合わせ、互いの考えを読み取りました。「万事休す。」

しかし、万事休すとはなりませんでした。その後、宣教師として経験するであろう奇跡に向かって空港を歩いた昔の自分を思い返し、その思い切った信仰に驚

嘆していたわたしは、突然、帰還するために飛行機に乗って来た生身の宣教師によって現実に引き戻されました。彼は自己紹介をして、こう尋ねてきました。「ランド会長、これからわたしは何をすればよいでしょうか。強くあり続けるにはどうしたらよいですか。」

これは、FSYカンファレンス、青少年のキャンプ、神殿参入など天の力を感じた場を離れるときはいつでも、青少年が心に抱く疑問と同じです。「どうしたら、ただ神を愛する自分から、いつまでも弟子として生きる自分へと成長できるのでしょうか。」

伝道の最後の時を迎えている、この澄んだ瞳をした宣教師への愛情が込み上げ、わたしは、御霊によるつかのまの静寂の中で声を詰まらせながら、ただこう言うのがやっとなりました。「主の御名を証するのには、宣教師の名札は必要ありませんよ。」

わたしは彼の肩に手を置いて、こう言いたかったのです。「こうするのです。帰還しても、今のままでいてください。あなたは暗闇で光り輝くほどすばらしいです。伝道という鍛錬と犠牲によって、あなたは立派な神の子となったのです。伝道地であなたにとって大いに効果があったこと

を、帰ってからも続けてください。あなたは祈ることを学び、だれに祈るのかも知り、祈りの言葉も学びました。主の言葉を研究し、主のようになろうとすることで、救い主を愛するようになりました。主が天の御父を愛されたように御父を愛し、主がなさったように人に仕え、戒めに従って生活してきました。そして、そうでなかったときには悔い改めました。あなたの弟子としての務めは、単なるTシャツに書かれたスローガンではありません。目的を持ってほかの人のために生きることで、あなたの人生の一部となったのです。ですから家に帰ってからも、そうしてください。そのような人でいてください。この霊的推進力を、生涯持続させてください。」

主イエス・キリストとその聖約の道を信頼し、信仰の炎を維持してさらに燃え立たせる、聖い習慣と義にかななったルーティーンを育むならば、霊的な確信と平安を見出すことができると知っています。わたしたち一人一人が、このような暖かな炎にさらに近づき、何があるかと、この炎にとどまることができるよう。イエス・キリストの御名により、アーメン。■





十二使徒定員会  
デビッド・A・ベドナー長老

# シオンよ、力を着よ

わたしたちは皆、自分の物質的および霊的な優先順位を真摯によく祈って見直すべきです。

たとえば、主イエス・キリストの非常に巧みな教授法の大きな特徴です。簡単に定義すると、救い主のたとえとは、霊的な真理を物質的な物やこの世での経験に例えるために使われた話のことです。例えば、新約聖書の福音書には、天の王国をからし種<sup>1</sup>や、高価な真珠<sup>2</sup>、ぶどう園の主人と労働者<sup>3</sup>、十人のおとめ<sup>4</sup>、そのほか多くのものになぞらえた教えがたくさん出てきます。ガリラヤで務めを果たす間、主は「譬によらないでは語られなかった」<sup>5</sup>ことが、聖文から分かります。

たとえの意味やメッセージは通常、明確には表現されません。たとえ話は、受ける側の神を信じる信仰や個人の霊的な備え、学ぶ意欲に応じて、神聖な真理を伝え

るだけです。従って、たとえの中に埋め込まれている真理を見いだすには、選択の自由を行使して、積極的に「求め、捜し、たたく」<sup>6</sup>必要があります。

さて、これから王の婚宴のたとえの大切さについて考えていきますが、聖霊がわたしたち一人一人を導いてくださるように、心から祈ります。

## 王の婚宴

「イエスはまた、譬で彼らに語って言われた、

『天国は、ひとりの王がその王子のために、婚宴を催すようなものである。

王はその僕たちをつかわして、この婚宴に招かれていた人たちを呼ばせたが、その人たちはこようともしなかった。

そこでまた、ほかの僕たちをつかわして言った、『招かれた人たちに言いなさい。食事の用意ができました。牛も肥えた獣もほふられて、すべての用意ができました。さあ、婚宴においでください』。

しかし、彼らは知らぬ顔をして、ひとりでは自分の畑に、ひとりでは自分の商売に出て行〔った。〕<sup>7</sup>

古代のユダヤ人の生活の中で、最も喜ばしい機会の一つは婚礼の祝いでした。これは1週間、ときには2週間にもわたる行事でした。そのような行事には、大がかりな計画が必要です。招待客にはずっと前に通知され、祝宴の始まる日には再び知らせが送られました。このように

王から臣下に送られる婚宴の招待は、本質的には命令でした。しかし、このたとえに出てくる招待客の多くは、婚宴に来ませんでした。<sup>8</sup>

「王の祝宴に出席するのを断るのは、明らかに王の権威に対する計画的犯行であり、自分に君臨する元首とその王子を個人的に侮辱することである。……

一人は自分の畑に出て行き、またほかの一人は自分の商売に出て行った。』<sup>9</sup> これは優先順位を誤った行動であり、王の意向を完全に無視しています。<sup>10</sup>

たとえばこう続きます。「それから僕たちに言った、『婚宴の用意はできているが、招かれていたのは、ふさわしくない人々であった。

だから、町の大通りに出て行って、出会った人はだれでも婚宴に連れてきなさい』。

そこで、僕たちは道に出て行って、出会う人は、悪人でも善人でもみな集めてきたので、婚宴の席は客でいっぱいになった。』<sup>11</sup>

当時の慣習では、婚宴の主催者（このたとえでは、王のこと）は、招待客に礼服を支給しました。そのような婚礼用の礼服は、特徴のないシンプルなローブで、参列者全員が着用しました。このようにして、婚宴の席では階級も地位もなく、皆が平等とされたのです。<sup>12</sup>

大通りから婚宴に招かれて参列した人には、婚礼用の服を手に入れる時間も手段もなかったはずですが、そこで、恐らく王が自分の衣装部屋から礼服を出して客に与えたと思われます。王家の衣装を着る機会が、全員に与えられたのです。<sup>13</sup>

王は、式場に入って参列者を見回すと、礼服を着ておらず人目に付く客がいることに、すぐに気がつきました。その男が前に連れ出されると、王は尋ねます。「『友よ、どうしてあなたは礼服をつけないうで、ここにはいつてきたのですか。』しかし、彼は黙っていた。』<sup>14</sup> 要するに、王はこう





尋ねたのです。「なぜ礼服を着ていないのですか。あなたにも礼服を差し上げたはずですが。」<sup>15</sup>

それは明らかに、この特別な行事において場違いな服装でした。「黙っていた」という言葉は、彼に弁解の余地がなかったことを示しています。<sup>16</sup>

ジェームズ・E・タルメージ長老は、この男の行動の重大さについて、次のような示唆に富む注釈を書いています。「礼服を着ていなかった客は、こうしたことを無視したか、わざと無礼を働いたか、または何かもっと重大な罪を犯したかのいずれかであったに違いない。最初王は情け深い思いやりの心で、『どうしてあなたは礼服を着けなくてここに入ってきたのですか』と尋ねた。もしこの客が、自分の並外れた風采について説明することができるか、または筋の通った弁解をすることができたなら、きっとそうしたことであろう。しかし、彼は黙っていた。王の招きは、僕たちの目に留まったすべての人に及んでいた。しかし、その一人一人は門を通して王宮に入ってこなければならなかった。そして、王自身が親しく宴会の部屋へ入る前

に、一人一人礼服を着ていたにちがいない。ところが、この礼服を着ていない男は、何かの方法でほかの道から入ってきていたのであった。そして入り口に立っている番人の所を通らなかったのであるから……侵入者であった。」<sup>17</sup>

キリスト教徒で作家のジョン・O・レイドは、礼服を着るのを拒否することによって、この男が「王と王子に対してあからさまに不敬な態度を取った」と述べています。彼は単に礼服を着ていなかったのではなく、あえて着ないことを選択していたのです。婚礼にふさわしい服装を反動的に拒んだのです。そこで王は直ちにきっぱりと言いました。「この者の手足をしばって、外の暗やみにほうり出せ。そこで泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう。」<sup>18</sup>

王がこの男へ下した裁きのおもな根拠は、礼服を着ていないことでなく、「礼服を着ないと男が決意したことになりました。……婚宴に出席する榮譽を望んでいるながら、……王のしきたりに従いたくはなかったのです。自分のやり方を通そうとし、適切な服装を拒んだことは、王とその命令に対する内なる反抗を表していま



す。」<sup>19</sup>

### 召される者は多いが、選ばれる者は少ない

このたとえは、心に刺さる次の聖句で終わっています。「招かれる者は多いが、選ばれる者は少ない。」<sup>20</sup>

興味深いことに、ジョセフ・スミスはマタイによる福音書のこの節に、靈感訳で次のような変更を加えています。「召される者は多いが、選ばれる者は少ない。それゆえ、すべての者が礼服を着ているわけではないのである。」<sup>21</sup>

婚宴の席に招かれることとその祝宴にあずかる者として選ばれることは、関連がありますが、異なっています。招かれているのは、すべての男女です。招待を受け入れて祝宴の席に就いても、主イエス・キリストと主の恵みを信じる信仰に帰依していることを示す礼服をきちんと着ていなければ、祝宴にあずかる者として選ばれません。このように、人は、神から召されると、それにどう対応するかを自分で選ばなければなりません。だから、召される人は多くても選ばれる人は少ないのです。<sup>22</sup>

選ばれることや、選ばれる者になることは、限られた人にだけ与えられる地位ではありません。皆さんもわたしも、最終的には、選択の自由を正しく行使して、選ばれる者になることを選択できます。

教義と聖約の次の馴染みある聖句で、選ばれるという言葉がどのように使われ





ているかに注目してください。

「まことに、召される者は多いが、選ばれる者は少ない。

では、なぜ彼らは選ばれないのであろうか。

それは、彼らがあまりにもこの世のものに執着し、人の誉れを得ることを望んでいる……からである。」<sup>23</sup>

この聖句の意味するところは実に明快です。神は「お気に入りの名簿」など持っておられず、そこに自分の名前が加えられるようにとわたしたちが望む必要はないのです。神は「選ばれる者」を少数の者に限定しておられるわけではありません。むしろ、神から選ばれる者になるかどうかは、わたしたちの心、わたしたちの望み、聖なる福音の聖約と儀式を尊重するわたしたちの気持ち、戒めに対するわたしたちの従順さで決まります。そして、いちばん大切なのは、救い主の贖いの恵みと憐れみです。<sup>24</sup>

「わたしたちは子孫と同胞に、キリストを信じ、神と和解するように説き勧めるために、熱心に記録し続けようと努めている。それは、わたしたちが自分の行えることをすべて行った後に、神の恵みによって救われることを知っているからである。」<sup>25</sup>

日常生活のあわただしさや現代社会の喧噪の中で、わたしたちは自分の楽しみや繁栄、評判、名声を優先させることによ

り、いちばん大事な永遠の事柄から目をそらしてしまうかもしれません。「この世のこと」や「人の誉れ」に一時的にとらわれると、一杯のあつもののために自分の霊的な生得権を失うことになりかねません。<sup>26</sup>

### 約束と証

主が旧約聖書の預言者ハガイを通して主の民に与えられた勧告を、繰り返します。「それで今、万軍の主はこう言われる、あなたがたは自分のなすべきことをよく考えるがよい。」<sup>27</sup>

わたしたちは皆、自分の物質的および霊的な優先順位を真摯によく祈って見直し、天の御父と救い主が喜んで与えようとしておられるあふれるばかりの祝福を遮るものを、生活の中から見つけるべきです。ありのままの自分を見ることができるよう、必ず聖霊が助けてくださるでしょう。<sup>28</sup>

見る目と聞く耳という霊的な賜物を正しく求めるならば<sup>29</sup>、生ける主との聖約の結びつきを強くする能力と判断力が祝福として与えられることを約束します。そして、生活の中で神性の力も受けて<sup>30</sup>、最終的には、主の祝宴に招かれて選ばれる者になるのです。

「おお、シオンよ、さめよ、さめよ、力を着よ。」<sup>31</sup>

「シオンは美しさと聖さを増し、その境は広げられ、そのステーキは強くされなければならない。まことに、わたしはあなたがたに言う。シオンは立ち上がり、その美しい衣を着なければならない。」<sup>32</sup>

わたしは喜びをもって、永遠の父なる神の神性と実在について、またその愛する御子イエス・キリストについて証を述べます。イエス・キリストがわたしたちの救い主、贖い主であって、生きておられることを証します。また、御父と御子が少年ジョセフ・スミスに御姿を現わされ、それによって救い主の福音の回復がこの末日に始まったことを証します。わたしたち一人一人が見る目と聞く耳を求めて、その祝福にあずかることができますように、主イエス・キリストの聖なる御名によって祈ります、アーメン。■

### 注

1. マタイ 13:31-32 参照
2. マタイ 13:45-46 参照
3. マタイ 20:1-16 参照
4. マタイ 25:1-13 参照
5. マルコ 4:34
6. マタイ 7:7-8; ルカ 11:9-10 参照
7. マタイ 22:1-5
8. ジェームズ・E・タルメージ『キリスト・イエス』522-525 参照
9. ジェームズ・E・タルメージ『キリスト・イエス』523
10. ジェームズ・E・タルメージ『キリスト・イエス』523 参照
11. マタイ 22:8-10
12. See John O. Reid, "Many Are Called, Few Are Chosen," *Forerunner*, March-April





末日聖徒イエス・キリスト教会大管長  
ラッセル・M・ネルソン大管長

- 2016, 8, cgg.org.
13. See Joseph Fielding McConkie, *Gospel Symbolism* (1985), 132.
  14. マタイ 22:12
  15. See Reid, "Many Are Called, Few Are Chosen," 8.
  16. See Reid, "Many Are Called, Few Are Chosen," 8.
  17. ジェームズ・E・タルメージ『キリスト・イエス』525
  18. マタイ 22:13. See Reid, "Many Are Called, Few Are Chosen," 8.
  19. Reid, "Many Are Called, Few Are Chosen," 8.
  20. マタイ 22:14
  21. ジョセフ・スミス訳マタイ 22:14 [英文] から和訳; 強調付加
  22. See Alfred Edersheim, *The Life and Times of Jesus the Messiah* (1993), 769-71.
  23. 教義と聖約 121:34 - 35; 強調付加
  24. デビッド・A・ベドナー「主の深い憐れみ」『リアホナ』2005年5月号, 99 - 102 参照
  25. 2 ニーファイ 25:23
  26. 創世 25:29 - 34 参照
  27. ハガイ 1:5
  28. モルモン書ヤコブ 4:13; 教義と聖約 93:24 参照
  29. マタイ 13:16 参照
  30. 教義と聖約 84:19 - 21 参照
  31. イザヤ 52:1
  32. 教義と聖約 82:14

# 世に打ち勝ちなさい。 そうすれば、休みが 与えられるであろう

神と交わした聖約を通して世に打ち勝つことによって、  
この世の厳しさや不確かさ、苦痛から逃れて休みを  
見いだしましょう。

愛する兄弟姉妹の皆さん、この輝かしい安息日の朝に、皆さんとお会いできることに感謝しています。いつも皆さんのことを思っています。困っている人を見るとすぐに行動する皆さんの姿に感嘆し、皆さんが繰り返し示してくださる信仰と証に感嘆し、皆さんの心の痛みや落胆、悩みに涙しています。皆さんを愛しています。天の御父とその愛する御子イエス・キリストは、確かに皆さんを愛しておられます。御二方は、皆さんがどんな状況にあってどんな善いことをして、何を必要としているか、どんな助けを求めて祈っているかをよく知っておられます。わたしは、皆さんが御二方の愛を感じられるようにと、何度も何度も祈っています。

日々、悲惨なニュースが飛び交う中で、御二方の愛を味わうことはきわめて重要です。パジャマを着たまま丸くなって、この騒動がおさまったら起こすようにとだれかに頼むことができたらどんなにいいかと思っただ日もあるかもしれません。

しかし、愛する兄弟姉妹の皆さん、これから実に多くのすばらしいことが起こります。

近いうちにわたしたちは、これまで世界が見たこともないような、救い主の最も偉大な力の現れを目にすることでしょう。今から、主が「力と大いなる栄光とをもって」<sup>1</sup>戻られるときまでの間に、主は忠実な人々に数え切れないほどの特権と祝福と奇跡を授けてくださいます。

とはいえ、わたしたちが今、世界史上最も複雑な時代に生きていることは確かです。多くの人が、複雑な問題や試練に押しつぶされそうになり、疲れ果ててしまっています。それでも、最近聞いたある話について考えると、どうしたら皆さんやわたしに休みが与えられるのかが見えてくるかもしれません。

先日行われたワシントン D.C. 神殿のオープンハウスで、オープンハウス委員会の一人が、著名なジャーナリスト数人を神殿に案内した際に、示唆に富んだやりとりを目にしたそうです。どういうわけか、このメディア向けのツアーに、幼い子供のいる家族も同行することになりました。一人の記者は、神殿参入者が神殿内を移動していく「旅」についてしきりに質問をしていました。この神殿

内の進路が人生の旅における試練を象徴しているのかどうか、知りたかったのです。

同行した家族の幼い男の子が、その会話を聞いていました。このツアーの一行がエンダウメントの部屋に入ったとき、この男の子は人々がひざまずいて神と聖約を交わす聖壇を指さして、こう言いました。「ああ、これはいいね。神殿内の旅路で休める場所があるよ。」

この男の子が、自分の感じたことにどれほど深い意味があるのか分かっていたとは思えません。神殿で神と聖約を交わすことと、救い主の次のすばらしい約束が直接結びついていることは恐らく知らなかったことでしょう。

「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。

……わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いかからである。」<sup>2</sup>

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしは、会員としてあまりに多くを求められると感じて教会を去っていく人々のことを悲しく思っています。この人々は、聖約を交わして守ることで実は人生がより容易になること

をまだ知らないのです。バプテスマフォントや神殿で聖約を交わしてそれを守る人は皆、イエス・キリストの力にさらにあずかることができるようになります。このすばらしい真理について考えてみてください。

神と交わした聖約を守ることで得られる報いとは天の力であり、それは、試練や誘惑、心の痛みにもっとよく耐えられるようにわたしたちを強めてくれます。この力は、わたしたちの旅路を楽にしてくれます。イエス・キリストのより高い律法に従って生活する人は、より高い主の力にあずかることができます。このため、聖約を守る人には、神との聖約の関係を通して、特別な休みを得る権利が与えられるのです。

救い主はゲツセマネとカルバリで苦しみ身に委ねられる前に、使徒たちに次のように断言されました。「あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」<sup>3</sup>そして後にイエスは、わたしたち一人一人も同様にするよう、「わたしはあなたがたが世に打ち勝つように望んでいる」と勧めておられます。<sup>4</sup>

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしが今日お伝えしたいのは、イエス・キリストがこの墮落した世に打ち勝ち、一人一人を贖って

くださったので、皆さんもこの罪に満ちた、利己的な、人を疲弊させることの多いこの世に打ち勝つことができるということです。

救い主が無限の贖罪を通してわたしたち一人一人を弱さや過ち、罪から贖ってください、さらに、皆さんが味わってきたあらゆる苦痛や不安、重荷を経験された<sup>5</sup>のですから、心から悔い改め、主の助けを求めらば、皆さんはこの現在の不穏な世に打ち勝つことができます。

皆さんはまた、傲慢や高慢、怒り、不道徳、憎しみ、貪欲、嫉妬、恐れといった、霊的にも情緒的にも人を疲弊させる世の疫病にも打ち勝つことができます。真理の歪曲や妨害が渦巻く中でも、たとえ最も厄介な問題の中にあっても、皆さんには真の休み、すなわち安らぎと平安が与えられるのです。

この重要な真理から、次のような3つの根本的な疑問が生まれます。

第1に、世に打ち勝つとはどういうことでしょうか。

第2に、どうすればそれができるのでしょうか。

第3に、世に打ち勝つと、人生にどのような祝福があるのでしょうか。

世に打ち勝つとはどういうことでしょうか。それは、神にかかわる事柄よりもこの世の事柄を気にかけるという誘惑に、打ち勝つことです。人の哲学よりもキリストの教義を信頼することであり、真理を喜び、偽りを非難し、「キリストに従う……謙遜な者」<sup>6</sup>になることです。また、御霊を退けるようなものから遠ざかるよう選ぶことであり、自分が好んで行っていることでさえも、それが罪であれば喜んで「捨てる」ということです。<sup>7</sup>

また、世に打ち勝つということは、この世で完全になることでもなければ、問題が魔法のように消えて無くなることでもありません。そうはならないからです。また、世に打ち勝つとは、間違いを犯さないということでもありません。そうではなく、世に打ち





勝つとは、罪を拒む力が強くなるということです。イエス・キリストを信じる信仰が強くなるにつれ、皆さんの心は謙遜になっていくことでしょう。<sup>8</sup> 世に打ち勝つとは、ほかのだれよりも、何よりも、神と神の愛する御子を愛するようになることなのです。

では、どうすれば世に打ち勝つことができるのでしょうか。ベニヤミン王はその方法について教え、「生まれながらの人は神の敵であり、……聖なる御霊の勧めに従い、主なるキリストの贖罪により、生まれながらの人を捨てて聖徒とな〔ら〕……ないかぎり」、いつまでも神の敵のままになると述べています。<sup>9</sup> 皆さんは、御霊の促しを求め、その促しに従うたびに、また「生まれながらの人」ならしめないであろう善い行いをするたびに、世に打ち勝っているのです。

世に打ち勝つというのは、一朝一夕で成し得ることはありません。キリストの教義に繰り返し従いながら、生涯にわたって行っていくことなのです。わたしたちは、日々悔い改め、力を授けてくれる聖約を守ることで、イエス・キリストを信じる信仰を育みます。また、聖約の道を歩み続け、祝福として、霊的な強さや個人の啓示、深まる信仰、天使の働きを受けます。キリストの教義に従って生活すると、最も力強い好循環が始まり、生活に霊的推進力が生まれるのです。<sup>10</sup>

人は、イエス・キリストのより高い律法に従って生活しようと努力していると、心と性質そのものが変わり始めます。救い主は、さらなる慈愛や謙遜さ、寛大さ、優しさ、自制心、平安、休みを祝福として与えることによって、わたしたちをこの堕落した世に引きずり込もうとする力から引き上げてくださいます。

さて、これは休みというより、霊的な重労働だと皆さんは考えているかもしれませんが。しかし、ここに大いなる真理があります。世の人は、権力や財産、人気や肉体的な快樂が幸福をもたらすと主張しますが、それは違います。そこに幸福はありませ

ん。そこから生まれるのは、「神の戒めを守る者の祝福された幸福な状態」<sup>11</sup> ではなく、虚しさだけです。

ほんとうは、決して見いだせない場所に幸福を求めることのほうが、はるかに重労働なのです。しかし、イエス・キリストとともにくびきを負い、世に打ち勝つうえで必要な霊的な努力をするならば、主は、主のみが持つておられる力で、この世に引きずり込む力から皆さんを引き上げてくださいます。

では、世に打ち勝つなら、わたしたちの人生にどのような祝福があるのでしょうか。答えは明らかです。神と聖約を結んだ関係になると、わたしたちは神と結びつき、人生のすべてがより容易になります。誤解しないでください。わたしは、聖約を交わせば楽な人生になるとは言っていません。むしろ、妨害に遭うでしょう。サタンは皆さんがイエス・キリストの力を見いだすことを望んではいないからです。しかし、救い主とともにくびきを負うということは、主の力と贖いの力にあずかることができるようになるということなのです。

エズラ・タフト・ベンソン大管長の次の深遠な教えをあらためて明言します。「自分の人生を神に委ねる男女は、人の力でできることよりもたくさんのごことを神が人生に与えてくださることを知るでしょう。神はそのような人々の喜びを深め、視野を広げ、知性を活気づけ、……霊を高め、祝福を増し加え、多くの機会を与え、慰めを与え、友人を元気づけ、平安を与えてくださいます。」<sup>12</sup>

天の助けを求める人には、この世に打ち勝つ助けとして、このような比類のない特権が与えられます。そこで、今年の5月にヤングアダルトに求めたのと同じことを、すべての教会員にもお願いしたいと思います。そのとき彼らに強く勧めたように、今回は皆さんに対し、イエス・キリストと主の福音に対する自分の証に責任を持つようにと切にお願いします。そのために努力してください。証を育ててください。真理という養いを与えてください。不信仰



な男女の誤った哲学で証を汚さないでください。イエス・キリストに対する証を絶えず強めることを最優先して、自分の人生に奇跡が起こるのを待っていてください。<sup>13</sup>

今朝皆さんにお願いしたいのは、神と交わした聖約を通して世に打ち勝つことによって、この世の厳しさや不確かさ、苦痛から逃れて休みを見いだすようになってほしいということです。どうか、自分が真剣に世に打ち勝とうとしていることを、祈

りと行いを通して神にお伝えしてください。思いを照らして必要な助けを送ってくださるようにと、神に願ってください。毎日、祈っているときに浮かんだ考えを書き留めて、それをしっかりとやり遂げてください。神殿で過ごす時間をもっと増やし、どうすればこの墮落した世に打ち勝つ方法を神殿から学べるようになるのか理解できるよう努めてください。<sup>14</sup>

以前からお伝えしているように、イスラエルの集合は、今日地上で行われている最も重要な業です。この集合の業における重要な要素の一つは、人を育てることです。主が再び来られるときに主を受け入れることのできる備えのできたふさわしい人、すなわち、この墮落した世よりもイエス・キリストをすでに選んでいる人、選択の自由を使ってイエス・キリストのより高く、より神聖な律法に従って生きることを喜んで選ぶ人を育ててください。

愛する兄弟姉妹の皆さん、どうか、そのような義にかなった民となってください。ほ

かのどのような決意よりも、自分の交わした聖約を大切に、尊んでください。生活の中で神に勝利を得ていただけるようになるならば、平安と自信と喜びが増し、そしてこの休みが与えられることを、約束します。

わたしに授けられた聖なる使徒職の力により、この世に打ち勝とうとしている皆さんに祝福を授けます。イエス・キリストを信じる信仰がさらに強くなり、主の力に頼る方法がさらによく身につくように祝福します。真理と偽りを見分けることができるように祝福します。この世の事柄よりも神にかかわる事柄にもっと関心を寄せられるように祝福します。周りの人に何が必要かを察して愛する人を力づけることができるように、祝福します。イエス・キリストがこの世に打ち勝たれたので、皆さんもこの世に勝つことができます。このことを、イエス・キリストの聖なる御名によって証します。アーメン。■

注

1. ジョセフ・スミスーマタイ 1:36。「[その]後、

人の子のしるしが天に現れるであろう。そのとき、地のすべての民族は嘆き、そして力と大いなる栄光とをもって人の子が天の雲の中を来るのを見るであろう。」

2. マタイ 11:28 - 30; 強調付加
3. ヨハネ 16:33; 強調付加
4. 教義と聖約 64:2; 強調付加
5. アルマ 7:11 - 13 参照
6. 2 ニーフай 28:14
7. アルマ 22 章にあるラモーナイ王の父親の話(特にアルマ 22:18)を参照
8. モーサヤ 5:7 参照
9. モーサヤ 3:19; 強調付加
10. 2 ニーフай 31 章; 3 ニーフай 27:16 - 20 参照
11. モーサヤ 2:41
12. 『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』38
13. ラッセル・M・ネルソン「永遠にわたる決断」(ヤングアダルト対象のワールドワイド・ディボーション、2022年5月15日) broadcasts.Church of Jesus Christ.org 参照
14. デビッド・O・マッケイ大管長は、神殿でわたしたちは「永遠の存在を目指して一歩ずつ昇っていく」〔訳注：日の栄えの部屋に向かって段階を追って進んでいくことがその象徴である〕と述べています。(in Truman G. Madsen, *The Temple: Where Heaven Meets Earth* [2008], 11)







大管長会第二顧問  
ヘンリー・B・アイリング管長

# 励ましの遺産

天の御父とイエス・キリストのもとに帰るにふさわしい者になれるよう、努力し続けてください。

愛する兄弟姉妹、皆さんとともに末日聖徒イエス・キリスト教会の総大会に参加できることに感謝しています。皆さんがどこにいても、わたしは皆さんの信仰と愛を感じてきました。わたしたちは、靈感を受けた教えと力強い証、すばらしい音楽によって教化されてきました。

天の御父とイエス・キリストのもとに帰るにふさわしい者になれるよう、努力し続けてください。聖約の道のどこにいても、死すべきこの世の身体的な試練とサタンの妨害との闘いはあります。

それは、あることが大変だとこぼしたときに、母に返された言葉の通りです。「まあ、ハル、もちろん大変よ。そういうものなの。人生は試しなの。」

母は笑顔すら浮かべて、静かに言いました。それは、次の二つのことを知っていたからです。どのような困難があろうと、天の御父のもとに帰ることがいちばん大切だということ。そして、救い主を信じることによってそれが可能だということです。

母は救い主がすぐ近くにおられると感じていました。自分の死が近いと分かっていたころ、母は寝室で横になったまま救い主についてわたしと話しました。母のベッドの近くには、別の部屋に行くドアがありました。母は微笑んでそのドアを見ると、もうすぐ主にお会いすることになると静かに言いました。わたしは、そのドアを見てその向こうにある世界を想像したことを、今でも覚えています。

母は今霊界にいます。長年にわたる身

体的また個人的な試練を受けたにもかかわらず、望んでいた栄冠から目をそらさずにいることができました。

モルモンが息子モロナイと民に励ましを与えたことが記されているモロナイ7章は、母がわたしたちに残してくれた励ましの遺産をよく表しています。これは、母が家族に残してくれたような、子孫への励ましの遺産です。モルモンは、この世でどんな試練に遭おうと、永遠の命を受けるにふさわしくなろうと決意しているすべての人に、この励ましの遺産を残しました。

モルモンはモロナイ7章の前半で、イエス・キリストと天使、キリストの御霊について証しています。ここを読むと、善悪の区別ができるようになり、正しいことを選べるようになります。

モロナイはイエス・キリストを第一にしています。そうするならばだれでも、天の家に向かう道を必死の思いで上っている人を励ますことができます。

「キリストの御言葉にあるとおり、キリストの御名を信じなければ、だれも救われ



アルゼンチン

ないからである。したがって、もしこれらのことがなくなっているとすれば、信仰もなくなっている。そして、人はひどい状態にある。なぜならば、人はまるで贖いがまったくなかったかのような有様になるからである。

しかし見よ、わたしの愛する同胞よ、わたしはあなたがたのことをもっと良い状態にあると判断している。あなたがたが柔和であるのを見て、あなたがたにはキリストを信じる信仰があると思うからである。あなたがたはキリストを信じていなければ、キリストの教会の民の中に数えられるにふさわしくない。」<sup>1</sup>

モルモンは、柔和であることが同胞の信仰の強さの証だと考えており、救い主に頼る気持ちが同胞にあることを知っていました。それが信仰だと伝えることによって彼らを励ました。モルモンは、信仰があって柔和であれば苦難を乗り越えられる確信と自信が生まれることを理解してもらうために、次のような励ましの言葉を与えました。

「また、わたしの愛する同胞よ、わたしは希望についてあなたがたに話したいと思う。あなたがたに希望がなければ、どうして信仰が得られるであろうか。

また、あなたがたは何を望めばよいのであろうか。あなたがたは、キリストの贖罪とキリストの復活の力によって永遠の命によみがえることを望まなければならない。あなたがたがキリストを信じることで、約束のとおりこれが果たされるのである。

したがって、もし人に信仰があれば、必ず希望もあるに違いない。信仰のない希望はあり得ないからである。

さらに見よ、あなたがたに言う。柔和で心のへりくだった人でなければ、信仰と希望を持つことはできない。」<sup>2</sup>

そして、モルモンは、彼らがキリストの愛で心が満たされるという賜物を受ける道の途上にいると証して励ましています。イエス・キリストを信じる信仰と、柔和さ、

謙遜さ、聖霊、永遠の命を得るという確固とした望みが相互に作用し合い、からみ合って自分のものになると説明して、次のように励ましました。

「柔和で心のへりくだった人でなければ、神の御前に受け入れられないからである。また、人が柔和で、心がへりくだっており、イエスがキリストであることを聖霊の力によって認めるならば、その人には慈愛が必ずなければならない。慈愛がなければ、その人は何の価値もない。したがって、人には慈愛が必ずなければならない。」<sup>3</sup>

今振り返ってみると、キリストの純粋な愛である慈愛の賜物が、御父のもとに帰る道のりでの苦難の中で、母をいかに強め、導き、支え、変化させてきたかが分かります。

「慈愛は長く堪え忍び、親切であり、ねたまず、誇らず、自分の利益を求めず、容易に怒らず、悪事を少しも考えず、罪悪を喜ばないで真実を喜び、すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。

したがって、わたしの愛する同胞よ、もしあなたがたに慈愛がなければ、あなたがたは何の価値もない。慈愛はいつまでも絶えることがないからである。したがって、最も大いなるものである慈愛を固く守りなさい。すべてのものは必ず絶えて

しまうからである。

しかし、この慈愛はキリストの純粋な愛であって、とこしえに続く。そして、終わりの日にこの慈愛を持っていると認められる人は、幸いである。

したがって、わたしの愛する同胞よ、あなたがたは、御父が御子イエス・キリストに真に従う者すべてに授けられたこの愛で満たされるように、また神の子となれるように、熱意を込めて御父に祈りなさい。また、御子が御自身を現されるときに、わたしたちはありのままの御姿の御子にまみえるので、御子に似た者となれるように、またわたしたちがこの希望を持てるように、さらにわたしたちが清められて清い御子と同じようになれるよう、熱意を込めて御父に祈りなさい。」<sup>4</sup>

モルモンの模範と教えから得る励ましに、わたしは感謝しています。母の遺産からも、わたしは祝福を受けています。アダムから現代に至るまでの預言者が、教えと模範によって、わたしを強めてくれました。

個人的に知っている人たちとその家族への配慮として、彼らの苦難について言及したり、彼らの偉大な賜物について公に話したりはしませんが、彼らを見てきたことが励みとなって、わたしを変えてくれました。

プライベートの侵害になることを覚悟

のうえで、妻からの励ましについて少しだけお話しします。慎重にそれができればと思います。妻は控え目な性格で、称賛を求めることもしませんし、褒められることも苦手です。

わたしたちは結婚して60年になります。この結婚生活のおかげで、わたしは次の霊的な言葉の意味が分かるようになりました。それらは、信仰、希望、柔和、堪え忍ぶ、自分の利益を求めない、真実を喜ぶ、悪事を考えない、そして何よりも、慈愛です。<sup>5</sup> その経験を基として、わたしは、普通の人間がそうしたすばらしい理想を日々の生活にすべて取り入れることによって人生の苦難を乗り越えることができるということを証することができます。

この話を聞いている人の多くは、そのような人を知っています。皆さんの多くがそのような人なのです。そのような励みになる模範と、愛してくる友人が、あらゆる人に必要です。

皆さんがミニスタリングシスターやブラザーとしてだれかの隣に座る時、皆さんは主の代理人なのです。主なら何をなさり、何を言われるか、考えてください。主であれば、主のもとに来ようその人を招かれるでしょう。その人を励まされるでしょう。その人が必要な変化を遂げ始めていることに気づき、そのことをお褒めになるでしょう。そして主は、その人が見做うべき完璧な模範となられるのです。

そのようなミニスタリングが完璧にできる人はまだいませんが、この大会を聞くことで、その道を進んでいることが分かるでしょう。皆さんが悪戦苦闘していることを、救い主は事細かに知っておられます。信仰と希望と慈愛において成長する大きな可能性が皆さんにあることを、主は御存じです。

主が与えてくださる戒めや聖約は、皆さんをコントロールするための試しなのではありません。それは、皆さんを引き上げ、神が与えてくださる賜物のすべてを受け、愛してくださっている天の御父と主のもとに帰



ブラジル





七十人  
ライアン・K・オルセン長老

れるようにするための贈り物なのです。

イエス・キリストは、わたしたちの罪の代価を払ってくださいました。悔い改めて幼子のようになり、純粹になって、神のあらゆる賜物の中で最も大いなるものを受け準備ができるだけの信仰を主に対して持つならば、わたしたちは永遠の命を得ることができます。

皆さんが主の招きを受け入れることができるように、そして、天の御父のほかの子供たちを同じように招くことができるように祈ります。

全世界の宣教師のために祈ります。彼らが靈感を受けて、この招きが主の御名を受けた主の僕を通して、イエス・キリストからきたものであると望み、信じるよう、一人一人を励ますことができますように。

主が生きておられ、この教会を導いておられることを証します。わたしは主の証人です。ラッセル・M・ネルソン大管長は、全地の神の生ける預言者です。これが真実だと知っています。イエス・キリストの神聖な御名により、アーメン。■

#### 注

1. モロナイ 7: 38 - 39
2. モロナイ 7: 40 - 43
3. モロナイ 7: 44
4. モロナイ 7: 45 - 48
5. 1コリント 13 章; モロナイ 7 章参照



ペルー

# イエス・キリストが 答えです

*問題がどれほど難しく、複雑であったとしても、答えはシンプルであることをいつも覚えておくことができます。イエス・キリストが常に答えです。*

この大会の部会でお話できることは何と光栄なことでしょうか。今日は友人として皆さんにお話しします。ヨハネによる福音書の中で、救い主は、わたしたちが主から求められたことを行うのであれば、わたしたちは主の友であると教えられました。<sup>1</sup>

わたしたち個人の、また全員の救い主への愛、そして主と交わした聖約こそが、わたしたちを結びつけています。ヘンリー・B・アイリング管長が教えたように、「皆さんに伝えたいのは、主がどれほど皆さんを愛し、信頼しておられるか、そして何より、主がどれほど皆さんを頼っておられるかということです。」<sup>2</sup>

ラッセル・M・ネルソン大管長から中央幹部に召されたとき、様々な感情が込み上げてきました。身がすくむ思いでした。妻のジュリーとわたしは、ドキドキしながら総大会の土曜午後の部会を待っていました。支持を受けて謙遜な気持ちになりました。最初の割り当てで転ばないよう、慎重に、指定された席までに階段が何段あるのか数えました。

その部会の最後に起こった出来事は、わたしに大きな影響を与えてくれました。定員会の会員たちが列を作り、新たに召された中央幹部一人一人にあいさつしてくれました。一人一人が、愛と助けたいという気持ちを示してくれ、心のこもったアブラソ（訳注—ス

ペイン語でハグ）の後、「大丈夫、ここがあなたの居場所ですよ」と言ってくれたのです。

救い主との関係において、主は心を見ておられ、「人を偏りみないかた」です。<sup>3</sup> 主がどのように使徒を選ばれたかを考えてみてください。地位や富にこだわることはありませんでした。主は御自分に従うようわたしたちを招いておられ、わたしたちが主のもとで居場所があることを保証してくださっていると信じています。

このメッセージは特に教会の青少年に当てはまります。ネルソン大管長と同じように、わたしにも皆さんのすばらしさが分かります。ネルソン大管長は次のように言っています。「この世代の青少年には否定できない特別なものがあります。天の御父は、あなたを信頼していたからこそ、あなたをこの時代の地球に送られたのでしょ。あなたはすばらしいがために生まれてきたのです。」<sup>4</sup>

青少年から学べることに感謝しています。子供たちが教えてくれること、宣教師が教えてくれること、姪や甥が教えてくれることに感謝しています。

少し前のことですが、たった一人の甥であるナッシュと一緒に農場で働いていました。ナッシュは6歳で、純真な心を持っています。ナッシュはわたしの一番の甥です。ナッシュにとっても総大会で話すわたしが一番のおじさんだと思います。



北アイルランド

取り組んでいた作業の解決案をナッシュも一緒に考えてくれたので、「ナッシュ、とても良い考えだね。どうしてそれほど賢くなったんだい?」と尋ねると、彼はいかにも、「ライアンおじさん、おじさんこそどうしてその質問の答えが分からないの?」とでも言いたそうな顔をし、肩をすくめてから自信満々の笑顔で、「イエス様だよ」と答えました。

ナッシュはその日、簡潔ながらも深遠な教えを思い起こさせてくれました。最も単純な質問であろうと、最も複雑な問題であろうと、その答えは常に同じです。イエス・キリストが答えなのです。あらゆる解決策は主から見いだすことができます。

ヨハネによる福音書の中で、救い主は弟子たちに、彼らのために場所を用意すると言われました。トマスは戸惑い、救い主にこう言いました。

「主よ、どこへおいでになるのか、わたしたちにはわかりません。どうしてその道がわかるでしょう。」

イエスは彼に言われた、『わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。』<sup>5</sup>

救い主は弟子たちに、御自分が道であり、真理であり、命であると教えられました。主は、天の御父のみもとに来る方法への答えです。わたしたちの生活における主の神聖な役割についての証を得ることを、若いときに学びました。

わたしがアルゼンチンで宣教師として奉仕していたとき、ハワード・W・ハンター大管長が、わたしたちにあることをするよう招きましたが、それはわたしの人生に大きな影響を与えました。大管長はこうに言いました。「わたしたちは今まで以上に深くキリストを知り、これまで以上に頻繁

に主を思い起こし、過去にも増して雄々しく主に仕えなくてはなりません。」<sup>6</sup>

当時わたしは、より良い宣教師になるにはどうすればよいか悩んでいました。キリストを知り、キリストを覚え、キリストに仕えること、これこそが答えでした。世界中の宣教師は、イエス・キリストとキリストの贖いを信じる信仰、悔い改め、バプテスマ、聖霊の賜物を受けること、最後まで堪え忍ぶことを通して、回復された福音を受け入れられるよう人々を助けることにより、彼らをキリストのもとへ来るよう招く、という目的において一致しています。<sup>7</sup> 宣教師の話を知っている友人の皆さん、キリストのもとに来るようというわたしの招きを宣教師の招きに加ええます。わたしたちはともに、主を知り、主を覚え、主に仕えることができるよう努めます。

伝道は、わたしの人生において神聖な時間でした。専任宣教師として伝道部長との最後の面接を受けた際、ブレア・ピンコック会長は自分自身とピンコック姉妹の奉仕の完了も間近に控えている中で、伝道部指導者の変更について話しました。わたしたちはお互い、とても愛していたものから離れることを悲しく感じていました。会長は、わたしが専任宣教師ではなくなってしまうということに不安を感じていることを察してくれました。彼は深い信仰を持った人で、それまでの2年間してくれたように、愛をもってわたしを教えてくださいました。机の上のイエス・キリストの絵を指差して、「オルセン長老、これは主の業ですから、すべてうまくいきますよ」と言いました。奉仕している間だけでなく、わたしたちがそれを選ぶなら、救い主が常に助けてくださることが分かり、わたしは安心しました。

ピンコック姉妹は、最もシンプルなスペイン語の単語を使い、真心を持ってわたしたちに教えてくださいました。彼女が「Jesucristo vive (訳注—スペイン語で「イエス・キリストは生きておられます。）」と言ったとき、わたしはそれが真実であり、主が生きておられることが分かりました。彼女が「Elderes

y hermanas, les amo (訳注—スペイン語で「長老、姉妹、皆さんを愛しています。）」と言ったとき、わたしは彼女がわたしたちを愛していて、わたしたちがいつも救い主に従うことを彼女が望んでいることが分かりました。

妻とわたしは最近、祝福され、伝道部指導者としてウルグアイの優れた宣教師とともに奉仕する機会に恵まれました。わたしは彼らのことを、世界で最高の宣教師だと思っています。伝道部の指導者であれば皆そのように感じているだろうと確信しています。弟子である彼らは、救い主に従うことについて毎日教えてくださいました。

定期的に行われる面接で、すばらしい姉妹宣教師の一人がオフィスに入って来たときのことで、彼女は宣教師として成功していて、優れたトレーナーであり、献身的な指導者でした。同僚に尊敬され、人々からは愛されていて、従順で、謙遜で、自信に満ちていました。前回の面接では、彼女がいたエリアと彼女が教えている人々について話しましたが、今回は違っていました。調子を尋ねると、彼女が悩んでいるのが分かりました。「オルセン会長、わたしにできるか分かりません。この業にふさわしくなれる日は来ないのではないかと感じています。主が必要とされているような宣教師になれるかどうか分かりません」と彼女は言いました。

彼女は卓越した、あらゆる点で優れた、伝道部長が思い描くような宣教師でした。わたしは彼女の宣教師としての能力について心配したことはありませんでした。

彼女の話聞きながら、わたしは何と言えればいいのか分からずにいました。わたしは心の中で祈りました。「天のお父様、彼女は大変優れた宣教師です。お父様の宣教師です。彼女はすべてを正しく行っています。誤ったことを伝えたくはありません。何を言えばいいのか分かるよう助けてください。」

すると、言葉が浮かびました。「Hermana (訳注—スペイン語で「姉妹。）」、あなたがそ



のように感じていることに、とても心苦しく思います。一つお聞きしてもいいですか。あなたが教えている友人が同じような気持ちを感じているとしたら、その人に何と伝えますか。」

彼女はわたしの方を見て、ほほえみました。紛れもない宣教師の精神と確信をもって、彼女は言いました。「会長、簡単です。救い主が彼女を完全に御存じであること、主が生きておられること、主が彼女を愛しておられることを伝えます。『あなたは十分によくやっています。あなたにはできますよ!』と伝えるでしょう。」

少し笑いながら、彼女は、「友達にそう言えるのなら、わたしにも当てはまりますよね」と言いました。

疑問や疑いがあるとき、解決策が複雑すぎる、または答えを見いだすのがあまりにも難しいと感じるかもしれません。あらゆる偽りの父であるサタンが混乱の元凶であることを覚えておきましょう。<sup>8</sup>

救い主は簡素さを極めておられる御方です。

ネルソン大管長はこう言っています。

「サタンは巧妙です。何千年の間、善を悪に見るようにし、悪を善に見るようにしてきました。サタンのメッセージは、けたたましく、派手で、誇らしげです。

しかし、天の御父からのメッセージはまったく違います。御父は簡潔に、静かに、わたしたちが誤解しようのないように驚くほ

ど分かりやすく伝えてくださいます。」<sup>9</sup>

神がわたしたちを愛しておられるがゆえに御子を遣わしてくださったことに、わたしたちはどれほど感謝していることでしょうか。主こそが答えです。

ネルソン大管長は最近、次のように述べています。

「イエス・キリストの福音が今日ほど必要とされている時はありません。……

これは、『全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ』という主の弟子たちへの指示に従うことの緊急性を際立たせています。」<sup>10</sup>

奉仕することを選ぶ人々に対し、わたしは預言者の招きを心に留めることでもたらされる祝福を証することができます。奉仕は自分自身のためではなく、救い主のためのものです。皆さんは特定の場所に召されますが、さらに重要なことに、特定の人々のもとに召されます。皆さんには、イエス・キリストが答えであることを新しい友人が理解できるよう助けるという大いなる責任と祝福を受けるでしょう。

これは末日聖徒イエス・キリスト教会であり、ここにわたしたちの居場所があります。ネルソン大管長が愛をもって、行うよう勧めるすべてのことは、わたしたちを救い主に近づけてくれるでしょう。

わたしの甥のナッシュを含む、すばらしい青少年の皆さん、人生を通じて、問題がどれほど難しく、複雑であったとしても、答えはシ

ンプルであることをいつも覚えておくことができます。イエス・キリストが常に答えます。

預言者、聖見者、啓示者としてわたしたちの支持する人々から度々聞いてきたことと同じことをわたしもお伝えします。わたしたちは皆さんを愛し、皆さんに感謝し、皆さんを必要としています。ここに皆さんの居場所があります。

わたしは救い主を愛しています。主の御名、イエス・キリストについて証します。主が、わたしたちの信仰の「導き手であり完成者」であられ<sup>11</sup>、簡素さを極めておられる御方だと証します。イエス・キリストが答えです。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. ヨハネ 15:14 参照
2. ヘンリー・B・アイリング「結ばれた心」『リアホナ』2005年5月号, 77
3. サムエル上 16:7; 使徒 10:34-35; 教義と聖約 1:34-35 参照
4. ラッセル・M・ネルソン, ワールドワイド・ユースダイバーシヨナル: ラッセル・M・ネルソン大管長とウェンディー・W・ネルソン姉妹からのメッセージ, 2018年6月3日, ChurchofJesusChrist.org.
5. ヨハネ 14:5-6
6. ハワード・W・ハンター「汝はいかなる人物にてあるべきか」『聖徒の道』1984年1月号, 79
7. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい-伝道活動のガイド』1
8. 1コリント 14:33; ヤコブの手紙 3:16; 教義と聖約 123:7; 132:8 参照
9. ラッセル・M・ネルソン, 「彼に聞きなさい」『リアホナ』2020年5月号, 89
10. ラッセル・M・ネルソン「平和の福音を宣べ伝える」『リアホナ』2022年5月号, 6
11. ヘブル 12:2





七十人  
ジョナサン・S・シュミット長老

# まことの神でいます あなたを知ること あります (ヨハネ 17:3)

わたしの心からの願いは、皆さんが主の数多くの呼び名によってイエスを知り、主に似た者となることです。

数年前のことです。アリゾナのホームワードで聖餐を取っていたとき、人生が変わる経験をしました。聖餐の祈りで、わたしたちは進んで「[イエス・キリスト]の御名を[自分自身に]受け[る]」<sup>1</sup>ということを知ったとき、イエスは様々な呼び名を持っておられることを、聖霊がわたしに思い起こさせてくださいました。それから、次のような疑問が心に浮かびました。「今週わたしは、イエスのどの御名を受けるべきだろうか。」

3つの呼び名が頭に浮かび、それを書き留めました。それらはキリストがお持ちの特質を伴っていて、わたしがもっと伸ばしたいと願っていたものです。次の週、わ

たしはこれらの呼び名に心を集中させ、それが表す特質や人格を身につけられるように努めました。それ以来、わたしは個人の礼拝の一部として、今も自分に同じ質問をしています。「今週わたしは、イエスのどの呼び名を受けるべきだろうか。」この質問に答え、キリストがお持ちの特質を伸ばすように努めることで、わたしの人生は祝福を受けてきました。

イエスはその大いなる執り成しの祈りの中で、この重要な真理について語られました。「永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ること

であります。」<sup>2</sup> 今日わたしは、数多くある主の呼び名によってイエス・キリストを知ることからもたらされる祝福と力について、お話ししたいと思います。

ある人を知る簡単な方法は、その人の名前を知ることです。「人の名はあらゆる言葉の中で、本人にとって最も心地よく大切な響きを持っている」という言葉があります。<sup>3</sup> これまでに、間違った名前前で人を呼んだり、名前を忘れてしまったりした経験がありますか。妻のアレクシスとわたしは、時々、子供の一人を「ローラ」と呼んでしまいます。お気づきの方もいるでしょうが、ローラとは、飼犬の名前です。良くも悪くも、名前を忘れると、恐らくその人のことをあまりよく知らないということとその人に伝えていることとなります。

主は人々のことを知り、名前と呼ばれました。主は古代のイスラエルに、こう呼ばれました。「恐れるな、わたしはあなたをさがった。わたしはあなたの名を呼んだ、あなたはわたしのものだ。」<sup>4</sup> 復活の日の朝、キリストの復活に対するマリヤの証は、イエスが彼女の名前を呼ばれたときに、確固としたものとなりました。<sup>5</sup> 同じように、神はジョセフ・スミスを信仰に満ちた祈りに答えて、名前と呼ばれました。<sup>6</sup>

イエスは、時にはその弟子たちに、彼らの性質や能力、可能性を示す新たな名前を授けられました。エホバはヤコブにイスラエルという新しい名前を与えられました。それは「神とともに勝利を得る者」、または「神に勝利を得させる」という意味です。<sup>7</sup> イエスは、ヤコブとヨハネにボアネルゲという名前を与えられました。それは「雷の子」という意味です。<sup>8</sup> またイエスは、シモンが将来指導者になることを見越して、岩という意味のケパ、すなわちペテロという名を、彼に授けておられます。<sup>9</sup>

ちょうどイエスがわたしたち一人一人を名前で御存じのように、わたしたちがイエスをさらに知ることができる一つの方法は、主の数多くある呼び名を知ることです。イ





スラエルやペテロという名前と同じように、イエスの呼び名の多くは、主の使命や目的、人格や特質を理解できるよう助けてくれる称号です。イエスの数多くの呼び名を知るようになると、主の神聖な使命や無私の人格がさらによく理解できるようになります。主の数多くある呼び名を知ると靈感が与えられ、人生に喜びと目的をもたらすキリストのような特質を伸ばすこと、すなわち主にさらに似た者となることができます。

数年前に、ラッセル・M・ネルソン大管長は、イエス・キリストに関連する聖句ガイドの聖句をすべて研究しました。<sup>10</sup>その後、ネルソン大管長はヤングアダルトにも、同じ聖句を調べるように勧めました。イエスの数多くの呼び名に関して、ネルソン大管長は次のように述べています。「主の様々な称号や呼び名が皆さんにとって個人的にどのような意味を持つか理解できるよう、祈り、熱心に求めてください。そうすることでイエス・キリストがどのような御方であられるかを学んでください。」<sup>11</sup>

ネルソン大管長の招きに従って、わたしはイエスの数多くの呼び名に関する、自分自身のリストを作り始めました。今では、このリストに300以上の呼び名が載っており、まだまだ見つけていない多くの呼び名があると確信しています。

イエスの呼び名の中には、主のためにだけ取って置かれたものもありますが<sup>12</sup>、わたしたち一人一人にも当てはまる、5つの呼び名と称号を紹介したいと思います。皆さんも皆さん自身のリストを作るようお招きします。主の数多くの御名により、イエスを知るようになるでしょう。そうするときに、主の聖約の弟子として自分の身に受けたいと願う呼び名が、それに付随するキリストの特質とともに、ほかにあることに気づくでしょう。<sup>13</sup>

まず最初に、イエスは**良い羊飼**<sup>14</sup>です。イエスはそのような御方として、御自分の羊を御存じであり<sup>15</sup>、御「自分の羊の名をよんで」<sup>16</sup>、神の小羊として、羊のため



チリ

に命をささげられました。<sup>17</sup>同様に、イエスはわたしたちに、特に家庭の中で、またミニスターングブラザーやシスターとして、良い羊飼いとなるよう望んでおられます。わたしたちがイエスに愛を示す一つの方法は、主の羊たちを養うことです。<sup>18</sup>迷い出た羊のために、良い羊飼いは失われた羊を見つけようと、荒野野に出て行きます。そして彼らが安全に戻るまで、共にいます。<sup>19</sup>わたしたちは良い羊飼いとして、地元の状況が許す限り、人々の家庭でミニスターングを行う時間をさらに取るように、努めるべきです。ミニスターングにおいて、代用ではなく、個人的な接触を強化するためにメールやテクノロジーを活用すべきでしょう。<sup>20</sup>

第二に、イエスは、**すでに現れた祝福の大祭司**<sup>21</sup>です。御自分の十字架の刑が何時間か後に迫っていることを知りながら、イエスはこう言われました。「これらのことをあなたがたに話したのは、わたしにあって平安を得るためである。あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」<sup>22</sup>現代では、世の中がしばしば二極化し、分断されるため、わたしたちには、前向きな姿勢、楽観的な態度、希望を實踐し、伝える必要が大いにあります。過去にどのような困難を経験しようとして、信仰は常に希望に満ちた未来<sup>23</sup>を指し示しており、それによってわたしたちは、勇気を出しなさいというイエスの招きにこたえるこ

とができます。<sup>24</sup>喜びをもって福音に従った生活を送るなら、わたしたちもすでに現れた**祝福の弟子**となれるでしょう。

イエスのもう一つの称号は、**昨日も、今日も、またとこしえに変わることはない御方**<sup>25</sup>です。一貫性は、キリストの特質です。イエスは常に御父の御心を行い<sup>26</sup>、主の御腕は変わることなくわたしたちを救い、助け、癒すために差し伸べられています。<sup>27</sup>さらに一貫性をもって福音に添った生活をするときに、わたしたちはよりイエスに似た者となるでしょう。<sup>28</sup>この世は振り子のように流行にあおられて大きな揺さぶりを受け、人々があらゆる教えの風に吹きまわされて、もてあそばれていますが<sup>29</sup>、一貫性をもって福音に従った生活をするなら、人生の嵐の中でも、確固として揺らなくなるための助けとなります。<sup>30</sup>ネルソン大管長が勧めている「主のために時間を取る」<sup>31</sup>ことによっても、一貫性を示すことができます。大いなる霊的な力は、小さくて簡単なこと<sup>32</sup>からもたらされます。例えば、日々の祈りや悔い改め、聖文の勉強、人々への奉仕などの「*holy habits and righteous routines* (聖い習慣と義になかったルーティーン)」<sup>33</sup>を身につけることです。

第四に、キリストは**イスラエルの聖者**です。<sup>34</sup>イエスの生涯は、清さの規範です。イエスに従うとき、わたしたちはイスラエルの中で聖なる者となることができます。<sup>35</sup>わたしたちは神殿に定期的に参入することで、

聖さを増すことができます。神殿のすべての入り口の上には、「聖きを主に捧ぐ」と刻まれています。わたしたちが神殿で礼拝する度に、家庭を聖なる場所にするためにさらに大きな力を授かって帰ります。<sup>36</sup> 現在、神殿に参入するための推薦状を持っていない方がいれば、ピシヨップと会って、その聖なる場所に参入する、あるいは戻る備えをするようにお招きします。神殿で過ごす時間は、わたしたちの人生に聖さを増してくれます。

最後に挙げるイエスの呼び名は、**忠実で真実な者**です。<sup>37</sup> イエスがまったく忠実で常に真実であったように、わたしたちもそれらの特質を生活の中で示すように、主は切に願っておられます。信仰が弱くなったとき、ペテロがガリラヤの荒れる湖面の上で沈みかけたときのように、わたしたちも「主よ、お助けください」とイエスに叫び求めることができます。<sup>38</sup> その日、主はおほ

れる弟子に手を差し出されました。主は、わたしにも同じようにして下さっており、皆さんにも同じようにして下さいます。決してイエスを諦めないでください。主があなたを諦められることはないのです！

わたしたちが忠実で真実であれば、「わたしにつながっていなさい」というイエスの呼びかけに従うことになります。それは同時に「わたしのもとに留まっていなさい」という意味でもあります。<sup>39</sup> 質問に対峙したとき、信仰をさげすまれたとき、この世の大きく広々とした建物にいる人々から指をさされあざけられたとき、わたしたちは忠実で真実であることができます。そのようなときに、わたしたちはイエスの次の嘆願を思い出します。「あらゆる思いの中でわたしを仰ぎ見なさい。疑ってはならない。恐れてはならない。」<sup>40</sup> そのようにするとき、主は必要な信仰と希望、主のもとに永遠に留まる強さを与えてくださいます。<sup>41</sup>

愛する兄弟姉妹の皆さん、イエスはわたしたちに御自分を知るよう望んでおられます。救いが得られるのは、天下において主の御名によってのみだからです。<sup>42</sup> イエスは道であり、真理であり、命です。だれも主によらないでは、御父のみもとに行くことはできません。<sup>43</sup> イエスは、ただ一つの道なのです。そのために、主は「わたしのもとに来なさい」<sup>44</sup>、「わたしに従ってきなさい」<sup>45</sup>、「わたしとともに歩みなさい」<sup>46</sup>、「わたしに学びなさい」<sup>47</sup>と招いておられます。

心から、イエス・キリストのことを証します。主は生きておられ、皆さんを愛しておられ、皆さんを名前でも御存じです。主は神の子であり<sup>48</sup>、御父のひとり子<sup>49</sup>であられます。主こそ、わたしたちの岩、わたしたちの城、わたしたちの避け所、わたしたちを救う者です。<sup>50</sup> 主は、暗闇の中に輝いている光<sup>51</sup>であり、わたしたちの救い主<sup>52</sup>、贖い主<sup>53</sup>であり、「よみがえりであり命で」<sup>54</sup>あられます。わたしの心からの願いは、皆さんが主の数多くの呼び名によってイエスを知り、主の神聖な特質を生活の中で模範として示すことで、主に似た者となることです。イエス・キリストの御名によって、アーメン。■

#### 注

1. 教義と聖約 20:77
2. ヨハネ 17:3; 強調付加。この祈りについて、デビッド・O・マッケイ大管長は、次のように教えています。「この言葉は、この世で発せられたあらゆる祈りの言葉の中で、主の祈りを考慮に入れても、もっとも栄光に満ちた祈りの一つ、最も偉大な祈りだとわたしが思う祈りから取られています。これはあの裏切りを受けられた夜に、ゲツセマネの園に行かれる直前の、キリストの祈りです。……わたしは、聖書の中で、これよりも重要な章を知りません。」(in Conference Report, Oct. 1967, 5.)
3. Dale Carnegie, *How to Win Friends and Influence People*, rev. ed. (1981), 83.
4. イザヤ 43:1; 強調付加
5. ヨハネ 20:16 参照
6. ジョセフ・スミス-歴史 1:17 参照
7. Bible Dictionary, "Israel."
8. マルコ 3:17
9. ルカ 6:13; ヨハネ 1:42 参照
10. ラッセル・M・ネルソン「救い主についての聖句を6週間で2,200以上研究しました:学んだことを少し紹介します」, インスピレーション



エクアドル





ドイツ

- ブログ, 2020年8月25日, ChurchofJesusChrist.org 参照。この経験の後, ネルソン大管長は次のように, 声を上げました。「別人になったよ!」(「イエス・キリストの力を生活に取り入れる」『リアホナ』2017年5月号, 39)。
11. ラッセル・M・ネルソン「預言者, 指導力, 神の律法」(ヤングアダルトのためのワールドワイド・デイポーションナル, 2017年1月8日), broadcasts.ChurchofJesusChrist.org.
  12. 例えば, イエスはメシヤであり, キリストであり, 大いなるエホバであり, 死人の中から最初に生まれたかたであり, 神の独り子です。
  13. 『聖句ガイド』の中からイエスに関連する聖句を調べるというネルソン大管長の勧めの加えて, Bible Dictionary の “Christ, Names of” の項からも, イエスの数多くの呼び名を調べることができます。また, Elder Jeffrey R. Holland’s book *Witness for His Names* (2019) や devotional talk by Elder Ronald A. Rasband titled “Name above All Names” (Brigham Young University-Hawaii devotional, Oct. 20, 2020), speeches.byuh.edu を研究するものよいでしょう。
  14. ヨハネ 10:11 参照
  15. ヨハネ 10:14 参照
  16. ヨハネ 10:3
  17. ヨハネ 10:11-15:1 ニーフай 11:31-33 参照
  18. ヨハネ 21:15-17 参照
  19. わたしはルカ 15:4 のジョセフ・スミス訳が, 特に好きです。そこにはこう書かれています。「あなたがたのうちに, 百匹の羊を持っている者がいたとする。その一匹がいなくなったら, 九十九匹を残しておいて, 野原に出て行き, いなくなった一匹を見つけるまで捜し歩かないであろうか。」(in Luke 15:4, footnote a, emphasis added).
  20. デビッド・A・ベドナー長老が着目したように, 「[ミニスターングでは] メールを送れば十分だと, だれもが考えています。家を訪問する必要や, 目を見て話す必要がある場合もあるのです。家を訪問することで, ほかの方法では決して得られない印象や靈感を受けること

- でしょう。」(「中央幹部とのタペーベドナー長老」[宗教教育者のための放送], 2020年2月7日, broadcasts.ChurchofJesusChrist.org)
21. ヘブル 9:11 参照
  22. ヨハネ 16:33
  23. See Jeffrey R. Holland, “Remember Lot’s Wife”: *Faith Is for the Future*” (Brigham Young University devotional, Jan. 13, 2009), 2, speeches.byu.edu. 「信仰は常に将来を指し示しています。人生においてこれから先も影響力を及ぼすような祝福を受け, 真理を学び, 出来事を経験するときは常に信仰がかかっているのです。」
  24. マタイ 9:2; マルコ 6:50; ヨハネ 16:33; 3 ニーフай 1:13; 教義と聖約 61:36 参照
  25. ヘブル 13:8 参照。see also Bible Dictionary, “Christ, names of.”
  26. ヨハネ 8:29 参照
  27. アルマ 5:33; 19:36; 3 ニーフай 9:14 参照
  28. 例えば, デビッド・A・ベドナー「家庭でもっと勤勉に家庭のことに携わる」『リアホナ』2009年11月号, 19-20 参照。「一貫性とは, 個人の生活の中に大いなる業の基を据え……るために重要な原則なのです。……わたしたちは一貫性を持つ必要があります。」
  29. エペソ 4:14 参照
  30. モーサヤ 5:15 参照
  31. ラッセル・M・ネルソン「主のために時間を取る」『リアホナ』2021年11月号, 120
  32. アルマ 37:6 参照
  33. これは, グリン・H・オークス管長が指導されるときに, 何度も使われる表現です。See, for example, “YSA Face to Face with Elder Oaks and Elder Ballard” (broadcast for young single adults, Nov. 19, 2017), ChurchofJesusChrist.org.
  34. 2 ニーフай 9:18-19, 41 参照
  35. 最近行われたヤングアダルトのためのワールドワイド・デイポーションナルで, ウェンディ・ネルソン姉妹が一つの質問をしました。彼女の言葉によれば, それは生活を変え, 自信を増し, 不安を抑え, 動機付けをし, 感謝の気持ち

- を高めてストレスを減らし, 誘惑に抵抗する助けを与え, 喜び・慰め・愛・平安をもたらす質問です。それは, 「聖いヤングアダルトなら, どうするだろうか」という質問です。そしてウェンディ姉妹は, この質問を, 毎日, 一回だけ応用することを3日間続けて行うように勧めました。See “One Question That Can Change Your Life” (worldwide devotional for young adults, May 15, 2022), broadcasts.ChurchofJesusChrist.org.
36. 教義と聖約 109:12-13, 22 参照
  37. 黙示 19:7
  38. マタイ 14:30
  39. ヨハネ 15:4. *abide* (留まる) を表すギリシャ語は *meivare* (メイナーテまたはメノー) で, 「その場にいる」または「残る」という意味があります。
  40. 教義と聖約 6:36
  41. ジェフリー・R・ホランド長老は, かつて, スペイン語では英語の “a bide in me” は, “permanenced en mi (ベルマネセーデンミ)” と訳されると述べ, さらに次のように述べています。「つまり『永久にとどまる』というニュアンスになります。……皆さん自身のためにも, そして皆さんに続く後のあらゆる世代の人たちのためにも, 永久にとどまるつもりで来てください。そして, 最後まで堅固な信仰を保てるよう, 助け合うのです。」(「わたしにつながっていないさい」『リアホナ』2004年5月号, 32)
  42. 2 ニーフай 31:21 参照
  43. ヨハネ 14:6 参照
  44. マタイ 11:28; 3 ニーフай 9:14, 22
  45. マタイ 16:24; ルカ 18:22; ヨハネ 21:19. 2 ニーフай 31:10 も参照
  46. 黙示 3:4; モーセ 6:34
  47. マタイ 11:29; 教義と聖約 19:23
  48. 3 ニーフай 9:15 参照
  49. ヨハネ 1:14; アルマ 5:48 参照
  50. サムエル下 22:2-3 参照
  51. 教義と聖約 6:21 参照
  52. ルカ 2:11 参照
  53. 教義と聖約 18:11-13 参照
  54. ヨハネ 11:25 参照



七十人  
マーク・D・エディ長老

# 御言葉の力

古代と現代の預言者の言葉に力があるのは、とりもなおさず、  
預言者の言葉は主の言葉だからです。

モルモン書には、預言者アルマが下した非常に大きな決断が、皆に愛されている聖句の中に記されています。馴染みのあるその言葉を読む前に、その決断を下したときの困難な状況を、わたしと一緒に考えてください。

自分たちをゾーラム人と呼ぶ一派が、ニーファイ人から分かれて<sup>1</sup>、レーマン人の地との境に集まっていました。<sup>2</sup> ニーファイ人は、かつてない規模の戦いでレーマン人を打ち負かしたばかりで非常に大勢の人が殺されていたため<sup>3</sup>、「ゾーラム人がレーマン人と行き来し、そのためにニーファイ人の側に大きな損害が出るのではないかとひどく恐れ〔ていまし〕た。」<sup>4</sup> アルマにとって戦争よりも心配だったのは、ゾーラム人が「以前に御言葉を聞いていた」<sup>5</sup> にもかかわらず偶像礼拝に陥って「主の道を曲げて」いることが分かったことでした<sup>6</sup>。これらすべてのことがアルマに重くのしかかり、「深い嘆きの種」<sup>7</sup> となっていました。

このような複雑で難しい状況の中で、アルマはどうすべきか深く考えました。こうしてアルマが下した決断は、現代の複雑で難しい状況の中を生きるわたしたちを鼓舞し、教えるために記録されています。<sup>8</sup>

「ところで、御言葉を説き教えることは民に正しいことを行わせるのに大きな効果があり、まことにそれは、剣やそのほか、これまで民に起こったどのようなことよりも民の心に力強い影響を及ぼしたの

で、アルマはこの度も神の言葉の力を使うのが望ましいと思った。」<sup>9</sup>

多くの解決策がある中で、アルマの信仰により、アルマとその民は、御言葉の力に頼ることにしたのです。聖文の中で最も力強い教えの幾つかが、この決断の直後に語られたのは偶然ではありません。アルマ書 32 章と 33 章には、主イエス・キリストを信じる信仰についての卓越した説教が載っていますし、34 章では、イエス・キリストの贖罪に関する非常に影響力の大きい教えをアミュレクが語っています。

## 御言葉の力の例

確かに、生活の中で神の言葉の力を使うことを選んだ人に奇跡のような祝福が注がれる話は、聖文の至る所に出て来ます。<sup>10</sup> モルモン書を読みながら、わたしと一緒に 3 つの例について深く考えてみましょう。モルモン書は、「末日を生き抜くためのガイドブック」<sup>11</sup> だと、ラッセル・M・ネルソン大管長が言った書物です。

まずアルマは、主が先祖を囚われの身からどのように解放して下さったかを民に思い出させ、こう教えました。「見よ、神は彼らの心を改めさせ、彼らを深い眠りから覚まされたので、彼らは目覚めて神に従った。見よ、彼らはかつて暗闇のただ中にいたにもかかわらず、後に永遠の御言葉の光に照らされるようになった。」<sup>12</sup> 暗闇の真ただ中にいるように感じている

かもしれません。光が欲しくてたまらないのではないのでしょうか。もしそうならば、神の言葉の力を使ってください。

第二に、主がレーマン人を改心させられたことについて、よく考えてください。宣教師としてそれを目の当たりにしたアンモンは、こう言っています。「見よ、神が地獄の苦痛から解き放して下さった同胞の数は、何千人にも上るではないか。彼らは今、贖いをもたらした愛について歌うようになっている。これはわたしたちの内にある神の御言葉の力のおかげである。」<sup>13</sup> 兄弟姉妹の皆さん、わたしたちの中には、愛する人に、贖いをもたらした愛について歌うようになってほしいと切実に願っている人がたくさんいます。あらゆる努力をする中で、わたしたちの内にある神の言葉の力を使うことを忘れないでください。

第三に、ヒラマン書にはこのようにあります。「まことに、望む者はだれでも、神の言葉を手に入れることができるということも、わたしたちに分かるのである。この神の言葉は生きていて力があり、悪魔の悪知恵とわなと策略をことごとく断つ。また、悪人をのみ込むために備えられている、あの不幸の永遠の淵を横切る細くて狭い道にあって、キリストの人を導き、……また……彼らの……霊を天の王国におられる神の右に至らせ……するものである。」<sup>14</sup> 皆さんは、現代の世の人々の間にまん延している悪魔の悪知恵とわなと策略をことごとく断とうとしていますか。聖約の道をただひたすら歩み続けるために、情報過多によって引き起こされた混乱の雲を追い散らしたいと思っていますか。神の言葉の力を使ってください。

御言葉の力によって変えられた者として、わたしは、愛する預言者ラッセル・M・ネルソン大管長の美しい教えが真実であることを証します。「モルモン書の力は、『キリストを信じながら、誠心誠意で』モルモン書を読む人の生活の中にかかる変化の中に、最も顕著に現れているとわ



たしは思います。かつて大切にしていた多くのものを、モルモン書の教えに従うために捨てる改宗者が、たくさんいるのです。……モルモン書は、皆さんが人々をキリスト・イエスのもとに導くのにいちばん効果的なツールになることでしょ。』<sup>15</sup>

### 力の源

これまで述べてきた例やそのほかの例で、わたしたちは神の子供たちの生活の中で神の言葉の力が働くのを目の当たりにしています。では、この力の源は何なのでしょう。

この間について考える際には、聖文の中で使われる「言葉」という語句には少なくとも二つの意味があることを覚えておかなければなりません。デビッド・A・ベドナー長老は最近、「『言葉』はイエス・キリストの名称の一つ」だと教え、「聖典に記されている救い主の教えもまた、『言葉』なの[だ]」<sup>16</sup>と語っています。

預言者ニーファイは、この二つの意味の関係を、次のように説明しています。「これらの言葉を聴き、キリストを信じなさい。また、これらの言葉を信じなくても、キリストを信じなさい。キリストを信じれば、これらの言葉を信じるようになるであろう。これらの言葉はキリストの言葉であり、キリストがわたしに授けてくださったものだからである。」<sup>17</sup>ここから分かるのは、古代と現代の預言者の言葉に力があるのは、とりもなおさず、預言者の言葉は主の言葉だからだということです。<sup>18</sup>愛する友人の皆さん、この末日<sup>19</sup>に霊的に生き残るためには、永遠の真理を受け入れることが不可欠です。末日には、預言されているように「ききん」があります。「それはパンのききんでは[なく]、水にかわくのも[ありません]、主の言葉を聞くことのききんで[す]。』<sup>20</sup>

結局のところ、神の言葉の力とは、主イエス・キリストのことなのです。<sup>21</sup>これをもっとよく理解していくと、主の預言者と、

贖い主御自身の役割との間に永遠にわたって大きな影響を及ぼす重要な結びつきがあることが分かってきます。主を愛し、主に近づいて主の愛のうちにいたい<sup>22</sup>という願いがあると、生活の中で神の言葉の力を使いたくなります。わたしたち個人の救い主であり贖い主であられる主から流れ込む力<sup>23</sup>と、「主の選ばれた器」<sup>24</sup>を通して主から流れ込む力の両方を使いたくなるのです。ほかに役に立つものがあつたとしても、救い主とその預言者の言葉の研究に取って代わるものはないことに、わたしたちは気づくようになるでしょう。深く味わわなければなりませんし<sup>25</sup>、聖文そのものを何度も読まなければなりません。<sup>26</sup>

兄弟姉妹の皆さん一人一人を愛しています。愛しているからこそ、お願いします。

神の言葉の力を経験してください。特に、モルモン書を毎日読むことを通して、その力を感じてください。そうするならば、ラッセル・M・ネルソン大管長の次の約束が成就するのを経験するでしょう。「毎日祈りの気持ちでモルモン書を研究するならば、皆さんは毎日、さらにより決断を下すようになるでしょう。研究したことについて深く考えるならば、天の窓が開いて、自分自身の疑問の答えを授かり、自分自身の生活の中で導きを受けるようになります。毎日モルモン書をよく学び、味わうならば、……今日の悪から守られることを約束します。」<sup>27</sup>

天の御父はわたしたちを完全に愛し、皆が御父のもとに帰って一緒に暮らせるようになってほしいと願っておられるために、御言葉を与えてくださっていることを



証します。「言葉は肉体とな〔って〕」<sup>28</sup> キリスト・イエスとなったことと、キリストはわたしたちを救い、贖う力をお持ちであることを証します。昔も今も、主の力は主の預言者の言葉を通して与えられます。

わたしたちが知恵と柔和さを持って神の言葉にしっかりつかまり<sup>29</sup>、昇栄と永遠の命に至る聖約の道<sup>30</sup>を歩み続けることができますようにと、心から祈ります。御言葉の力を通してだれにでも可能になる大きな変化を、わたしたちが常に経験できますように。<sup>31</sup> イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. アルマ 30：59 参照
2. アルマ 31：3 参照
3. アルマ 28：2 参照

4. アルマとその民は、アムリサイ人とレーマン人の間にそのような「行き来」があったために大きな悲劇が起こり、多くの人命を失うという経験を過去にしていることに注目してください（アルマ 2：21 - 38；3：1 - 3 参照）。
5. アルマ 31：8
6. アルマ 31：1
7. アルマ 31：2
8. モルモン 8：34 - 35 参照
9. アルマ 31：5；強調付加
10. 例えば、1 ニーファイ 15：24；アルマ 32：41 - 43；36：26；37：8、44 - 45 参照
11. ラッセル・M・ネルソン「信仰をもって将来を待ち望む」『リアホナ』2020年11月号、75
12. アルマ 5：7；強調付加
13. アルマ 26：13；強調付加
14. ヒラマン 3：29 - 30；強調付加
15. Russell M. Nelson, "The Book of Mormon: A Miraculous Miracle" (address given at the seminar for new mission leaders, June 23, 2016), quoting in part Moroni 10:4.
16. デビッド・A・ベドナー「しかしわたしたちは、

彼らのことを気に留めなかった」『リアホナ』2022年5月号、16

17. 2 ニーファイ 33：10；強調付加
18. 教義と聖約 1：38 参照
19. 教義と聖約 1：14 - 18 参照
20. アモス 8：11
21. アルマ 34：6 参照
22. ヨハネ 15：10 参照
23. マルコ 5：25 - 34 参照
24. モロナイ 7：31
25. 「備えるにはもっと良い方法があります。というのは、大いなる信仰というものは長持ちしないからです。引き続き聖文を読んでキリストの御言葉と生ける預言者の教えを研究しようと決意することもできます。これはわたしが行おうとしていることです。もう一度モルモン書に戻って深く何度も味わうつもりです。」（ヘンリー・B・アイリング「霊的な備え—早くから始め、絶えず積み重ねる」『リアホナ』2005年11月号、39）
26. 「わたしが聖典を読むのは、学問の追求のためではなく、主と預言者の言葉を愛しているからなのです。……  
わたしは、聖典について長々と詳細に述べている注釈書を読むことには、あまり関心がありません。それよりも、聖典そのものを読んで、真理の泉から湧き出る純粋な水、すなわち神から与えられたままの、わたしたちが聖典として受け入れている書物に記録されている神の言葉を味わう方が好きなのです。聖典は神の子供たちに知識と祝福と喜びをもたらすために、神から与えられたものです。聖典を読むならば、御霊の力によってそのことを確信できるでしょう。」（ゴードン・B・ヒンクレー「聖典を味わう」『聖徒の道』1986年6月号、2、4 参照）
27. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書—この書物なしの人生とは」『リアホナ』2017年11月号、62
28. ヨハネ 1：14
29. 1 ニーファイ 8：30 参照
30. 「聖約の道は、昇栄と永遠の命に至る唯一の道なのです。」（ラッセル・M・ネルソン「霊的推進力」『リアホナ』2022年5月号、98）
31. アルマ 5：11 - 13 参照



ジャマイカ





十二使徒定員会  
ゲーリー・E・スティープンソン長老

# 証を養い、証を述べる

言葉と行いで証を述べる機会を求めるよう皆さんに勧めます。

## はじめに

人生を決定づける瞬間は、しばしば、思いがけず、まだ年が若くても訪れます。ケビンという高校生の話を紹介します。学生リーダーのための行事で、別の州を訪問するよう選ばれたときの話を、本人の言葉で紹介します。

「列の自分の番が来て、まじめそうな受け付けの人に名前を聞かれました。彼女はリストを見て『あなたがユタ代表ね』と言いました。

『ほくだけですか?』とわたしは聞きました。

その人は『そうですよ』と言い、名前の下に『ユタ』と書かれた名札をくれました。それをつけると、何だかレットルをはられたような気がしました。

同じような名札をつけた5人の高校生と一緒にホテルのエレベーターに乗り込むと、『君、ユタから来たんだね。モルモンなの?』と一人の生徒に聞かれました。

全国から集まった高校生のリーダーたちに囲まれて、場違いに感じました。『そうだよ』と、ためらいながら答えました。

『天使を見た、って言うジョセフ・スミスを信じている教会だよ。まさか君も信じてるんじゃないよね?』

わたしは何と言ったらよいのか分かりませんでした。エレベーターの中の生徒たちは皆、わたしをじっと見ていました。まだ来たばかりなのに、皆から変わった人だと思われてしまいました。わたしは少し身構えましたが、こう言いました。『ジョセフ・スミスは神の預言者だと知っているよ。』

わたしは、『今の言葉はどこから来たんだらう?』と思いました。自分にそんなことを言える勇気があるとは思っていませんでした。でも、その言葉が真実だと感じました。

『やっぱりね。モルモンは宗教オタクだって聞いたよ』と彼は言いました。

気まずい間の後、エレベーターのドアが開きました。わたしたちが荷物を集めている間に、彼は笑いながら行ってしまいました。

そのとき、後ろから『ねえ、モルモンはもう一つの聖書みたいなものを持ってのよね?』という声が聞こえました。

『ああ、またか。』そう思いながら振りむくと、エレベーターにいたクリストファーという別の生徒が立っていました。

わたしは話を切り上げようと思い、『モルモン書だよ』と言って、荷物を取り、廊下を歩きだしました。

『ジョセフ・スミスが翻訳した本?』と彼は聞きました。

『そうだよ』とわたしは答えました。もう恥ずかしい思いをしなくて、歩き続けました。

『どうやったら手に入るの?』と彼は聞きました。

セミナーで学んだ聖句が思い浮かびました。『わたしはイエス・キリストの福音を恥としない。』<sup>1</sup> その言葉が浮かんだとき、自分が恥らっていたことが恥ずかしくなりました。

その週の間ずっと、その聖句が頭から離れませんでした。わたしは教会についての質問にできるだけ答えて、たくさんの友達を作りました。

そして、自分の宗教に誇りを持っていることに気づきました。

クリストファーにモルモン書をあげました。クリストファーはその後、自宅に宣教師を招待してくれたそうです。

わたしは、恥ずかしがらずに証を伝えることを学びました。<sup>2</sup>



イタリア



マダガスカル

証を伝えたケビンの勇気に感動しています。それは、世界中の忠実な教会員が日々繰り返し奮い立たせている勇気です。今からお話しする際に、次の4つの質問について考えてみてください。

1. わたしは、証とは何か知っていて、理解しているだろうか。
2. わたしは、証を述べる方法を知っているだろうか。
3. 証を伝える妨げになるのは何だろうか。
4. どうすれば証を保てるだろうか。

### わたしは、証とは何か知っていて、理解しているだろうか

あなたの証は最も大事な宝物で、しばしば深い霊的な気持ちと結びついています。その気持ちは、「静かな細い声」と呼ばれ、心の内で感じるものです。<sup>3</sup> 証は真理についての知識で、聖霊の影響を通して霊的な証として与えられます。この証を得ることで、言葉や行いが変わります。聖霊が伝えてくださる、証の重要な要素には次のようなものがあります：

- 神はあなたのお父様であり、あなたは神の子供で、神から愛されて

いるということ。

- イエス・キリストは生きておられ、生ける神の御子であり、あなたの救い主、贖い主であること。
- ジョセフ・スミスは、イエス・キリストの教会を回復するために召された、神の預言者であること。
- 末日聖徒イエス・キリスト教会は、地上に回復された、神の教会であること。
- 生ける預言者が、回復されたイエス・キリストの教会を導いていること。

### わたしは、証を述べる方法を知っているだろうか

霊的な気持ちを人に伝えることは、証を述べていると言えます。教会員は、教会の正式な集会や、それほど正式ではない、家族や友達などとの一対一の会話で証を述べる機会があります。

証を述べるもう一つの方法は、正しい行いをすることです。言葉だけでなく、あなた自身がどのような人であるかが、イエス・キリストに対する証となります。

イエス・キリストに従うという決意を、言葉や行いを通して伝えるたびに、ほかの人を「キリストのもとに」<sup>4</sup> 招いているのです。

教会員は、いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、神の証人になります。<sup>5</sup> デジタルの世界で、人を高める自分のコンテンツや、ほかの人が作った良いコンテンツを使って証を述べる機会は、無限にあります。人を愛し、オンラインでも、分かち合い、招くことは、証を伝えることです。イエス・キリストの福音が自分の生活をどのように形作っているかを示すためにソーシャルメディアを使うとき、あなたのツイートやメッセージ、投稿が、より高く、より神聖な目的を持つようになります。

### 証を伝える妨げになるのは何だろうか

証を伝える妨げになるものとして、何を言えばよいか分からないということがあります。初期の使徒のマシュー・カウリーは、17歳のときに、5年間の伝道のためにニュージーランドに向けて出発したときの話をしました。

「出発の日に父がささげた祈りを決して忘れないでしよう。……そのときの祝福以上にすばらしいものをこれまでに聞いたことがありません。それから父は、車で最後にこう言ったのです。『君はこれから伝道に行く。そして、聖文を研究するだろう。お話の準備をしようとするし、よく準備ができていると思っていても、立ち上がったときに頭が真っ白になることがあるかもしれない。』わたしは何度もそのような経験をしました。

わたしは、『そういうときはどうすればいいの?』と尋ねました。

父はこう言いました。『立って、熱心に、ジョセフ・スミスは生ける神の預言者だと証をしなさい。そうすれば、様々な考えが次々と思い浮かび、語るべき言葉が君の口に与えられ、聞いている人の心に届けられるだろう。』伝道中、よく頭が真っ白になりましたが、主の十字架の刑以来、最も大切な歴史上の出来事について証をする機会を頂きました。皆さんもいつか



試してみてください。ほかに言うことが思いつかなければ、ジョセフ・スミスが神の預言者だと証してください。そうすれば、教会のすべての歴史が次々と頭に思い浮かぶでしょう。』<sup>6</sup>

同様に、ダリン・H・オークス管長は「ひざまずいて祈るよりも立って証をすることで効果的に得られる証もある」と述べています。<sup>7</sup> 御霊は、語る人にも聞く人にも証されます。

ケビンの話が強調しているように、もう一つの妨げは怖れです。パウロはテモテにこう書き送っています。

「神がわたしたちに下さったのは、臆する霊ではなく、力と愛……の霊なのである。……

だから、あなたは、わたしたちの主のあかしをすること……を、決して恥ずかしく思ってはならない。』<sup>8</sup>

怖れは主からではなく、ほとんどの場合サタンから来るものです。ケビンのように信仰を働かせるならば、これらの気持ちを克服して、心の思いを自由に告げることができます。

### どうすれば証を保てるだろうか

証は、人が生まれつき持っているものだと思いますが、それを保ち、さらに養うには、アルマが教えたように十分に注意して養いを与えなければなりません。<sup>9</sup> すると、「根付き、生長し、……実を結ぶ」でしょう。<sup>10</sup> そうでないと、「枯れてしまう」でしょう。<sup>11</sup>

愛する大管長会の一人一人が、どのように証を保つかについて示してくれました。

ヘンリー・B・アイリング管長は、「神の御言葉をよく味わい、心から祈り、主の戒めに従うことは、証を育み大きくするためにたゆまず継続的に行うべきこと」だと愛を込めて教えてくれました。<sup>12</sup>

ダリン・H・オークス管長は、証を保つ方法について、「毎週聖餐を取る必要があります（教義と聖約 59：9 参照）。そう

することで、「いつも御子の御霊を受け〔る〕』という貴い約束にふさわしくなるのです（教義と聖約 20：77）」<sup>13</sup> と思い起こさせてくれています。

ラッセル・M・ネルソン大管長は最近、証を保つ方法について優しく勧告しました。

「〔自分の証に〕真理という養いを与えてください。……

古代と現代の預言者の言葉で自分を養ってください。主の声をもっとよく聞く方法を主に尋ねてください。神殿と家族歴史の業にもっと多くの時間を費やしてください。

自分の証を最優先に……〔し〕てください。』<sup>14</sup>

### 終わりに

愛する兄弟姉妹、皆さんがさらに証に対する理解を深め、証を伝えるときに、不安や怖れという障害を克服し、証という、最も大切なものを育て、保つことができることを約束します。

わたしたちには恵まれて、大胆に証をした、古代と現代の預言者たちの数え切れないほどの模範があります。

キリストの死後、ペテロは立って証しました。

「あなたがたご一同も……知っていても、この人が……みんなの前に立っているのは、ひとえに、あなたがたが十字架につけて殺したのを、神が死人の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの御名によるのである。

……わたしたちを救いうる名は、これを別にしては、天下のだれにも与えられていないからである。』<sup>15</sup>

信仰についてのアルマの説教に続き、アミュレクは力強くこう述べています。「わたしも、これらのことが真実であることをあなたがたに証しよう。さて見よ、将来キリストは、御自分の民の背きを御自身に負うために人の子らの中に来られ、世の罪



オーストラリア

を贖われる。わたしはこのことを知っている。』<sup>16</sup>

ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンは、復活された救い主の栄えある示現を見て、こう証しました。

「そして今、小羊についてなされてきた多くの証の後、わたしたちが最後に小羊についてなす証はこれである。すなわち、『小羊は生きておられる。』

わたしたちはまことに神の右に小羊を見たからである。また、わたしたちは証する声を聞いた。すなわち、『彼は御父の独り子であ〔る〕。』<sup>17</sup>

兄弟姉妹、言葉と行いで証を述べる機会を求めるよう皆さんに勧めます。南米のある首都の市長との会合の終わりに、わたしにもそのような機会が訪れました。そこは市長の部屋で、大勢の政府関係者がその場にいました。とても温かい雰囲気の中で終わろうとしていたため、わたしは証をするべきかどうか迷いました。促しを受けたわたしは、イエス・キリストは神の御子であり、世の救い主であると証しました。その瞬間、すべてが変わりました。紛れもなく、部屋の中に御霊がありました。皆が感動していたようでした。「慰め主は……、父と子のことを証する。』<sup>18</sup> 勇気をふりしぼって証できたことに感謝しています。

このような瞬間が来たときには、その機会をつかんで生かしましょう。そうするとき、慰め主の温もりを心に感じるでしょう。

皆さんに証します。神はわたしたちの天の御父です。イエス・キリストは生きて



七十人  
アイザック・K・モリソン長老

おられ、末日聖徒イエス・キリスト教会は、愛する預言者ラッセル・M・ネルソン大管長により導かれている、今日の地上における神の教会です。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. ローマ1:16 参照
2. ケビン・マンフォードとの個人的な会話と手紙, 2022年9月, Kevin Mumford, "How I Know: I'm Not Ashamed," New Era, Jan. 1999, 26-27も参照
3. 列王上19:12
4. モロナイ10:32
5. モーサヤ18:9 参照
6. Matthew Cowley, in Joseph Fielding McConkie, *Here We Stand* (1995), 189.
7. ダリン・H・オークス「証」『リアホナ』2008年5月号, 27
8. 2テモテ1:7-8
9. アルマ32:37 参照
10. アルマ32:37
11. アルマ32:38
12. ヘンリー・B・アイリング「生きた証」『リアホナ』2011年5月号, 126
13. ダリン・H・オークス「証」『リアホナ』2008年5月号, 27
14. ラッセル・M・ネルソン「永遠にわたる決断」(ヤングアダルトのためのワールドワイド・ディボーション, 2022年5月15日) [churchofjesuschrist.org/study/broadcasts/worldwide-devotional-for-young-adults/2022/05/12nelson?lang=jpn](http://churchofjesuschrist.org/study/broadcasts/worldwide-devotional-for-young-adults/2022/05/12nelson?lang=jpn)
15. 使徒4:10, 12
16. アルマ34:8
17. 教義と聖約76:22-23
18. 教義と聖約42:17

# 主によって、難しいことでもすることが出来る

困難な時期に主に対する信仰を行使するなら、弟子として成長できます。

救い主が地上で務めを果たしておられたとき、目の見えない男性に目を留められました。イエスの弟子たちは、こう尋ねました。「先生、この人が生れつき盲人なのは、だれが罪を犯したためですか。本人ですか、それともその両親ですか。」

救い主の揺るぎなく、愛に満ちた、心のこもった答えは、主がわたしたちの悩みを心に留めておられることを改めて確信させるものでした。「本人が罪を犯したのでもなく、また、その両親が犯したのでもない。ただ神のみわざが、彼の上に現れるためである。」<sup>1</sup>

困難の中には故意に犯す不従順が招くものもあるとはいえ、多くの人生のチャレンジは別の理由によってもたらされます。困難の原因がどのようなものであれ、それは成長するための絶好の機会にもなります。

わたしの家族も例外ではなく、人生の逆境が訪れました。わたしは幼いころから、大家族に憧れていました。大家族に魅力を感じたのは、特に十代のとき、ガーナのタコラディに住む母方のおじ、サーフォと彼の奥さんを通して教会を知ったときでした。

ハンナとわたしが結婚したとき、わたしたちは祝福師の祝福が成就することを願いました。子供をたくさん授かるとあったからです。ところが、3番目の男の子が生まれる前に、妻のハンナは医学的に、もう

子供を産めないことが分かりました。辛いことに、ケネスは彼自身と母親の命が危ぶまれる状況の中で産まれてきました。出産は無事に済み、母親も快復しました。彼は完全に家族の活動に加わるようになりました。教会への出席、日々の家族の祈り、聖典の勉強、家庭の夕べ、健全なレクリエーション活動を一緒にしました。

大家族への夢は修正が必要になりましたが、『家族—世界への宣言』にある教えを、わたしたちの3人の愛する子供たちと実践するのは喜びでした。その教えに従うことは、わたしの信仰を成長させるのに大きな意味を持ちました。

宣言にあるとおり、「男女の間の結婚は、神の永遠の計画に不可欠なものです。子供たちは結婚のきずなの中で生を受け、結婚の誓いを完全な誠意をもって尊ぶ父親と母親により育てられる権利を有しています。」<sup>2</sup> それらの原則を実行に移すことによって、わたしたちは祝福を受けました。

ところが、わたしがステーキ会長として務めを果たしていたある週末、わたしたちは、恐らく、親として直面する最も困難な試しに向き合うことになったのです。家族で教会の活動から帰って、昼食をとるために集まっていました。3人の息子たちは、庭に出て遊んでいました。

わたしの妻は、何かがおかしいという印





象を何度も感じました。二人で食器を洗っていたときに、妻が子供たちを見てくるとわたしに言いました。子供たちの遊ぶ元気な声が聞こえていたので、わたしは別に問題はないと思っていました。

ようやく息子たちの様子を見に二人で外に出ると、驚くべきことに、一歳半の幼いケネスが水の入ったバケツの中で息絶えていました。上の息子たちは気づいていませんでした。急いで彼を病院に連れて行きましたが、蘇生のためのあらゆる試みは無駄でした。

大切なわが子をこの世で育てる機会を失ったことに、わたしたちは打ちのめされました。ケネスがわたしたちの永遠の家族の一員であることは分かっていたのですが、わたしは疑問を感じるようになっていました。召しを尊んで大いなるものとするためにできることをすべて行っていたのに、なぜ神はこの悲劇が起こるままにされたのでしょうか。わたしは、聖徒たちへのミニスターリングの務めの一つを果たして、帰宅したばかりでした。なぜ神はわたしの奉仕

を御覧になりながら、この悲劇からわたしの息子と家族を救ってくださらなかったのでしょうか。そう考えれば考えるほど、苦々しい気持ちが湧き上がってきました。

妻は決して、わたしが彼女の靈感に応じなかったことを責めませんでした。わたしは人生を変えるほどの教訓を学び、決して破らないようにする二つのルールを決めました。

ルール1: 妻の促しに耳を傾け、それに従う。

ルール2: 理由が何であれ、どうすればいいか分からないときはルール1に立ち返る。

きわめてつらい経験で、悲しみは続きましたが、負いきれないほどの重荷も、最終的には軽くなりました。<sup>3</sup> 妻とわたしは息子を失ったことから、特別な教訓を得ました。わたしたちは神殿での聖約により、一つとなって結ばれている、と感じるようになりました。聖約の子として生まれたケネスは、次の世でも確かにわたしたちの子です。そればかりでなく、人々にミニスターリングして、彼らの痛みを感じるために

必要な経験も得たのです。主への信仰を働かせる中で、わたしたちの苦々しい気持ちは消え去ったと証します。困難な生活は続いていますが、わたしたちは使徒パウロが教えたように、次のことを学んでいます。わたしたちが心を主に向けさえすれば、「[わたしたち]を強くして下さるかたによって、何事でもすることができるようになる。」<sup>4</sup>

ラッセル・M・ネルソン大管長は、次のように教えています。「生活の中心を神の救いの計画とイエス・キリスト、主の福音に向けるなら、人生で何が起こっても一起こらなかつたとしても一喜びを感じることができます。」続けて、こう言われました。「喜びは主から始まり、もたらされるものです。」<sup>5</sup>

わたしたちは元気を出して、試練の中でも平安を感じることができるのです。救い主とその贖いによって感じる愛は、試しの瞬間にあって、わたしたちの強力なよりどころです。「人生の中で経験するすべての不公平なことは、イエス・キリストの贖いによって正されるのです。」<sup>6</sup> 主は、次のように命じられました。「あなたがたは、こ



南アフリカ

の世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」<sup>7</sup> 主は、わたしたちがこの世で遭遇するあらゆる痛み、病、試しに耐えられるように助けることができになります。

聖典の中には、エレミヤ、ヨブ、ジョセフ・スミス、ニーファイなどの、偉大で高潔な指導者たちの物語が数多く載っています。彼らはこの世の苦難や困難を取り除かれたわけではありません。彼らは厳しい状況の中にあっただけで、主に従うことを学んだ、生身の人間でした。<sup>8</sup>

ジョセフ・スミスは、リバティーの監獄における悲惨な日々の中で、次のように声を上げました。「おお、神よ、あなたはどこにおられるのですか。あなたの隠れ場を覆う大幕はどこにあるのですか。」<sup>9</sup> 主はジョセフに「よく堪え忍ぶよう」<sup>10</sup> に言われ、もしそのようにするならば、すべてのことが彼の経験となり、益となると約束されました。<sup>11</sup>

わたし自身の経験を考えると、人生の困難な時期を通して最も善い教訓の幾つかを学んだことに気づきます。それはわたしが、快適な生活から引き離された時期でした。わたしが改宗したばかりのころにセミナーで教会について学んでいた青少年の時期や、専任宣教師の時代に出遭ったチャレンジ、そして教育を受けていたときに直面し、数々の召しを尊んで大いなるものにしようと努め、家族を養っていたときに直面したチャレンジは、わたしを将来に向けて備えてくれました。困難な状況に、主に対する信仰をもって、明るく対応しようとすればするほど、わたしはさらに自らの弟子としての資質を身につけられるようになります。

一度この細くて狭い道に入ってしまうと、人生で困難が訪れても、何も驚くことはありません。<sup>12</sup> イエス・キリストは「さまざまの苦しみによって従順を」学ばれました。<sup>13</sup> わたしたちが主に従うとき、特にそれが困難な時期であれば、さらに成長して主に似た者となることができます。

わたしたちが神殿で主と交わす聖約の一つは、犠牲の律法に従うことです。犠牲は常に、イエス・キリストの福音の一部です。それは、これまで、また将来この地上に住むすべての人にとって、イエス・キリストの偉大な贖いの犠牲を思い起こさせるものです。

わたしは知っています。主はわたしたちの義にかなった願いを、必ずかなえてくださいます。祝福師の祝福の中でわたしに約束された、たくさんの子供たちのことを

覚えていますか。祝福は成就しています。妻とわたしは、ガーナ・ケープコースト伝道部で、25カ国以上の国々から来た、数百人におよぶ宣教師たちと働きました。わたしたちは彼らを、文字どおり、わたしたち自身の子供のように深く愛しています。

困難な時期に主に対する信仰を行使するならば、弟子として成長できることを証します。そのようにするとき、主は憐れみをもってわたしたちを強め、重荷に堪えられるように助けてくださいます。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ヨハネ 9:2-3
2. 「家族—世界への宣言」, Church of Jesus Christ.org
3. モーサヤ 24:14-15 参照
4. ピリピ 4:13
5. ラッセル・M・ネルソン「喜び—霊的に生き抜く道」『リアホナ』2016年11月号, 82
6. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい—伝道活動のガイド』52
7. ヨハネ 16:33
8. ヨブ 27:5 参照
9. 教義と聖約 121:1
10. 教義と聖約 121:8
11. 教義と聖約 122:7 参照
12. 2ニーファイ 31:19-21 参照
13. ヘブル 5:8



わたしと妻がともに働いた、わが子のように深く愛している宣教師たち





十二使徒定員会  
クエンティン・L・クック長老

# 神と神の業に 忠実である

すべての人はイエス・キリストに対する自分の証を求め、  
激情を制し、罪を悔い改め、イエス・キリストの贖罪を通して  
平安を見いだし、神と神の業に忠実である必要があります。

昨年の10月、わたしはM・ラッセル・バラード会長とジェフリー・R・ホランド長老とともに、イギリスを訪問する割り当てを受けました。3人が若い宣教師として奉仕した場所です。わたしたちは、教えと証を伝えるとともに、わたしの高祖父のヒーバー・C・キンボールやその同僚たちが初めての宣教師として奉仕した、イギリス諸島の初期の教会歴史をたどる特権に預かりました。<sup>1</sup>

ラッセル・M・ネルソン大管長は、この割り当てについてからかいながら言いました。「若いころに宣教師として奉仕した地域を訪問するよう3名の使徒を割り当てるのは、まれなことです。だれもが最初に奉仕した伝道部を訪れる割り当てを受けたいと望むものです。」大管長は満面の笑みで、この条件について簡単に説明しました。「60年以上前に同じ伝道部で奉仕した使徒の三人組がほかにもいれば、その人たちも同様の割り当てを受けるでしょう。」

この割り当てに備えて、わたしはLife of Heber C. Kimbal (『ヒーバー・C・キンボールの生涯』)を読み返しました。彼の孫であり後に使徒として召されたオーソン・F・ホイットニーの著書です。わたしが7才になるころ、大切な母から贈られ

たものです。わたしたちは、1947年の7月24日に、ジョージ・アルバート・スミス大管長によるデイス・イズ・ザ・ブレース記念碑の奉献式に出席する準備をしていました。<sup>2</sup>母は、先祖のヒーバー・C・キンボールについてわたしにもっと知ってほしいと思っていました。

この書物には、この時代にとって重要な、キンボール管長の深淵な言葉が記されています。その言葉をお伝える前に、少し背景について説明します。

預言者ジョセフ・スミスがリバティーの監獄に収監されている間、使徒のブリガム・ヤングとヒーバー・C・キンボールは、恐ろしい逆境の中で、聖徒のミズーリからの避難を監督する責任を受けていました。避難する必要があった理由はおもに、リバーン・W・ボグス知事が発令した撲滅令でした。<sup>3</sup>

約30年後、当時大管長会の一員であったヒーバー・C・キンボールは、新たな世代とともにこの歴史を振り返って、このように教えました。「皆さんの多くは、自ら耐え得るあらゆる困難、試練、迫害を経験し、神と神の業への誠実さを示す多くの機会にあずかることでしょ。」<sup>4</sup>

続けてこう述べています。「来るべき苦難に対処するには、この業が真実であ

ることを自分で知らなければなりません。苦難に遭うとき、この知識や証を身につけていない男女は、倒れてしまうでしょう。もしまだあなたが証を得ていなければ、正しい生活をして主に願い求め、証を〔得るまで〕それ続けてください。そうしないと、耐えることができないでしょう。……借りものの光ではだれも耐えられない時がやがて来ます。すべての人が内なる光によって導きを得なければならなくなります。……その光がなければ耐えられないでしょう。ですから、イエスの証を求め、しっかりとつながって下さい。試練が来たときに、つまずき、倒れないようにするためです。」<sup>5</sup>

わたしたちはそれぞれ、神の業<sup>6</sup>と、イエス・キリストの重要な役割について、個人的な証をもつ必要があります。教義と聖約第76章には、3つの栄光の階級が述べられており、日の栄えが太陽にたとえられています。その後、月の栄えは月にたとえられています。<sup>7</sup>

興味深いことに、太陽にはそれ自体光がありますが、月の光は反射光、すなわち「借り物の光」です。79節には、月の栄えの王国を受け継ぐ人についてこうあります。「これらは、イエスの証に雄々しくない者である。」わたしたちは借り物の光で日の栄えの王国を手に入れたり、父なる神



メキシコ

とともに暮らしたりすることはできません。イエス・キリストと主の福音に対する自分の証が必要なのです。

わたしたちは、不法がはびこり、<sup>8</sup> 人の訓戒のために神から心をそらしてしまう世界に生きています。<sup>9</sup> 聖文の中には、神の業とイエス・キリストの証を求めるヒーバー・C・キンボールが気にかけていたことに対する、きわめて説得力のある例があります。それは、アルマが3人の息子、ヒラマン、シブロン、コリアントンに与えた勧告です。<sup>10</sup> 二人の息子は神と神の業に忠実でした。しかし、一人の息子は誤った選択をしました。わたしにとってアルマの勧告の最も重要な点は、アルマが自分の子供たちのために父親として与えているという点です。

ヒーバー・C・キンボールと同様、アルマの第一の関心事は、一人一人がイエス・キリストの証をもち、神と神の業に忠実であることでした。

アルマは息子ヒラマンへの卓越した教えの中で、深淵な約束を与えてこう言いました。「神に頼る者はだれであろうと、試練や災難や苦難の中であって支えられ、また終わりの日に高く上げられる。」<sup>11</sup>

アルマは天使の現れを受けて天使を目にしましたが、これはまれなことです。たいていは、聖霊から印象を受けます。これらの印象の重要性は、天使の現れに劣りま

せん。預言者ジョセフ・フィールディング・スミスは次のように教えています。「聖霊が魂に残される印象は、示現よりもはるかに意義があります。御霊が霊に語りかけられるとき、魂に残る痕跡ははるかに消し難いのです。」<sup>12</sup>

この言葉は、アルマの次男シブロンへの勧告に通じています。シブロンは兄のヒラマンのように義にかなった人でした。わたしが強調したい勧告はアルマ 38 章 12 節です。「激情をすべて制し、愛で満たされるようにしなさい。」

「制する」を意味する英語の「bridle」は、興味深い言葉です。馬を制御するために使う「手綱」に由来しています。同意語として、「管理する」、「制御する」、「抑える」などをあげることができます。旧約聖書には、わたしたちは肉体を与えられると知ったときに喜び呼ばわったと記されています。<sup>13</sup> 肉体は美しく不可欠なものであり、悪ではありません。しかし、情熱を適切に用いないと、あるいは制御しないと、わたしたちは神と神の業から切り離され、証は悪影響を受けることになります。

特に、二つの激情について話しましょう。最初に怒り、次に情欲です。<sup>14</sup> 興味深いことに、どちらも制御されないまま放置すると、大きな心痛を引き起こし、御霊の影響力を弱め、わたしたちを神と神の業から引き離す可能性があります。サタンは、

あらゆる機会を捉えて、わたしたちの生活を暴力と不道徳で満たそうとします。

ある家庭では、怒った夫や妻が伴侶や子供に手を上げることは珍しくありません。わたしは7月に、ロンドンで開催された英国議会超党派フォーラムに出席しました。<sup>15</sup> 女性と青少年に対する暴力が、世界的に重要な問題として取り上げられました。暴力に加え、言葉による虐待を行う人もいます。家族についての宣言にはこうあります。「伴侶や子供を虐待する人々……は、いつの日か、神の御前に立って報告することになります。」<sup>16</sup>

ネルソン大管長は昨日の朝、このことを強く強調しました。<sup>17</sup> 自分の両親から虐待を受けたかどうかにかかわらず、自分は伴侶や子供に対して、肉体的、情緒的、あるいは言葉の上で虐待をしないと決意してください。

現代の最も深刻な課題の一つは、社会問題に関連する論争と言葉による攻撃です。多くの場合、怒りや悪態が、理性と話し合い、礼節に取って代わっています。多くの人が、救い主の先任使徒ペテロの勧告を捨て去り、節制、忍耐、信心、兄弟愛、慈愛といったキリストのような資質を求めようとしません。<sup>18</sup> また、謙遜というキリストのような資質も捨て去っています。

怒りやほかの激情を制することに加えて、わたしたちは自分の思いや言葉、行いを制御することにより、道徳的により清い生活を送る必要があります。ポルノグラフィを避け、インターネットから家庭に流れ込む映像や音楽の適切さを評価し、あらゆる形の罪深い行いを避ける必要があります。

アルマの、息子コリアントンへの勧告を思い出してください。兄のヒラマンやシブロンと異なり、コリアントンは道徳的な罪を犯していました。

コリアントンが不道徳な行為に手を染めていたため、アルマは悔い改めについて教えなければなりませんでした。罪の



アメリカ合衆国





タヒチ

深刻さと悔い改めの方法について教える必要があったのです。<sup>19</sup>

そこで、アルマは、激情を制するという予防的な助言をしましたが、罪を犯した人には、悔い改めるように勧告しました。2019年4月の総大会で、ネルソン大管長は会員に、悔い改めについての深淵な勧告を与えています。日々の悔い改めが人生に欠かせないことを明確にして、次のように教えました。「悔い改めは一つの出来事ではなく、一連の過程であって、幸福と心の平安を得る鍵です。……日々の悔い改めは清さへの道であり、清さは力をもたらします。」<sup>20</sup> もしコリアントンがネルソン大管長の勧告に従っていたら、不純な思いを抱き始めたときに、すぐに悔い改めていたことでしょうか。そして、大きな罪には至らなかったでしょう。

アルマが最後に息子たちに与えた勧告は、全聖文の中で最も重要な教義の一つに数えられます。イエス・キリストが成し

遂げてくださった贖罪に関する勧告です。

アルマは、キリストが罪を取り去ってくださることを証しました。<sup>21</sup> 救い主の贖罪がなければ、正義の永遠の原則が罰を要求するでしょう。<sup>22</sup> 救い主の贖罪のおかげで、悔い改めた人々に憐れみが及び、彼らは神のみもとに戻ることができるようになります。このすばらしい教義について深く考えるとよいでしょう。

自分自身のよい行いだけで神のもとに戻れる人はいません。だれもが救い主の犠牲の恩恵を必要としています。すべての人は罪を犯しているため、イエス・キリストの贖罪を通してのみ、憐れみを受けて神とともに住むことができるようになるのです。<sup>23</sup>

アルマはまた、小さな罪であれ、コリアントンが犯したのと同じくらい深刻な罪であれ、悔い改めた人や悔い改めようとしている人のために、コリアントンにすばらしい勧告を与えています。アルマ42章の

29節にこうあります。「さて、わが子よ、あなたはこれからはもう、これらのことに思い悩まされることなく、ただ自分の罪にだけ心を悩まし、その悩みによって悔い改めに導かれるようにしてもらいたい。」

コリアントンはアルマの勧告に耳を傾け、悔い改めて立派に仕えました。救い主の贖罪のおかげで、すべての人に癒しが及びます。

アルマの時代でも、ヒーバーの時代でも、そしてこの時代でも、すべての人はイエス・キリストについての自分の証を求め、激情を制し、罪を悔い改め、イエス・キリストの贖罪を通して平安を見だし、神と神の業に忠実である必要があります。

最近の説教でも、そして、今日の午前の部会でも、ラッセル・M・ネルソン大管長はこのように述べています。「どうぞ、自分の証に責任を持ってください。そのために努力してください。手に入れて、大切にし、育ててください。そして、生活の中

で奇跡が起こるのを待ってください。」<sup>24</sup>

この後、ネルソン大管長のお話を聞けることに感謝します。ネルソン大管長がわたしたちの時代の神の預言者であることを証します。わたしは、大管長を通して受けるすばらしい靈感と導きを愛し、大切にしています。

主イエス・キリストの使徒として、救い主の神性について、また主の贖罪が真実であることを、イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

#### 注

1. See Ronald K. Esplin, "A Great Work Done in That Land," *Ensign*, July 1987, 20: 「6月13日、キンボール長老、オーソン・ハイド長老、ジョセフ・フィールディング長老、ヒーバーの友人のウィラード・リチャーズはイギリスに向けてカートランドを発ちました。6月22日、ニューヨークで、カナダ人のイサク・ラッセル、ジョン・グッドソン、ジョン・スナイダーが合流しました。その後、7人の宣教師はリバプール行きのガーリック号の乗船予約を取りました。」(See Heber C. Kimball papers, 1837-1866; Willard Richards journals and papers, 1821-1854, Church History Library, Salt Lake City.)
2. ユタ州ソルトレーク・シティの東側、エミグレーション・キャニオンの入り口に位置するディス・イズ・ザ・プレース記念碑は、1847年7月24日に聖徒たちがソルトレーク盆地に到着してから100周年を記念して建てられました。この碑は、ブリガム・ヤング、ヒーバー・C・キンボール、ウィルフォード・ウッドラフの像です。
3. 1839年初頭に8,000人から10,000人程の末日聖徒が、自警団と暴徒の暴力行為から逃れるためにミズーリを出ました。ブリガム・ヤングとヒーバー・C・キンボールの指示のもとに委員会が形成され、物資を集め、必要を評価し、イリノイへの200マイル(320キロ)にも及ぶ過酷な冬の脱出のルートを決めました。クインシーの町の親切な住民たちが、住まいや食糧を提供することにより、苦しむ聖徒たちに一時的な避難所を与えました。(『聖徒たち—末日におけるイエス・キリスト教会の物語』第1巻「真理の旗、1815-1846年」, William G. Hartley, "The Saints' Forced Exodus from Missouri," in Richard Neitzel Holzapfel and Kent P. Jackson, eds., *Joseph Smith: The Prophet and Seer* [2010], 347-89 参照)
4. In Orson F. Whitney, *Life of Heber C. Kimball: An Apostle, the Father and Founder of the British Mission* (1945), 449; emphasis added.
5. In Orson F. Whitney, *Life of Heber C. Kimball*, 450.



コロンビア

6. モーセ1:39 参照。「総合手引き—末日聖徒イエス・キリスト教会における奉仕」1.2, 「救いと昇栄の業における個人と家族への支援」, ChurchofJesusChrist.org も参照。わたしたちは、キリストのもとに来て神の業を助けるために、イエス・キリストの福音に従って生活し、助けの必要な人の世話をし、福音を受け入れるようにすべての人に勧め、家族を永遠に結びます。教義と聖約110章も参照。救いの業のために鍵が授けられました。
7. 1コリント15:40-41も参照
8. 教義と聖約45:27 参照
9. 教義と聖約45:29 参照
10. アルマは預言者アルマの息子で、国の大きさをきつかさとなり、また教会の大祭司であり預言者でした。アルマは若いときに奇跡的な改心をしました。
11. アルマ36:3
12. Joseph Fielding Smith, "The First Presidency and the Council of the Twelve," *Improvement Era*, Nov. 1966, 979.
13. ヨブ38:7 参照
14. アルマ39:9 参照。アルマはコリアントンに「これからはもう自分の目の欲を追ってはならない」と教えました。
15. All-Party Parliamentary Group, Parliamentary sessions, Tuesday, July 5, 2022, "Preventing Violence and Promoting Freedom of Belief."
16. 「家族—世界への宣言」 ChurchofJesusChrist.org; バトリック・キアロン「主がその翼に癒しを備えてよみがえられたので、わたしたちは勝ち得て余りがある」『リアホナ』2022年5月号, 37-39も参照
17. ラッセル・M・ネルソン「何が真実か」『リアホナ』2022年11月号, 29 参照
18. 2ペテロ1:5-10 参照
19. アルマ39:9 参照
20. ラッセル・M・ネルソン「行いを改善し、より良くなります」『リアホナ』2019年5月号, 67, 68

21. アルマ39:15 参照
22. アルマ42:16 参照
23. 2ニーファイ25:23 参照
24. Russell M. Nelson, Facebook, Aug. 1, 2022, facebook.com/russell.m.nelson; Twitter, Aug. 1, 2022, twitter.com/nelsonrussellm; Instagram, Aug. 1, 2022, instagram.com/russellmnelson; 「永遠にわたる決断」(2022年5月15日, ヤングアダルト対象ワールドワイドデボーション), broadcasts.ChurchofJesusChrist.org も参照





末日聖徒イエス・キリスト教会大管長  
ラッセル・M・ネルソン大管長

# 神殿を中心にする

神殿にいる時間を増やすと、ほかの何をするよりも生活が祝福されると約束します。

愛する兄弟姉妹の皆さん、この総大会のすばらしい5つの部会で、わたしたちは改めて、天が開いていることを実感しました。皆さんが感じたことを書き留めて、それに従うことができるようにと祈ります。天の御父と愛する御子イエス・キリストは、いつでもそばにいて助ける用意をしてくださっています。さらに御二方の助けを求める努力をするよう、皆さんに強くお勧めします。

最近、ネルソン姉妹とわたしは、新しくできたモルモン書ビデオシリーズのシーズン4を公開前に見る機会がありました。<sup>1</sup>感動しました！救い主がニーファイ人に御姿を現わされた場面から、一部抜粋してお見せします。

救い主が民に御姿を現す場所として神殿を選ばれたことには、重要な意味があります。神殿は主の宮です。神殿には主の力が満ちています。主が現在、わたしたちのためにしてくださっていることを、決して忘れないようにしましょう。主は神殿をさらに身近な場所に用意してくださっています。神殿建設のスピードを上げておられます。イスラエルの集合を助けるわたしたちの能力を高めてくださっています。わたしたち一人一人が、さらに容易に霊的に磨かれるようにもしてくださっています。神殿にいる時間を増やすと、ほかの何をするよりも生活が祝福されると約束します。

現在稼働中の神殿は168あり、新たに53の神殿が建設中で、さらに54の神殿が設計段階にあります。<sup>2</sup>これから申し上

げる各地に、新たに神殿を建設する計画があることをお知らせすることができ、うれしく思います。韓国・釜山、フィリピン・ナガ、フィリピン・サンチャゴ、ナイジェリア・エケト、ペルー・チクラヨ、アルゼンチン・ブエノスアイレスシティーセンター、ブラジル・ロンドリーナ、ブラジル・リベイラン・プレト、グアテマラ・ウエウエテナンゴ、フロリダ州ジャクソンビル、ミシガン州グランドラピッズ、テキサス州プロスパー、ネバダ州ローンマウンテン、ワシントン州タコマ。

またわたしたちは、既存の神殿への行き帰りに時間がかかりすぎるのが大き

な問題となっている特定の大都市圏に、複数の神殿を建てることも計画しています。そのため、メキシコシティー近郊の4つの場所にも新たに神殿を建設することを、喜びをもって発表します。メキシコ・クエルナバカ、メキシコ・パチュエカ、メキシコ・トルカ、メキシコ・トゥーラ。

愛する兄弟姉妹の皆さん、これまでにしたことのない方法で、神殿を中心にすることができるよう。日々神とイエス・キリストに近づけるよう、皆さんを祝福します。皆さんを愛しています。再び集まるときまで神が皆さんとともにいてくださいますよう、イエス・キリストの聖なる御名により祈ります、アーメン。■

## 注

1. これらの新しいビデオは福音ライブラリーやその他のチャンネルで多くの言語で視聴できるようになります。本日の大会終了後から、複数のエピソードが毎週公開される予定です。
2. 2022年10月1日現在、さらに4つの神殿が現在改修工事中で（ユタ州セントジョージ、ユタ州マンタイ、ソルトレーク、オハイオ州コロンバス）、3つの神殿が奉獻されるのを待っています（ニュージーランド・ハミルトン、エクアドル・キト、ブラジル・ベレン）。







## 多くの国々で教え導く教会指導者たち

教会の指導者たちは、過去6か月間、引き続き世界中で教導の業を行いました。前回の総大会以降、彼らは多くの活動をしてきましたが、その中から注目すべきものをいくつか紹介します。

### オクス管長、女性の影響力について振り返る

9月に公開された教会のビデオの中で、大管長会第一顧問のダリン・H・オクス管長は、主に対する証と信仰を育むうえで母親と祖母から受けてきた影響について話しています。オクス管長はその後も、妻のジューン・オクス姉妹や、ジューン姉妹が亡くなった後には現在の妻であるクリステン・オクス姉妹ら女性たちから、人生において影響を受け続けています。

「教会の教義と奉仕、家族の責任という分野でわたしにとって最も大切な教師となってきたのは女性でした。この女性たちは、教会の預言者たちと肩を並べるほど偉大な教師です」とオクス管長は言っています。

### ウクトドルフ長老、難民に向けて語る

十二使徒定員会のディーター・F・ウー

クトドルフ長老は、4月にポーランドを訪れ、そこで一時避難しているウクライナ人難民のためのデイポーショナルを管理しました。

自身も子供のころ難民になったことがあるウクトドルフ長老は、今回の訪問について語り、戦争で荒廃した国々にいる末日聖徒やそのほかの人々の「苦しみに対して深い悲しみ」で胸がいっぱいになるものの、それと同時に、感謝の気持ちも心に満ちると言いました。

「この難民の人たちや家族は、救い主とその神聖な目的のために善い行いをし、救い主を信頼して信仰を持っています。それにわたしたちは励まされ、高められました。ハリエットとわたしは彼らを力づけ、慰めることができると思っていたが、わたしたちの方が、彼らから天の光と希望と慰めを心に受けることになったのです。」

### ベドナー長老、ワシントンD.C.の全米記者クラブで話す

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、5月に全米記者クラブで話し、イエス・キリスト教会が全世界で人道

支援や福祉、教育、神殿、伝道、系図の分野でどんな活動を行っているのか、なぜそれを行うのかを、詳しく説明しました。

「末日聖徒イエス・キリスト教会の基本的な目的は、人々が神の性質と属性について学び、神を愛し、神の御子イエス・キリストの弟子となって、兄弟姉妹を愛し、兄弟姉妹に奉仕できるようになるよう助けることです」とベドナー長老は述べました。

### 中央扶助協会会長と中央初等協会会長、南アメリカを訪問する

中央扶助協会会長のカミール・N・ジョンソン会長と中央初等協会会長のスーザン・H・ポーター会長は、教え導き、支援するために、10日間の日程でアルゼンチン、チリ、ウルグアイ、パラグアイを訪問し、各国の市民団体の指導者や教会員と集会を持ちました。

この二人の会長が出席したのは、不安定な状況に立たされているパラグアイやアルゼンチンの女性たちを支援する政府機関との会合です。

「教会は、女性の教育と自立の機会改善のために皆さんとともに働くことを楽し

COPYRIGHT 2022 DESERET NEWS PUBLISHING COMPANY



左から右へ：チャーチニュースのビデオで、人生において、妻のクリステン・オクス姉妹（一緒に写っている）を含む女性たちからの教えについて語る大管長会第一顧問のダリン・H・オクス管長。チリの若い女性にあいさつするカミール・N・ジョンソン会長。ポーランドのウォーソーで開かれた青少年のための集会でウクライナ人難民にあいさつするディーター・F・ウクトドルフ長老。



上：ワシントンD.C.で開かれた全米記者クラブの昼食会で話をするデビッド・A・ベドナー長老。下：南アメリカ南地域のディボーションで子供たちを教えるスーザン・H・ポーター会長。

みにしています」とジョンソン会長は述べました。

ジョンソン会長とポーター会長は、政府に働きかけるだけでなく、教会員へのミニスタリングも行いました。若い親のための集会および独身女性のためのディボーション、子供を持つ家族のための対話形式の集会、ユニットの指導者のための訓練を行ったのです。■

教会指導者の教え導く業について詳しくは、[newsroom.ChurchofJesusChrist.org](https://newsroom.ChurchofJesusChrist.org)を御覧ください。

## ネルソン大管長が教会最年長の大管長に

1924年9月9日生まれのラッセル・M・ネルソン大管長は、先日98歳の誕生日を祝いました。ネルソン大管長は2022年4月14日に、教会史上最年長の大管長になりました。

大管長会第一顧問のダリン・H・オクス管長は、ネルソン大管長の奉仕と生涯を振り返ってこう言います。「ネルソン大管長は靈感に満ちた賢明な指導者で、だれもと一緒にいたくなるような優しく、穏やかな人です。」

第二顧問のヘンリー・B・アイリング管長は、ネルソン大管長が果たす主の預言者としての役割について、次のように言っています。「執務室を出る度に、オクス管長とわたしは『またありましたね』と言います。とにかく啓示があるのです。ネルソン大管長が助言を求め、そして決断が下されます。すると、それが正しい決断で、神から与えられたものであることが、部屋にいる人全員に分かるのです。『主がわたしたちに望んでおられるのはこれだと思えます』と、大管長はただ静かに言います。こういうことが、何度も何度も起こるのです。」■



98歳の誕生日に届いたカードや手紙を称賛するラッセル・M・ネルソン大管長。ユタ州ソルトレーク・シティーの教会管理ビルで集会やそのほかの務めに携わってその日を過ごした。





ブラジル・リオデジャネイロ神殿を奉献する十二使徒定員会の  
ゲーリー・E・スティープソン長老。

## 新たな神殿の建設は進む

ラッセル・M・ネルソン大管長は、2022年10月の総大会の日曜午後の部会で18の新しい神殿を発表しました。121ページの閉会の説教に載っている神殿の場所を見てください。

前回4月の総大会以降に奉献または再奉献された神殿は、以下のとおりです。

- ブラジル・リオデジャネイロ神殿（5月8日に奉献）。
- グアム・ジーゴ神殿（5月22日に奉献）。
- カーボベルデ・ブライア神殿（6月19日に奉献）。
- 中国香港神殿（6月19日に再奉献）。
- 日本東京神殿（7月3日に再奉献）。
- ニュージーランド・ハミルトン神殿（10月16日に再奉献）。
- ブラジル・ベレン神殿（11月20日に奉献予定）。
- エクアドル・キト神殿（11月20日に奉献予定）。
- プエルトリコ・サンファン神殿（12月1日から17日にオープンハウス。2023年1月15日に奉献予定）。

次の神殿は、鉄入れ式が済んでいます。コロラド州グランドジャンクション神殿（アメリカ合衆国）、ユタ州リンドン神殿（アメリカ合衆国）、ニューメキシコ州ファーミントン神殿（アメリカ合衆国）、ネバダ州エルコ神殿（アメリカ合衆国）、アイダホ州バーリー神殿（アメリカ合衆国）、ユタ州スミスフィールド神殿（アメリカ合衆国）、カリフォルニア州ヨーバリンダ神殿（アメリカ合衆国）、コンゴ民主共和国ルンバシ神殿、ユタ州エフライム神殿（アメリカ合衆国）。

オレゴン州ウィラメットバレー神殿（アメリカ合衆国）とユタ州ヒーバーバレー神殿（アメリカ合衆国）は、鉄入れ式の日程が決まっています。■

## 新版ガイド『青少年の強さのために』

教会は末日聖徒の青少年のためのガイドを改訂しました。『青少年の強さのために—選択の指針』は、選択の自由を行使して靈感を求め、福音の標準に従って生活するようにと青少年に勧めるガイドです。

「選択をする際にいちばん良い指針となるのは、イエス・キリストです。イエス・キリスト〔こそ〕青少年の力なのです」と、十二使徒定員会のディーター・F・ワークトドルフ長老は、総大会の土曜午前の部会で教えています。「『青少年の強さのために』の目的は、皆さんの心をキリストに向けることです。この冊子は、キリストの回復された福音の永遠の真理を教えています。つまり、自分が何者であり、キリストはどのような御方で、キリストの力で自分が成し遂げることについて、真理を皆さんに教えています。」（『イエス・キリストは青少年の力です』『リアホナ』2022年11月号、10-11）

青少年は、このガイドにある原則に従って、生活のあらゆる面で義になつた選択をしてください。両親や指導者、青少年は、家庭や日曜日の集会、キャンプやユースカンファレンスなどの活動で、このガイドを学び、分かち合うようにするとよいでしょう。若い男性や若い女性の指導者は、このガイドにある原則を定期的に強調するようにしてください。ここに載っている原則は、青少年と親を対象とした、年に1度の標準の夕べで採り上げてよいでしょう。

この新しいガイドのデジタル版には、福音ライブラリーの青少年のセクションおよび Youth.ChurchofJesusChrist.org で、50の言語でアクセスすることができます。印刷版は、間もなく全世界のワードや支部に配送されます。■





## 福音ライブラリー アプリが通知設定 可能に

福音ライブラリーアプリに、コンテンツのリリースを知らせてくれる、新たな通知設定が付きました。通知には、(1) 日々のインスピレーション(聖句や大会の引用など)、(2) リマインダー(学習計画やライブイベントに関する通知など)、(3) 更新情報(預言者のメッセージや教会機関誌の発行など)の3種類があります。

通知設定を選択するには、アプリの右上隅にある3つの点をタップし、「設定」を選択してから「通知」を選択します。■

## モルモン書ビデオシーズン4が本年公開

モルモン書ビデオのシーズン4では、モルモン書の中で最も輝かしい場面である、アメリカ大陸でイエス・キリストが教え導かれる様子が描かれています。

主が旧世界と新世界の両方で預言者に語りかけられたことを指摘して、「新約聖書を愛する人は〔シーズン4に〕親近感を抱くだろうと思います」と、中央若い女性会長会第一顧問のミッシェル・D・クレグ姉妹は言っています。

1,000人以上の俳優やスタッフ、撮影班が協力して、復活した神の御子が天から降ってきて新世界の人々と会い、彼らにお仕えになるという預言と証が実現したときの様子を、生き生きと表現しました。

「モルモン書ビデオ」シリーズは、教会の「モルモン書」アプリで見ることができ、広東語、セブアノ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、標準中国語、ポルトガル語、ロシア語、サモア語、スペイン語、タガログ語、トン

ガ語の15言語で翻訳されています。ほかにも、教会のウェブサイトや福音ライブラリー、YouTubeのモルモン書ビデオチャンネル(登録すると、新しいビデオが公開されたときに通知を受けることができる)などでも視聴することができます。

シーズン5が完成すると、全部で45話が収録されたこととなります。■





わたしに従ってきなさい

# 総大会のメッセージを教え、学び、 応用する

長老定員会と扶助協会は、救いと昇栄の業において重要な役割を果たします。日曜日の集会で、最近の大会メッセージに含まれている教えをこの業における自分の取り組みにどう応用するかについて話し合います。長老定員会と扶助協会の会長会は、会員の必要と御霊の導きに基づいて、日曜日の集会で学ぶ大会メッセージを選びます。場合によっては、ビショップやステーク会長がメッセージを提案してもよいでしょう。通常、指導者は大管長会と十二使徒定員会のメッセージから選ぶべきですが、最近の総大会のどのメッセージについて話し合っても構いません。

教師は、会員が大会メッセージに含まれている教えを生活に応用できるよう助ける方法に焦点を当てます。指導者と教師は、選んでおいたメッセージを集会の前に読んで来るよう会員に勧める方法を見つけます。

長老定員会と扶助協会の集会に関する詳細については、『総合手引き—末日聖徒イエス・キリスト教会における奉仕』8.2.1.2, 9.2.1.2, ChurchofJesusChrist.org を御覧ください。



ウクライナ

## 教える計画を立てる

総大会のメッセージを用いて教える計画を立てる際、以下の質問が教師の助けとなるでしょう。必要に応じて、教師はこれらの質問について深く考える際、長老定員会会長会または扶助協会会長会に相談します。

- 長老定員会会長会または扶助協会会長会がこのメッセージを話し合いのために選んだのはなぜでしょうか。このメッセージについて話し合った後、彼らは会員が何を知り、何を行うよう望んでいるでしょうか。
- 話者は何を理解してほしいと会員に望んでいるでしょうか。福音のどの原則を教えているでしょうか。それらの原則は、自分たちの長老定員会や扶助協会にどのように応用できるでしょうか。
- 話者はそのメッセージの裏付けとして、どの聖句を用いているでしょうか。会員が理解を深めるために参照することのできる聖句はほかにありますか。(メッセージの注釈や聖句ガイド〔scriptures.ChurchofJesusChrist.org〕から幾つか見つけられるでしょう。)
- そのメッセージに含まれている教えについて会員が深く考え、応用できるよう助けるために、どのような質問をするとよいでしょうか。これらの教えが自分たちの生活、家族、および主の業にどう関連しているのかを会員が理解するためには、どのような質問が助けとなるでしょうか。
- 集会に御霊を招くために、何ができるでしょうか。話し合いをさらに良いものとするために、物語やたとえ、音楽、絵を含め、利用できるものはありますか。話者は会員が自分のメッセージを理解できるよう助けるために何をしましたか。
- 話者が勧めたことはありますか。その勧めに従って行動する望みを会員が持つよう助けるには、どうしたらよいでしょうか。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 活動のアイデア

会員が総大会メッセージから学ぶのを助ける方法はたくさんあります。以下に幾つかの例を示しますが、あなたの定例会や扶助協会において、もっと効果のあるアイデアがほかにもあるかもしれません。



南アフリカ

- **真理を生活に応用する。**

会員に、個人として、あるいは長老定例会または扶助協会として、神が与えてくださった業を成し遂げる助けとなる真理を探しながら大会メッセージを読み返すよう招きます。例えば、ミニスタリングブラザー／シスター、親、会員宣教師であるわたしたちの助けとなるようなことが学べるでしょうか。このメッセージは、わたしたちの思いや感情、行動にどのような影響を与えるでしょうか。

- **グループで話し合う。**

会員を小さなグループに分け、各グループに大会メッセージから別々の部分を割り当てて読んで話し合ってもらいます。その後、見つけた真理と、それが自分たちにどのように応用できるかを各グループに発表してもらいます。あるいは、異なるメッセージの部分を研究した会員から成るグループを作り、見つけたことを互いに分かち合ってもらおうのもよいでしょう。

- **質問への答えを探す。**

大会メッセージについて以下のような質問に答えるよう会員に勧めます：このメッセージから、どのような福音の真理を見つけましたか。これらの真理を応用するにはどうすればよいでしょうか。どのような勧めや約束された祝福が与えられているでしょうか。わたしたちが行うように神が望んでおられる業について、このメッセージは何を教えているでしょうか。あるいは、メッセージについて深く考えたり、教えられた真理を応用したりするよう会員を励ますような質問を幾つか自分で作ります。会員に、これらの質問の中から一つを選び、メッセージの中から答えを見つけてもらいます。

- **メッセージの言葉を分かち合う。**

大会メッセージから、会員が救いと昇栄の業における自分たちの責任を果たすように靈感を与えてくれる言葉を分かち合ってもらいます。愛する人やミニスタリングを行う相手も含め、人々を祝福するために、それらの言葉をどのように分かち合うことができるか考え

よう励まします。

- **物を使ったレッスンをする。**

前もって数人の会員に、大会メッセージの教えに関連した物を家から持って来るよう頼んでおきます。集会の中で、それらの物がメッセージにどのように関連しているか、またそのメッセージを自分の生活にどのように応用できるかを会員に説明してもらいます。

- **家庭で教えるレッスンを準備する。**

会員に二人一組になってもらい、大会メッセージに基づいた家庭の夕べのレッスンを計画してもらいます。次のような質問に答えてもらうとよいでしょう：このメッセージを自分の家族に関連付けるにはどうするとよいでしょうか。このメッセージを、ミニスタリングを行う相手にどのように分かち合えるでしょうか。

- **経験を分かち合う。**

大会メッセージの一部を一緒に読みます。その中にある教義を表したり、裏付けるような聖文や個人の経験を会員に分かち合ってもらいます。

- **言葉を見つける。**

大会メッセージを調べるように会員に勧め、自分にとって大切だと思う言葉を見つけてもらいます。その言葉や、その言葉から学んだことを分かち合うように言います。これらの教えがどのように主の業を成し遂げる助けとなるかを分かち合うように言います。■

総大会のメッセージから学び、教える方法に関するその他のアイデアについては、「総大会から学び、教えるためのアイデア」を参照してください。（「福音ライブラリー」の「総大会」の項にある「学習のためのアイデア」をクリックします。）





「主イエス・キリストには希望があります。すべての人はこの現世で、希望を持つことができます。過ち、悲しみや苦しみ、試練や悩みを克服する希望があります。悔い改め、赦されること、そして人を赦すことに希望があるのです。わたしは、キリストに希望と平安があることを証します。主は今日、困難な状況にあるわたしたちを支えてくださいます。主は初期の開拓者たちを支えられました。そして今はわたしたち一人一人を支えてくださいます。」

—— M・ラッセル・バラード会長「信仰を込めて一歩ずつイエス・キリストに従う」



教会の第 192 回半期総大会で、ラッセル・M・ネルソン大管長はこう述べました。「今朝皆さんにお願いしたいのは、神と交わした聖約を通して世に打ち勝つことによって、この世の厳しさや不確かさ、苦痛から逃れて休みを見いだすようになってほしいということです。どうか、自分が真剣に世に打ち勝とうとしていることを、祈りと行いを通して神にお伝えしてください。思いを照らして必要な助けを送ってくださるようにと、神に願ってください。毎日、祈っているときに浮かんだ考えを書き留めて、それをしっかりとやり遂げてください。神殿で過ごす時間をもっと増やし、どうすればこの墮落した世に打ち勝つ方法を神殿から学べるようになるのか理解できるよう努めてください。」

